

令和2年度使用中学校用教科用図書

# 選 定 資 料

(「特別の教科 道徳」を除く)

令和元年6月

広島県教育委員会

## はじめに

広島県教育委員会は、令和2年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により送付します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

令和元年6月

広島県教育委員会

# 目 次

教科用図書選定資料について .....	1
国 語 .....	2
書 写 .....	18
社 会 (地理的分野) .....	28
社 会 (歴史的分野) .....	41
社 会 (公民的分野) .....	60
地 図 .....	78
数 学 .....	86
理 科 .....	108
音 楽 (一般) .....	131
音 楽 (器楽合奏) .....	141
美 術 .....	149
保 健 体 育 .....	160
技 術 ・ 家 庭 (技術分野) .....	172
技 術 ・ 家 庭 (家庭分野) .....	182
英 語 .....	193

## 教科用図書選定資料について

### 1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「中学校用教科書目録（平成 32 年度使用）」に記載された教科用図書について、種目別に、次の五つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

広島県では、平成 27 年度から広島版「学びの変革」アクション・プランに基づき、主体的な学びの創造を目指しています。

そのため、観点 2 として「主体的に学習に取り組む工夫」を設定しています。また、引き続き「確かな学力」と「豊かな心」の基盤となる「ことばの力」を児童生徒に確実に身に付けさせることを目的として「ことばの教育」に取り組んでいることから、観点 5 として「言語活動の充実」を設定しています。

なお、それぞれの観点の下に、種目ごとに学習指導要領の目標に基づき視点を設定しています。

### 2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「中学校用教科書目録（平成 32 年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名	番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社	46	帝国	株式会社帝国書院
4	大日本	大日本図書株式会社	50	大修館	株式会社大修館書店
6	教図	教育図書株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	104	数研	数研出版株式会社
11	学図	学校図書株式会社	116	日本文	日本文教出版株式会社
15	三省堂	株式会社三省堂	224	学研	株式会社学研教育みらい
17	教出	教育出版株式会社	225	自由社	株式会社自由社
27	教芸	株式会社教育芸術社	227	育鵬社	株式会社育鵬社
35	清水	株式会社清水書院	229	学び舎	株式会社学び舎
38	光村	光村図書出版株式会社	232	廣あかつき	廣濟堂あかつき株式会社
			233	日科	日本教科書株式会社

国 語
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい国語
11	学	図	中学校国語
15	三	省 堂	現代の国語
17	教	出	伝え合う言葉 中学国語
38	光	村	国語

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・教材の目標の示し方	目標の示し方
		② 基礎的な言語の定着	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い
		③ 伝統的な言語文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元の数, 単元名・教材名, 単元の中で取り上げられている古典作品
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名, 目標, 学習活動
		⑤ 問題解決的な学習を実施するための工夫	単元名・教材名, 目標, 学習過程, 意見文の例
		⑥ 見通しを立てたり, 振り返ったりする学習のための活動の工夫	単元名・教材名, 目標, 学習過程, 見通しを立てさせるための資料等
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・教材等の配列	配列の特徴, 総単元数, 三領域一事項ごとのページ数
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習の示し方, 種類, 教材名, 教材数, ページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方と内容及びページ数
		⑩ 本文記述との関連付けがなされた図表等	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名, ページ数, 目標, 図表等の種類
(オ)	言語活動の充実	⑪ 読書と情報活用	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等, 情報活用に関わる内容
		⑫ 言語活動の種類	学習指導要領に示された言語活動例に関わる内容の記述

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元・教材の目標の示し方
方法	目標の示し方

	目標の示し方	第2学年 教材名「走れメロス」における目標の示し方
東 書	☆ 単元の扉に単元の目標を単元名として示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「てびき」の部分に目標を示している。	6 描写を味わう 「走れメロス」
		☆ 描写を味わう □ 人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 □ 場面の展開や表現の仕方について、自分の考えをまとめる。
学 図	☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「学びの窓」の部分に目標を示している。	3 群像 一発見と行動 「走れメロス」
		☆ 言葉を吟味して人間の内面と行動について考えよう。 □ 信頼関係の動揺について考える。 □ 視点を変えて出来事や心情を捉える。
三省堂	☆ 単元の扉に単元の目標を単元名として示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「学びの道しるべ」の部分に目標を示している。	5 読みを深め合う 「走れメロス」
		☆ 読みを深め合う □ 場面ごとのできごとを手がかりとして、作品の構成の特徴について考えをまとめる。 □ 登場人物の言動の意味を捉え、それぞれの人物の考え方について読み深める。
教 出	☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりの「みちしるべ」の部分に目標を示している。	8 考えを交流する 「走れメロス」
		☆ 多様に読める文章から自分の考えをもち、周りの人と交流する。 □ 登場人物や語り手のものの見方や考え方についての理解を深め、自分の考えをもつ。 □ 描写や人称の使い分けなどに着目し、人物像や心情を表すうえでの役割や効果を捉える。
光 村	☆ 単元の扉に単元名と単元の目標を示している。 □ 教材の冒頭ページと、終わりに目標を示している。	7 表現を見つめて 「走れメロス」
		☆ 多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める。 □ 描写や会話に着目して人物像の変化を捉え、作品を読み味わう。 □ 作品を読み、登場人物の行動や考え方について、自分の考えをもつ。

(注) ☆は単元の目標を表し、□は目標を表す。

【国語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的な言語の定着
方法	新出漢字の示し方, 重要語句の示し方, 言語・漢字・文法の扱い

		第1学年						
		新出漢字の数及び脚注等への示し方	重要語句の脚注への示し方とその数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)
東 書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 377 字</li> <li>○ 脚注に行数, 音訓, 用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「新出漢字一覧」として, ページ数, 音訓, 部首, 画数, 筆順, 用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本語探検                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声の働きや仕組み (1)</li> <li>・つなぐ言葉・指し示す言葉 (3)</li> <li>・語の意味と文脈・多義語 (2)</li> </ul> </li> <li>○ 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を広げよう (4)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字道場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活字と書き文字・画数・筆順 (2)</li> <li>・音読み・訓読み (2)</li> <li>・漢字の部首 (2)</li> <li>・漢字の成り立ち (2)</li> </ul> </li> <li>○ 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字表 (12)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の窓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法とは・言葉の単位 (1)</li> <li>・文の成分・連文節 (1)</li> <li>・単語の分類 (1)</li> <li>・名詞 (1)</li> <li>・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 基礎編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法とは・言葉の単位 (3)</li> <li>・文の成分・連文節 (5)</li> <li>・単語の分類 (4)</li> <li>・名詞 (2)</li> <li>・連体詞・副詞・接続詞・感動詞 (3)</li> </ul> </li> </ul>
			マーク	マークの意味	数			
			意	意味を調べよう。	55			
			文	短文を作ろう。	23			
			類	似た意味の言葉(類義語)を挙げよう。	36			
対	反対の意味の言葉(対義語)を挙げよう。	9						
学 図		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 403 字</li> <li>○ 脚注に行数と本文中の読みを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数, 音訓, 用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉と生活・言葉と文化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音と表記 (4)</li> </ul> </li> <li>○ 言語の学習・一年生の語句・語彙の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・語の意味 (4)</li> <li>・語の分類 (2)</li> <li>・和語・漢語・外来語 (2)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字を見抜く                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の成り立ち (4)</li> <li>・声符による漢字の読み (4)</li> <li>・部首による漢字の意味 (4)</li> <li>・漢字の書体 (4)</li> <li>・旧字体と新字体・簡易慣用字体 (4)</li> </ul> </li> <li>○ 言語の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・注意すべき筆順 (1)</li> <li>・常用漢字表 (17)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文節他 (1)</li> <li>・品詞分類 (1)</li> <li>・名詞・代名詞 (1)</li> <li>・副詞・連体詞 (1)</li> <li>・指示語 (1)</li> <li>・接続詞・感動詞 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 言語の学習・一年生の文法の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章・段落・文・文節・単語, 文節と文節の関係, 連文節, 自立語・付属語・活用 (3)</li> <li>・品詞分類の仕方 (1)</li> <li>・名詞・代名詞 (1)</li> <li>・副詞・連体詞 (1)</li> <li>・接続詞・感動詞 (1)</li> <li>・口語・文語活用対照表 (折込)</li> </ul> </li> </ul>
			マーク	マークの意味	数			
			意	意味を調べたり, 語の構成を捉えたりする	63			
			文	短文を作る	22			
			類	類義語を調べる	9			
対	対義語を調べる	2						

【国語】

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 392 字</li> <li>○ 脚注に行数と本文中の読みを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ことば発見                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声のしくみとはたらき (3)</li> <li>・話しことばと書きことば (2)</li> <li>・接続する語句・指示する語句 (2)</li> </ul> </li> <li>・比喩・倒置・反復・対句 (3)</li> <li>○ 学習用語辞典 (6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字のしくみ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活字と手書き文字・画数・筆順 (2)</li> <li>・部首と成り立ち (2)</li> <li>・漢字の音と訓 (2)</li> <li>・漢字を身につけよう (9)</li> </ul> </li> <li>○ 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校六年生で学習した漢字 (1)</li> <li>・常用漢字表音訓一覧 (14)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法のまど                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの単位・文節の関係 (1)</li> <li>・単語の類別・品詞 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 文法のまとめ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ことばの単位・文節の関係・連文節・文の成分 (5)</li> <li>・単語の類別・品詞 (2)</li> <li>・名詞 (1)</li> <li>・副詞・連体詞</li> <li>・接続詞・感動詞 (3)</li> </ul> </li> </ul>		
		マーク				マークの意味	数
		意				辞書で意味を調べる	65
		短				短文を作る	8
		類				類義語を調べる	6
対	対義語を調べる	4					
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 400 字</li> <li>○ 新出漢字には、本文中にルビが振ってある。</li> <li>○ 新出漢字が出てくる行の真下の脚注に漢字のみを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言語の小窓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音声 (1)</li> <li>・日本語の文字 (1)</li> </ul> </li> <li>○ 言葉と文法解説編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の音声 (4)</li> <li>・日本語の文字 (5)</li> </ul> </li> <li>○ 言葉の自習室                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典と漢和辞典 (1)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字の広場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の部首 (2)</li> <li>・画数と活字の字体 (2)</li> <li>・漢字の音と訓 (2)</li> <li>・熟語の構成 (2)</li> <li>・漢字の練習 (4)</li> </ul> </li> <li>○ 漢字 資料編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校六年生で学習した漢字 (5)</li> <li>・常用漢字表 (15)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法の小窓                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位 (1)</li> <li>・文の成分 (1)</li> <li>・単語のいろいろ (1)</li> </ul> </li> <li>○ 言葉と文法解説編                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位 (3)</li> <li>・文の成分 (8)</li> <li>・単語のいろいろ (6)</li> </ul> </li> </ul>		
		マーク				マークの意味	数
		意				調べたり考えたりして意味を理解する。	57
		文				短文を作って表現に生かす。	31
		同				同じ音をもつ語句を調べる。	3
		対				反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3
類	似た意味をもつ語句を調べる。	11					
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 381 字</li> <li>○ 脚注に行数、本文中での読みを示している。</li> <li>○ 教材末にページ数、音訓、用例を示している。</li> <li>○ 巻末に「一年生で学習した漢字」としてページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。</li> </ul>	○ 意味や用法を理解しておきたい語句をマークとともに示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・声を届ける (2)</li> <li>・話し言葉と書き言葉 (2)</li> <li>・言葉を集めよう (1)</li> <li>・指示する語句と接続する語句 (3)</li> <li>・さまざまな表現技法 (3)</li> </ul> </li> <li>○ 資料                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語を使う (1)</li> <li>・書体の特徴 (1)</li> <li>・感想を表す言葉 (1)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の組み立てと部首 (2)</li> <li>・漢字の音訓 (2)</li> <li>・漢字の成り立ち (2)</li> </ul> </li> <li>○ 漢字の練習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校六年生で学習した漢字 (4)</li> <li>・小学校六年生で学習した漢字一覧 (2)</li> </ul> </li> <li>○ 付録                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用漢字表 (15)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文法への扉                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のまとまりを考えよう (1)</li> <li>・言葉の関係を考えよう (1)</li> <li>・単語の性質を見つけよう (1)</li> </ul> </li> <li>○ 文法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の単位 (4)</li> <li>・文の組み立て (5)</li> <li>・単語の分類 (4)</li> </ul> </li> </ul>		
		マーク				マークの意味	数
		意				意味を調べる。	46
		文				短文を作る。	23
		類				類義語を調べる。	3
		対				対義語を調べる。	3
関	関連語句を確認する。	5					



【国語】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③伝統的な言語文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	伝統的な言語文化に関する単元の数, 単元名・教材名, 単元の中で取り上げられている古典作品

	学年	単元の数 (ページ数)	単元名・教材名	単元の中で取り上げられている古典作品
東書	1	1 (25)	○ 伝統文化に触れる ・ 古典の世界 ・ 伊曾保物語 ・ 竹取物語 ・ 矛盾	『源氏物語』『枕草子』『徒然草』 『伊曾保物語』『犬と肉のこと』『鳩と蟻のこと』 『竹取物語』 『韓非子』『矛盾』
	2	1 (29)	○ 伝統文化を楽しむ ・ 枕草子・徒然草  ・ 平家物語 ・ 漢詩	『枕草子』『第一段』『九月ばかり』 『徒然草』『序段』『仁和寺にある法師』 『平家物語』『祇園精舎』『那須与一』 『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』
	3	1 (23)	○ 伝統文化に親しむ ・ 万葉・古今・新古今 ・ おくのほそ道 ・ 論語	『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』 『論語』
学図	1	1 (31)	○ 伝統 一時を超えて ・ 言葉の向こうに ・ 姫の物語? 翁の物語?—竹取物語 ・ とらわれた心に突き立つ矢—宇治拾遺物語 ・ 故事成語 ・ 絵巻を読む	『徒然草』 『竹取物語』  『宇治拾遺物語』  『孟子』『五十歩百歩』、『韓非子』『矛盾』 『伴大納言絵詞』『竹取物語絵巻』
	2	1 (27)	○ 伝統 一時の中で ・ 言葉の力 ・ 源平争乱の歴史語り—平家物語 ・ 人の世と人の心のスケッチ—徒然草 ・ 論語 ・ 古典芸能に見られる古典解釈	『古今和歌集 仮名序』 『平家物語』『祇園精舎』『敦盛の最期』 『徒然草』『高名の木登り』『猫また』『序段』  『論語』 『平家物語』
	3	1 (44)	○ 伝統 一今に向かって ・ 言葉との出会い ・ 歌の源流へ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・ 発見する言葉—枕草子  ・ 漢詩  ・ 言葉が見た風景—おくのほそ道 ・ 異界を捉える言葉—遠野物語 ・ 先人の達成と共に—本歌取りなど	『百人一首』 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』  『枕草子』『春はあけぼの』『うつくしきもの』 『香炉峰の雪』 『春望』『元二の安西に使ひするを送る』『静夜の思ひ』 『おくのほそ道』 『遠野物語』 『長恨歌』
三省堂	1	1 (23)	○ 古典に学ぶ ・ 月を思う心 ・ 竹取物語 ・ 古典の仮名遣い ・ 故事成語—矛盾 ・ 漢文の読み方	『竹取物語』  『韓非子』『矛盾』
	2	1 (31)	○ 古典に学ぶ ・ 枕草子・徒然草  ・ 平家物語 ・ 物語の転換点 ・ あの人の歌 ・ 漢詩の世界  ・ 漢詩の形式	『枕草子』『第一段』『第一百四十五段』 『徒然草』『序段』『第五十二段』『第九十二段』 『平家物語』『祇園精舎』『敦盛の最期』  『春暁』『黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る』 『春望』 『絶句』

【国語】

	3	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典に学ぶ</li> <li>・和歌の世界—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集</li> <li>・コミュニケーションツールとしての歌</li> <li>・おくのほそ道</li> <li>・論語</li> <li>・漢文の読み方</li> </ul>	<p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『おくのほそ道』 『論語』</p>
教出	1	1 (21)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典と出会う</li> <li>・古典の扉を開く—一百年後、千年後の友人であるあなたへ—</li> <li>・物語の始まり—竹取物語—</li> <li>・故事成語—中国の名言—</li> </ul>	<p>「川柳」『東海道中膝栗毛』『南総里見八犬伝』</p> <p>『竹取物語』 『韓非子』「矛盾」</p>
	2	1 (25)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統を見いだす</li> <li>・敦盛の最期—平家物語—</li> <li>・随筆の味わい—枕草子・徒然草—</li> <li>・二千五百年前からのメッセージ—孔子の言葉—</li> </ul>	<p>『平家物語』「祇園精舎」「敦盛の最期」 『枕草子』「春はあけぼの」「うつくしきもの」 『徒然草』「序段」「仁和寺にある法師」「ある人、弓射ることを習ふに」 『論語』</p>
	3	1 (27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化をつなぐ</li> <li>・旅への思い—芭蕉と『おくのほそ道』—</li> <li>・和歌の調べ—万葉集・古今和歌集・新古今和歌集—</li> <li>・和歌の鑑賞文を書く</li> <li>・風景と心情—漢詩を味わう—</li> </ul>	<p>『おくのほそ道』</p> <p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>『黄鶴楼にて、孟浩然の広陵に之くを送る』『春暁』『春望』「翠岑を下る」</p>
光村	1	1 (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いにしへの心に触れる</li> <li>・いろは歌</li> <li>・月に思う</li> <li>・蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から</li> <li>・今に生きる言葉</li> <li>・故事成語を使って体験文を書こう</li> </ul>	<p>『いろは歌』 『竹取物語』『徒然草』『百人一首』 『竹取物語』「蓬萊の玉の枝」</p> <p>『韓非子』「矛盾」 「漁夫の利」</p>
	2	2 (24)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広がる学びへ</li> <li>・枕草子</li> <li>○ いにしへの心を訪ねる</li> <li>・音読を楽しもう—平家物語</li> <li>・扇の的—「平家物語」から</li> <li>・仁和寺にある法師—「徒然草」から</li> <li>・漢詩の風景</li> </ul>	<p>『枕草子』</p> <p>『平家物語』「祇園精舎」 『平家物語』「扇の的」 『徒然草』「序段」「第五十二段」</p> <p>『春暁』『絶句』『黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る』『春望』</p>
	3	2 (27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深まる学びへ</li> <li>・学びて時にこれを習ふ—「論語」から</li> <li>○ いにしへの心と語らう</li> <li>・古今和歌集—仮名序</li> <li>・君待つと—万葉・古今・新古今</li> <li>・夏草—「おくのほそ道」から</li> <li>・古典を心の中に</li> </ul>	<p>『論語』</p> <p>『古今和歌集』「仮名序」 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 『おくのほそ道』</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名，目標，学習活動

第1学年 案内文・報告文			
	単元名・教材名	目標	学習活動
東書	○ 伝統文化に触れる ・「案内や報告の文章を書こう」	○ 必要な情報を選び出し，分かりやすい構成でまとめる。	○ 保護者に宛てた合唱祭の案内状を書く活動や合唱祭の結果を学年便りに掲載するつもりで報告の記事を書く活動を取り上げている。
学図	○ 伝統一時を超えて ・「隠れた世界を知る」	○ 身近な出来事を報道文で伝える。	○ 運動会や文化祭などの学校行事で，自分が見ていないところで友達がどのような仕事をしてたかを取材し，記事に書く活動を取り上げている。
三省堂	○ 情報を読み解く ・「目的や相手に応じて，情報を編集する」	○ 目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して，わかりやすく構成する。 ○ 文章を読み返し，表記や表現の仕方などを確かめて，相手にとって必要な情報が正しくわかりやすく伝わるものにする。	○ 学校の様々な行事を案内する行事を案内するリーフレットを書く活動を取り上げている。
教出	○ 表現に立ち止まる ・「行事などの案内文を書く」	○ 行事の案内文に必要な内容や構成を理解する。 ○ 「推敲のポイント」に従って文章を推敲する。	○ 町内会に宛てた合唱発表会の案内状を書く活動を取り上げている。
光村	○ つながりの中で ・「調べたことを報告しよう」	○ 課題に合わせて，集めた材料を整理する。 ○ 調べた内容がわかりやすく伝わるように，構成に沿って文章にまとめる。	○ 言葉について，調べてみたい課題を日常生活の中から探し，調査してわかったことをレポートにまとめて報告する活動を取り上げている。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	単元名・教材名, 目標, 学習過程, 意見文の例

第2学年 意見文・主張文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	意見文の例
東書	○ 説得力を高める ・「反対意見を想定して書こう」	○ 自分の立場を明確にして, 分かりやすい構成で意見文を書く。 ○ 意見が効果的に伝わるように, 根拠を具体的に記述したり, 他の立場への反論を盛り込んだりする。	○ 的確な反論を考える練習をする。 ○ 自分の立場を決め, 根拠を考える。 ○ 反対の主張の根拠を予想し, 反論を考える。 ・反対の主張の根拠をいくつか考える。 ・予想される相手の根拠に対して, 反論を考える。 ○ 自分側の根拠を再検討する。 ・反論を予想し, 根拠を練り直す。 ○ 意見文を書く。 ・分かりやすい文章構成でまとめる。 ○ 完成した意見文を読み合う。 ・内容や構成について, 意見を述べたり助言をしたりする。	「活字メディアの方が映像メディアより役立っている」
学図	○ 伝統一時の中で ・「意見文を書こう」	○ 意見を効果的に述べる文章の作り方を知る。	○ 題材を見つける。 ・題材選びカードを用いて自分の困っていることや問題だと思っていることを書き出す。 ・困っていることや問題に思っていることの原因を簡潔に書く。 ・友達と話しても解決しないものなどを「題材」に選ぶ。 ○ 意見の組み立てを考える。 ・意見・主張を決める。 ・組み立てを決める。 ○ 意見文を書く。 ○ 書いた文章を読み合う。 ・友達と交換し, 意見や感想を述べる。	『言葉遣い』は『心遣い』
三省堂	○ 視野を広げる ・「推論と対話で考えを広げる」	○ 自分の立場や考えとともに, それを支える事実や事柄を明らかにして, 文章の構成を工夫する。 ○ 書いた文章を読み合い, 互いの主張や表現の仕方について意見を交流して, 自分の考えを広げる。	○ 行動の理由を推論する。 ・災害が起こった状況を仮定し, その状況下における人々の行動について, 誰の行動を支持するか, もしくは支持しないかを考え, メモする。 ○ 対話によって, 考えを広げる。 ・メモをもとに, 互いの考えをグループやクラスで交流する。 ○ 主張文を書く。 ・条件に応じて主張文を書く。 ○ 主張文を読み合う。 ・完成した主張文を読み合い, 感想や意見を付箋やカードに書き出して交流する。 ○ 学習を振り返る。	「災害時における行動について」
教出	○ 自己と対話する ・「四コマ漫画から意見文を書く」	○ 複数の考え方があつた問題について, 意見文を書く。 ○ 自分の主張の根拠を示して, 文章を書く。	○ 四コマ漫画を読んで, 自分の「課題」をつくる。 ・みんなで話し合い, よい「課題」を探す。 ○ 根拠(事実)をもとに, 主張を明確にする。 ・主張の根拠となる事実をあげる。 ○ 効果的に伝えるための文章構成を決める。 ・「頭括型」「尾括型」「双括型」から選んで書く。 ○ 自分の決めた立場と構成で, 文章を書く。 ○ 文章を読み返し, 推敲する。 ○ 友達の文章を読んで質問し合い, 考えを深め合う。	「手紙を書くときには, 手書きのほうがよい」
光村	○ 論理を捉えて ・「根拠を明確にして意見文を書こう」	○ 社会生活の中から課題を決めて, 情報を集め, 自分の意見をもつ。 ○ 自分の意見とその根拠を明確にして, 文章構成を工夫して書く。	○ 課題を決める。 ・環境問題について体験や見聞したことを振り返ったり, 様々なメディアを通して知ったりしたことの中から課題を選ぶ。 ○ 意見と根拠を明らかにする。 ・情報を集め, 自分の意見を決める。 ・意見を支える根拠を絞る。 ・反論を想定し, 意見を深める。 ○ 構成を考え, 意見文にまとめる。 ・構成メモを作って考える。 ○ 意見文を読み合って助言し合う。 ・観点を決め, 良い点, 改善点を話し合う。	「リサイクルの問題は地球規模で考えるべき」

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための活動の工夫
<b>方法</b>	単元名・教材名、目標、学習過程、見通しを立てさせるための資料等

第3学年 批評文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東 書	○ 多面的に検討する ・「観察・分析して論じよう 批評文」	○ 批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。 ○ 論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。 ○ 書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深める。	①観察の練習をする ②批評の対象について知る ③対象を観察・分析する ④対象を比較し、判断を下す ⑤批評文を書く ⑥読み合って評価する ○ 学習を振り返る ・批評の対象について、観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下したか。 ・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書いたか。 ・書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深めたか。	・批評の対象例 (ロゴ、ポスター、広報) ・観察・分析のメモの例 ・批評文例 (ポスター)
学 図	○ 生命一命の共鳴 ・「批評する言葉 批評文を書く」	○ 本の魅力を伝えよう	○ 批評の文章を書く ①作品を選ぶ ②グループを作る ③作品を読む ④グループで話し合う ⑤話し合いの感想をまとめる ⑥話し合ったことを発表し合う ⑦批評文を書く ⑧感想を交流する ○ 学習を振り返る ・作品を「批評」するためにどういうことが大切か、学習を振り返って、みんなで話し合ってみましょう。	・批評文例(詩)
三省堂	○ 情報を読み解く ・「観察や分析をおして、判断する」	○ 取材や分析をおして課題に対する自分の立場や考えを定め、論理展開が明解な文章構成を工夫して書く。 ○ 書いた文章を互いに評価し合うことにより、表現をよりよいものに高め、ものの見方や考え方を深める。	①課題を設定する ②対象を観察し、分析する ③判断と評価を行い、下書きをする ④判断や評価の根拠を補強する ⑤批評文を書く ⑥交流する ○ 学習を振り返る ・目標をもう一度確認しながら学習を振り返り、学んだことや気づいたことをノートにメモしておきましょう。	・批評文の課題例 (成人年齢、富士山入山料、ヒット曲) ・比較・分析する例 (コミュニケーション手段) ・批評文例 (コミュニケーション手段)
教 出	○ 言葉を探る ・「広告を批評する」	○ 広告を比較して、批評文を書く。 ○ 効果的な構成について自分の考えを深める。	○ 活動の流れにそって学ぼう ①広告のコピーを比較し、自分の考えをもつ。 ②自分の意見を効果的に伝えるために、構成を考える。 ③選んだ構成にそって文章を書く。 ④構成や言葉づかいなどに注意して、推敲する。 ⑤文章を読み合い、構成や表現の工夫について話し合う。 ○ 振り返り ・広告を比較して、批評文を書く。 ・効果的な構成について自分の考えを深める。	・キャッチコピー例 (広告) ・批評文例 (広告)
光 村	○ 論旨を捉えて ・「説得力のある文章を書こう 批評文を書く」	○ 社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 ○ 論理の展開や表現のしかたを工夫し、説得力のある文章を書く。	①批評文について知る。 ②関心のある事柄を選ぶ。 ③観点を立てて分析する。 ④論理の展開を考える。 ⑤下書きをして文章にまとめる。 ⑥文章を読み合い、考えを深める。 ○ 学習を振り返る ・どのような点に注意して情報を分析したか。 ・どのような工夫をして文章にまとめたか。	・キャッチコピー例 (広告) ・批評文例 (広告) ・批評文の課題例 (公共施設のマーク、スポーツ中継、地域の問題、著名な人物、音楽)

【国語】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦単元・教材等の配列
<b>方法</b>	配列の特徴，総単元数，三領域一事項ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数				
		学 年	1	2	3	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文、「基礎編」「資料編」の3部からなる。</li> <li>○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年，第5単元に配列している。</li> <li>○ 基礎編は，「学びを支える言葉の力」「文法解説」で構成している。</li> <li>○ 資料編は，「読むこと」「古典」「話すこと・聞くこと/書くこと」「言葉の資料」で構成している。</li> </ul>	総 単 元 数	7	7	7	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	17	15	18
			書くこと	29	30	25
			読むこと	111	112	122
			伝統的な言語文化	24	28	22
			言葉の特徴やきまり・漢字	23	21	24
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文、「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」の4部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年，第4単元に配列している。</li> <li>○ 「読むこと」の学習は，第一教材・第二教材・選択教材の段階を踏んで構成している。</li> </ul>	総 単 元 数	5	5	5	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	12	15	18
			書くこと	12	23	15
			読むこと	195	183	180
			伝統的な言語文化	30	26	36
			言葉の特徴やきまり・漢字	30	30	25
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文と「資料編」の2部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年，第3単元に配列している。</li> <li>○ 「読むこと」の学習は，教材の後に「読み方を学ぼう」を配列している。</li> <li>○ 「資料編」は，「読書の広場」「考える広場」「参考資料」で構成している。</li> </ul>	総 単 元 数	7	7	6	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	25	16	22
			書くこと	28	16	19
			読むこと	97	115	111
			伝統的な言語文化	22	30	24
			言葉の特徴やきまり・漢字	27	20	16
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文と資料編の2部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域を関連させたものと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の内『言葉の特徴やきまりに関する事項』『漢字に関する事項』で構成している。</li> <li>○ 古典教材は，全学年で第5単元に配列し，単元末に「読むこと」を含んでいる。</li> <li>○ 資料編は，「言葉と文法 解説編」「漢字」「言葉の自習室」の3部と「領域別教材目標一覧」「学びのチャレンジ」などで構成している。</li> </ul>	総 単 元 数	8	8	7	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	11	11	14
			書くこと	15	16	11
			読むこと	124	136	137
			伝統的な言語文化	24	28	28
			言葉の特徴やきまり・漢字	17	22	17
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2・3学年は，本文と「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」の4部からなり，第1学年は「言葉に出会うために」を加えた5部からなる。</li> <li>○ 各単元は，「読むこと」に絞ったものが各学年1単元，それ以外は，複数領域を関連させた単元である。</li> <li>○ 古典教材は，全学年で第5単元に配列している。</li> <li>○ 「学習を広げる」は，「資料」「付録」「索引」で構成している。</li> </ul>	総 単 元 数	7	7	7	
		領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	19	17	17
			書くこと	34	27	18
			読むこと	118	126	113
			伝統的な言語文化	23	22	23
			言葉の特徴やきまり・漢字	27	28	25

## 【国語】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記述
<b>方法</b>	発展的な学習の示し方，種類，教材名，教材数，ページ数

		第3学年			
		発展的な学習の示し方	種類	教材名，教材数	ページ数
東 書	○ 巻末の「資料編」に読み比べたり読み広げたりできる教材や，学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「風の唄」など2	19
		伝統的な言語文化		「恋の歌」など4 〔発展〕 古典の文法	10
		その他		「日本文学史年表」など10	19
学 図	○ 本文の「読むこと」の学習の第一教材・第二教材に続いて，選択教材を載せている。 ○ 〔発展〕と印のある資料を巻末に掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「Water」など4	40
		伝統的な言語文化	〔発展〕	「古典に親しむために—古典文法」など2	8
		その他		「日本文学の流れ」 「口語・文語活用対照表」	2 折込
三省堂	○ 巻末の「資料編」に，読み比べたり読み広げたりできる教材や，学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「小さな図書館」など3	16
		伝統的な言語文化		「能・狂言の世界」など2	8
		その他		「近世の短詩」など8 「読み方を学ぼう—一覧」	28 折込
教 出	○ 巻末の「言葉の自習室」に，読み比べたり読み広げたりできる教材や，学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「素顔同盟」など5	25
		伝統的な言語文化		「古典の歌，現代の歌」など3 〔発展〕 「文語文法活用表」など5	7 折込
		その他		「学びのチャレンジ」など9	16
光 村	○ 巻末の「学習を広げる」に，読み比べたり読み広げたりできる教材や，学習に関わる資料等を掲載している。	文学的な文章 説明的な文章		「温かいスープ」など3	18
		伝統的な言語文化		「古典芸能の世界—歌舞伎・浄瑠璃」など3	10
		その他		「発想を広げる—表現テーマ例」など5	12

【国語】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻末資料の示し方
方法	巻末資料の示し方と内容及びページ数

	巻末資料の示し方	内容（第1学年）	ページ数
東書	○ 「基礎編」「資料編」として全学年に示している。	○ 「学びを支える言葉の力」	18
		○ 「文法解説」	17
		○ 「学習を始める前に」	5
		○ 「そこに僕はいた」「『常識』は変化する」等	15
		○ 「さまざま古典作品」	4
		○ 「話すこと・書くこと題材例」等	9
		○ 「言葉を広げよう」「学習用語一覧」	5
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」等	25
		○ 「言葉の力一覧」	2
学図	○ 「言語の学習」「日本文学の流れ」「口語・文語活用対照表」として全学年に示している。	○ 「一年生の文法の学習」	7
		○ 「一年生の語句・語彙の学習」	8
		○ 「古典に親しむために-古典文法」	3
		○ 「今に伝わる注意したい古語」	5
		○ 「注意すべき筆順」	1
		○ 「常用漢字表・常用漢字表の付表」	17
		○ 「日本文学の流れ」	2
		○ 「口語・文語活用対照表」	折込
三省堂	○ 「読書の広場」「考える広場」「参考資料」として全学年に示している。	○ 「読書ガイド」	10
		○ 「見て楽しむ」	2
		○ 「声に出して読む」	4
		○ 「古典を楽しむ」	6
		○ 「読む力を伸ばそう」	10
		○ 「学ぶ力を高めよう」	13
		○ 「参考資料」（「数字の書き表し方」等）	48
		○ 「読み方を学ぼう」	折込
教出	○ 「言葉と文法（解説編）」「漢字」並びに「言葉の自習室」として全学年に示している。	○ 「言葉（解説）」	9
		○ 「文法（解説）」	18
		○ 「漢字」	38
		○ 「言葉の自習室」（「花の詩画集」等）	46
		○ 「領域別教材目標一覧」	2
		○ 「学びのチャレンジ」	7
		○ 「理解や表現に役立つ言葉」等	2
		○ 「小倉百人一首」等	折込
光村	○ 「文法」「漢字に親しもう」「学習を広げる」として全学年に示している。	○ 「文法」	17
		○ 「漢字に親しもう」	6
		○ 「資料」（「坊っちゃん」等）	32
		○ 「付録」（「一年生で学習した漢字」等）	30
		○ 「索引」	1
		○ 「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」	折込



<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩本文記述と関連付けがなされた図表等
<b>方法</b>	文章の内容理解に関連した図表等の挿入がある教材名， ページ数， 目標， 図表等の種類

第1学年 説明的な文章				
	教材名	ページ数	目標	図表等の種類(数)
東書	話し方はどうかな	5	○ 話し方について知り， 声に出して文章を読む。	絵 (2)
	オオカミを見る目	6	○ 段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え， 内容を読み取る。 ○ 筆者の文章の書き方について， 自分の考えを持つ。	絵 (3)
	スズメは本当に減っているか	8	○ 事実と筆者の考えとを読み分けながら， 文章の展開を捉える。 ○ 文章の内容や， 筆者のものの見方， 考え方について， 感想や考えを持つ。	写真 (3) 表 (1) グラフ (2) 分布図 (1)
学図	ものづくりに生きる	6	○ 社会の中の生を考える。 ○ 展開に即して要旨を捉える。	写真 (3)
	変わる動物園	6	○ 自然と関わる生を考える。 ○ 構成に即して主張を捉える。	写真 (5)
	絵巻を読む	2	○ 絵に着目して違いを探し， 絵師が伝えようとしたことを考える。	絵 (2)
三省堂	クジラの飲み水	6	○ 段落と段落の関係に着目しながら， 文章の展開を捉え， 内容を読み取る。 ○ 読み手にわかりやすく伝えるための， 筆者の表現の工夫を捉える。	写真 (2) グラフ (1)
	食感のオノマトペ	5	○ 図表と文章との関係に注意しながら， 事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。 ○ オノマトペの意味や効果について， 自分の考えをもつ。	絵 (1) グラフ (1)
	玄関扉	6	○ 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて， 要旨を捉える。 ○ 玄関扉の例を中心に， 文化の違いについて， 自分の考えをもつ。	絵 (3)
教出	笑顔という魔法	5	○ 語句の意味や接続表現・文末表現をおさえ， 筆者のものの見方や考え方を捉える。 ○ 「題名」と本文の内容， 「問い」と「答え」の関係に着目して文章を読む。	絵 (2) 写真 (6)
	電子レンジの発想	4	○ 筆者の考えとその根拠に注意して， 文章の構成や展開を捉える。 ○ 筆者の説明の仕方に注意して読み， 文章の表現の仕方の工夫を捉える。	図 (2)
	言葉のゆれを考える	5	○ 筆者の考えとその根拠に注意して， 文章の構成や展開を捉える。 ○ 筆者の説明の仕方に注意して読み， 文章の表現の仕方の工夫を捉える。	グラフ (5)
	花の形に秘められたふしぎ	7	○ 筆者の考えとその根拠に注意して， 文章の構成や展開を捉える。 ○ 筆者の説明の仕方に注意して読み， 文章の表現の仕方の工夫を捉える。	写真 (5) グラフ (1) 図 (2)
光村	ダイコンは大きな根？	4	○ 段落の役割に着目しながら， 文章の内容をとらえる。 ○ 筆者の説明のしかたの工夫について考える。	写真 (1) 図 (1)
	ちょっと立ち止まって	4	○ 段落どうしの関係に着目して， 文章の構成をとらえる。 ○ 筆者の考えをもとに， 自分のものの見方や考え方を広げる。	絵 (3)
	シカの「落ち穂拾い」 ーフィールドノート の記録から	8	○ 示されている事実と， 筆者の考えとの関係を読み取る。 ○ 筆者の考えの述べ方や， 図表の役割について自分の考えをもつ。	写真 (2) 図 (2) 表 (2) グラフ (3)
	幻の魚は生きていた	7	○ 中心となる文に着目しながら， 文章の要旨を捉える。 ○ 筆者の考えを基に， 人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深める。	写真 (4) 表 (1)

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	㊸読書と情報活用
<b>方法</b>	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数等，情報活用に関わる内容

	読書	情報活用	
	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数	情報（メディア）活用に関わる内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，読書単元「読書への招待」を設定し，それぞれ3作品を掲載している。また，単元末に書籍紹介「読書案内」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，学習の手引き中に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，資料編に「読書活動を楽しもう」として読書活動に係る教材及び「本と出会おう」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で305冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，情報活用に係る単元を設定し，それぞれ1作品を掲載している。また，第1，2学年には，同単元内に「情報発信」として，書く活動の教材を掲載している。</li> </ul>	
		第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースの見方を考えよう（情報活用）</li> <li>学校新聞の記事を書こう（書く活動）</li> </ul>
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>「正しい」言葉は信じられるか（情報活用）</li> <li>タウン誌の記事を推敲しよう（書く活動）</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつものように新聞が届いた（情報活用）</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料編では，第1学年に情報活用に係る教材を掲載している。</li> </ul>
		第1学年	情報の調べ方
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，読書単元「読書1」「読書2」を設定し，それぞれ，掲載作品に係る評論も含め，3～5作品を掲載している。また，単元末に書籍紹介「読書案内」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，作品脚注に「読書に広げるために」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で99冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，「情報と表現」として情報活用に係る2教材を掲載している。</li> </ul>	
		第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>発想をひらく・情報を集める</li> <li>見ることと読むこと</li> </ul>
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を読む・世界を編集する</li> <li>言葉で伝える 手紙とメール</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を自分のものとするために</li> <li>言葉による発見</li> </ul>
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に，読書単元において，1作品及び読書活動に係る教材を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，学習の手引き中に，「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも，資料編に「小さな図書館」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で289冊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，本編に情報活用に係る単元を設定し，それぞれ1作品掲載するとともに，同単元内に書く活動等の教材を掲載している。</li> </ul>	
		第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>食感のオノマトペ</li> <li>目的や相手に応じて情報を編集する</li> </ul>
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間はほかの星に住むことができるのか</li> <li>資料や機器を効果的に活用する</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会を生きるーメディアリテラシー</li> <li>観察や分析をとおして，判断する</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも，資料編に「情報探しのヒント」「情報活用のヒント」として，情報活用に係る教材を掲載している。</li> </ul>
		第1学年	情報探しのヒント
		第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報探しのヒント</li> <li>情報活用のヒント</li> </ul>
		第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報探しのヒント</li> <li>情報活用のヒント</li> </ul>

【国語】

教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書への招待」として、それぞれ2作品とともに、読書活動に係る教材及び単元末の書籍紹介「本の世界へ」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも、学習の手引き中に、「読んでみよう」「本の世界へ」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも、資料編に読書活動に係る教材及び「各学年のための読書案内」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で260冊</li> </ul>	○ 各学年とも、本編に、情報活用に係る単元を設定し、それぞれ1作品掲載している。			
		第1学年	メディア 写真と言葉が生み出す世界ーメディアリテラシー入門ー		
		第2学年	メディア 物語を読み解くーメディアの解釈ー		
		第3学年	メディア 情報を編集するしかけーメディアにひそむ意図ー		
		○ 各学年とも、資料編に、情報活用に係る教材を掲載している。			
		第1学年	メディアと情報 瞬間を切り取る		
		第2学年	インターネット利用上の注意点 3つのCと3つのS		
		第3学年	見つめる新聞広告 江戸時代のメディア戦略		
		光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年とも、本編に、読書単元「読書生活を豊かに」「読書に親しむ」を設定し、それぞれ2作品とともに、読書活動に係る教材及び単元末の書籍紹介「本の世界を広げよう」を掲載している。</li> <li>○ 各学年とも、作品脚注に「広がる読書」として書籍紹介を掲載している。</li> <li>○ 資料編では、1年生に読書感想文の書き方に係る教材を掲載している。</li> <li>○ 書籍紹介数 3学年合計で243冊</li> </ul>	○ 各学年とも、本編に情報活用に係る教材を掲載している。	
				第1学年	情報の集め方を知ろう
情報コラム①本から情報を集める					
情報コラム②インターネットを利用する					
情報コラム③新聞の紙面構成の特徴を知る					
第2学年	メディアと上手に付き合うために池上彰				
	いろいろなメディアから得た情報を比べよう				
	情報コラム 著作権について知る				
第3学年	「想いのリレー」に加わろう				
	「情報発信」について考えよう				
○ 資料編には、第1、2学年に情報活用に係る教材を掲載している。					
第1学年	情報を集める いろいろな通信文				
第2学年	新聞記事を比べよう				

【国語】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫言語活動の種類
方法	学習指導要領に示された言語活動例に関わる内容の記述

	第2学年 「話すこと・聞くこと」	第2学年 「書くこと」
	社会生活の中的话题について、司会や提案者などを立てて討論を行う活動 (○ 教材名, ● 目標)	表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりする活動 (○ 教材名, ● 目標)
東書	○ 話し合いで問題を検討しよう リンクマップによる話し合い ● さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合う。 ● テーマについて話し合って検討し、意見をまとめる。	○ 短歌のリズムで表現しよう ● 自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。 ○ いきいきと描き出そう 短歌から始まる物語 ● 情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ● 書いた物語を読み合って、材料の活用の仕方などについて意見を交換し、自分の考えを広げる。
学図	○ 対立した立場で意見を深める ディベートによる討論 ● 意見を深める方法を知り、実践する。	○ 想像する言葉 物語・詩を作る ● 想像を膨らませて物語や詩を書く。
三省堂	○ 異なる立場や考えを尊重して ● 決めた話題について、取材や調査などで情報を集めて整理する。 ● 話の構成に注意して、要点を捉えたり自分の考えと比べたりしながら聞く。 ● 異なる立場や考えを尊重し、互いの発言を検討しながら話し合い、自分の考えを広げる。	○ 読みたくなるしゅみを工夫する ● 作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、描写や展開などを工夫して書く。 ● 作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。
教出	○ 役割を決めて討論する ● 目的や自分の役割をふまえて、グループで討論する。 ● 相手の意見を尊重し、自分の考えを広げる。	○ 写真から物語を創作する ● 表現の仕方を工夫して、物語を創作する。 ● 描写や比喩などを用いて、心情を効果的に伝える。
光村	○ 話し合って考えを広げよう パネルディスカッションをする ● 司会や提案者などの役割を決め、目的に沿って討論する。 ● 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。	○ 表現のしかたを工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く ● 場面の様子や人物の気持ちが効果的に伝わるように、描写を工夫して書く。 ● 書いた文章を互いに読み合い、意見や感想を交流し、自分の表現に役立てる。

【書写】

# 書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい書写 一・二・三年
11	学 図	中学校 書写
15	三 省 堂	現代の書写一・二・三
17	教 出	中学書写
38	光 村	中学書写 一・二・三年

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元ごとの目標の示し方と目標の数
		② 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方の写真・イラスト等
		③ 伝統と言語文化に関する内容の記述	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数、伝統的な言語文化に関する内容及びページ数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高めるコラムや資料
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 単元・教材や資料等の配列	総ページ数、毛筆教材数及び毛筆教材例、硬筆記入欄のページ数
		⑦ 発展的な学習の扱い方	発展的な資料の表記・配置、単元名、ページ数及び内容の扱い
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 本文記述との関連付けがなされた図・写真、イラストの活用	図・写真、イラストによる筆使い等の示し方
(オ)	言語活動の充実	⑨ 学習や日常生活に生きる言語活動の工夫	学習や日常生活と関連付けがなされた単元の数、単元名、教材名

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元ごとの目標の示し方と目標の数

第1学年「行書」				
	単元	毛筆の教材	上段：目標の示し方 下段：目標の例	目標の数
東 書	行書	「大洋」「和音」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに示している。	2
			○ 「行書の動きのパターンと形の特徴を理解しよう。」	
学 図	行書を書こう	「栄光」「草原」	○ 「目標」と明記せず、小单元ごとに示している。	4
			○ 「点画の連続と変化に注意しよう」	
三省 堂	行書で書こう	「名作」「永久」	○ 「目標」と明記して、示している。	1
			○ 「行書の基礎的な特徴を理解して書く。」	
教 出	行書で書いてみよう	「和」「大」「大木」「栄光」「平和」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに示している。	5
			○ 「点画の連続と形の変化を理解して書こう。」	
光 村	行書の書き方を学ぼう	「緑」「木立」「月光」	○ 「目標」と明記して、小单元ごとに示している。	4
			○ 「行書の特徴を知り、筆使いを理解して書く。」	

【書写】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②姿勢，執筆法，用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢や執筆法，用具の扱い方の写真・イラスト等

	正しい姿勢や執筆法，用具の扱い方の写真・イラスト等	ページ数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真，傾いた姿勢のイラスト</li> <li>○ 鉛筆・チョークの持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真・イラスト</li> <li>○ 筆の部分の名称の記述</li> <li>○ 用具の置き方，墨のすり方，後かたづけの写真</li> </ul>	3
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆・硬筆）の写真</li> <li>○ 腕の構え方（懸腕法・提腕法・枕腕法）筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）の写真</li> <li>○ 筆の各部の名称と働き，墨のすり方の写真</li> </ul>	1
三省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆の適切な持ち方の写真，不適切な持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称，墨のすり方，用具の片付け方のイラスト</li> </ul>	3
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（懸腕法・双鉤法・単鉤法）・小筆（枕腕法・提腕法）の持ち方の写真</li> <li>○ 鉛筆・ボールペンの持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方，墨の持ち方とすり方の写真，筆の各部の名称と写真</li> <li>○ 用具の後片づけの写真</li> <li>○ 姿勢のチェック欄</li> </ul>	3
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 姿勢（毛筆）の写真，大筆（双鉤法・単鉤法）・小筆（提腕法・枕腕法）の持ち方の写真，姿勢のチェック欄</li> <li>○ 鉛筆の持ち方の写真</li> <li>○ 用具の置き方と名称，筆の各部の名称</li> <li>○ 用具（大筆・小筆・硯）の片付け方の写真</li> </ul>	2

【書写】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③伝統と言語文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	書写の歴史に関する資料等の内容及びページ数, 伝統的な言語文化に関する内容及びページ数

	書写の歴史に関する資料等の内容	ページ数	伝統的な言語文化に関する内容	ページ数	
東 書	日本の用具の発達と文字の文化	2	古文「竹取物語」	1	
	用具・用紙のできるまで	2	いろは歌	1	
東 書	漢字の成り立ちと移り変わり	2	古文「枕草子」	1	
			古文「平家物語」	1	
			古文「おくのほそ道」	1	
			漢文「九成宮醴泉銘」「蘭亭序」「書譜」	1	
			古文「方丈記」「粘葉本和漢朗詠集」		
			漢文「蘭亭序」, 和歌「蓬萊切」	1	
			短歌・和歌	4	
	学 図	時代と文字	1	漢文「九成宮醴泉銘」	1
		筆のできるまで	1	楷書いろは歌	2
				古文「竹取物語」	1
			漢文「蘭亭序」	1	
			行書いろは歌	2	
三 省 堂	文化としての「書く」	1	古文「枕草子」	1	
	書の名手たち	1	いろは歌	2	
	文字の変遷	3	古文「竹取物語」	1	
	文房四宝	1	短歌	1	
教 出	筆, 墨, 硯, 紙について知ろう	2	楷書いろは歌	2	
	文字は残る	2	古文「竹取物語」	2	
	文字の変遷	2	行書いろは歌	2	
	あの人が残した文字	2	和歌「古今集」	1	
	日本建築と「書」	2	漢文「論語」	1	
	芸術としての書道	1	和歌「古今和歌集」短歌	2	
			古文「枕草子」	2	
			古文「平家物語」	2	
光 村	文字の歴史を探る	2	古文・俳句「おくのほそ道」	2	
	先人の文字に学ぶ	1	楷書いろは歌	2	
	筆・紙・墨・硯ができるまで	1	短歌	1	
			行書いろは歌	3	
			古文「平家物語」	1	
		古文「枕草子」	1		
		和歌・俳句	2		



【書写】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心を高めるコラムや資料

	興味・関心を高めるためのコラムや資料	ページ数
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 手書き文字と印刷文字の違い</li> <li>○ 楷の木</li> <li>○ 用具・用紙のできるまで</li> <li>○ 平仮名の始まりといろは歌</li> <li>○ 俳句や短歌を書くとき</li> <li>○ のしとのし袋</li> <li>○ 身の回りの文字を探そう</li> </ul>	9
<b>学図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ なぜ毛筆で学習するの？－自分の「課題」を理解する－</li> <li>○ 楷書のいろいろな書き方</li> <li>○ 時代と文字</li> <li>○ 書き文字と活字</li> <li>○ 頭語と結語</li> <li>○ 筆ができるまで</li> </ul>	6
<b>三省堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の変遷</li> <li>○ 文房四宝</li> <li>○ 自分の文字</li> </ul>	5
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 筆、墨、硯、紙について知ろう</li> <li>○ 文字は残る</li> <li>○ 文字の変遷</li> <li>○ 暮らしの文字を支える人々</li> <li>○ あの人が残した文字</li> <li>○ 日本建築と「書」</li> <li>○ 社会で生きる文字</li> </ul>	12
<b>光村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字の歴史を探る</li> <li>○ 季節のしおり 1</li> <li>○ 季節のしおり 2</li> <li>○ デザインと文字</li> <li>○ 手書きの力</li> <li>○ 筆・紙・墨・硯ができるまで</li> </ul>	10

【書写】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
<b>方法</b>	見通しを立てて学習するための構成上の工夫及び自己評価の仕方

	見通しを立てて学習するための構成上の工夫	自己評価の仕方
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の目標と自分の課題を確認する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確かめよう。</li> <li>・学習の目標について、調べたり、考えたりしよう。</li> </ul> </li> <li>○ 課題を解決するために練習する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を確かめよう。</li> <li>・学習したことをほかの文字に広げよう。</li> </ul> </li> <li>○ 振り返る               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返り、目標を達成できたか評価しよう。</li> </ul> </li> <li>○ 活用する               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中のさまざまな場面に生かそう。</li> </ul> </li> <li>○ 発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材のページ下部に「振り返ろう」として評価の観点を示している。その観点に沿って「できた」「○」、「もう少し」「△」で自己評価を記入する。</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 試し書き               <ul style="list-style-type: none"> <li>・手本を見ながら試し書きをする。</li> </ul> </li> <li>○ 練習               <ul style="list-style-type: none"> <li>・試し書きと手本を見比べて、自分の課題を見つけ、練習をする。</li> </ul> </li> <li>○ まとめ書き               <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習の成果を確認するために、課題に気をつけながらまとめ書きをする。</li> </ul> </li> <li>○ 硬筆で書く               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆で学習したことを意識して、硬筆で練習する。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元末に「振り返って」として評価の観点を示している。</li> </ul>
<b>三省堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の見通しをもつ。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標</li> </ul> </li> <li>○ 学習する。(毛筆と硬筆を使って練習する)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えよう・話し合おう</li> <li>・書いて確かめよう</li> <li>・振り返ろう</li> </ul> </li> <li>○ 復習する。(硬筆で書く)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のまとめ</li> </ul> </li> <li>○ 学習を生かして主体的に書く。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活に生かそう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末に「振り返ろう」として評価の観点を示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標を確かめよう。</li> </ul> </li> <li>○ 考えよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。</li> <li>・自分の課題に向かって、毛筆で練習しよう。</li> </ul> </li> <li>○ 生かそう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・毛筆で学習したことを、硬筆で他の文字に生かして書こう。</li> </ul> </li> <li>○ まとめ書き</li> <li>○ 振り返ろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題ができたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。</li> </ul> </li> <li>○ 学習や日常生活に生かそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末に「振り返ろう」として評価の観点を示している。その観点に沿って「できた」「○」、「もう少し」「△」で自己評価を記入する。</li> </ul>
<b>光 村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の見通しをもつ               <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標</li> </ul> </li> <li>○ 学習・活動に取り組む               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の窓</li> </ul> </li> <li>○ 次の学習に生かす               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返る</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末に「学習を振り返る」として評価の観点を示している。その観点に沿って「できた」「○」、「もう少し」「△」で自己評価を記入する。</li> </ul>

【書写】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥単元・教材や資料等の配列
方法	総ページ数, 毛筆教材数及び毛筆教材例, 硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数	毛筆教材数	第1学年の毛筆教材例	硬筆記入欄のページ数
東書	1	44 巻末折込	5	「大志」「夏山の緑うつりし小窓かな」「大洋」「和音」「夢の実現」	14
	2	34 巻末折込	5		7
	3	18 巻末折込	2		0
学図	1	44	8	「天地」「登頂成功」「ぶなの森」「いろは歌」「栄光」「草原」「輝け未来」「自主独立」	12
	2	32	8		3
	3	30	4		0
三省堂	1	40	7	「春光」「若枝」「いろは歌」「夏めく空」「名作」「永久」「輝く生命」	14
	2	30	4		8
	3	12	1		0
教出	1	56	6	「天地」「いろは歌」「大木」「栄光」「平和」「新たな決意」	10
	2	40	5		10
	3	17	3		2
光村	1	28	6	「地球」「いろは歌」「目には青葉山ほととぎす初がつを」「木立」「月光」「不言実行」	6
	2	20	5		4
	3	13	2		0

【書写】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦発展的な学習の扱い方
<b>方法</b>	発展的な資料の表記・配置，単元名，ページ数及び内容の扱い

	表記・配置	単元名	ページ数	内容の扱い
東 書	○ 巻末に「発展」として掲載している。	○ 「古典から学ぼう」	2	○ 高等学校の内容として，唐の四大家の文字の比較を扱っている。
学 図	○ 第1，3学年に「発展」として掲載している。	○ 第1学年：「九成宮醴泉銘」 「蘭亭序」 ○ 第3学年：「臨書を体験しよう」 「篆刻を体験しよう」	2 5	○ 高等学校の内容として，古典の書家，篆刻を扱っている。
三省 堂	○ 第2学年に「発展」として掲載している。	○ 第2学年：「書の名手たち」	1	○ 高等学校の内容として，唐の書家，平安時代の日本の書家を扱っている。
教 出	○ 各学年と巻末に「発展」として掲載している。	○ 第1学年：「行書で書いてみよう」 ○ 第2学年：「行書と仮名を調和させて書いてみよう」 「日本建築と『書』」 ○ 第3学年：「行書と仮名を調和させて書こう」 ○ 巻末：「芸術としての書道」	1 3 1 1	○ 第1学年では第2学年の内容として行書と仮名の調和を，第2，3学年，巻末は古典を扱っている。
光 村	○ 第3学年に「発展」として掲載している。	○ 第3学年：「先人の文字に学ぶ」	1	○ 高等学校の内容として，魏，東晋，唐，北宋，清の書家，平安時代の日本の書家を扱っている。

【書写】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧本文記述との関連付けがなされた図・写真, イラストの活用
方法	図・写真, イラストによる筆使い等の示し方

第1学年「行書」		
	図・写真	イラスト
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行書の動きのパターンを4つに整理し, 文字のどの部分に動きのパターンが生かせるかを書き込ませるようになって</li> <li>いる。</li> <li>○ 教材の右側に動きのパターンと形の特徴を「書くときのポイント」として示している。</li> <li>○ 行書の形の特徴を赤の点線で囲み, 強調している。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 筆使いを示している。また, 筆脈を青の点線で示し, 形の特徴で注意すべき点を書いている。</li> <li>○ 楷書と行書を比較している。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三人のキャラクターが, ヒントとなる事例や注意事項を解説している。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書き順を数字で示し, 筆脈を赤の矢印で示している。</li> <li>○ 形の特徴を赤字で書いている。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 行書の基本点画を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人のキャラクターが, 行書を書くときの注意や振り返りを促している。</li> </ul>
三省 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楷書と行書を比較している。</li> <li>○ 行書の特徴を青の矢印, 囲み, 青字による書き込みで示している。また, 筆脈を青の点線で示している。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 筆使いを示している。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三人のキャラクターが, ヒントとなる事例や注意事項を解説している。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楷書と行書を比較している。また, 筆順や形の特徴, 筆脈を書いている。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で, 筆使いを示している。また, 書き順や筆脈など, 注意する点を書いている。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人の生徒が, 注意事項を解説している。</li> </ul>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楷書と行書を比較し, 筆使いや筆圧の違いを示している。</li> <li>○ 薄墨と朱の二色で筆使いを示し, 行書の特徴を丸で囲み, 赤の太字で書いている。</li> <li>○ 筆脈を青の点線で示している。</li> <li>○ 写真で筆使いを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二人の生徒が, 印象を話している。</li> </ul>

【書写】

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨学習や日常生活に生きる言語活動の工夫
<b>方法</b>	学習や日常生活と関連付けがなされた単元の数, 単元名, 教材名

	学年	単元の数	単元名	教材名
東書	1	5	○ 生活に広げよう (3) ○ 生活を豊かにする文字 ○ 書いて味わおう	「目標を書こう」「年賀状を書こう」「書き初めをしよう」「職場訪問をしよう」 「竹取物語」
	2	5	○ 生活に広げよう (2) ○ 楷書と行書 ○ 生活を豊かにする文字 ○ 書いて味わおう	「好きな言葉を書こう」「書き初めをしよう」「楷書と行書の使い分け」「掲示物を書こう」「防災訓練に参加しよう」「平家物語」
	3	5	○ 身近にある文字を調べよう ○ 効果的に書こう ○ 生活を豊かにする文字 ○ 書いて味わおう ○ 生活に広げよう	「多様な文字」「ノートを書くときに」「絵はがきや電子メールを出すときに」「ポスターを作るときに」「文化祭や卒業に向けて」「おくのほそ道」「書き初めをしよう」
学図	1	1	○ 書き初めをしよう	「輝け未来」「自主独立」
	2	2	○ 行書と仮名を書こう ○ 書き初めをしよう	「確かめよう」 「目標達成」「宇宙の神秘」
	3	3	○ 書写を生かそう (2) ○ 書き初めをしよう	「書写を生活に生かそう」 「作品を作ろう」 「大志を抱け」「旅立ちの春」
三省堂	1	3	○ 生活に生かそう (2) ○ 書き初め	「行事の目標を書こう」「本を紹介しよう」 「書いたもので交流しよう」「輝く生命」
	2	4	○ 生活に生かそう (2) ○ 書体を使い分けよう ○ 書き初め	「手紙を書こう」「生活の場面と書体について考えよう」「座右の銘を書こう」 「燃ゆる思い」
	3	3	○ 効果的に書こう ○ 生活に生かそう ○ 書き初め	「身のまわりの文字を工夫を見つけよう」 「学習のまとめ」「卒業記念冊子を作ろう」 「旅立ちの時」
教出	1	4	○ 楷書と仮名を調和させて書こう ○ 文字で心を伝えよう ○ 行書で書いてみよう ○ 書き初めを書く	「学習を生かして書く－行の中心－」「感謝の気持ちを伝えよう」「願いや祈りを伝えよう」「学習を生かして書く－配列－①原稿用紙に書く②レポートの形式に書く③手紙を書く」「学校生活に生かして書く」「学習を生かして書く－配列－①年賀状を書く」「新たな決意」
	2	4	○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう ○ 学習活動や日常生活に生かして書こう ○ 文字で心を伝えよう ○ 書き初めを書く	「文字の大きさと配列 (色紙, 短冊)」「書く速さを意識して書く」「学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列－」「さまざまな書く場面」「応援しよう」「決意を伝えよう」「学習を生かして書く①新聞を書く②掲示物 (ポスター) に案内を書く③案内状を書く」「夢を信じる」
	3	3	○ 行書と仮名を調和させて書こう ○ 身の回りの多様な文字に関心を持ち, 効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く	「学習を生かして書く－配列－ (俳句)」「多様な表現による文字」「三年間の学習の成果を生かそう (卒業カレンダー) (メッセージカード)」「友好の精神」
光村	1	1	○ 書き初め	「不言実行」
	2	2	○ 楷書か行書かを選択して書こう ○ 書き初め	「楷書と行書の使い分け」 「新たな目標」
	3	3	○ 目的に応じて効果的に書こう ○ 学習したことを生かして書こう ○ 書き初め	「文字を効果的に使うために」 「未来に向かって」 「無限の可能性」

## 社 会（地理的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい社会 地理
17	教	出	中学社会 地理 地域にまなぶ
46	帝	国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
116	日	文	中学社会 地理的分野

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	日本の地域区分と中核となる考察及び内容 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	世界の諸地域の地域区分と主題例及び知識・技能を身に付けさせる工夫
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	調査の手順と方法
		⑥	作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の事例数と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料の内容とページ数
		⑧	発展的な学習に関する内容の記載状況	発展的な学習における記載の仕方と事例及び思考を深める問いや手立て
(エ)	内容の表現・表記	⑨	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑩	本文以外の記述の工夫	脚注・側注等の記載の仕方
(オ)	言語活動の充実	⑪	多面的・多角的に考察させるための工夫	小単元のまとめにおける問いの例
		⑫	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東 書	○ 見開きごとに、タイトルを「世界の地形」のように示している。タイトルの右横に設けたコーナーに「どのような・どのように ～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界から見た日本の自然環境」 ○ 「世界の山や火山の分布にはどのような特色があり、日本はどのような場所にあるのでしょうか。」 ○ 「日本の山地や海岸、周りの海には、世界と比べてどのような特色があるのでしょうか。」
教 出	○ 見開きごとに、タイトルを「変動する大地と安定した大地 ▶世界の地形」のように示している。タイトルの下に設けたコーナーに学習課題と表記し、「どのような・どのように ～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「世界から見た日本のすがた」 ○ 「世界の地形をみていくなかで、日本にはどのような地形の特色があるのでしょうか。」 ○ 「日本列島にはどのような特色を持つ地形がみられるのでしょうか。」
帝 国	○ 見開きごとに、タイトルを「世界の地形」のように示している。タイトルの右横に設けたコーナーに学習課題と表記し、「どのような・どのように ～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「自然環境の特色」 ○ 「世界において、地震や火山活動が活発な地域とそれらがほとんどない地域は、どのように分布し、ここではどのような地形がみられるのでしょうか。」 ○ 「日本の山地や海岸、日本を取りまく海には、どのような特色があるのでしょうか。」
日 文	○ 見開きごとに、タイトルを「世界の地形」のように示している。タイトルの左横にコーナーに学習課題と表記し、「どのような・どのように・なぜ ～だろう。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。	「自然環境や災害・防災からみた日本」 ○ 「大地の不安定な地域と安定した地域には、それぞれどのような特色があるのだろう。」 ○ 「世界と比べて、日本の地形（山地・平野）にはどのような特色があるのだろう。」



【社会（地理的分野）】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
<b>方法</b>	日本の地域区分と中核となる考察及び内容

	日本の地域区分	中核となる考察	考察する内容
<b>東 書</b>	九州地方	環境問題・環境保全	「東北地方」  ○ 伝統的な生活・文化や、災害からの教訓を受けつぐ人々の暮らし  1 東北地方の生活の舞台 2 東北地方の人々の営み 3 祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり 4 伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業 5 過去からの継承と未来に向けた社会づくり
	中国・四国地方	人口・都市・村落	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	他地域との結び付き	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	
<b>教 出</b>	九州地方	環境問題・環境保全	「東北地方」  ○ 生活・文化を中心に考えよう  1 豊かな文化を育んだ地域 2 現代に生きる地域文化 3 東北地方の食文化と水産業 4 冷害を乗り越える農家 5 農村の暮らしの変化
	中国・四国地方	人口・都市・村落	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	他地域との結び付き	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	
<b>帝 国</b>	九州地方	自然環境	「東北地方」  ○ 生活・文化に注目して  1 東北地方の自然環境 2 寒い夏に対する稲作と畑作の努力 3 果樹栽培の発展と生活に根づいた漁業 4 伝統文化を生かした観光業の発展 5 発展する工業と生活の変化
	中国・四国地方	他地域との結び付き	
	近畿地方	環境問題・環境保全	
	中部地方	産業	
	関東地方	人口・都市・村落	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	歴史的背景	
<b>日 文</b>	九州地方	環境問題・環境保全	「東北地方」  ○ 生活・文化の視点で  1 東北地方の自然環境 2 東北地方の人口、産業と震災の影響 3 東北地方の伝統文化を守る取り組み 4 生活・文化からみた東北地方の農業・工業 5 東北地方の生活・文化と他地域との結びつき
	中国・四国地方	人口・都市・村落	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	他地域との結び付き	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
<b>方法</b>	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

領土をめぐる問題等に関する記載の仕方	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の領域の特色を見てみよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 「領土をめぐる問題」</li> <li>・地図・年表 「日本の領土返還の歴史と北方領土」</li> <li>・写真 「竹島」「尖閣諸島」</li> </ul> </li> <li>○ 「地理にアクセス 日本列島を構成する島々ー竹島・北方領土・尖閣諸島ー」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページで、「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」について写真と地図を記載して解説している。</li> <li>・項目 「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」</li> <li>・地図 「日本の領域と排他的経済水域」「竹島周辺の地形」「竹島の2万5000分の1地形図」「北方領土周辺の地形」「20万分の1地勢図」「魚釣島の5万分の1地形図」「久場島の5万分の1地形図」</li> <li>・写真 「竹島」「尖閣諸島」「択捉島の散布山」</li> </ul> </li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の領土をめぐる▶日本の国境をめぐるさまざまな動き」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 「北方領土をめぐる問題」「竹島と尖閣諸島」</li> <li>・地図 「北方領土とその周辺」「竹島、尖閣諸島の位置」</li> <li>・写真 「領土問題などを話し合う『日ロ首脳会談』の様子」「竹島」「尖閣諸島」「日本とロシアの中学生による意見交換会」</li> </ul> </li> <li>○ 年表 「北方領土問題に関する主なできごと」</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の領域と領土問題」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 「移り変わってきた日本の領域」「北方領土をめぐる問題」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」</li> <li>・写真 「北海道から見える北方領土の島々」「竹島」「尖閣諸島」「かつて島に住んでいた日本人の墓に手を合わせるビザなし交流訪問団の人々」「ビザなし交流でロシアから日本に来た中高生たち」「日本の領海に侵入する中国の船」</li> <li>・脚注 「サンフランシスコ平和条約では、竹島、尖閣諸島も放棄した島々には含まれていません。」「入国先の国が、国に入ることを許可する証明書をビザといいます。この交流ではビザだけでなく、パスポートも必要ありません。」</li> </ul> </li> <li>○ 「漁業がさかんだった昔の竹島」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開きページの囲み文で、「昔の竹島」について写真を記載して解説している。</li> <li>・写真 「隠岐の島民たちが行っていた竹島での漁のようす」</li> </ul> </li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の領域をめぐる問題をつかむ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・項目 「北方領土」「竹島」「領土問題の解決に向けて」「尖閣諸島をとりまく問題」</li> <li>・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」「北方領土付近の国境の変化」</li> <li>・写真 「羅臼町から見た国後島」「『ビザなし交流』で国後島の一般家庭をおとずれ、ロシア人と交流する訪問団」「竹島」「竹島が日本固有の領土であることを示す地図の展示」「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」</li> </ul> </li> </ul>

【社会（地理的分野）】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<b>方法</b>	世界の諸地域の地域区分と主題例及び知識・技能を身に付けさせる工夫

	世界の諸地域の地域区分	主題例	知識・技能を身に付けさせる工夫
<b>東 書</b>	アジア州	急速に進む成長と変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元の終わりに「〇〇州の学習をふり返ろう」、中単元の終わりに「この章の学習を確認しよう」を設けている。</li> <li>○ 見開きページに「地理スキルアップ」「ためしてみよう」「確認」「えんぴつマーク」のコーナーを設けている。</li> </ul>
	ヨーロッパ州	国どうしの統合による変化	
	アフリカ州	特定の生産品にたよる生活からの変化	
	北アメリカ州	盛んな農業や工業の特色	
	南アメリカ州	開発の進展と環境問題	
	オセアニア州	強まるアジアとの結び付き	
<b>教 出</b>	アジア州	アジアの多様性と経済発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元の終わりに「学習のまとめと表現」を設けている。</li> <li>○ 見開きページに「読み解こう」のコーナーを設けている。</li> </ul>
	アフリカ州	アフリカの人々の暮らしとその変化	
	ヨーロッパ州	統合を強めるヨーロッパの国々	
	北アメリカ州	世界に大きな影響力をもつ北アメリカ	
	南アメリカ州	南アメリカの開発と環境	
	オセアニア州	他地域と結びつくオセアニア	
<b>帝 国</b>	アジア州	巨大な人口と急速な経済発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元の終わりに「学習をふりかえろう」を設けている。</li> <li>○ 見開きページに「探してみよう」「資料活用」のコーナーを設けている。</li> </ul>
	ヨーロッパ州	国境を越えた結びつきによる変化	
	アフリカ州	人々の生活の変化と自立への課題	
	北アメリカ州	世界に影響を与える産業と文化	
	南アメリカ州	進む開発と環境問題	
	オセアニア州	多文化社会の形成とアジアとの結びつき	
<b>日 文</b>	アジア州	経済成長による社会の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小単元の終わりに「〇〇州をふりかえる」を設けている。中単元の終わりに「世界の諸地域をふりかえろう」を設けている。</li> <li>○ 見開きページに「言語活動」（読み取ろう、考えよう、まとめよう、伝えよう）、「スキルUP」のコーナーを設けている。</li> </ul>
	ヨーロッパ州	EU統合による社会の変化	
	アフリカ州	主な生産品にたよる経済からの変化	
	北アメリカ州	世界じゅうに影響をあたえる産業	
	南アメリカ州	開発・環境問題と人々の生活	
	オセアニア州	他地域との結びつきの変化	

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例

	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載	具体例（アジア州）
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、「ためしてみよう」を記載している。</li> <li>○ 見開きページの右下にキャラクターの問いとともにアジア州のテーマを示している。</li> </ul>	<p>主題「急速に進む成長と変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「アジアの降水量」「アジアの人口」</li> <li>○ 写真「雨季と乾季のトンレサップ湖」「仏国寺」「アンコールワット」</li> <li>○ グラフ「アジア各地の気温と降水量」「アジアの主な国の自動車保有台数の移り変わり」</li> <li>○ テーマ 生徒の吹き出しで、「各国とも自動車保有台数が増えているね。特に中国は、急激に増えているけれど、どうしてなのかな。」先生の吹き出しで、「自動車保有台数を例にして見たように、アジアでは急速な成長をとげた国や地域が多くあります。急速な成長をとげた理由を追究しながら、アジアの地域的特色を学習しましょう。」と示している。アジア州の学習テーマを「アジアは、なぜ急速に成長したのでしょうか。」と示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、グラフ、生徒の吹き出しを記載している。</li> <li>○ 見開きページの右下部に、テーマを示している。</li> </ul>	<p>主題「アジアの多様性と経済発展」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「アジアの地勢と国々」「アジアの地域区分」「アジアの年間降水量」</li> <li>○ グラフ「アジア各地の気温と降水量」「面積と人口の州別割合」</li> <li>○ テーマ ページ下部に囲み文で「この節では、アジアのさまざまな地域の特徴を大きくとらえます。さらに、経済が発展することによりどのような影響がみられるのか、『多様性と経済発展』をテーマとしてアジアの特徴を追究していきましょう。」と示している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフを記載している。</li> <li>○ 見開きページの右下部に、テーマを示している。</li> </ul>	<p>主題「巨大な人口と急速な経済発展」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「アジア州の自然」「アジア州の地域区分」「アジアの人口密度」</li> <li>○ 写真「雨季と乾季のトンレサップ湖の風景」</li> <li>○ グラフ「世界の面積・人口に占めるアジア州の割合」「アジア州のおもな都市の雨温図」</li> <li>○ テーマ ページ下部に囲み文で「世界一の人口集中地域であるアジア州の特徴を、巨大な人口と急速な経済発展に注目して、追究していきましょう。」と示している。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、生徒の吹き出し、「読み取ろう」を記載している。</li> <li>○ 次のページの見開きページの右下部に、テーマを示している。</li> </ul>	<p>主題「経済成長による社会の変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「アジア州の国々と地形」「アジア州の気候区分」</li> <li>○ 写真「ヒマラヤ山脈」「長江」「九寨溝」</li> <li>○ グラフ「アジア州各地の雨温図」</li> <li>○ テーマ ページ下部に囲み文で生徒のキャラクターとともに、「アジア州では、経済成長によって人々の生活が大きく変化しており、さまざまな課題も生まれています。『経済成長による社会の変化』をテーマに、アジア州の特徴を学習しましょう。」と示している。</li> </ul>

【社会（地理的分野）】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	調査の手順と方法

	調査の手順	方法
<b>東 書</b>	○ 情報を集める	○ 身近な地域の情報を集めよう ・高い場所からながめる等、合計10の方法を示している。 ・地形図の読み取り方
	○ 調査テーマを決める	○ 調査するテーマを話し合おう
	○ 仮説を立てる	○ 仮説を立ててみよう
	○ 調査計画を立てる	○ 調査計画を立てよう ・グループ調査をしよう ・視点を持って調査テーマを決めよう
	○ 調査する	○ 野外観察をしよう ○ 聞き取り調査をしよう ○ 資料を調べて深めよう ・資料を活用して調査しよう ○ 地域の変化や課題をとらえよう
	○ 考察しまとめる	○ 分かったことをまとめてみよう ・調査結果を地図でまとめよう ・GISを活用しよう ○ 地域を見直そう ・視点を持って将来像を考えよう
○ 発表する	○ 分かりやすい発表をしよう ・発表のシナリオを作って発表する ○ 発表会で学び合おう ・ほかのグループの発表を聞く ・地域のあるべき姿を考える	
<b>教 出</b>	○ 地形図の利用	○ 地形図と縮尺 ○ 縮尺による表現の違い ○ 身近な地域を見直そう
	○ 地域の観察	○ 高い場所から地域をながめよう ○ 風景を観察しながら歩こう
	○ テーマの決定	○ ルートマップに情報を集めよう ○ 調査テーマを決めよう ・気づいたことや疑問を分類する ・さまざまな調査方法、資料の入手先や注意点など ○ 予定を立てよう ・計画書にまとめる
	○ テーマ別の調査	○ 文献・統計資料を利用しよう ・統計資料からグラフをつくり、分かったことを表現する ○ 聞き取り調査をしよう ・聞き取り調査の進め方
	○ 調査結果のまとめ	○ 新旧の地図を比べよう ・新旧の住宅地図を比較する ・風景の変化を読む ○ 商店街を元気にするために
	○ 発表会を開く	○ 発表会の準備と進め方 ○ 地域に向けて発信しよう ・地域の人々を招いた発表会 ・まちづくりのアイデア ○ レポートの作成 ・地理学習のまとめとして
<b>帝 国</b>	○ テーマを決める	○ 身近な地域を見直そう ○ 疑問を整理して調べるテーマを決めよう ・身近な地域を調査する視点の例
	○ 調査方法を考える	○ 調査方法を考えよう ○ 調査の準備をしよう ・ルートマップの作り方
	○ 野外調査をする	○ 野外観察をしよう ○ 聞き取り調査をしよう ・聞き取り調査の方法 ・調査ノートの取り方
	○ 資料を集めて調べる	○ 資料を集めて調査しよう ・新旧の地形図の比較 ○ 地域の課題をとらえよう
	○ 調査結果を発表する	○ 意見を交換して調査結果をまとめよう ・レポートによる発表 ・プレゼンテーションソフトを使った発表 ・追加の調査 ○ 調査結果を報告する発表会を開こう ○ 地域の課題や将来像を考えよう

【社会（地理的分野）】

日 文	○ 調査テーマを決定する	○ 調査テーマを決定する ・ 調査テーマの例 ・ 関連図のつくり方
	○ 仮説を立てる	○ 仮説を立てる
	○ 調査計画を立てる	○ 調査計画を立てる
	○ 調査を進める	○ 野外観察をする ・ 野外観察の方法 ・ 野外観察のポイント
		○ 聞き取り調査をする ・ 聞き取り調査の方法
		○ 地形図を身近な地域の調査に役立てる ○ 文献や統計数値を使って調査する ・ 文献資料・統計数値の集め方
	○ 仮説を検証する	○ 仮説を検証する
	○ 地域の課題をとらえる	○ 地域の課題をとらえる ・ 地域の課題をとらえる視点
○ 調査結果をまとめる	○ 調査結果のまとめ方 ・ レポート以外のまとめ方	
○ 調査結果を発表する	○ 私たちにできることを考えよう	

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	作業的・体験的な学習の事例数と具体例

	事例数	作業的・体験的な学習の具体例
東 書	36	○ 地球儀を使った距離と方位の調べ方, 地図帳を使った国や都市の探し方, 世界の略地図のえがき方, 統計資料の使い方, 写真の読み取り方, 雨温図の読み取り方, 主題図の読み取り方①②③, グラフの読み取り方①②, 時差の調べ方, 日本の略地図のえがき方, 地形図の読み取り方①②, 人口ピラミッドの読み取り方, 視点を持って地域を調べよう, ウェビングマップを作ろう, インターネットを活用しよう, 「なぜ」という疑問に対する理由を考えよう, 統計資料を活用してグラフを作ろう, いくつかの調べ方を組み合わせよう, 主題図を作ろう, 調査結果をレポートにまとめよう, 発表の準備をしよう, 効果的な発表をしよう, 身近な地域の情報を集めよう, グループ調査をしよう, 視点を持って調査テーマを決めよう, 野外観察をしよう, 聞き取り調査をしよう, 資料を活用して調査しよう, 視点を持って将来像を考えよう, 調査結果を地図でまとめよう, 分かりやすい発表をしよう, GISを活用しよう
教 出	22	○ 地図のきまりを思い出そう, 地図の種類を知ろう, 地図をつくってみよう, 地図の使い方を覚えよう, 地図帳を使ってみよう, グラフの種類を思い出そう, グラフをつくろう, 地球儀から方位を知ろう, 地球儀から距離を知ろう, 地球儀と世界地図の違いを知ろう, 世界の略地図を描こう, 気温と降水量のグラフの見方, 時差について考えてみよう, 日本の略地図を描こう, 地形図から断面図をつくろう, 地形図の読み取りにチャレンジしよう, 文献を使った調査, 統計資料を使った調査, 地形図や空中写真を使った調査, 聞き取り調査, インターネットを使った調査, アンケートの実施
帝 国	25	○ 地図帳の統計資料の使い方, 地図帳のさくいんの引き方, 地球儀での距離と方位の調べ方, 世界の略地図のかき方, 写真の読み取り方①②, 雨温図の読み取り方, グラフの読み取り方①②, 主題図の読み取り方, 文献資料やインターネットの活用, 統計資料のグラフ化, 主題図のつくり方, レポートのつくり方, 展示発表の仕方, 時差の求め方, 日本の略地図のかき方, 地形図の使い方①「縮尺と地図記号」, 地形図の使い方②「等高線と断面図」, 地形図の使い方③「土地利用と空中写真」, 人口ピラミッドの読み取り方, ルートマップのつくり方, 聞き取り調査の方法, 調査ノートの取り方, 新旧の地形図の比較
日 文	37	○ 緯度・経度を使った地球上の位置のあらしめ方, 地球儀を使った方位と距離のはかり方, 時差の計算方法, 世界の略地図のかき方, 主題図の読み取り方, 複数の地図を比べて読み取る, 主題図からの分布の読み取り方, 地図のつくり方, 日本の略地図のかき方, 地形図の使い方を学ぶ, 地形図を活用する, 地形図を身近な地域の調査に役立てる, 風景から特色を読み取る, 人物から特色を読み取る, 身のまわりのようすと比べる, 乗り物・道具から特色を読み取る, 景観写真と地形図を比べる, 景観写真から生活のくふうを読み取る, 巻末資料の使い方, 雨温図の読み取り方, グラフの読み取り方, 棒グラフのつくり方, 円グラフのつくり方, 人口ピラミッドの読み取り方, 調査テーマの例, さまざまな調査方法, 聞き取り調査の方法, 調査結果のまとめ方①②, 発表会の運営方法, 調査テーマの例, 関連図のつくり方, 野外観察の方法, 聞き取り調査の方法, 野外観察のポイント, 文献資料・統計数値の集め方, 地域の課題をとらえる視点

【社会（地理的分野）】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦ 単元や資料等の配列・分量
<b>方法</b>	総ページ数, 各大項目のページ数, 巻末資料の内容とページ数

	総ページ数	「世界の様々な地域」のページ数	「日本の様々な地域」のページ数	巻末資料の内容	目次・巻頭資料等のページ数
東書	301	122	155	統計資料 (6) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	7
教出	287	114	141	用語解説 (6) 統計資料 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	15
帝国	289	118	157	さくいん (4) 巻末資料 (3)	7
日文	289	112	157	統計資料 (4) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	5

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧ 発展的な学習に関する内容の記載状況
<b>方法</b>	発展的な学習における記載の仕方と事例及び思考を深める問いや手立て

	記載の仕方	事例	思考を深める問いや手立て
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「深めよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の様々な地域の単元に各1ページで7教材, 日本のさまざまな地域の単元に各1から2ページで9教材を記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 「ひであきさんの自由研究」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「深めよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラム教と人々の暮らし</li> <li>・アジアで交流する文化</li> <li>・環境に配慮されたヨーロッパ社会</li> <li>・大自然を生かした観光開発</li> <li>・多民族社会を形成するアメリカ</li> <li>・南アメリカで活躍する日系移民</li> <li>・水没の危機にあるとされるツバル</li> <li>・震災と防災・減災への取り組み</li> <li>・さまざまな発電方法の特徴と課題</li> <li>・屋久島の自然と人々の生活</li> <li>・本州四国連絡橋と地域の結び付き</li> <li>・琵琶湖と環境保全の歩み</li> <li>・北陸の食文化</li> <li>・人口集中の課題と対策</li> <li>・産業を活性化させる人の流れ</li> <li>・アイヌの人たちと多文化共生</li> </ul> </li> <li>○ 「ひであきさんの自由研究」 稲作が盛んな地域の調査を例に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人口集中の課題と対策                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市を事例に考えるー</li> <li>・ページ上部に学習を促す文を記載している。</li> <li>・ページ下部にトライを次のように記載している。 「人口が集中する地域で見られる問題を解決するための取り組みが, 全国各地で行われています。新聞などを活用して, 自分の住んでいる地域で見られる問題と取り組みを調べましょう。」</li> </ul> </li> <li>○ 自由研究の手順を資料とともに示している。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域から世界を考えよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の様々な地域の単元に, 各1ページで6教材を記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 「現代日本の課題を考えよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の様々な地域の単元に, 各2ページで7教材を記載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域から世界を考えよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教をめぐる共存と対立</li> <li>・甘いチョコレート之苦い現実</li> <li>・原子力発電と環境問題</li> <li>・世界に展開する軍事力</li> <li>・移動する人々ー日系移民の苦難の歴史</li> <li>・変わる「楽園」の暮らしー太平洋の島々</li> </ul> </li> <li>○ 「現代日本の課題を考えよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害を乗り越えて</li> <li>・荒廃の進む日本の山村</li> <li>・東アジアと結びつく街</li> <li>・多文化共生を旨として</li> <li>・交流による地域づくり</li> <li>・震災を乗り越えて</li> <li>・アイヌの人たちの文化をまなぶ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 荒廃の進む日本の山村                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に学習を促す文を次のように記載している。 「日本は山地が多く, そこには多くの集落があります。しかし, ほとんどの地域で人口減少と高齢化が進み, 地域社会とそこに暮らす人々の生活を維持することが困難になっています。中国・四国地方を例に, 課題について現状を調べながら考えてみましょう。」</li> </ul> </li> </ul>

【社会（地理的分野）】

帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「トライアル地理」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の様々な地域の小単元に、1 から2 ページで教材を記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 「地域を探ろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の様々な地域の小単元に、各 1 ページで 6 教材を記載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「トライアル地理」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップを使ってみよう</li> <li>・観光ルートマップをつくってみよう</li> </ul> </li> <li>○ 「地域を探ろう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公害の経験を生かした環境保全への取り組み</li> <li>・過疎地域での地域おこしの取り組み</li> <li>・伝統的な地場産業から先端技術産業まで</li> <li>・交通網の整備による地域の変化</li> <li>・多文化の共生をめざしたまちづくり</li> <li>・地震への備えと復興に向けた取り組み</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「トライアル地理」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>「やってみよう」で図を見て考察させるなどの問いを示している。</li> </ul> </li> <li>○ 過疎地域での地域おこしの取り組み～徳島県神山町を例に～                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に学習を促す文を次のように記載している。 「人口集中が続く都市部では、過密による都市問題を解消するために、さまざまな取り組みが行われています。一方、人口減少が進む山間部や離島では、過疎の問題が深刻となっています。過疎地域の一つである徳島県神山町では、地域おこしのためにどのような取り組みが行われているのでしょうか。」</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自由研究」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の様々な地域の小単元に、各 1 ページで 6 教材を記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 「地域からのメッセージ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の様々な地域の単元に、各 1 から2 ページで 10 教材を記載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自由研究」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済成長を続けるスリランカと日本</li> <li>・地球温暖化を防ぐために</li> <li>・武器を芸術作品に変える取り組み</li> <li>・工業の変化に対応する都市の取り組み</li> <li>・移民でつながるブラジルと日本</li> <li>・北極地方と南極地方</li> </ul> </li> <li>○ 「地域からのメッセージ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災からの復興をめざして</li> <li>・せまりくる巨大地震</li> <li>・原子力発電所の事故と再生可能エネルギー</li> <li>・日本の環境首都をめざして</li> <li>・地域活性化の取り組みをみる</li> <li>・時代の変化に対応する伝統文化</li> <li>・伝統工業・地場産業の現状と未来</li> <li>・ニュータウンからみる結びつきの変化</li> <li>・過去からの伝承に学ぶ</li> <li>・火山と地域との共生</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域活性化の取り組みをみる～鳥取県日南町を例に～                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に学習を促す文を次のように記載している。 「過疎化や少子高齢化が進む中国・四国地方の農村部では、どのような地域活性化の取り組みが行われているのでしょうか。鳥取県日南町の例をみてみましょう。」</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	資料の種類と掲載数

	写真	絵図	地図	図表・グラフ
東書	620	74	218	180
教出	460	30	209	132
帝国	560	84	182	190
日文	516	56	191	152



<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩本文以外の記述の工夫
<b>方法</b>	脚注・側注等の記載の仕方

<b>脚注・側注等の記載の仕方</b>	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文やコラム文章等の上部に参照するページの番号を記載している。</li> <li>○ 本文上部に参照する資料の番号を記載している。</li> <li>○ 地理の学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身に付けるコーナー「地理スキルアップ」を記載している。</li> <li>○ 調査学習を進めるうえでの基礎的・基本的な技能を身につけるコーナー「調査の達人」を記載している。</li> <li>○ 本文での学習をくわしく説明したり、関連する内容を取り上げたりしたコーナー「地理にアクセス」を記載している。</li> <li>○ その時間で学習した内容を確認したり、さらに深めたりする課題「確認」を記載している。</li> <li>○ 学習を深めるための作業や活動を紹介する「えんぴつマーク」を記載している。</li> <li>○ その時間の導入部で取り組むのに適した作業や活動を紹介する「ためしてみよう」を記載している。</li> <li>○ ちょっとおもしろい話を紹介する「ティーブレイク」を記載している。</li> <li>○ 歴史の学習や、3年生での公民の学習と、特につなぐりの強い内容に「分野関連マーク」を付けている。</li> <li>○ 重要文化財や、そのうちの国宝に指定されている文化財に「国宝・重要文化財マーク」を付けている。</li> <li>○ 国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の世界遺産リストに登録されている遺跡や景観、自然などに「世界遺産マーク」を付けている。</li> <li>○ 生徒と先生のキャラクターによる吹き出しを記載している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文下部に参照するページ番号を記載している。</li> <li>○ 本文上部に参照する資料の番号を記載している。</li> <li>○ 授業のなかで知っておきたい語句を説明する「側注解説」を記載している。</li> <li>○ この時間の学習に関連するコラム「地理の窓」を記載している。</li> <li>○ 学習の導入となる資料を補足・説明し、本文内容との接続をはかる「見てみよう」を記載している。</li> <li>○ 示されている手がかりをもとに、資料を読み取ったり、考えを深める「読み解こう」を記載している。</li> <li>○ 本文記述と関連した内容のある他のページを示す「関連ページ」を記載している。</li> <li>○ 地図やグラフなどの見方を確かめるコーナー「地理にアプローチ」を記載している。</li> <li>○ 生徒と先生のキャラクターによる吹き出しを記載している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文下部に参照するページ番号を記載している。</li> <li>○ 本文上部に参照する資料（解説文）の番号を記載している。</li> <li>○ 難解な用語や補足説明の必要な箇所には、注による「解説」を記載している。</li> <li>○ 未来の社会をつくるために参考になる取り組みを紹介した「羅針盤マーク」を記載している。</li> <li>○ 地理の基礎的な技能を身につけるコラム「技能をみがく」を記載している。</li> <li>○ 現地に住む人や実際に働いている人の、具体的な話を紹介したコーナー「声」を記載している。</li> <li>○ 知識を深めたいときに学習する「発展」を記載している。</li> <li>○ 穴埋めや書きこみなど、教科書や地図帳を活用した作業「やってみよう」を記載している。</li> <li>○ 資料に関する問いかけや作業活動、注目すべき点を紹介する「資料活用」を記載している。</li> <li>○ 生徒のキャラクターによる吹き出しを記載している。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文下部に参照するページ番号を記載している。</li> <li>○ 本文上部に参照する資料の番号を記載している。</li> <li>○ 見開き内でポイントとなる言葉を示す「鍵」のマークを付けている。</li> <li>○ 学習内容を全体のなかに位置づけて学習を進めることができる「インデックス」を記載している。</li> <li>○ 小学校の学習や歴史・公民の学習とのつながりを示す「連携コーナー」を記載している。</li> <li>○ 見開きの学習内容の理解を深めるために、関連する特設ページなどを示す「○○○も見てみよう」を記載している。</li> <li>○ 図版の内容を読み取ったり、読み取ったことをもとに思考・判断・表現したりする活動を示す「言語活動コーナー」を記載している。</li> <li>○ 見開きの学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができる「地理+α」を記載している。</li> <li>○ 地理の学習を進めるにあたって必要な技能を詳しく解説している「スキルUP」を記載している。</li> <li>○ 見開きの学習内容を深めるための作業学習「トライ」を記載している。</li> <li>○ 実際にそこに住む人々の言葉を紹介している「声」を記載している。</li> <li>○ 生徒と先生のキャラクターによる吹き出しを記載している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫
<b>方法</b>	小単元のまとめにおける問いの例

小単元のまとめにおける問いの例		
<b>東 書</b>	「中国・四国地方 ー都市と農村の変化と人々の暮らしー」	
	○ 山陰、瀬戸内、南四国の各地域の降水量の特色について、降水量に影響をあたえている自然条件にふれながら説明しましょう。	
	○ 156 から 159 ページでの学習内容などをふり返りながら、中国・四国地方の追究テーマに対する答えを予想しましょう。	
	○ 広島市などの県庁所在地で見られる交通の課題とその原因、対策について、次の三つの語句を使って説明しましょう。[地方中枢都市/郊外/再開発]	
	○ あなたが中国・四国地方の山間地域や離島で過疎対策をするとしたら、どのようなことを行うか、その理由もふくめて自分の考えを説明しましょう。	
○ 中国・四国地方では、交通網の発達によってどのような影響が見られるようになったか、次の語句を使って説明しましょう。[ストロー現象/農村]		
<b>教 出</b>	「中国・四国地方 ～人口や都市・村落を中心に考えよう～」	
	【ステップ1】	【ステップ2】
	○ 中国・四国地方を、日本海側、瀬戸内海側、太平洋側の三つに分けているものを二つ書き表そう。	○ 中国・四国地方の自然と人口の特色を、ステップ1の三つの地域ごとにまとめよう。
	○ 広島市の人口と面積が大きく変わったきっかけを書き表そう。	○ 第二次世界大戦の前後で、広島市の都市の性格がどのように変化したのかをまとめよう。
	○ 山間部の昔ながらの暮らしについて、書き表してみよう。	○ 過疎の進行によって、どのようなことが問題となるのか、まとめてみよう。
	○ 馬路村や上勝町の特産物を書き表そう。	○ 馬路村と上勝町が特産品を開発できた理由をまとめよう。
○ 中国・四国地方の交通網について、交通機関ごとに表にまとめよう。	○ 交通網の発達と人口の変化を関連づけて、まとめてみよう。	
<b>帝 国</b>	「中国・四国地方」ー他地域との結びつきー	
	【確認しよう】	【説明しよう】
	○ 中国・四国地方の自然環境に影響を与える山地と海流の名称、季節風の向きを、本文から書き出してみよう。	○ 中国・四国地方の気候の特色を、山陰・瀬戸内・南四国に分けて説明してみよう。
	○ 本州と四国とを結ぶ交通路を本文から書き出し、地図帳で確認してみましょう。	○ 本州四国連絡橋の開通によって、島に暮らす人々の生活がどのように変化したのか、説明してみよう。
	○ 瀬戸内の臨海部でみられる工業を、本文から三つ書き出してみよう。	○ 瀬戸内工業地域でつくられる工業製品はどのように変化してきたのか、説明してみよう。
	○ 瀬戸内や、南四国でさかんに栽培されている果樹や野菜を、本文やグラフから書き出してみよう。	○ 高知平野の野菜が、遠くの地域でも売られるようになった理由を、説明してみよう。
○ 過疎化が進む地域で取り組まれている対策の例を、本文から二つ書き出してみよう。	○ 山陰で観光客が増えている理由を説明してみよう。	
<b>日 文</b>	「中国・四国地方 ー人口や都市・村落の視点でー」	
	【確認】	【活用】
	○ 中国・四国地方の地形と気候の特色を、次の言葉を使ってまとめよう。地形の特色 [けわしい ならか 複雑] 気候の特色 [日本海 さえぎる 日本海流]	○ 山陰、瀬戸内、南四国の気候のうち、身近な地域の気候と最も似ているのはどれだろう。そう考えた理由を説明しよう。
	○ 中国・四国地方の人口、農業・漁業、工業の特色を、山陰、瀬戸内、南四国の三つの地域に分けて説明しよう。	○ 身近な地域は、過密地域、過疎地域のどちらに含まれるだろうか。なぜそう考えたのかも含めて、説明してみよう。
	○ 広島市の歴史と、過密化にともなって発生している課題を、教科書の文章から抜きだそう。	○ みなさんの住む県で 1999 年以降に行われた市町村合併について、合併した市町村の範囲や、なぜ合併したのかを調べよう。
	○ 過疎化が進むと、どのような課題が発生するか、高齢者や子どもの立場になってまとめよう。	○ 身近な地域のまちおこし・むらおこしを行う場合、どのようなものをアピールするとよいだろう。「私のまちおこし(むらおこし)」というタイトルで発表しよう。
○ 交通網の整備による影響を、光(プラス面)、影(マイナス面)に分けて整理しよう。	○ 本州と四国地方のあいだに三つのルートで連絡橋が建設されたことで、どのような利点と問題点があると思うか、自分の考えをまとめて発表しよう。	

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
<b>方法</b>	世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例

世界の様々な地域の調査におけるまとめ方の例				
	テーマ	まとめ方について	構成	資料
<b>東 書</b>	○ 「韓国の食文化の背景」～なぜ、韓国でキムチ作りが発達したのだろうか～	<b>【調査結果をレポートにまとめよう】</b> レポートをまとめるときには(1)～(7)のような流れで構成すると、読む人に調査の内容や自分の考えが伝わりやすくなります。また、図表や写真、地図を入れるなどの工夫をすると、内容が伝わりやすくなります。 レポートにまとめる際には、資料から読み取った内容と意見、また自分の意見と他人の意見を分けて書くことも必要です。	<b>【レポートの構成】</b> (1) テーマ設定の理由 (2) 仮説 (3) 調査方法 (4) 調査結果 (5) まとめと考察 (6) 感想と今後の課題 (7) 参考文献、ウェブページ	○ 写真 「キムチ」 ○ グラフ 「ソウルと東京の気温と降水量」
<b>教 出</b>	○ 地域の多様なすがた～インドを例に「カレーからみた食文化」	<b>【調査結果をまとめる】</b> 調査した結果をまとめる。文章にまとめたレポートのほか、集めた資料や情報をわかりやすく図や地図に表現する。 例：グラフ（折れ線・棒・帯）、主題図、模式図、イラストマップ、年表形式、新聞形式など。	<b>【レポートの構成】</b> ○ 調べた動機 ○ 分かったこと ○ インドを味わう ○ 料理屋のシェフ、サッティヤジートさんにインタビューしました ○ まとめ	○ 写真 「カレーを食べる人びと」 「さまざまなスパイス」 ○ 図 「サッティヤジートさん」
<b>帝 国</b>	○ 「韓国の食文化～キムチに代表される独特な食文化は、どのようにはぐくまれたのか～」	<b>【レポートのつくり方】</b> 国や地域について、調査テーマに沿って調べた結果を、レポートにまとめてみましょう。レポートは、おおまかに以下の1)～6)のような構成でつくっていくと、調査内容を伝えやすいものになります。 1) 冒頭に、調査テーマをタイトルとして書く 2) 調査の動機（きっかけ）を書く 3) どのように調査を進めたのか、調査の方法を書く 4) 調査して分かったことを、具体的な資料を提示しながら書く 5) 調査結果の結論を「まとめ」として書き、感想などもそえる 6) 参考にした本など、情報の出典（出所）を明記する	○ 調査の動機と目的 ○ 調査の方法 ○ 調査からわかったこと ○ まとめと感想 ○ 参考資料	○ 写真 「おかずが多い韓国の食事」 「キムチ冷蔵庫」 ○ グラフ 「ソウルと東京の雨温図」
<b>日 文</b>	○ 「シベリア鉄道班が調べたロシアのようす」	<b>【調査結果のまとめ方】</b> 調査結果を整理し、レポートにまとめてみましょう。紙面には、なるべく地図・グラフ・表・写真などを取り入れて、わかりやすくしましょう。 文章を書くときには、集めた資料をそのまま引き写すこと（コピーアンドペースト）は絶対にしてはいけません。引用した部分以外は、必ず自分の言葉で書くようにしましょう。 <b>レポート構成の基本</b> レポートをまとめるときには、まず構成を考えましょう。しっかりした構成のレポートにすれば、読む人に内容は伝わりやすくなります。 ・調査する国のあらましを紹介する。 ・調べて分かったことを書く。 ・自分の意見や考えを書く。 ・調査に使った資料のリストをつける。	○ ロシアのあらまし ○ シベリア鉄道について ○ ロシアの経済発展とシベリア鉄道 ○ 参考資料	○ 写真 「ウラジオストク駅」 「シベリア鉄道とバイカル湖」 「ロシア西部の広大な農地」 「シベリアに広がる針葉樹林」 ○ 地図 「シベリア鉄道と沿線の様子」 ○ グラフ 「ロシアの国内総生産」 「石油の国別生産量」

## 社 会（歴史的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい社会 歴史
17	教	出	中学社会 歴史 未来をひらく
35	清	水	中学 歴史 日本の歴史と世界
46	帝	国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
116	日	文	中学社会 歴史的分野
225	自	由	新版 新しい歴史教科書
227	育	鵬	[新編] 新しい日本の歴史
229	学	び	ともに学ぶ人間の歴史

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	歴史上の人物の掲載数及び現代で扱われている人物の掲載数と人物名 文化遺産の示し方、神話・伝承等に関する事例数と記載内容
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	歴史に見られる国際関係や文化交流に関するコラム等の数と具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例
		⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	歴史を調べる手順・方法及び記載の仕方
		⑥ 作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元や資料等の配列・分量	各時代区分のページ数
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記載状況	発展的な学習の事例数と事例及び思考を深める問いや手立て
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数及び折り込み年表の扱い
		⑩ 本文以外の記述の工夫	問いやまとめの記載の仕方
(オ)	言語活動の充実	⑪ 多面的・多角的に考察させるための工夫	単元末における多面的・多角的に考察させる具体例
		⑫ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	まとめ方の種類と具体例

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①学習課題の示し方
<b>方法</b>	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
<b>東書</b>	○ 見開きごとにタイトルを「武士の成長」「武士の政権の成立」等の項目で示し、タイトル右横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	<p>1節 武士の台頭と鎌倉幕府</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 武士はどのように成長していったのでしょうか。</li> <li>○ 武士はどのようにして政治の実権をにぎったのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉を中心とした武士の政権は、どのような特色を持っていたのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉時代の人々は、どのような暮らしをしていたのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉時代の文化や宗教は、どのような特色を持っていたのでしょうか。</li> </ul>
<b>教出</b>	○ 見開きごとにタイトルを「海から押し寄せる元軍」「このごろ都にはやるもの」等の項目で示し、タイトル右横に「元寇と鎌倉幕府の滅亡」「南北朝の内乱と室町幕府の成立」等の学習事項を表す副題を示している。タイトル下に「なぜ」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	<p>1 世界の動きと武家政治の始まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モンゴル帝国は、世界にどのような影響を与えたのでしょうか。</li> <li>○ 武士はどのようにしておこり、政治の実権を握るようになったのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉幕府は、武士たちをどのようにまとめていったのでしょうか。</li> <li>○ 武家政治は、どのように広まっていったのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉時代には、民衆はどのような暮らしをし、どのような文化が生まれたのでしょうか。</li> </ul>
<b>清水</b>	○ 見開きごとにタイトルを「元寇と鎌倉幕府の滅亡」「建武の新政と室町幕府」等の項目で示し、タイトル右横に「なぜ」「どのような」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	<p>第1節 武士の政権と東アジアのうごき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 唐王朝がおとろえたあとの東アジアには、どのような勢力が生まれたのだろうか？</li> <li>○ 平氏が権力を握ることができたのはなぜだろうか？</li> <li>○ 源頼朝は、なぜ武士の支持を集めたのだろうか？</li> <li>○ 鎌倉時代の武士や農民の生活には、どんな特色があるだろうか？</li> <li>○ 鎌倉時代の仏教や文化の特色はどのようなものだろうか？仏教を信仰した人びとや、文化の中心となった人びとに注目して考えてみよう。</li> <li>○ 元寇とはどのようなもので、それは幕府の支配にどのような影響をあたえたのだろうか？</li> </ul>
<b>帝国</b>	○ 見開きごとにタイトルを「海をこえてせまる元軍」「南北朝の内乱と新たな幕府」等の項目で示し、タイトル左横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。	<p>第1章 武士の世の始まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 武士はどのようにして現れ、またどのように成長していったのでしょうか。</li> <li>○ 平氏はどのように実権をにぎり、どのような政治を行ったのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉を中心とした武家政権は、どのような特徴をもっていたのでしょうか。</li> <li>○ 鎌倉時代にはどのような特色をもった文化が展開したのでしょうか。</li> </ul>

【社会（歴史的分野）】

<p>日 文</p>	<p>○ 見開きごとにタイトルを「元の襲来と鎌倉幕府」「南北朝の内乱と室町幕府」等の項目で示し、タイトル左横に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</p>	<p>1 鎌倉幕府の成立</p> <p>○ 平氏は、どのような政治をしようとしたのだろうか。</p> <p>○ 源頼朝が始めた政治は、どのような特色があるのだろうか。</p> <p>○ 鎌倉時代の人々のくらしは、古代までのくらしと比べて、どのような変化があったのだろうか。</p> <p>○ 鎌倉時代の文化と宗教に、どのような新しい動きがみられるようになったのだろうか。</p> <p>○ 元の襲来は、鎌倉幕府や御家人にどのような影響をあたえたのだろうか。</p>
<p>自 由 社</p>	<p>○ 見開きごとにタイトルを「元寇」「建武の新政と南北朝の時代」等の項目で示し、タイトル下に「なぜ」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</p>	<p>第1節 武家政治の始まり</p> <p>○ 平氏は繁栄から滅亡へ、どのように進んだのだろうか。</p> <p>○ 初めての武士の政権である鎌倉幕府は、どんな特徴をもっていたのだろうか。</p> <p>○ 日本はなぜ元の襲来をはね返すことができたのだろうか。</p>
<p>育 鵬 社</p>	<p>○ 見開きごとにタイトルを「元寇と鎌倉幕府のおとろえ」「建武の新政と南北朝の動乱」等の項目で示し、タイトル下に「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</p>	<p>第1節 武家政治の成立</p> <p>○ 武士はどのような役割をもって登場し、力をのばしていったのだろうか。</p> <p>○ 鎌倉幕府はどのようなしくみをもっていたのだろうか。</p> <p>○ 鎌倉時代、武士や農民はどのような生活をしていただろうか。</p> <p>○ 武士の時代、宗教や文化はどのように変わっていったのだろうか。</p> <p>○ 元との戦いは幕府にどのような影響をあたえたのだろうか。</p>
<p>学 び 舎</p>	<p>○ 見開きごとにタイトルを「一つにつながるユーラシア」「悪党の世の中」等の項目で示し、タイトル右横に「モンゴル帝国」「南北朝の内乱と室町幕府」等の学習事項を表す副題を示している。見開きごとには課題を提示していないが、章ごとに「どのような」「どのように」等の問いかけの形態で学習課題を提示している。</p>	<p>第2部 中世 第3章 武士の世</p> <p>章のはじめに中世の学習課題として記載。</p> <p>○ 馬や船に乗って、人びとは行き来しました。武士や軍団は、力をしめして支配者となりました。農業や交易が生活と文化を豊かにしました。大きく変わっていく日本と世界の動きをとらえます。地図や絵巻物などからも読みとることができます。武士の世は、古代の社会と比べて、どのように変わっていくのでしょうか。</p>

【社会（歴史的分野）】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	歴史上の人物の掲載数及び現代で扱われている人物の掲載数と人物名

	索引人名数	現代で扱われている人物の数	「現代の日本と世界」で扱われている人物名 (索引に記載しているもの)
東書	346	46	池田勇人, 江崎玲於奈, エディソン, 王貞治, 大江健三郎, 川端康成, 岸信介, 黒澤明, ケネディ, 小泉純一郎, 小柴昌俊, 小林誠, ゴルバチョフ, 佐藤栄作, 司馬遼太郎, 下村脩, 昭和天皇, 白川英樹, 鈴木章, 大鵬, 田中角栄, 田中耕一, 手塚治虫, 東条英機, 鄧小平, 利根川進, 朝永振一郎, 長嶋茂雄, 南部陽一郎, 根岸英一, ネルー, 野依良治, 鳩山一郎, 福井謙一, ブッシュ, フルシチョフ, ペリー, 細川護熙, 益川敏英, マッカーサー, 松本清張, 宮崎駿, 毛沢東, 山中伸弥, 湯川秀樹, 吉田茂
教出	362	25	アイゼンハワー, 安倍晋三, 池田勇人, オバマ, カストロ, 嘉納治五郎, 川端康成, 岸信介, 金正日, 黒澤明, ケネディ, 小泉純一郎, ゴルバチョフ, 佐藤栄作, 周恩来, 昭和天皇, 田中角栄, ネルー, プーチン, ブッシュ, フルシチョフ, マッカーサー, 毛沢東, 湯川秀樹, 吉田茂
清水	240	8	ゴルバチョフ, 佐藤栄作, 田中角栄, 鄧小平, ブッシュ, 毛沢東, マッカーサー, 吉田茂
帝国	311	32	池田勇人, 王貞治, 大江健三郎, 岡本太郎, 小澤征爾, 川端康成, 岸信介, 黒澤明, 小泉純一郎, ゴルバチョフ, 佐藤栄作, 司馬遼太郎, 蒋介石, 昭和天皇, 白井義男, 大鵬, 田中角栄, 手塚治虫, 長嶋茂雄, 鳩山一郎, 古橋廣之進, 細川護熙, マッカーサー, 松本清張, 美空ひばり, 宮崎駿, 村山富市, 毛沢東, 湯川秀樹, 吉田茂, 力道山, 若乃花
日文	259	13	池田勇人, 萱野茂, 岸信介, 佐藤栄作, 昭和天皇, 田中角栄, 周恩来, ネルー, 鳩山一郎, 細川護熙, 毛沢東, マッカーサー, 吉田茂
自由社	265	28	池田勇人, 石原慎太郎, 小津安二郎, 川端康成, 岸信介, 黒澤明, ゴルバチョフ, 佐藤栄作, 司馬遼太郎, 蒋介石, 昭和天皇, 鈴木貫太郎, スターリン, 田中角栄, 手塚治虫, トルーマン, ニクソン, 八田與一, パル, フルシチョフ, 松本清張, 三島由紀夫, 美空ひばり, 宮崎駿, 毛沢東, 湯川秀樹, 吉田茂, レーガン
育鵬社	436	57	明仁親王, 安倍晋三, 池田勇人, 石橋湛山, 石原慎太郎, 石原裕次郎, 今村昌平, 江崎玲於奈, 王貞治, 大江健三郎, オバマ, 川端康成, 岸信介, 黒澤明, ケネディ, 小泉純一郎, 香淳皇后, 小柴昌俊, 小林誠, 佐藤栄作, 下村脩, 周恩来, 蒋介石, 昭和天皇, 白川英樹, 大正天皇, 大鵬, 太宰治, 田中角栄, 田中耕一, ダライ・ラマ 14 世, 手塚治虫, 利根川進, 朝永振一郎, 長嶋茂雄, 南部陽一郎, ニクソン, 野依良治, パール, 鳩山一郎, 福井謙一, 藤田嗣治, フルシチョフ, 古橋廣之進, 益川敏英, マッカーサー, 三島由紀夫, 溝口健二, 美空ひばり, 宮崎駿, 棟方志功, 明治天皇, 毛沢東, 山中伸弥, 湯川秀樹, 吉田茂, 力道山
学び舎	356	36	朝日茂, 池田勇人, 石田雅子, 大江健三郎, 大田昌秀, 岸信介, 金学順 (キムハクスン, きんがくじゅん), 久保山愛吉, 黒澤明, 小林トミ, 佐々木禎子, 佐藤栄作, 昭和天皇, 鈴木安蔵, 石成基 (ソクソンギ, せきせいき), ダーヒンニェニ=ゲンダース, チャスラフスカ, 手塚治虫, 中沢啓治, ネルー, 長谷川町子, 藤子・F・不二雄, マーチン=ルーサー=キング, 眞榮城玄徳, 毛沢東 (マオツオトン, もうたくとう), マッカーサー, 松本清張, マララ=ユサフザイ, マルタ=クビショバ, 宮崎駿, 山口シヅエ, 呂運亨, 吉田茂

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
<b>方法</b>	文化遺産の示し方、神話・伝承等に関する事例数と記載内容

	文化遺産の示し方	神話・伝承等に関する事例数	神話・伝承等に関する記載内容
<b>東書</b>	資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマークが付いている。	5	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国のおこりや大和政権の王たちについての神話や伝承も、次第にまとめられていきました。」</li> <li>○ 「国家の仕組みが整い、国際的な交流が盛んになると、日本の国のおこりや、天皇が国を治めてきた歴史を確かめようとする動きがおこりました。神話や伝承、記録などを基にした歴史書の『古事記』と『日本書紀』、地方の国ごとに、自然、産物、伝説などを記した『風土記』がまとめられました。」</li> </ul> <p>【読み物資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深めよう「現代に受けつがれる神話」2ページで、「『記紀神話』の成立」「『記紀神話』の展開」「日本の神話と世界の神話」「島根県と神話」「宮崎県と神話」を紹介している。</li> </ul>
<b>教出</b>	資料に「世界遺産」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。	3	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国家のしくみが整った8世紀には、神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』という歴史書や、地方の地理・伝承などを国ごとに記した『風土記』がつくられました。」</li> </ul> <p>【読み物資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料から歴史を探ろう「神話にみる古代の人々の信仰」2ページで、「日本の神話」「古事記に記された黄泉の国の物語」「神話にみる古代の人々の信仰ともの見方」を紹介している。</li> </ul>
<b>清水</b>	資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。	3	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「朝廷では天皇家や貴族などに伝えられていた神話や地名などにまつわる伝承・記録などを、天皇を中心とした国の成り立ちとしてまとめなおし、8世紀はじめには『古事記』・『日本書紀』（記紀）として完成した。また、国ごとに地理や産物、『記紀』とはちがう言い伝えなどをまとめた『風土記』をつくらせた。」</li> </ul> <p>【読み物資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと知りたい歴史「神話と伝承」2ページで、「『風土記』をつくる」「『風土記』の神話と『記紀』神話」「『出雲国風土記』の神話と伝承」を紹介している。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「神話と伝承」を説明するコーナーを設けている。</li> </ul>
<b>帝国</b>	資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。	3	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「天皇が日本を治めることの正統性を明らかにしようとする動きも起こり、天皇家の由来を説明するための歴史書として『古事記』や『日本書紀』がつくられ、かずかずの神話がそこへ記されました。また、天皇が支配するすべての土地の地理的な情報を集めるため、産物や地名の由来、伝承などを国ごとにまとめた『風土記』もつくられました。」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「古事記」と「日本書紀」が伝える神話で、「国生みの神話」「天孫降臨の神話」「ヤマタノオロチの神話」を紹介している。</li> </ul>
<b>日文</b>	資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。	1	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「律令国家のしくみが整うにつれて、国家のおこりや古代の国家の中心となる天皇の由来などを説明するために、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書がつくられました。このほか、全国の国ごとに、自然・産物・地理や伝説などを集めた『風土記』もまとめられました。」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古代史+αで「日本の神話」について紹介している。</li> </ul>



【社会（歴史的分野）】

<p>自由社</p>	<p>資料に「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。</p>	<p>7</p>	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「神話が語る国の始まり」というタイトルで2ページにわたって本文で記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>『古事記』『日本書紀に書かれた神話・伝承』</li> <li>「日本の国の成り立ちは、8世紀に完成した日本でもっとも古い歴史書である「古事記」「日本書紀」に神話の形で書かれている。神話や古い伝承は超自然的な物語をふくみ、ただちに歴史的事実として扱うことはできない。しかし、これらの神話・伝承は、古代の人々が、自分たちの住む国土や自然、社会の成り立ちを、山や海への自然崇拝や、稲作祭祀など縄文・弥生以来の信仰なども取り入れながらまとめたものと考えられる。神々が織りなす物語は一貫したストーリーに構成され、大和朝廷の始まりにつながっている。</li> </ul> </li> </ul> <p>【本文中の学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「イザナキ・イザナミとアマテラスの誕生」「オオクニヌシの神と出雲神話」「天孫降臨と神武天皇」を紹介している。</li> </ul> <p>【注釈等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「神話が語る国の始まり」のページで4つの注釈と1つの解説を記載している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「記紀の編纂と大仏造立」の学習事項で「記紀の編纂」を記載している。</li> </ul> <p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「天武天皇は、律令国家のしくみが整うのに合わせて、国のおこりや歴史をまとめることを命じ、その編纂事業は次代の天皇に引きつがれた。712年に『古事記』が完成し、全3巻の中に、民族の神話と歴史がすじみち立った物語としてまとめられた。次いで、720年には『日本書紀』全30巻が完成し、中国の王朝にならった国家の正史として、歴代の天皇の系譜とその事績が詳細に記述された。」</li> <li>・資料として「古事記と日本書紀」を記載している。</li> </ul> <p>【読み物資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「国譲り神話と古代人」2ページで、「大国主神の『国譲り』」「古代日本人のものの考え方」「姿をあらわす巨大空中神殿」を紹介している。</li> </ul>
<p>育鵬社</p>	<p>資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。</p>	<p>3</p>	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「律令国家としての基礎ができあがるにつれ、わが国の歴史が書物としてまとめられるようになりました。神々の物語や代々の天皇の業績を記した『古事記』や国の正史として代々の天皇やその業績を記した『日本書紀』がそれにあたります。また、朝廷の命令によって、各地の地理や産物、伝説などを記した『風土記』もつくられました。」</li> </ul> <p>【読み物資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「神話に見るわが国誕生の物語」2ページで、「日本の神々の物語」「三種の神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」を紹介している。</li> </ul>
<p>学び舎</p>	<p>世界遺産や史跡を写真や地図で紹介している。</p>	<p>2</p>	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「朝廷は、仏教だけでなく、日本の歴史や神話の本の編さんも重視しました。少し時代はさかのぼりますが、天武天皇の命令によって、記録や語り伝えられてきたことをまとめる事業がはじまりました。奈良時代になって、中国にならった歴史書として『日本書紀』、神話の記録として『古事記』が完成しました。これらは、国の統一をすすめる目的でつくられたものですが、古くから伝えられた伝承もふくんでいました。太陽の女神とされる天照大神が、天から地上に神々をつかわし、その子孫が国を平定して、最初の天皇になったという神話は、そこに記録されたものです。また、出雲国（島根県）や常陸国（茨城県）など、国ごとに言い伝えられたことを記した『風土記』もまとめられました。</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 『常陸国風土記』に書かれた富士山と筑波山」を掲載している。</li> </ul>

【社会（歴史的分野）】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<b>方法</b>	歴史に見られる国際関係や文化交流に関するコラム等の数と具体例

	時代区分 (コラム等の数)	具体例
<b>東 書</b>	古代まで (1)	○ 古代のオリンピック
	中世 (2)	○ ユーラシア世界史の誕生 ○ 東アジア世界の朝貢体制と琉球王国
	近世 (3)	○ 有田焼のルーツ ○ 朝鮮通信使が訪れた対潮楼 ○ 歴史の中のイスラム文化
	近代 (8)	○ ペリーの来航と台場 ○ エルトゥールル号遭難事件 ○ 日露戦争と「マツヤマ」 ○ 孫文と日本 ○ ジャポニスム ○ 欧米化する暮らしと女性 ○ 「命のビザ」 ○ 北海道とアイヌ民族の歴史
	現代 (7)	○ 原水爆禁止運動 ○ ベトナム戦争 ○ 日本の領土をめぐる問題とその歴史 ○ 日本の漫画とアニメ ○ 中国の経済発展 ○ 歴史の中の大地震 ○ 人類の歴史とエネルギー
<b>教 出</b>	古代まで (1)	○ 古代中国の歴史書に記された倭
	中世 (1)	○ オホーツク文化と擦文文化
	近世 (6)	○ ほろぼされた中南アメリカの文明 ○ 銀で結びつく世界 ○ 宣教師が見た日本 ○ 野國聰管と青木昆陽 ○ ペリーの那覇・函館寄港 ○ 幕末の国際交流～海を渡った武士たち
	近代 (8)	○ 北海道の開拓とアイヌの人たち ○ 琉球処分～琉球王国の終わり ○ 山川（大山）捨松と津田梅子 ○ アイヌの文化を伝えた人たち ○ 台湾の植民地化 ○ 海外へ移住した日本人 ○ 日本人が見た三・一独立運動 ○ 後藤新平と杉原千畝
	現代 (6)	○ 中東戦争 ○ 歴史のなかの在日韓国・朝鮮人 ○ キューバ危機 ○ アラブの春 ○ 隣国と向き合うために ○ 平和を願う人々と平和の祭典「オリンピック」
<b>清 水</b>	古代まで (8)	○ 植物と日本人 ○ ローマ帝国と漢 ○ 朝貢のしくみ ○ 渡来人 ○ イスラーム帝国と東西交流 ○ 玄奘 ○ イスラーム帝国と唐 ○ 阿倍仲麻呂
	中世 (2)	○ モンゴル帝国の拡大 ○ アジアの船と海上交通
	近世 (7)	○ 鉄砲の普及 ○ 天正遣欧少年使節 ○ 秀吉の朝鮮侵略 ○ 身近な南蛮文化 ○ 雨森芳洲 ○ 大黒屋光太夫 ○ 蘭学と幕府
	近代 (7)	○ 世界見学に出かけた日本人 ○ 植民地となる前の台湾 ○ 孫文 ○ 柳宗悦 ○ 行き来する留学生 ○ 明治・大正期の食生活～洋食の成立～ ○ ナチスの政策
<b>帝 国</b>	古代まで (7)	○ 孔子 ○ 「魏志」倭人伝から見る邪馬台国 ○ キトラ古墳にみる中国の思想 ○ 正倉院の宝物が語る大陸との交流 ○ 古代のタイムカプセル、正倉院 ○ 鑑真 ○ 唐にわたった二人の若き僧侶
	中世 (4)	○ 北と南を襲ったもう二つの蒙古襲来 ○ 栄西 ○ 東アジアの美、磁器 ○ 北海道の独自の文化
	近世 (7)	○ 世界の銀を支えた石見銀山 ○ 朝鮮半島から伝わった文化 ○ 山田長政 ○ 島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ ○ 琉球とアイヌの人々の暮らし ○ 昆布ロードと北前船 ○ 世界にほこる江戸時代の技術と浮世絵

【社会（歴史的分野）】

	近代（23）	○ 高杉晋作 ○ 勝海舟 ○ 世界に開かれた港 横浜 ○ 移住と開拓が進む北海道 ○ 中華街の形成 ○ 日本に対するアジア諸国の二つの感情 ○ ウィルソン ○ 人種差別撤廃への道 ○ 朝鮮との架け橋となった日本人 ○ 抗日民族統一戦線をつくった指導者 ○ 幻の東京オリンピック ○ インドネシアで使われている教科書では…	○ ペリー ○ 福沢諭吉 ○ 沖縄をめぐるさまざまな意見 ○ 台湾の植民地化と近代化 ○ 日本と中国をつないだ人々 ○ 国旗と国歌 ○ 祖国の音楽を紹介したドイツ兵 ○ 戦場となった沖縄 ○ 芸術にこめた反戦の意志 ○ 長野県からみる「満州」移民 ○ ドイツのユダヤ人迫害に抵抗した日本人
	現代（11）	○ シベリアでの抑留生活 ○ 核兵器開発競争と日本 ○ 日本の領土と近隣諸国 ○ 現在に残る沖縄の基地問題 ○ 日本における先住民 ○ 世界に広がる日本の伝統と文化	○ 植民地の独立 ○ 在日韓国・朝鮮人 ○ キューバを舞台にした冷戦 ○ 芸術面で活躍した日本人 ○ エルトゥールル号のきずな
日 文	古代まで（4）	○ 儒教 ○ 磐井の乱 ○ いつから「日本」と「天皇」が使われるようになったの？	○ 日本の食生活のルールを探る
	中世（2）	○ 宋と高麗	○ 海底から姿を現した元の軍船
	近世（4）	○ イスラムの文化 ○ 天正少年使節	○ つながる世界と生活の変化 ○ 石見銀山
	近代（12）	○ 新しい世の中をめざした人々 ○ 近代的な国際秩序への参加 ○ 富岡製糸場を調べる ○ エルトゥールル号遭難事件 ○ 三・一独立運動を支持した日本人 ○ 日本の満州支配に反対したジャーナリスト ○ 新渡戸稲造と杉原千畝	○ 朝鮮の開国 ○ 近代社会に日本を見つめ直す ○ 孫文と日本 ○ 山本作兵衛の炭坑記録画 ○ 日本人の海外移民
	現代（6）	○ シベリア抑留と中国残留孤児 ○ 平和条約に調印しなかった国 ○ ベトナムとアフガニスタン	○ 平和記念都市建設と原水爆禁止運動 ○ 韓国・中国との国交正常化と現在の課題 ○ アイヌと沖縄の近代と現代
	自 由 社	古代まで（6）	○ 盗みがなく、争いの少ない社会 ○ 日本という国名の起り ○ 仏像の見方
中世（2）		○ 元寇と朝鮮半島	○ 「日本国王」になった足利義満
近世（5）		○ 秀吉とフェリペ2世 ○ 秀吉はなぜバテレンを追放したのか ○ 浮世絵とジャポニスム	○ 宣教師の見た日本 ○ 正確な日本地図をつくった伊能忠敬
近代（20）		○ 廃藩置県を武士はどう受けとめたか ○ 琉球処分とは何か ○ 幕末・明治期の日本人の生き方 ○ 福沢諭吉の『学問のすすめ』と「脱亜論」 ○ 明治国家を背負った政治家 伊藤博文 ○ アメリカの対日砲艦外交 ○ 日英同盟はなぜ廃棄されたか ○ 日本と中国はなぜ和平を実現できなかったのか ○ 迫害されたユダヤ人を助けた日本人樋口季一郎と杉原千畝 ○ 創氏改名とは何か ○ 大東亜戦争とアジアの独立 ○ 日本を解放軍としてむかえたインドネシアの人々	○ 明治維新とは何か ○ 日本の近代化とアイヌ ○ フランス料理と黒の喪服 ○ 金玉均と甲申事変 ○ 日露戦争を戦った日本人 ○ 世界が見た日露戦争 ○ ブロック経済と日本 ○ 戦時国際法と戦争犯罪
現代（5）		○ 占領下の検閲と東京裁判 ○ 日本の底力を世界に示した昭和39年の東京オリンピック ○ 勇気と友情の物語世界と交流した近代日本 ○ 東日本大震災と日本人	○ 戦争と全体主義の犠牲者
育 鵬 社		古代まで（5）	○ ローマ帝国と日本の古墳時代 ○ 大仏開眼供養 ○ 天皇と皇帝一聖徳太子の気概
	中世（2）	○ ユーラシアを一つにつないだモンゴル	○ 世界文化遺産・石見銀山

【社会（歴史的分野）】

学び舎	近世（6）	○ ルネサンスと宗教改革 ○ 世界文化遺産・富士山と日本人 ○ 江戸の技術	○ 宣教師の見た日本 ○ 支倉常長—幻となったメキシコ貿易の夢 ○ 浮世絵の影響—ジャポニスム
	近代（17）	○ わが国固有の領土である国境の島々 ○ 近代国民国家の形成 ○ 台湾にダムをつくった八田與一 ○ 明治を築いた二人—伊藤博文と渋沢栄一 ○ フェノロサと救世観音 ○ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造 ○ 杉原千畝と樋口季一郎 ○ トインビーが見た「第二次世界大戦と日本」 ○ 昭和20年、戦局の悪化と終戦	○ 外国人が見た日本 ○ 陸奥宗光—条約改正と日清戦争の立役者 ○ 日露戦争の舞台裏 ○ お雇い外国人 ○ 幻の人種平等案 ○ 幻の東京オリンピック ○ 何がアメリカ国民を戦争に導いたのか ○ 列強の植民地とアジアの民族運動
	現代（4）	○ 東京裁判 ○ 冷戦の終結 ○ 1964年と2020年東京オリンピック・パラリンピック	○ 核と世界
	古代まで（5）	○ 今でも読まれる孔子の『論語』 ○ 「魏志倭人伝」が伝える倭人の生活と社会 ○ 遣隋使と中国皇帝は何を語ったか ○ アラビア数字とローマ数字	○ 「日本」と「天皇」
	中世（6）	○ 火薬の発明 ○ 元を攻撃したカラフト（サハリン）のアイヌ ○ 朝鮮の文字・ハングルがつくられる ○ アイヌの人びとがになう北方の交易	○ 海をわたる禅僧たち ○ 朝鮮の使節が見た日本の農業
近世（6）	○ マゼラン艦隊の世界一周 ○ 島津氏の奄美群島と琉球王国への侵攻 ○ 琉球王国の使節	○ ザビエルとアンジロー ○ 朝鮮の武将となった沙也可 ○ ロシア皇帝に面会した光太夫	
近代（16）	○ アヘン戦争と江戸幕府・琉球王国 ○ 6歳の女子留学生 ○ 戦火に追われる人びと ○ アジア・アフリカと第一次世界大戦 ○ 辛亥革命後の変化 ○ 日本の満州開拓と中国人農民 ○ 地下道を掘って戦う ○ アメリカが原爆を投下した理由	○ アームストロング砲とミニエー銃 ○ 東京に出て日本語を学んだアイヌの人たち ○ 増える日本人 ○ 声を上げる学生たち ○ 『モダン・タイムス』と『独裁者』 ○ 消えた東京オリンピック ○ 朝鮮・台湾の人びとと日本の戦争 ○ 連合国の動きと国際連合の成立	
現代（11）	○ 日本国憲法と旧植民地の人びと ○ インディラがやってきた ○ 被爆者の心を世界に伝える高校生 ○ あい次ぐ米軍機の事故 ○ 私の土地は基地の中にある—真栄城玄德と祖母カミ ○ 問い直される人権の侵害	○ 日本と朝鮮戦争 ○ インドネシアの独立 ○ 東京オリンピック ○ 私はだれなのですか ○ 原発事故は警告されていた	

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例

	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載	具体例
東書	○ 大項目の導入において、1ページにより、絵図を掲載するとともに、人物や事象のイラストを用いた年表を掲載し、前ページのこの時代の歴史の学習を確認しようの年表とつなげている。さらに、見開き2ページで歴史的事象を時代順に配置し、キャラクターの問いによって、学習への興味・関心を高めている。	「開国と近代日本の歩み」 ○ 1ページ目でペリーの上陸の絵を示すとともに、政治、経済・社会・文化、東アジア、欧米などの項目ごとに、主なできごとを年表にまとめている。 ○ 開国、文明開化、富国強兵、自由民権運動、大日本帝国憲法、日清戦争・日露戦争、条約改正、国際的地位の向上の写真や絵を時代順に並べている。 ○ キャラクターによる問いや説明を示している。 ・「ペリーってどんな人なのかな。」 ・「海には、とても大きな船がたくさん見えるよ。」 ・「とても多くの人物が登場していますね。」 ・「世の中は、どのように変化していったのでしょうか。」 ・「この時代がどのような時代か、イメージできましたか？」 ・「それでは、日本の歴史を学習する前に、このころの世界の様子を見てみましょう。」

【社会（歴史的分野）】

<p>教出</p>	<p>○ 大項目の導入において、1ページにより、絵図で歴史的事象を示すとともに、年表で、これから学習する時代を示している。また、キャラクターの問いを受けて、もう一人のキャラクターが話し言葉で学習内容を説明することで、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「近代の日本と世界」</p> <p>○ 江戸湾に現れた軍艦の絵を示すとともに、年表で日本、中国、朝鮮の時代区分を示している。</p> <p>○ キャラクターによる問いや説明を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「18世紀までは、主に中国とオランダの貿易船が、長崎に来るぐら이었다よね。この軍艦は、どのような目的で来たのかな。」</li> <li>・「上の絵は、19世紀の中ごろ、江戸湾に軍艦が現れた時の様子を描いたものです。それまで鎖国下にあった日本には、どのような変化が生まれたのか、これから学習していくことにしましょう。」</li> </ul>
<p>清水</p>	<p>○ 大項目の導入において、1ページにより、写真や絵図で歴史的事象を示すとともに、全ての歴史学習の中のどの期間の学習をするかが分かる年表を示している。また、学習する時代の吹き出しに学習内容を示すとともに、さらに写真や絵図の人物等が話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「近代化の進む世界と日本」</p> <p>○ 19世紀の蒸気機関車、新橋駅と蒸気機関車、岩倉使節団、井伊直弼、憲法発布式典、日本海海戦の写真や絵図を掲載している。</p> <p>○ 絵や写真に吹き出しをつけ、問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「蒸気機関にはじまる産業革命は世界をどう変えていったらう。」</li> <li>・「私がアメリカと条約をむすぶ決断をしたのはなぜでしょう。」</li> <li>・「明治政府のリーダーたちがめざしていたのはどんな国家だったのらう。」</li> </ul> <p>○ 年表を示し、近代ってどんな時代か問いかけている。</p>
<p>帝国</p>	<p>○ 大項目の導入において、2ページにより、絵図で歴史的事象を示すとともに、写真や絵図の人物を用いた年表を掲載している。また、江戸時代と明治時代の違いに着目し、時代の特色を考察させることにより興味・関心を高めている。</p>	<p>「近代国家の歩みと国際社会」</p> <p>○ 明治時代の導入において、明治時代をながめてみよう（1880～90年代ごろのある場面）で、人々の暮らしの様子を絵図で示すとともに、学習内容を説明している。</p> <p>○ 絵図の中から、次の場面を探してみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「たくさんのまゆを、製糸工場に運んでいます。」</li> <li>・「郵便局の前にあるポストに、手紙を投函しています。」</li> <li>・「装備を整えた軍隊が、行進しています。」</li> <li>・「子どもたちが、教室で授業を受けています。」</li> <li>・「警察官が、力づくで演説会を中止させています。」</li> <li>・「駅のホームに、『SILK』と書かれた荷物が積まれています。」</li> </ul> <p>○ 歴史的事象を人物の絵図とともに、年表に示している。</p>
<p>日文</p>	<p>○ 大項目の導入において、見開き2ページにより、写真や絵図等によって歴史的事象を示し、次の見開きで、19世紀後半の日本と世界というタイトルとともに、絵図、地図、年表を掲載している。また、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「近代の日本と世界」</p> <p>○ 最初の見開きで、1869年に江戸城に入る天皇の絵、解体された小田原城天守の写真、1872年に明治政府によってつくられた官営模範工場の富岡製糸場の絵、江戸幕府と明治政府の歳出の比較のグラフ、各々の資料の所在地を示した日本地図を掲載している。また、次の見開きで、地図、年表、絵図を掲載するとともに、学習内容を説明している。</p> <p>○ キャラクターによる問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸幕府の将軍がいた江戸城の新しい主として、天皇が入城するようすです。なぜ、天皇が江戸城に入ったのらう。」</li> <li>・「武家を象徴する城の天守閣がこわされるなんて。どんな世の中になるのらう。」</li> </ul> <p>・図①～④から、19世紀の日本がどのように変化したかを読み取り、話し合おう。</p> <p>・P.98～99の世界のようすと見比べてみよう。アジアやアフリカ、アメリカ大陸などがどのように変化しているか、欧米諸国の勢力にどのような変化があるのかを読み取ってみよう。</p>
<p>自由社</p>	<p>○ 大項目の導入において、1ページにより、写真で歴史的事象を示している。また、キャラクターの話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「近代の日本と世界（I）」幕末から明治時代</p> <p>○ 久松五勇士記念碑の写真と石碑の絵を拡大した絵を掲載している。</p> <p>○ キャラクターによる問いや説明を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「沖縄県の宮古島にある石碑だそうよ。『勇氣』『決断』と書いてある。どういうことかしら？」</li> <li>・「5人の男が小舟に乗って、荒波をこいでいる。宮古から八重山へ行くという意味らしい。星が輝いているね。」</li> </ul>

【社会（歴史的分野）】

育 鵬 社	<p>○ 大項目の導入において、1ページにより、絵図で歴史的事象や、全ての歴史学習の中のどの期間の学習をするかが分かる年表や、キャラクターの話し言葉を掲載している。さらに、見開き2ページで、歴史的事象を時代順に掲載し、キャラクターの話し言葉で学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「近代の日本と世界」</p> <p>○ 1ページ目で威臨丸の写真を示すとともに、この時代の学習範囲がわかる年表を示している。</p> <p>○ キャラクターによる問いや説明を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「威臨丸は、太平洋の荒波を渡って、サンフランシスコに向かったんだね。」</li> <li>・「どんな人たちが乗っていたのかな。どんな気持ちだったのかしら。」</li> <li>・「艦長は勝海舟でした。通訳のジョン万次郎や随員の福沢諭吉がこの船でアメリカに渡っています。」</li> <li>・「近代は、開国によって激動の時代をむかえます。勝や福沢らがどんな活躍をしたのか、学んでいきましょう。」</li> </ul> <p>○ 見開き2ページで、産業革命、ペリーの来航、尊皇攘夷運動、開国と幕末の動乱、大政奉還、明治維新、文明開化、殖産興業、鹿鳴館、自由民権運動、大日本帝国憲法の発布、日清戦争、日英同盟、日露戦争、韓国併合のイラストを時代順に並べている。</p> <p>○ 見開き2ページ目で、東京・銀座の絵図を掲載して、次のような吹き出しによる問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大勢の人が生き生きとえがかれているね。」</li> <li>・「外国の町並みに似ているけど、気のせいかしら。」</li> <li>・「1872（明治5）年の銀座の大火事で、建物の多くが焼けてしまった、その教訓が町づくりに生かされたそうです。」</li> <li>・「開国によって日本はどう変わっていったのか、学んでいきましょう。」</li> </ul>
学 び 舎	<p>○ 大項目の導入において、見開き2ページにより、写真や絵図で歴史的事象を掲載している。また、それぞれの事象が関連する位置を、掲載した地図に示すことで、学習への興味・関心を高めている。</p>	<p>「世界は近代へ」</p> <p>○ 見開きで、欧米諸国で開かれた万国博覧会の様子を7枚の絵図や写真で示している。</p> <p>○ 博覧会が世界のどこで開催されたかわかるように、世界地図中の都市と絵図や写真を線で結んでいる。</p> <p>○ 近代の学習課題を示している。</p>

<b>観点</b>	<b>（イ）主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
<b>方法</b>	歴史を調べる手順・方法及び記載の仕方

	調べる手順・方法	記載の仕方
東 書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを決める</li> <li>2 調べる（図書室、図書館、インターネット、博物館、資料館、文書館、野外調査、インタビュー）</li> <li>3 考察しよう（グループ内で共有、提案、体験）</li> <li>4 まとめよう・発表しよう（年表、レポート、プレゼンテーション・ソフト、イラストマップ、ウェブページ）</li> <li>5 見直す（課題、反省点）</li> </ol>	<p>○ 「第1章 歴史のながれをとらえよう」において、「歴史の調べ学習をするには・・・？」という項を設けて、調べ学習におけるポイントについて記述している。堺市を例として示している。</p> <p>○ 各大項目の終わりに、「わたしたちの歴史探検隊 地域の歴史を調べてみよう」というコーナーを設け、調べ学習の例を提示している。</p>
教 出	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 情報を集めて、調査テーマを考えよう（人物、遺跡、行事、新聞記事、テレビ、博物館、図書館、インターネット）</li> <li>2 野外調査・聞き取り調査をしよう（撮影、スケッチ、録音）</li> <li>3 資料を活用して、調査をさらに深めよう</li> <li>4 調査したことを整理してまとめよう（発表作品作り）</li> <li>5 発表から新たな課題を見つけよう（メモ、振り返り）</li> </ol>	<p>○ 各大単元において、「郷土の歴史を探ろう」を5コーナー設け、身近な地域の調べ学習の例を提示している。</p> <p>○ 5つの調べる手順を、1コーナーで1つずつ示している。</p>
清 水	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を探す（地図を見てみつけよう、外を歩いてみつけよう、ブレインストーミング）</li> <li>2 課題を調べる（図書館、インターネット）</li> <li>3 フィールドワークの準備（博物館、郷土資料館、メモ、カメラ）</li> <li>4 課題を深める（博物館や資料館）</li> <li>5 課題をまとめる（レポート）</li> <li>6 課題を発表する（ボード、模造紙、パワーポイント、画用紙）</li> </ol>	<p>○ 「第3章 近世の日本と世界」において、「身近な地域を調べよう」というコーナーを設けて、身近な地域の歴史について、更に深めて調べていく方法として、フィールドワーク（野外調査）におけるポイントについて示している。</p>

【社会（歴史的分野）】

帝国	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の歴史を探そう</li> <li>2 テーマを決めよう（人物、建物・風景、遺跡・遺物、行事・風習、言い伝え）</li> <li>3 情報を集めよう（教科書、地域の副読本、図書館、博物館、インターネット）</li> <li>4 野外・聞き取り調査をしよう（建物、地形、石碑、カメラ、ビデオ、スケッチ）</li> <li>5 調べたことを整理しよう</li> <li>6 調査結果をまとめよう（レポート、劇、イラスト、新聞、テレビニュース）</li> <li>7 発表と意見交換をしよう</li> <li>8 調査をふりかえろう</li> </ol>	○ 「第1部 第2章 歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方」という項を設けて、宮城県仙台市を取り上げた調べ学習において、ポイントを具体的に提示している。
日文	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 図書館やインターネットを利用して、調べたいことを確かめる（現地調査、ミュージアム）</li> <li>2 グループごとにテーマを決める</li> <li>3 歴史博物館で調べる</li> <li>4 調べたことを新聞形式にまとめ、学校のホームページにのせるなど、広く発表する</li> </ol>	○ 各大単元において、「でかけよう！地域調べ」というコーナーを設け、調べ学習の例を提示している。
自由社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 疑問を出し合おう（グループ）</li> <li>2 図書館で調べよう（古地図）</li> <li>3 現地に行ってみよう（聞き取り、歌碑）</li> <li>4 調べた結果を発表しよう（レポート）</li> </ol>	○ 「序章 歴史のとらえ方」に「地域の歴史を調べる」という節を設けて、東京都渋谷区について、調べ学習の例を提示している。
育鵬社	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 出かける前の準備（調べるテーマを決める）</li> <li>2 調査に出かけてみよう（遺跡、史跡、博物館、郷土資料館）</li> <li>3 調べてきたことをまとめてみよう（ノート、模造紙、歴史新聞）</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「課題学習」博物館の見学のしかたの中で、調べ学習の例を提示している。</li> <li>○ 「課題学習」のコーナーにおいて、調べ学習の例を提示している。</li> </ul>
学び舎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 何を見るのか、何を調べるのか、あらかじめ考えておきましょう。</li> <li>2 学芸員、説明員に積極的に質問してみましょう。</li> <li>3 わかったこと、次に調べたいことなどノートにメモしましょう。</li> <li>4 写真は許可をえてから撮るようにしましょう。</li> </ol>	○ 「歴史への案内」のコーナーにおいて、地域の博物館での調べ学習の例を提示している。

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
	視点 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
	方法 作業的・体験的な学習の具体例

	具体例
東書	○ 時代や年代を読み取ろう、歴史地図を見てみよう、系図を読み取ろう、絵巻物を見てみよう、図書室・図書館を利用しよう、インターネットを利用しよう、博物館で調べよう、年表にまとめよう、資料館で調べよう、図書館や文書館で調べよう、グループ内で共有して考えよう、レポートにまとめよう、プレゼンテーション・ソフトを使おう、野外調査をしよう、イラストマップを作ろう、ウェブページを作ろう、身近な地域の将来について提案しよう
教出	○ 新たなチームづくりにチャレンジしよう、干支や単位・資料を活用しよう、郷土の歴史を探ろう①（情報を集めて、調査テーマを考えよう）、資料から歴史を探ろう①、人物と地域から歴史を探ろう①、郷土の歴史を探ろう②（野外調査・聞き取り調査をしよう）、世界から歴史を探ろう①、郷土の歴史を探ろう③（資料を活用して、調査をさらに深めよう）、郷土の歴史を探ろう④（調査したことを整理してまとめよう）
清水	○ キャッチコピーづくりをはじめよう、遺跡から原始の時代を探ろう、資料を読み取ろう、絵画資料にみる人々の生活（絵巻を読みとってみよう）、人物を調べてみよう、身近な地域を調べよう
帝国	○ 身近な地域にひそむ歴史を探ろう、情報の集め方、野外・聞き取り調査の仕方、レポートのまとめ方、発表の仕方、系図の見方、しくみ図の見方、絵巻物の見方、資料をもとに歴史をとらえる、仮説を立てて歴史をとらえる、現在と過去の立場からとらえる、情報の意図を読み解く

【社会（歴史的分野）】

日 文	○ 系図の見方、平城宮跡を歩く（史跡見学のしかた）、草戸千軒町遺跡を調べる（博物館の見学のしかた、歴史新聞づくりのポイント）、城下町姫路を調べる、富岡製糸場を調べる、大阪の空襲を調べる（戦争遺跡の見学のしかた）、公害克服の歴史を調べる
自由社	○ 「〇〇の歴史」を調べる、人物を通して時代をとらえる、地域の歴史を調べる
育 鵬 社	○ 歴史人物Q&Aカードを作ろう、縄文時代探検！（博物館で調べてみよう）、奈良・京都の文化遺産を調べてみよう、城を探検してみよう、歴史新聞をつくらう、歴史のロールプレイをしてみよう
学 び 舎	○ 歴史を楽しく学ぼう（人物を選び、カードにまとめてみましょう、できごとや文化を調べてみよう）、火と人類の歴史をさぐる、火おこしに挑戦する、スリーヒント・人物あてゲーム、インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る、地域の博物館で調べる、地域の歴史を歩く、綿から糸を紡ぐ、山本宣治の人物調べ、一人ひとりの歴史・家族の歴史（年表にまとめる）

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦単元や資料等の配列・分量
<b>方法</b>	各時代区分のページ数

	総ページ	歴史の とらえ方	古代	中世	近世	近代	現代	その他
東 書	299	14	44	34	44	98	37	28
教 出	291	9	38	34	44	104	32	30
清 水	307	9	52	32	56	102	28	28
帝 国	285	11	38	36	52	98	28	22
日 文	309	8	44	38	50	98	36	35
自 由 社	296	18	56	28	44	98	28	24
育 鵬 社	303	7	52	32	54	98	30	30
学 び 舎	330	6	46	32	56	112	38	40



<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況
<b>方法</b>	発展的な学習の事例数と事例及び思考を深める問いや手立て

	事例数	事例	思考を深める問いや手立て
東書	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大項目に、「深めよう」というコーナーを設け、本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</li> <li>・現代に受けつがれる神話</li> <li>・東アジア世界の朝貢体制と琉球王国</li> <li>・室町時代の生活文化と現代</li> <li>・江戸のエコ社会</li> <li>・足尾銅山と田中正造</li> <li>・全ての子どもに教育を</li> <li>・歴史の中の大震災</li> <li>・考古学のとびら</li> <li>・歴史の中のイスラム文化</li> <li>・「解放令」から水平社へ</li> <li>・北海道とアイヌ民族の歴史</li> <li>・現代の公害問題とその克服</li> <li>・人類の歴史とエネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「トライ」という吹き出しがあり、「○○を調べましょう」「△△を考えましょう」「□□を整理してみましょう」等、学習を促す言葉を示している。</li> </ul>
教出	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大項目に、「(資料・人物と地域・地域・世界) から歴史を探ろう」というコーナーを設け、本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</li> <li>・木簡が語る人々の暮らし</li> <li>・神話にみる古代の人々の信仰</li> <li>・中世の市を訪ねて</li> <li>・戦乱の世の自治と領国経営</li> <li>・宣教師が見た日本</li> <li>・リサイクル都市・江戸の町人</li> <li>・改革や平等を求めて</li> <li>・アイヌの文化を伝えた人たち</li> <li>・人口からみた日本の歴史</li> <li>・隣国と向き合うために</li> <li>・平和を願う人々と平和の祭典「オリンピック」</li> <li>・坂上田村麻呂と阿弼流為の戦い</li> <li>・地頭を訴える農民</li> <li>・働く女性や子どもたち</li> <li>・銀で結びつく世界</li> <li>・大名行列と藩の財政</li> <li>・坂本龍馬と横井小楠</li> <li>・山川（大山）捨松と津田梅子</li> <li>・海外へ移住した日本人</li> <li>・後藤新平と杉原千畝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒頭に「○○をもとに探ってみましょう」「△△を例に探ってみましょう」等、学習を促す言葉を示している。</li> </ul>
清水	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大項目に、「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」というコーナーを設け、本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</li> <li>・植物と日本人</li> <li>・資料を読み取ろう</li> <li>・宮廷の女性と仮名文字</li> <li>・アジアの船と海上交通</li> <li>・江戸のにぎわい</li> <li>・行き来する留学生</li> <li>・証言・体験記録からみえてくる戦争</li> <li>・高度経済成長期の社会変化</li> <li>・遺跡から原始の時代を探ろう</li> <li>・神話と伝承</li> <li>・絵画資料にみる人びとの生活</li> <li>・人物を調べてみよう</li> <li>・世界見学に出かけた日本人</li> <li>・明治・大正期の食生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 冒頭に「○○に注目してみよう」「△△を探ってみよう」「□□を考えてみましょう」等、学習を促す言葉を示している。</li> </ul>
帝国	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大項目に設けた「歴史を探ろう」や、2ヶ所に設定した「トリアル歴史」というコーナーで、本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</li> <li>・古墳からわかる当時のようす</li> <li>・琉球とアイヌの人々の暮らし</li> <li>・世界有数の百万都市</li> <li>・移住と開拓が進む北海道</li> <li>・長野県からみる「満州」移民</li> <li>・日本の領土と隣諸国</li> <li>・島原・天草一揆に現れた外国船のなぞ</li> <li>・東アジアに開かれた窓口</li> <li>・昆布ロードと北前船</li> <li>・世界に開かれた港</li> <li>・発展する産業都市</li> <li>・戦場となった沖縄</li> <li>・坂本龍馬暗殺のなぞ</li> <li>博多</li> <li>横浜</li> <li>大阪・神戸</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「疑問」という吹き出しに「○○はどうなっていたのかな?」「なぜ△△したのでしょうか」等の発問を示している。</li> </ul>
日文	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各大項目に、「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」というコーナーを設け、本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</li> <li>・日本の食生活のルーツを探る</li> <li>・古代から中世への土地制度の移り変わり</li> <li>・東大寺の再興と重源</li> <li>・中世の女性たち</li> <li>・幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル</li> <li>・文化財を守り伝える仕事</li> <li>・近代的な国際秩序への参加</li> <li>・エルトゥールル号遭難事件</li> <li>・よみがえった東京駅</li> <li>・日本人の海外移民</li> <li>・災害の歴史に学び、私たちの未来に活かす</li> <li>・海底から姿を現した元の軍船</li> <li>・信玄堤</li> <li>・新しい世の中をめざした人々</li> <li>・近代社会に日本を見つめ直す</li> <li>・山本作兵衛の炭坑記録画</li> <li>・新渡戸稲造と杉原千畝</li> <li>・アイヌと沖縄の近代と現代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 吹き出しに「○○が無いかな調べてみましょう」という学習を促す言葉を示している箇所がある。</li> </ul>

【社会（歴史的分野）】

自由社	35	<p>○ 各大項目に、「もっと知りたい」というコラムを設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩宿遺跡を発見した相沢忠洋</li> <li>・国譲り神話と古代人</li> <li>・仏像の見方</li> <li>・日本の天皇と中国の皇帝</li> <li>・元寇と朝鮮半島</li> <li>・一揆と合議の伝統</li> <li>・秀吉はなぜバテレンを追放したか</li> <li>・二宮尊徳と勤勉の精神</li> <li>・町人が育てた歌舞伎</li> <li>・浮世絵とジャポニズム</li> <li>・琉球処分とは何か</li> <li>・幕末・明治期の日本人の生き方</li> <li>・福沢諭吉の『学問のすゝめ』と「脱亜論」</li> <li>・日露戦争を戦った日本人</li> <li>・明治国家を背負った政治家・伊藤博文</li> <li>・日本の実業家の伝統をつくった渋沢栄一</li> <li>・世界が見た日露戦争</li> <li>・戦時国際法と戦争犯罪</li> <li>・日本の底力を世界に示した昭和39年の東京オリンピック</li> <li>・昭和天皇 国民とともに歩まれた生涯</li> <li>・勇気と友情の物語 世界と交流した近代日本</li> <li>・東日本大震災と日本人</li> <li>・和の文明 縄文</li> <li>・「日本」という国名のおこり</li> <li>・仮名文字と女流文学</li> <li>・武士のおこりと鎌倉幕府</li> <li>・日本人の名字の由来</li> <li>・宣教師の見た日本人</li> <li>・武士と忠義の観念</li> <li>・正確な日本地図をつくった伊能忠敬</li> <li>・エコロジー都市 江戸</li> <li>・明治維新とは何か</li> <li>・日本の近代化とアイヌ</li> </ul>	<p>○ 本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</p>
育鵬社	26	<p>○ 各大項目に設けた「このころ世界は」「歴史ズームイン」等のコーナーで、本文の学習と関連したテーマを読み物として扱っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローマ帝国と日本の古墳時代</li> <li>・歴史を解明する考古学</li> <li>・最澄と空海</li> <li>・ユーラシアを一つにつないだモンゴル</li> <li>・戦国大名の富国策一信玄堤</li> <li>・ルネサンスと宗教改革</li> <li>・江戸時代探索！</li> <li>・江戸の技術</li> <li>・外国人が見た日本</li> <li>・近代国民国家の形成</li> <li>・明治を築いた二人 伊藤博文と渋沢栄一</li> <li>・お雇い外国人</li> <li>・列強の植民地とアジアの民族運動</li> <li>・国民とともに歩んだ昭和天皇</li> <li>・日本人の宗教観</li> <li>・神話に見るわが国誕生の物語</li> <li>・かな文字の発達</li> <li>・幻の町・草戸千軒</li> <li>・茶の湯と生け花</li> <li>・浮世絵の影響</li> <li>・世界文化遺産・富士山と日本人</li> <li>・西郷と大久保がめざしたもの</li> <li>・日露戦争の舞台裏</li> <li>・昭和20年、戦局の悪化と終戦</li> <li>・東京裁判</li> <li>・冷戦の終結</li> </ul>	<p>○ 吹き出しに「○○を調べてみましょう」という学習への促しや、「どんなことが分かるのかな」等、学習を促す言葉を示している。</p>
学び舎	6	<p>○ 各大項目に設けた「歴史を体験する」というコーナーで、本文の学習と関連したテーマでの体験活動を紹介している。また、歴史的事象との出合いの場面を、巻頭の「歴史への案内」というコーナーに設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史と出会う—6月23日、沖縄で</li> <li>・インターネットで「洛中洛外図屏風」を見る</li> <li>・綿から糸を紡ぐ</li> <li>・一人ひとりの歴史・家族の歴史</li> <li>・火と人類の歴史をさぐる</li> <li>・山本宣治の人物調べ</li> </ul>	<p>○ 「考えてみよう」「○○してみよう」等、学習を促す言葉を示している。</p>

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	資料の種類と掲載数及び折り込み年表の扱い

	資料の種類と掲載数（近世の日本）						折り込み年表の扱い
	写真	絵図	地図	図表・グラフ	年表	合計	
東書	58	70	18	23	3	172	教科書の巻末に、三つ折り両面の1枚で掲載
教出	45	67	13	20	3	148	教科書の巻末に、二つ折り片面の1枚と、三つ折り片面の1枚で掲載
清水	44	102	18	22	3	189	教科書の巻末に、二つ折り両面の2枚で掲載

【社会（歴史的分野）】

帝国	61	107	23	23	5	219	教科書の巻末に、二つ折り片面の1枚と、二つ折り両面の1枚で掲載
日文	54	90	26	31	6	207	教科書の巻末に、二つ折り両面の2枚で掲載
自由社	15	68	12	9	1	105	教科書の巻末に、5頁をとって掲載
育鵬社	40	102	17	23	3	185	教科書の巻末に、三つ折り両面の1枚で掲載
学び舎	46	117	21	13	1	198	教科書の巻末に、20頁をとって掲載

観点	(エ) 内容の表現・表記	
	視点	⑩本文以外の記述の工夫
	方法	問いやまとめの記載の仕方

	現代における問いの記載の仕方	現代におけるまとめの記載の仕方
東書	○ 毎時間、導入の資料に対する疑問を吹き出しで示している。 ・女の子が首から下げているのは何だろう。	○ 「確認」のコーナーを設けている。 ・敗戦後の占領下の日本の状況、次の三つの内容について説明しましょう。 [①領土 ②国民の生活 ③非軍事化]
教出	○ 毎時間、導入の資料に対する疑問を吹き出しで示している。 ・戦後の日本は、どのような様子だったのかな。	○ 「ふりかえる」というコーナーに、ステップ1、ステップ2を設けている。 ステップ1 ・日本の主権や民主化について、戦時中のポツダム宣言の条文とどのように対応するか確かめよう。 ステップ2 ・敗戦後の生活のなかで、人々はどのような思いや願いをもっていたか話し合おう。
清水	○ 導入の資料に対する疑問を吹き出しで示している。 ・戦争が終わり、人びとはどのような思いで戦後の生活を送っていたのだろうか？	○ 「まとめてみよう」というコーナーを設けている。また、内容によっては、「深めよう」のコーナーを設けている。 ・どのようにして日本の民主化が進められたのか、箇条書きであげてみよう。
帝国	○ 毎時間、導入の資料に対する疑問を吹き出しで示している。 ・連合軍の占領によって、日本はどのように変化したのかな。	○ 「確認しよう」「説明しよう」というコーナーを設けている。 <確認しよう> ・GHQが日本政府に指示した内容を、本文から書き出してみよう。 <説明しよう> ・敗戦が海外にいた人々に与えた影響を、説明してみよう。
日文	○ 毎時間、導入の資料に対する疑問を吹き出しで示している。 ・国連憲章には国連のめざすものは何と記されているのかな。	○ 「学習の確認と活用」というコーナーを設けている。 <確認> ・戦後の平和と民主化をめざす動きを、世界と日本に分けて整理してみよう。 <活用> ・GHQが出した五大改革の指令には、それぞれどのような意味があったのか、戦前の日本の状況を思い出しながら説明してみよう。
自由社	○ 毎時間、学習課題を示している。	○ 「まとめにチャレンジ!」というコーナーを設けている。 ・日本政府の行った民主化政策のうち、どれか1つを選んで、どのような改革であったか、調べてみよう。

【社会（歴史的分野）】

育 鵬 社	○ 毎時間、導入の資料に対する疑問を吹き出しで示している。 ・この写真を見て、当時の人々はどう思ったんだろう。	○ 毎時間、「学習のまとめ」のコーナーを設けている。 ・戦後に行われたさまざまな改革について、具体的な政策を3つあげて説明しましょう。
学 び 舎	○ 各章のはじめに学習課題を示している。 ・世界大戦終結から70年、かつてない豊かな社会が現れました。国境を越えて、人・情報・商品・金が動いています。そこには光と影があり、大きな課題もあります。全地球の動きに、地域の動きに目を向けます。あなた自身も生きてきた、現在につながる現代の課題を考えましょう。あなたは、どんな未来を切りひらくのでしょうか。	○ 各章の終わりに振り返りのコーナーを設けている。 ・第10章をふりかえる 経済成長と生活の変化 下の（ ）にことばを入れましょう。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	①多面的・多角的に考察させるための工夫
方法	単元末における多面的・多角的に考察させる具体例

多面的・多角的に考察させる具体例（中世）	
東 書	<p>○ 時代の特色を前時代と比べて「政治の動き」、「社会の動き」、「外国との関係」、「文化の特色」、等の項目ごとに「比較表」でまとめよう。</p> <p>○ 次の六つの語句は、この章で学習した用語です。どのような意味の用語か、自分の言葉でそれぞれ説明しましょう。うまく説明できない場合は、掲載されていたページにもどって確認しましょう。また、確認した用語を、下の年表の[A]から[F]のうちの、正しい位置に当てはめましょう。</p> <p>①二毛作 ②日民貿易（勘合貿易） ③モンゴルの襲来（元寇） ④院政 ⑤建武の新政 ⑥応仁の乱</p> <p>○ 右の模式図は、鎌倉幕府の仕組みを示したものです。模式図中の、空欄になっているアからエに当てはまる語句を答えましょう。</p> <p>○ 次の文章は、右の図から鎌倉幕府の政治の特徴について説明したものです。次の（ ）に当てはまる語句をそれぞれ答えましょう。</p> <p>○ 完成させた年表を基に、「政治」の欄から、政治を行った人物をぬき出しましょう。そして、中世の政治を動かしたのはどのような人々か、説明しましょう。</p>
教 出	<p>○ 本文や年表を参考にしながら、下の図の[A]～[J]にあてはまる語句を書き出そう。</p> <p>○ 次の人物と関わりの深いことがらを、下の図から探して結びつけよう。 【平清盛、源頼朝、北条政子、栄西、親鸞、フビライ=ハン、後醍醐天皇、足利義満、武田信玄、雪舟】</p> <p>○ 左の地図中に、次の場所を番号で記入しよう。 ①高麗 ②平泉 ③鎌倉 ④花の御所 ⑤首里城 ⑥蝦夷地 ⑦十三湊 ⑧博多 ⑨加賀</p> <p>○ 下の図を使って、源頼朝がつくり上げた封建制度のしくみについて説明しよう。</p> <p>○ 鎌倉時代と室町時代のできごとや様子を表す資料を、教科書からそれぞれ一つずつ選んで、二つの時代の共通点と違いについて説明しよう。</p> <p>○ 中世の特色について、「政治では」「外国との関係では」「文化では」といった項目ごとに分けてキーワードを使って表に整理して考えるような課題例を設定している。</p>
清 水	<p>○ 次の年表の1～10にあてはまるできごとやことがらを、下のア～コの中から選ぼう。</p> <p>○ 右の図のA～Dはそれぞれ年表中のどの時代のものか、文化の欄に記号で書き入れよう。</p> <p>○ 次の場所を地図で確認しよう。【鎌倉、博多、京都、吉野、琉球王国、堺】</p> <p>○ 写真を見て、中世の政治や文化の特色について考えてみよう。</p> <p>1. 中世の日本の文化にはどのような特色があるだろうか。上の写真を参考に、次の語句を用いて説明してみよう。【武士 公家 禅宗】</p> <p>2. 左の写真の人物はなぜ多くの武士の支持を受け、武家政治をはじめることができたのだろうか。次の語句を用いて説明してみよう。【御恩 奉公 御家人】</p>

【社会（歴史的分野）】

<p>帝国</p>	<p>○ 教科書をふりかえって、左の年表のア～コの空欄に入るものを、下の語群の中から選んでみましょう。 【鎌倉幕府、一向一揆、院政、後醍醐天皇、平清盛、勘合貿易、蒙古襲来（元寇）、応仁の乱、鎌倉仏教、金閣】</p> <p>○ 教科書をふりかえって、下の地図のあ～かの空欄に入るものを、下の語群から選び、さらにそれぞれの説明を、A～Fの中から選んでみましょう。 【平泉、鎌倉、十三湊、博多、大輪田泊、琉球】</p> <p>○ 中世で最も重要なできごととは何かを話し合い、「新聞記事」をつくってみましょう。</p> <p>○ 下の表現を使って、中世の特色を説明してみよう。 中世は（ ）の時代である。それは（ ）だからである。</p>
<p>日文</p>	<p>○ 年表中の①～⑤の□にあてはまる言葉を考えてみよう。また、歴史の主なできごとがどこで起こったのかを地図で確認しよう。</p> <p>○ 「法」に着目して、時代の特色にせまろう。 ・中世に定められた主な「法」に着目し、「制定された主な法」、「法の内容」、「目的」といった項目ごとに分け、古代と比較しながら考える課題例を設定している。</p>
<p>自由社</p>	<p>○ 時代区分についての姉妹問答</p> <p>○ 時代比較の問題 ・次の2つの事項について比較して、その違いをノートにまとめてみよう。 ①平氏政権と鎌倉幕府 ②鎌倉文化と室町文化 ③古来の仏教と鎌倉新仏教</p> <p>・人物比較 北条時宗と足利義満は、当時の中国とのかかわり方が異なっています。2人を対比して、表にまとめよう。</p> <p>○ 「ひとこと」作文 ・中世とは、ひとことで言うと、「○○」の時代だった。この「○○」の中に、当てはまりそうな言葉を入れて、200字程度の作文を書いてみよう。＜例＞ 武士 戦乱 和風文化 下剋上</p> <p>○ 意見交換会 ・貴族の政治と武家の政治は、どこがちがうだろうか。出し合ってみよう。 ・中世にできた惣のルールで、今の日本でも見られるところを出し合ってみよう。</p>
<p>育鵬社</p>	<p>○ 下の年表の空欄に当てはまる言葉を右の語群の中から選び、この時代の動きを確かめましょう。A～Hには人名が、①～③には事項が入ります。</p> <p>○ この時代の戦いについて、例を参考にノートに整理しましょう。</p> <p>○ 上の年表を見ながら、この時代で最も重要だと思う人物を1人選び、その理由も書いてみましょう。</p> <p>○ 下の(1)～(8)の文に当てはまる場所や地域を、地図A～Kから選び、位置を確認しましょう。</p> <p>○ この時代の人々の暮らしや社会がどうなったのか、このころのようすをえがいた下の絵を参考にして、前の時代の様子にもふれながら、説明してみましょう。</p> <p>○ この学習のまとめの作業を手がかりにして、この時代はどのような時代だったといえるのかを考え、その理由と合わせてノートに書いてみましょう。また、それぞれの考えをみんなで話し合ってみましょう。</p>
<p>学舎</p>	<p>○ 下の（ ）にことばを入れましょう。</p> <p>○ 右下の年表の①～④に関する問いの答え（都市名・国名）を、下のまとめの表に入れましょう。また、下の地図から都市や国の位置を記号で選び、まとめの表に入れましょう。</p> <p>○ 武士が成長して、「武士の世」になっていくみちすじを、10世紀（平安時代）から13世紀（鎌倉時代）までの人物やできごとに注目して、まとめてみましょう。</p> <p>○ 下の1～3の質問を参考にして、第2部にある絵画資料に説明をつけてみましょう。 1. いつごろの何をえがいたものだろうか。 2. 絵を観察して分かることは、どんなことだろうか。 3. どのような社会のようすや変化などが、背景にあるのだろうか。</p> <p>○ 中世は、どのような人たちが力を持ち、どのような特色のある時代だったのでしょうか。前の時代と比べながら自分の言葉で書きましょう。</p>

【社会（歴史的分野）】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
<b>方法</b>	まとめ方の種類と具体例

	種 類	具体例
東 書	年表, 図, レポート, 比較表, プレゼンテーション・ソフト, ディスカッション, イラストマップ, 歴史新聞, ウェブページ, 年表, 提案	○ (章末に) イラストマップを作ろう <ul style="list-style-type: none"> <li>・だいすけさんたちは, 調べた内容を整理して, イラストマップにまとめることにしました。</li> <li>・文字だけでなく, イラストや写真を使って説明しよう</li> <li>・地図を作るときには, 説明のスペースを考えて構成しよう</li> </ul>
教 出	歴史新聞, キャッチフレーズ, ミニレポート, 仮想の討論会, 地図, 年表, 意見発表	○ (章末に) 近世の時代の特色を考えよう! <ul style="list-style-type: none"> <li>・あすかさんは, 江戸時代の特色について, 第4章の学習の初めに着目した「浮世絵(錦絵)」を取り上げ, 「民衆文化の時代」というテーマでミニレポートにまとめてみました。</li> <li>・あすかさんのミニレポートをもとに, 中世から近世にかけて, 文化の担い手がどのように変化したかを確かめよう。</li> <li>・近世の特色について, あすかさんの例を参考に, テーマを決めてミニレポートにまとめよう。</li> </ul>
清 水	図表, 地図, 年表, キャッチフレーズ, ボード, 模造紙, パワーポイント, レポート, 表	○ (1時間のまとめに) 鎌倉時代の文化の特色をキャッチフレーズで表現してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉時代の美術・文学作品をみたり読んだりして, 印象や感想を話し合ってみよう。</li> </ul> (1時間のまとめに) ヨーロッパの国ぐにが, それぞれどこの大陸や地域に進出したかを, 地図や図表にまとめてみよう。
帝 国	レポート, 新聞記事, 手紙, 図, メッセージ, 地図, 関係図・流れ図, 年表, 写真・イラスト, ホームページ, プレゼンテーション・ソフト, 意見交換, テレビニュース, 劇	○ (歴史学習の最初に) レポートのまとめ方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ・テーマ設定の理由 なぜ調べたかを書きましょう。</li> <li>・自分の推理 よくわからないこと・疑問点をはっきりさせ, 自分の推理や仮説を書きましょう。また推理の根拠となることを示しましょう。</li> <li>・わかったこと わかったことを大きな項目・小さな項目に整理しましょう。また, 証拠となる資料を写真・地図・年表・グラフなどで表しましょう。</li> <li>・結論 テーマについてわかったこと, わからなかったこと, 今後の課題を書きましょう。</li> </ul>
日 文	表, ホームページ, 歴史新聞, 年表, 模造紙にまとめる	○ (章末に) 調べたことをまとめる <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史新聞づくりのポイント 【基本設定】 だれに向けてどんなことを伝えたいのかを考える。 【紙面づくり】 調べたことを自分の言葉に書き直して記事にする。 文章以外に, イラストや写真を入れて, わかりやすい紙面を心がける。 新聞をつくって考えたことを書くコーナーを, 必ず設ける。</li> </ul>
自由社	年表, 人物カード, ミニ伝記, 人物伝記, レポート, 「ひとこと」作文, 意見交換会, 表, エッセイ, 絵図, 物語, スピーチ	○ (歴史学習の最後に) 日本の歴史の特色は何か <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人は海外の先進文化に強い興味をもち, それをどん欲に学び, 取り入れてきました。しかし, 同時に, 自国の文化的伝統を見失うことなく, 独自に発展させたり, 外来の文化と融合させたりしてきました。 そうした日本の文化の歴史を, 古代から現代まで通してわかるように, 年表, 絵図, 物語, その他, あなたの好みの方法で工夫してまとめてみましょう。</li> </ul>
育 鵬 社	歴史人物 Q&A カード, 表, キャッチフレーズ, 歴史新聞, ロールプレイ, 400 字程度の文章	○ (章末に) 当時の現場を想定して, 登場人物の心情を思い浮かべながら, ロールプレイに挑戦してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイの手順 ①歴史の名場面を選ぶ ②その内容や時代背景, 登場人物などを調べる ③脚本をつくる (多少のフィクションがあってもよい) ④配役を決め, 練習をする ⑤発表会をする ⑥批評会を行う</li> </ul>
学 び 舎	人物カード, 年表, スリーヒント・人物あてゲーム, 表, 発表, ポスター, 意見交換, 地図	○ (章末に) 年表やポスターにまとめる <ul style="list-style-type: none"> <li>・まず, その人物と政治や社会の動きについて年表をつくってみました。その年表を入れたポスターをつくりました。写真やイラストなども入れて, 見やすくカラフルなものにしました。</li> </ul>

## 社 会（公民的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名	
2	東	書	新編 新しい社会 公民	
17	教	出	中学社会 公民 ともに生きる	
35	清	水	中学 公民 日本の社会と世界	
46	帝	国	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして	
116	日	文	中学社会 公民的分野	
225	自	由	社	新しい公民教科書
227	育	鵬	社	[新編] 新しいみんなの公民

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		②	公民としての基礎的教養を培うための工夫	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順
		⑥	作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の事例と具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦	単元や資料等の配列・分量	大項目ごとのページ数と単元名
		⑧	発展的な学習に関する内容の記載状況	発展的な学習の事例数と事例及び思考を深める問いや手立て
(エ)	内容の表現・表記	⑨	学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑩	本文以外の記述の工夫	問いやまとめの記載の仕方
(オ)	言語活動の充実	⑪	多面的・多角的に考察させるための工夫	多面的・多角的に考察させる具体例
		⑫	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	単元末におけるまとめ方の具体例

<b>観点</b>	<b>（ア）基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①学習課題の示し方
<b>方法</b>	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「地方自治の仕組み」「地方財政の仕組みと課題」「住民参加の拡大と私たち」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの右横に、「どのような」「どのように」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちの住んでいる地域の政治は、どのような考えに基づいて行われているのでしょうか。また、地方公共団体はどのような仕事をしているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体のお金はどのように使われているのでしょうか。また、地方財政はどのような課題をかかえているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地域における住民参加はどのように行われているのでしょうか。」</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「身近な地域の政治」「暮らしを支える地域の行政サービス」「住民参加で地域をつくる」「変わりゆく地域社会」の項目で示し、タイトルの横に「地域の課題と地方自治のしくみ」「地方公共団体の仕事と地方財政」「住民の権利と参加」「地方自治の課題とこれから」とサブタイトルを示している。</li> <li>○ タイトルの下に、「どのような」「どのようにして」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">「地方自治と住民の参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域の政治は、どのようなしくみに支えられているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体は、どのような仕事を行い、どのような財政状況にあるのでしょうか。」</li> <li>○ 「私たち地域住民は、地域の政治にどのようにして意見を反映させることができるのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治体はどのような課題を抱え、どのような取り組みを行っているのでしょうか。」</li> </ul>
<b>清水</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「市民参加の地域づくり」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの左横に「何だろうか」「どのような」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">「住民がきづく地方自治」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地方自治とは何だろう。また、どのようなしくみになっているのだろうか。」</li> <li>○ 「国の政治ではみられない、地方自治の大きな特色とは何だろうか？」</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「これからの地方自治」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの右横に「どのような」「どのように」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">「住民として地方自治について考えよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちが住む地域の政治は、どのような考えにもとづいて行われているのでしょうか。」</li> <li>○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治を取りまく環境はどのように変化しているのでしょうか。」</li> </ul>
<b>日文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちのくらしと地方自治」「地方公共団体の仕事としくみ」「地方公共団体の財政と課題」「地方自治と私たち」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの左横に「なぜ」「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">「くらしを支える地方政治」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「なぜ地方公共団体ごとに政治を行っているのだろうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体の仕事としくみはどのようになっているのだろうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体の財政の課題には、どのようなものがあるのだろうか。」</li> <li>○ 「地方自治に住民が参加するために、どのような権利や手段があるだろうか。」</li> </ul>



【社会（公民的分野）】

自由社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの下に「何だろうか」「どうして」「どう」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p>「地方公共団体のしくみと課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」</li> <li>○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どうかわってきただろうか。」</li> </ul>
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの下に「何ができるでしょう」「調べてみましょう」「どのような」という問いかけの形態で1時間の追究する課題を提示している。</li> </ul>	<p>「地方自治と住民」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分たちの地域を住みやすくするため、何ができるでしょう。」</li> <li>○ 「地方公共団体の役割を調べてみましょう。」</li> <li>○ 「私たちの地域ではどのようなまちづくりが行われているのでしょうか。」</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
<b>方法</b>	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例

現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例 (「対立と合意」「効率と公正」の扱い)	
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2つのトラブル例をマンガで掲載している。</li> <li>○ 「学校でのトラブルについて考えよう」をイラストで掲載し、解決のための話し合いの様子をイラストや吹き出しで示している。</li> <li>○ 「10年前のマンションの駐輪場問題について考えよう」を写真やイラストで掲載し、「解決のための話し合い」や「決まりの作成」「決まりの作成・評価」をイラストや表で示している。</li> <li>○ 「いちごを効率的に配分するには」を掲載している。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校で起こるさまざまな問題の例」として3つのケースを掲載している。</li> <li>○ 「マンションの駐車場問題について考えよう」を掲載している。</li> <li>○ 話し合いの内容をイラストと吹き出しで示している。</li> <li>○ 話し合いの手順をフローチャートで示している。</li> <li>○ 「あるプロスポーツ選手の契約交渉の例」を掲載している。</li> </ul>
清水	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ バスケ部とバレー部の平日の体育館の使い方についてマンガで掲載している。</li> <li>○ 「話し合いで出た意見の問題点を考えてみよう」「解決策を考えてみよう」等の問いを掲載している。</li> </ul>
帝国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マンションで起こっている問題について、次の事例を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スロープ設置の費用は誰がいくら負担する？」を掲載し、イラストや吹き出しで話し合いの様子を示している。</li> <li>・「ごみおき場の掃除規則は変えられる？」を掲載し、図や吹き出しで解決案を示している。</li> </ul> </li> <li>○ 「マンションの騒音問題を解決しよう」でロールプレイングを学習活動として示している。</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「きまりをつくってみよう①」をマンガで掲載している。</li> <li>○ 「合意する方法を考えよう」をマンガで掲載し、例を6つ示している。</li> <li>○ 「きまりをつくってみよう②」をイラストや表で掲載し、割り当て例を示している。</li> <li>○ 「効率と公正の視点から評価してみよう」で3つの例を掲載している。</li> <li>○ 「きまりをつくってみよう③」をイラストや表で掲載し、決まりの評価を示している。</li> <li>○ 「決まりを変更した例を考えよう」で3つの例を掲載している。</li> </ul>
自由社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校生活での対立と合意」として、部活動における体育館の使い方を例にコラムで掲載している。</li> <li>○ 「ここがポイント！」で、ルール等について掲載している。</li> </ul>
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化祭の劇主役についてマンガで掲載している。</li> <li>○ 「対立」から「効率と公正」を経て「合意」に至る例をイラストや吹き出しで示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<b>方法</b>	国旗・国歌に関する記載の仕方，領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
<b>東 書</b>	<p><b>【本文関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「主権国家は，国家の象徴として，国旗と国歌を持っています。各国の国旗や国歌にはその国の歴史や文化が反映されています。日本では，1999（平成 11）年に法律で『日章旗』が国旗，『君が代』が国歌と定められました。国どうしが尊重し合うために，たがいに国旗・国歌を大切にしていかなければなりません。」</li> <li>○ 写真「オリンピックの表彰式」</li> </ul>	<p><b>【本文に係る資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」</li> <li>○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>○ 写真「沖ノ鳥島」</li> </ul> <p><b>【コラム】</b></p> <p>（日本の領土をめぐる問題の現状）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」</li> <li>○ 解説「竹島問題」「北方領土問題」「尖閣諸島をめぐる問題」</li> <li>○ 写真「竹島」「竹島に韓国が造った警備施設」「国際司法裁判所」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「日ソ共同宣言」「東京宣言」「尖閣諸島の魚釣島」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」</li> <li>○ 新聞記事「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」</li> </ul>
<b>教 出</b>	<p><b>【本文関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「世界のどの国にも，国旗と国歌があります。国旗と国歌はその国を表す象徴（シンボル）で，国家はそれらに対しお互いに敬意をはらって尊重し合うことが，今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年，『日章旗（日の丸）』を国旗，『君が代』を国歌とするのがならわしでしたが，1999 年にそのことが法律で定められました。植民地などが独立をはたして主権国家となり，独自の国旗を掲げることは，自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には，それぞれの国の歴史や国民の思いが込められています。」</li> <li>○ 写真「オリンピックの表彰式」「震災の復興支援のためのサッカーの試合で，国歌を斉唱する仙台市の子どもたち」</li> </ul> <p><b>【コラム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「国旗と国歌の歴史」</li> <li>○ 絵図「威臨丸」</li> </ul>	<p><b>【本文に係る資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の国土とその周辺」「北方領土」</li> <li>○ 解説「北方領土」「竹島と尖閣諸島」</li> <li>○ 写真「竹島と尖閣諸島」</li> </ul> <p><b>【コラム】</b></p> <p>（日本の外交のいま）の一部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「北方領土の返還に向けて」</li> <li>○ 写真「折り紙や絵手紙作りなどが行われた，色丹島での文化交流会の様子」「納沙布岬から見た北方領土の歯舞群島」</li> </ul>
<b>清 水</b>	<p><b>【本文関係】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗・国歌」</li> <li>○ 本文「独立国はそれぞれ，そこに住む人びとに一体性をもたせるために，さまざまな儀式をおこなったり象徴を用いたりしている。国旗や国歌もそのようなはたらきをもっている。国際社会において独立国どうしが友好関係を維持するには，たがいに，他国の歴史や文化を理解し，国旗や国歌を尊重しあうことが大切である。」</li> <li>○ 側注「日本では，1999 年に国旗・国歌法が制定され，『日章旗（日の丸）』を国旗，『君が代』を国歌とすることが定められた。」</li> </ul>	<p><b>【本文に係る資料】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の領土と経済水域」</li> <li>○ 解説「日本の領土問題（北方領土，竹島）」</li> </ul>

【社会（公民的分野）】

<p style="text-align: center;">帝 国</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「国旗と国歌は、それぞれ国のシンボルです。世界の国々の国旗や国歌は、自分たちの国の独立の歴史や国王をたたえるものなどさまざまです。日本では、1999年に施行された国旗・国歌法によって、日章旗（日の丸）が国旗で、君が代が国歌であると定められています。国家間においてたがいに主権を尊重し協力し合っていくうえで、国旗や国歌を尊重し合うことは大切です。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗がかかげられ、国歌が演奏されます。国旗や国歌を相互に尊重することは、現代世界の儀礼となっています。」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「オリンピックと『国家』の意識」</li> <li>○ 写真「ロンドンオリンピックで優勝し、『日の丸』をかかげて喜ぶレスリングの吉田沙保里選手」「『日の丸』をふって応援する人たち」</li> <li>○ 写真「拉致被害者の帰国」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」</li> <li>○ 写真「北海道・納沙布岬と歯舞群島の水晶島」「尖閣諸島のかつおぶし工場」</li> <li>○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <p>（尖閣諸島をめぐる）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「尖閣諸島」</li> <li>○ 写真「海上保安庁の船にはさまれた中国船（尖閣諸島沖）」</li> </ul>
<p style="text-align: center;">日 文</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国家と主権」</li> <li>○ 本文「（前略）すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会のたいせつな原則で、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重することが、国際的な儀礼です。日本では、法律で日章旗を国旗、君が代を国歌としています。」</li> <li>○ 側注「日本では、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とする国旗・国歌法があります。」</li> <li>○ 写真「観客席に掲げられた日章旗」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」</li> <li>○ 解説・地図「北方領土」</li> <li>○ 写真「竹島」「尖閣諸島」「沖ノ鳥島」</li> <li>○ 側注「竹島問題」</li> </ul>
<p style="text-align: center;">自 由 社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国歌の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。」</li> <li>○ 解説「国旗・国歌への敬意」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <p>「国旗と国歌を考えてみよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「『日章旗』の意味」「『君が代』の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」</li> <li>○ 写真「アメリカ市民権獲得宣誓式の模様」「ラモス瑠偉」</li> <li>○ グラフ「国旗・国歌に対する日米の高校生の差」</li> <li>○ ミニ知識「どこの国の国歌だろう？」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「わが国の領域」</li> <li>○ 写真「中国の天然ガス採掘施設」「沖ノ鳥島の一部、東小島」</li> <li>○ 解説「2つの領土問題と尖閣諸島」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <p>（わが国の領土に関する問題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>○ 地図「1855年の日露通好条約で決められた国境」「竹島の位置関係」「尖閣諸島」</li> <li>○ 年表「北方領土問題の主な歴史」</li> </ul>
<p style="text-align: center;">育 鵬 社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗・国歌」</li> <li>○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」</li> <li>○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」</li> <li>○ 側注「『国旗・国歌法』第1条 国旗は、日章旗とする。第2条 国歌は、君が代とする。」「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「国歌『君が代』の意味」</li> <li>○ 資料「各国の国歌の大意」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の主権範囲」</li> <li>○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>○ 新聞記事「尖閣諸島の日本領海内に中国の監視船が侵入したことを伝える新聞記事」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <p>（領土を取り戻す、守るということ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>○ 写真「日本人が住んでいたころの色丹島の運動会」「国後島で祭壇に手を合わせる墓参団員」「戦前、隠岐の漁民が竹島で行っていたアシカ猟」「明治30年代、尖閣諸島のカツオ節工場前での記念写真」</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載とその具体例

	導入における興味・関心を高める問いや資料の記載（私たちと経済）	具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。それぞれの写真にキャラクターの吹き出しで、「どうして」「どのような」等の問いを掲載している。小学校の学習内容を掲載し、キャラクターの吹き出しで、「思い出してみよう」と示している。</li> <li>○ 「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」を設け、絵図や表・グラフ、問いを掲載している。</li> </ul>	<p>「価格の働き」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「需要量・供給量・価格の関係」のグラフ、「価格の働き」の図を掲載し、キャラクターの吹き出しで、「価格が高いほうの野菜の生産量が増えるということかな。」「トラックは、農地や労働力、肥料などの生産に必要な資源を表しているんだね。」という問いを掲載している。</li> <li>○ 「廃棄処分されるキャベツ」の写真と「農作物と工業製品の価格の動き」のグラフを示している。</li> </ul>
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。写真の下部に、写真を説明する文とともに、写真の内容に関係する項目とページ数を示している。</li> <li>○ 「循環する経済」で、絵図やキャラクターを掲載して、単元の内容についての問いを掲載している。</li> </ul>	<p>「ものの価格の決まり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「廃棄処分されるキャベツ」の写真、「キャベツの月別の入荷量と平均価格の変化」のグラフを掲載し、キャラクターの吹き出しで「せっかく作ったのに、どうして廃棄処分までしなければならないのかな。」という問いを掲載している。</li> <li>○ グラフ下部に「見てみよう」を掲載し、野菜の出荷量を安定させるための調整についての説明を示している。</li> <li>○ 「洋服の価格の成り立ち」の図を示している。</li> </ul>
<b>清 水</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに2枚の写真と説明文を掲載している。ページの下部に人物の写真と、その人物の著作等からの引用文を示している。</li> </ul>	<p>「価格のはたらきと市場経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「需要と供給による価格の決まり方」として、「需要曲線を示すグラフ」「供給曲線を示すグラフ」「需要曲線と供給曲線の交差を表すグラフ」の3つのグラフを掲載している。</li> <li>○ グラフ中にグラフの読み取りに関する説明文を示している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに1枚の写真を掲載している。写真の下には、大単元の概要及び問いを掲載している。</li> <li>○ 「身のまわりの暮らしと経済について考えてみよう」を設け、絵図や問いを掲載している。</li> </ul>	<p>「価格のはたらきと経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「牛肉の価格が変わったら」として、価格が下がった場合と価格が上がった場合の事例を、イラストと吹き出しで示している。</li> <li>○ イラスト下部には、「牛肉の価格が変わると、消費者、お肉屋さんにはどのような影響があるのでしょうか。」という問いを掲載している。</li> <li>○ みかんの入荷量と価格のグラフを示している。</li> </ul>
<b>日 文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに2枚の写真を掲載している。ページ下に単元の概要を記載しており、キャラクターの吹き出しで、写真の説明や問いを掲載している。</li> <li>○ 「ライフプランを考えよう」において、絵図やキャラクターで、単元の内容についての問いを掲載している。</li> </ul>	<p>「市場のしくみと価格の決まり方」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「海外旅行のパンフレット」として、「ハワイ旅行パンフレットの表紙」の写真、「旅行代金カレンダー」「旅行代金」の表を掲載している。キャラクターの吹き出しで「なぜ、同じハワイ旅行なのに価格にちがいが出るのだろう。」という問いを掲載している。</li> <li>○ 「きゅうりの入荷量と平均価格」のグラフを示している。</li> </ul>
<b>自 由 社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに町並みのイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを掲載している。</li> </ul>	<p>「国民生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どの2人が出会っても交換は成立しない」「お金があればどの2人が出会っても交換が成立する」という2つイラストを吹き出し等とともに示している。</li> <li>○ ページ下部に「貝の写真」と「魚をせりにかけている風景」の写真を掲載し、それぞれの写真を説明する文章を示している。</li> </ul>
<b>育 鵬 社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。キャラクターの吹き出しで、写真の説明や問いを掲載している。</li> <li>○ 「経済の入り口」において、漫画やキャラクターで、単元の内容についての問いを掲載している。</li> </ul>	<p>「市場経済と価格」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「野菜価格の変化を伝える新聞記事」「みかんの月別入荷量と月別平均価格」「需要量・供給量と価格の関係」の3つの資料を掲載し、キャラクターによる「需要量と供給量のあいだにはどういう関係があるのだろう。」という問いを掲載している。</li> <li>○ ページ下部に「缶コーヒーの価格のちがいの例」の写真を掲載し、キャラクターによる問いを掲載している。</li> </ul>

【社会（公民的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順

	課題例	課題解決の手順
東 書	持続可能な社会と交通 公害、環境保全、地球環境問題、資源・エネルギー問題 差別・人権侵害、社会的弱者の支援、戦争・紛争 貧困・飢餓、伝統文化の継承と保存、異文化理解 多文化共生、宗教・民族間の対立 災害に強いまちづくり、東日本大震災からの復興 交通安全、防犯対策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマの設定</li> <li>2 資料の収集と読み取り</li> <li>3 考察</li> <li>4 レポートの完成 ・探究を社会参画につなげる</li> </ol>
教 出	核兵器を拡声器にかえて、平和を！ 超高齢・人口減少社会に生きる 地球温暖化をはじめとする地球環境の破壊 戦争やテロ、核兵器・地雷・不発弾 民族、性の違いなどをめぐる差別や偏見など 発展途上国と先進国間、各国における経済格差や貧困など 水・石油・原子力などの資源・エネルギーの有限性など さまざまな感染症などの病気と、職や菓の安全など 歴史的遺産や文化などの多様性と、その伝承・継承など 学校や家庭を超えた個人情報の漏洩やネット犯罪など 地域や学校、家庭で起こる犯罪・非行・いじめ・虐待など 地震や津波をはじめとするさまざまな自然災害	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを選ぶ</li> <li>2 「未来への私の約束」を実際につくる</li> <li>3 「約束」を表現する「作品」をつくる ・行動計画を実践していくこと</li> </ol>
清 水	水問題、水不足 再生可能エネルギー、地球温暖化、酸性雨、砂漠化、モノカルチャー経済	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを決めよう</li> <li>2 情報を集めよう</li> <li>3 取材に行ってみよう</li> <li>4 調査結果をまとめて論文を書こう</li> <li>5 レポートにまとめて発表しよう</li> </ol>
帝 国	発展途上国の教育について 少子高齢化、文化の継承と創造、男女平等、バリアフリー社会、外国人労働者、年金・社会保険、紛争、地球温暖化、教育、資源・エネルギー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を設定しよう</li> <li>2 課題探究の計画を立てよう</li> <li>3 課題を調査しよう</li> <li>4 レポートを作成し発表しよう</li> </ol>
日 文	世界に生かす日本の環境技術 変わる国連のはたらき、日本のエネルギー問題、世界の貧困問題の解決、若者と高齢者の関係、災害にそなえるには女性、子ども、外国人、アイヌ、障がいのある人、平和、介護、南北問題、労働、プライバシー、憲法9条、核兵器、国連、PKO、地域紛争 インターネット、遺伝子診断・操作、臓器移植、原子力発電、新エネルギー、地球温暖化、生物多様性、循環型社会 地域の年中行事、日本の宗教、イスラム教、日本の芸術と世界、日本文化のグローバル化、世界遺産、観光、多文化共生社会 社会保障・年金、外交、防衛、景気、TPP加盟、企業とグローバル化、企業の社会貢献、領土問題、食料自給率、財政赤字、防災・減災、世代間の公正	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題の設定</li> <li>2 資料の収集と読み取り</li> <li>3 考察</li> <li>4 まとめ方</li> </ol>
自 由 社	持続可能な日本社会をつくるために私たちは何ができるか 地球環境問題、日本型ODA、人間の安全保障、核廃絶、核抑止論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題をみつけよう</li> <li>2 選択した課題について調べよう</li> <li>3 解決の方法を考えてみよう</li> <li>4 卒業論文にまとめる</li> </ol>
育 鵬 社	環境にやさしい国、日本 世界をおもてなしできる国、子どもの笑顔があふれる国、元気で100歳！みんながイキイキしている国、地方がキラキラしている国、ものづくりの国、働く喜びを実感できる国、「世界のお医者さん」と呼ばれる国、世界の平和と安全に貢献する国、クールジャパンを発信する国、「もったいない」精神の国、省エネの国、水と緑と風薫る国	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを決めよう</li> <li>2 「国づくり構想」をつくろう</li> <li>3 プレゼンテーションしよう</li> <li>4 「国づくり構想」の見直し</li> <li>5 レポート作成</li> </ol>

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	作業的・体験的な学習の事例と具体例

	作業的・体験的な学習の事例	具体例
<b>東 書</b>	<p>○ 話し合い、ディベート、身近な地域の調査、伝統文化継承の取組調べ、人権保障の取組調べ、選挙シミュレーション、新聞社説の比較、裁判の傍聴、模擬裁判、地方公共団体調べ、条例調べ、地方財政（歳出）の変化調べ、住民参加の工夫調べ、政治参加について地域調べ、防災や減災の取組調べ、ロールプレイ（市長選挙に立候補しよう、コンビニエンスストアの経営者になろう）、環境ラベル調べ、四大公害病調べ、市町村の環境保全の取組調べ、TPP交渉調べ、お弁当の企画書の作成、現代の戦争や紛争調べ、ウェビングマップの作成（貧困問題）、模擬国際会議</p>	<p>「現代の民主政治と社会」</p> <p>○ 「裁判所では、だれでも裁判を傍聴できます。裁判所に行って、実際の裁判を傍聴してみましょう。」</p> <p>○ 模擬裁判をやってみよう</p> <p>「もし将来、裁判員に選ばれたら、被告人が有罪か無罪か、有罪ならどのような刑罰にすべきかについて議論し、決定することになります。次の架空の事件について、裁判員になったつもりで、被告人が有罪か無罪か話し合ってみよう。」</p>
		<p>「私たちの暮らしと民主政治」</p> <p>○ もしも私が裁判員裁判に参加したら</p> <p>「将来、私たちも裁判員として刑事裁判に参加し、有罪か無罪かの判断をくだす場面をむかえるかもしれません。ここでは、実際に起こった事件を題材にして、自分が裁判員に選ばれたつもりで判決について考えてみましょう。」</p>
<b>教 出</b>	<p>○ 新聞日記（新聞記事のスクラップ）の作成、ディベート（監視カメラの設置）、シミュレーション（裁判員裁判）、裁判傍聴に行ってみよう、プレゼンテーション（まちづくり）、ポスターセッション（企業のCSR）、レポートの作成（福祉の課題）</p> <p>○ 各章末の「学習のまとめと表現」の問題の中に、クラスでの意見交換を促す問いを設定している。</p>	<p>「国民主権」</p> <p>○ 刑事裁判と民事裁判</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 刑事裁判の流れ</li> <li>・ 民事裁判の流れ</li> </ul>
		<p>「国民として国の政治を考えよう」</p> <p>○ 裁判の判決を考えよう</p> <p>「裁判員制度が導入されたことで、私たちも裁判に参加し、判決を考えることになるかもしれません。ここでは、実際に起きたある事件を題材に、自分なりの判決を考えてみましょう。」</p> <p>○ 裁判傍聴をしてみよう！</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 傍聴する裁判を決めよう             <ol style="list-style-type: none"> <li>①傍聴券の抽選のようす</li> </ol> </li> <li>2. 法廷内で気をつけること</li> </ol>
<b>清 水</b>	<p>○ 各政党の政策調べ、国家が特定の思想や宗教を強制した例を調べる、選挙の投票率調べ、マスコミの報道訂正の例を調べる、各政党のマニフェスト調べ、国会議員の特権調べ、法律調査、首相の動静調べ、地域活性化の取組調べ、クレジットカードのしくみ調べ、外国の動き調べ、企業の配当金調べ、人気商品の製造元調べ、銀行の利子率調べ、新聞記事調査、公共事業や公的サービスの具体例調べ、税金の用途調べ、市町村の予算調べ、労働問題の事例集め、規制緩和の例調べ、現代の紛争調べ、ユニセフやユネスコ、南北問題の調査</p>	
<b>帝 国</b>	<p>○ ロールプレイング（役割演技）、ディベート、新聞スクラップの作成、事実と意見の区別、裁判における主張の整理、裁判傍聴、カードによる整理・分析、意見の分類・整理（KJ法、ツリースタイル、フィッシュボーンスタイル）、まちの予算案の作成、企業の企画書作成、ディスカッション（議論）</p>	

【社会（公民的分野）】

日 文	○ テーマに基づく話し合い、ブレインストーミング、ディベート、議論、ロールプレイ、施設調査、インタビュー調査、社会参画の提案、ミュレーション、携帯電話のルールづくり、金利の計算、新聞の調査、地域の名物やまちおこしの調査、まちの財政調査、死刑制度についてディベート、株価の動き調べ、ボランティア活動	「国民主権と日本の政治」 ○ ディベート「死刑制度」 「二つの立場の意見をもとに、死刑制度についてディベートをしてみましょう。」 ○ 裁判員裁判シミュレーション 「みなさんが将来参加するかもしれない裁判員裁判の手順をシミュレーションしてみましょう。みなさんの判決は、有罪でしょうか、無罪でしょうか。」
自由社	○ ディベートをやってみよう、 ○ 章末の「学習のまとめと発展」の項目に、「友だちと手分けして、同じ日のいろいろな新聞を持ち寄り、第1面をみて、記事の内容や配列のちがいを調べてみよう。」という課題を掲載している。	「日本国憲法と立憲的民主政治」 ○ 裁判員制度 「裁判員裁判とは、何を期待されて始まったのだろうか。どんなしくみののだろうか。」
育 鵬 社	○ 話し合い、ディベート、ランキング、「自分の過去・現在・未来シート」の作成、家族にインタビュー、身近な祭りの調査、各新聞社の社説によるディベート、裁判を傍聴、裁判員裁判の判決ロールプレイ、地域おこしパンフレットの作成、企業訪問	「裁判所と司法権」 ○ 裁判を傍聴しよう 「裁判はだれでも自由に傍聴することができます。」 ①裁判所に電話をかけよう ②裁判所に行こう ③注意事項を知ろう ④裁判の記録を取ろう ○ 裁判員になって判決を考えよう 「あなたが裁判員として裁判に参加した場合、次の事例について、どのような判断を下しますか。『裁判員制度のしくみ』と『検察官と弁護人の意見』を参考にして、被告人が有罪か無罪か評議してみましょう。」

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元や資料等の配列・分量
方法	大項目ごとのページ数と単元名

	総ページ	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他
東書	253	28 ○ 現代社会と私たちの生活	50 ○ 私たちの暮らしと経済	84 ○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会	46 ○ 地球社会と私たち ○ より良い社会を目指して	45
教出	255	22 ○ 私たちの暮らしと現代社会	60 ○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して暮らせる社会	84 ○ 人間を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治	38 ○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちにできること	51
清水	229	18 ○ 私たちと現代社会	62 ○ 私たちの生活と経済	74 ○ 私たちの生活と政治	28 ○ 国際社会を生きる	47

【社会（公民的分野）】

帝国	241	28	60	74	42	37
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちと経済活動	○ 私たちと民主政治	○ 私たちと国際社会 ○ より良い社会をめざして	
日文	263	30	56	88	41	48
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治	○ 私たちと国際社会 ○ 私たちの課題	
自由社	237	36	36	70	52	43
		○ 現代の日本の自画像 ○ 個人と社会生活	○ 国民生活と経済	○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治	○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して	
育鵬社	253	34	50	78	45	46
		○ 私たちの生活と現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治	○ 私たちと国際社会の課題	

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記載状況
<b>方法</b>	発展的な学習の事例数と事例及び思考を深める問いや手立て

	事例数	事例	思考を深める問いや手立て
東書	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深めよう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝統文化の継承と私たち</li> <li>・ 共生社会と私たち</li> <li>・ アイヌ民族と先住民族の権利</li> <li>・ 東日本大震災からの復興と防災－仙台市を例に考える</li> <li>・ 公害のない社会へ－水俣市を例に考える</li> <li>・ 貿易の自由化と日本</li> <li>・ 日本のエネルギー政策のこれから</li> <li>・ パレスチナ問題と中東和平</li> </ul> </li> <li>○ 公民にチャレンジ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリーについて考えよう</li> <li>・ 私の選ぶ順番は</li> <li>・ 「公共の福祉」について考えよう</li> <li>・ プライバシーの権利と表現の自由について考えよう</li> <li>・ 多数決について考えよう</li> <li>・ 選挙シミュレーション</li> <li>・ 新聞でメディアリテラシーを身につけよう</li> <li>・ 模擬裁判をやってみよう</li> <li>・ 地方財政（歳出）の変化を調べよう</li> <li>・ 私たちの政治参加</li> <li>・ お金の使い道を考えよう</li> <li>・ 広告について考えよう</li> <li>・ 利潤の配分について考えよう</li> <li>・ 働くことについて考えよう</li> <li>・ 需要量・供給量・価格の関係について考えよう</li> <li>・ 日本の社会保障と財政の在り方を考えよう</li> <li>・ 円高・円安の影響について考えよう</li> <li>・ 温室効果ガスの排出削減について考えよう</li> <li>・ 貧困問題の解決について考えよう</li> <li>・ 文化の多様性について考えよう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統文化の継承と私たち <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ページ上部に資料を紹介する文を記載している。</li> <li>・ ページ上部に「トライ」を次のように記載している。</li> </ul> </li> <li>①身近な地域や市（区）町村などで、伝統文化の継承の取り組みを探し、次の観点から詳しく調べましょう。 [その文化の名称と内容／その文化の歴史／継承のための具体的な取り組み／継承に関わる課題とその対策]</li> <li>②調べて分かったことをクラスで発表し、伝統文化の継承が持続可能な社会の形成に果たす役割について考えましょう。</li> <li>③伝統文化の継承のために、自分たちにできることをクラスで話し合いましょ。</li> <li>○ バリアフリーについて考えよう <ul style="list-style-type: none"> <li>①右のイラストで、バリアフリーになっているところはどこか、読み取りましょう。</li> <li>②バリアフリーを実現するために私たちが気をつけるべきことはないか、右のイラストを参考にグループで話し合いましょ。</li> <li>③校内や学校周辺で、バリアフリーにすべきところを探し、校内案内図や地図などに記入しましょ。</li> </ul> </li> </ul>



【社会（公民的分野）】

<p>教 出</p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読んで深く考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・つなげたい、日本の伝統や文化</li> <li>・ともに生きる社会を旨とする人たち</li> <li>・国際社会の厳しい現実と平和主義</li> <li>・需要曲線と供給曲線ってなんだろう</li> <li>・貿易とはなんだろう</li> <li>・日本の外交のいま</li> </ul> </li> <li>○ 言葉で伝え合おう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報リテラシー」ってなんだろう ～情報の入手と活用</li> <li>・犯罪の防止か、プライバシーの保護か ～ディベート</li> <li>・もしも私が裁判員裁判に参加したら ～シミュレーション</li> <li>・まちづくりのアイデアを提言しよう ～プレゼンテーション</li> <li>・企業にこんなCSRをやってほしい ～ポスターセッション</li> <li>・福祉の課題を追究しよう ～レポートの作成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ つなげたい、日本の伝統や文化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に資料を紹介する文を記載している。</li> <li>・ページ下部に「さらに・ステップ・アップ」を次のように記載している。</li> <li>・日本の伝統や文化に関する文章を読んで感じたことを、川柳や短歌のかたちで表現しよう。</li> <li>・自分が、将来の人々へ伝えていきたいと思う「伝統や文化」には、どのようなものがあるだろうか。理由とともに 200 字以内で文章にまとめてみよう。</li> </ul> </li> <li>○ まちづくりのアイデアを提言しよう～プレゼンテーション             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に資料を紹介する文を記載している。</li> <li>・ページ下部に「さらに・ステップ・アップ」を次のように記載している。</li> <li>・自治体の方から、自分たちの「提言」に対する意見や感想を聞こう。特に内容について不十分だった点や改善案を詳しく聞いてみよう。</li> <li>・いただいた意見をもとに、提案シートを作り直し、さらに提言を整理してみよう。</li> </ul> </li> </ul>
<p>清 水</p>	<p>23</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと知りたい公民             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文化を考えてみよう</li> <li>・日本国憲法に定められた基本的人権の分類例</li> <li>・行政のしくみ/日本の内閣総理大臣とアメリカの大統領</li> <li>・刑事裁判と民事裁判</li> <li>・日本経済のあゆみ</li> <li>・TPPと日本</li> <li>・社会保障のしくみ</li> <li>・知っておきたい労働者の権利</li> <li>・かしこい消費者になろう！</li> <li>・国際連合のはたらき/地域統合のうごきと課題一連携を深めるEU</li> <li>・地球環境の危機</li> <li>・卒業論文を書いてみよう</li> </ul> </li> <li>○ 深める公民             <ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法改正について考える</li> <li>・冤罪と日本国憲法一憲法とは何か？</li> <li>・平等権について考える</li> <li>・社会権について考える</li> <li>・人権を守る心は国境をこえて</li> <li>・選挙をめぐる問題</li> <li>・裁判員制度について考える/少年事件と家庭裁判所</li> <li>・地域活性化・復興に向けた地域の取り組み</li> <li>・中小企業の大きな強み/起業に期待！</li> <li>・この株、いくら？/為替とクレジットカードのしくみ</li> <li>・核兵器廃絶に向けて</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の文化を考えてみよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に次のように記載している。</li> <li>「日本の文化は、どのようにかたちづけられ、現代を生きる私たちにどのように受け継がれているのだろうか。」</li> </ul> </li> <li>○ 地域活性化・復興に向けた地域の取り組み             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に次のように記載している。</li> <li>「いま、各地の地方公共団体で、まちおこしや村おこし、福祉や教育・まちづくりへの住民参加など、様々な試みが進んでいる。あなたの住む地域では、どのようなことに取り組んでいるだろうか。いくつかの例をみてみよう。」</li> </ul> </li> </ul>

【社会（公民的分野）】

<p>帝国</p>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ トライアル             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの騒音問題を解決しよう</li> <li>・青果店を営む男性はどうなる？</li> <li>・新聞について知ろう</li> <li>・裁判の判決を考えよう</li> <li>・自分が住むまちのまちづくりを考えよう</li> <li>・企業の企画書を完成させよう</li> <li>・赤字バス路線に税金を使うべきか？</li> </ul> </li> <li>○ 未来に向けて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災とまちづくり</li> <li>・日本経済の発展に必要なこと</li> <li>・少子高齢社会における日本の財政</li> <li>・地球環境問題の解決に向けて</li> <li>・より良い未来をめざして</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が住むまちのまちづくりを考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に「学習課題」を次のように記載している。</li> <li>「この章を通じて、地方自治の役割や地方公共団体の仕事・財政を学習してきました。ここからは、自分が住むまちをより良くするために、どのようなまちづくりが必要かを考えていきましょう。」</li> </ul> </li> <li>○ 地球環境問題の解決に向けて             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に「学習課題」を次のように記載している。</li> <li>「この章では、地球環境問題の現状と、その解決に向けたさまざまな取り組みについて学習してきました。ここでは、私たちの身近な地方公共団体がどのような取り組みをしているのか、「環境モデル都市」の事例を通してみてみましょう。」</li> <li>・ページ下部に「深めよう」を次のように記載している。</li> <li>「あなたの住む地方公共団体が重視している、環境への取り組みを調べてみましょう。」</li> </ul> </li> </ul>
<p>日文</p>	<p>30</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アクティビティ             <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口ピラミッドの変化</li> <li>・きまりについて考えてみよう</li> <li>・多数決で決めてよいことと悪いこと</li> <li>・ユニバーサルデザインを考えてみよう</li> <li>・人間らしく生きるために必要なものは？</li> <li>・携帯電話のルールづくり</li> <li>・選挙制度</li> <li>・新聞を活用しよう</li> <li>・地域の名物を見つけよう！</li> <li>・あなたのまちの財政を調べよう</li> <li>・ディベート「死刑制度」</li> <li>・消費者主権を考えよう</li> <li>・需要と供給について考えよう</li> <li>・株価の動きを調べよう</li> <li>・株式投資をしてみよう</li> <li>・給与明細を読み取ろう</li> <li>・ボランティア活動をしよう</li> <li>・地球環境のためにできること</li> </ul> </li> <li>○ 明日に向かって             <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーの社会をめざして</li> <li>・15歳は「子ども」？それとも「大人」？</li> <li>・環境保全への取り組み</li> <li>・裁判員裁判シミュレーション</li> <li>・15歳のハローワーク</li> <li>・金融スキルアップ</li> <li>・年金シミュレーション</li> <li>・私たちと社会のつながり</li> </ul> </li> <li>○ チャレンジ公民             <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の自由について考えよう</li> <li>・一票の格差の問題を考える</li> <li>・これからの消費税を考えよう</li> <li>・地球温暖化に対する政策を考えよう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の名物を見つけよう！             <ul style="list-style-type: none"> <li>・囲み枠の右下に次のように記載している。</li> <li>①地理や歴史の学習もふまえて、自分たちはどのような地域に住んでいるかを考えましょう。</li> <li>②グループで地域の名物やまちおこしについて話し合ってみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ バリアフリーの社会をめざして             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に次のように記載している。</li> <li>「バリアフリーが実現された社会は、障がいのある人や高齢者だけでなく、日本に住む外国人や、病気やけがをしている人たちにとっても、安全で安心して生活していくのに重要です。すべての人にとっても、障壁（バリア）のない社会は、くらしやすいはずですよ。私たちのまちには、どのようなバリアフリーの施設があるのか、また、どのような点がバリアフリーなのかを調べてみましょう。」</li> </ul> </li> <li>○ これからの消費税を考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>—議論—</li> </ul> </li> </ul>

【社会（公民的分野）】

自由社	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと知りたい             <ul style="list-style-type: none"> <li>・科学とは何だろう</li> <li>・芸術とは何だろう</li> <li>・宗教とは何だろう</li> <li>・男女共同参画社会を考えよう</li> <li>・基本的人権思想の発展</li> <li>・立憲主義を受け入れやすかった日本の政治文化</li> <li>・天皇のお仕事</li> <li>・権利の平等に関する問題</li> <li>・新しい権利</li> <li>・わが国の安全保障の課題</li> <li>・選挙制度と政治参加</li> <li>・情報化とは何だろう</li> <li>・裁判員制度</li> <li>・企業はだれのものか</li> <li>・年金について考えてみよう</li> <li>・国旗と国歌を考えてみよう</li> <li>・わが国の領土に関する問題</li> <li>・冷戦下の国連の苦難</li> <li>・国連改革とわが国の取り組み</li> <li>・日本人拉致問題</li> <li>・国連平和協力活動への取り組み</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女共同参画社会を考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ上部に次のように記載している。</li> <li>「男女が、互いにその人格を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、一人ひとり平等な人間として、その個性と能力を十分に発揮する社会が求められている。」</li> </ul> </li> </ul>
育鵬社	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ やってみよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族が生きてきた時代を調べよう</li> <li>・身近な祭りを調べてみよう</li> <li>・新聞の社説を比べてみよう</li> <li>・裁判員になって判決を考えよう</li> <li>・観光資源を探そう</li> <li>・企業を訪問してみよう</li> </ul> </li> <li>○ 考えよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の平等と家族の価値</li> <li>・人は何のために働くのか</li> <li>・地球環境問題と日本</li> <li>・1964年と2020年 東京オリンピック・パラリンピックの時代</li> </ul> </li> <li>○ 理解を深めよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統文化</li> <li>・「ともに生きる」ためにできること</li> <li>・人種差別をなくすために</li> <li>・世界の人権問題</li> <li>・企業の社会貢献</li> <li>・領土を取り戻す、守るということ</li> <li>・北朝鮮による日本人拉致事件</li> <li>・東日本大震災一国民の絆、世界の絆</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族が生きてきた時代を調べよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族にインタビューで、問いを記載している。</li> <li>①祖父母や父母からそれぞれの時代のようすを聞き取り、今と比べたり、社会の動きとの関連を考えましょう。</li> <li>②祖父母や父母に、家庭に電化製品が入ってきたころの話聞いてみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 地球環境問題と日本             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しで、「日本の地球環境問題への取り組みについて調べてみましょう。」と記載している。</li> </ul> </li> <li>○ 人種差別をなくすために             <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しで、「キング牧師やマンデラについて調べてみよう。」と記載している。</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
<b>方法</b>	資料の種類と掲載数

	「私たちと政治」における資料の種類と掲載数						合計
	絵 図	写 真	地 図	表・グラフ	新 聞	年 表	
東書	81	100	4	60	12	3	260
教出	63	102	4	61	7	4	241
清水	32	69	3	24	3	1	132

【社会（公民的分野）】

帝国	71	83	1	49	13	0	217
日文	98	95	6	51	17	4	271
自由社	43	58	1	19	0	0	121
育鵬社	90	91	2	33	19	1	236

観点	(エ) 内容の表現・表記	
	視点	⑩本文以外の記述の工夫
	方法	問いやまとめの記載の仕方

	単元名	問いの記載の仕方	まとめの記載の仕方
東書	政治参加と選挙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターによる吹き出しで、「現在の選挙はどのように行われているのかな。」と記載している。</li> <li>○ ためしてみようで「3枚の写真を比較して、現在の選挙にはどのような特徴があるか、気づいた点を挙げましょう。」と記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「確認」のコーナーを設けている。</li> <li>・普通選挙，平等選挙，直接選挙，秘密選挙の四つの原則はどうして重要か，このうちの二つを選んで，「公正」の観点から説明しましょう。</li> </ul>
教出	国民の代表を選ぶ選挙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターによる吹き出しで、「投票所には，どんな人がいるのかな」と記載している。</li> <li>○ 読み解こうで次のように記載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①一票の格差は，最大で何倍の差があるだろう。</li> <li>②一票の格差があることは，どうして問題なのだろうか。</li> <li>③このような格差を解消していくには，どうしたらよいだろうか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ふりかえる」というコーナーに，ステップ1，ステップ2を設けている。</li> <li>ステップ1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主的な選挙を実現するにはどのような条件が必要か，確かめよう。</li> </ul> </li> <li>ステップ2 <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙の課題にはどのようなものがあり，何が問題なのか，自分の言葉で説明しよう。</li> </ul> </li> </ul>
清水	選挙のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターによる吹き出しで，「いまでは普通選挙が当たり前のことのように思えるけど，財産や性別によって選挙権が制限されていた時代もあったのかしら？」と記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「調査」というコーナーを設けている。</li> <li>○ 他の単元では，考えたり，話し合ったり，調べたりするための視点を示す「調査」というコーナーを設けている。</li> </ul>
帝国	選挙制度とその課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ?マークの横に「議員1人あたりの有権者数に差があることは何が問題なのでしょう。」と記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「確認しよう」「説明しよう」というコーナーを設けている。</li> <li>&lt;確認しよう&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・衆議院と参議院の選挙はそれぞれどのような制度で行われているか，本文から書き出してみましょう。</li> </ul> </li> <li>&lt;説明しよう&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・衆議院と参議院の選挙がともに選挙区と比例代表を組み合わせているのはどのような理由からなのか，説明してみましょう。</li> </ul> </li> </ul>

【社会（公民的分野）】

日文	選挙の意義としくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターによる吹き出しで、「投票に多くの人がかかわるのはなぜだろうか。」と記載している。</li> <li>○ アクティビティで次のように記載している。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①もし当選者が4人なら、次に当選者が出るのはどの政党だろうか。</li> <li>②それぞれの選挙制度の死票（落選者に投票された票）は何票だろうか。</li> <li>③日本の選挙制度の特徴と課題についてグループで話し合おう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習の確認と活用」というコーナーを設けている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;確認&gt;</li> <li>・公平な選挙を行うのに必要なことをまとめてみよう。</li> <li>&lt;活用&gt;</li> <li>・それぞれの選挙区制の特徴を整理し、長所と短所をまとめよう。</li> </ul> </li> </ul>
自由社	選挙による政治への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題を記載している。他の單元では、吹き出しによる問いを記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ここがポイント」というコーナーを設けている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①選挙権・被選挙権は、法で定めた年齢に達したすべての国民に与えられている。</li> <li>②選挙の種類によって選挙区制度は異なる。</li> <li>③選挙権を実質的に保障し、民主政治の空洞化を防ぐための工夫はさまざまになされている。</li> </ul> </li> </ul>
育鵬社	選挙のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターによる吹き出しで、「どのように投票すればいいのかな。」と記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容の理解を確認したり、深めたりする課題が設けられている。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本がかつて行われていた制限選挙が、現在ではどのような選挙に改められているか、四つの原則をあげて説明しましょう。</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	①多面的・多角的に考察させるための工夫
<b>方法</b>	多面的・多角的に考察させる具体例

多面的・多角的に考察させる具体例	
<b>東 書</b>	<p>「地球社会と私たち」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「バター戦争」 現在も地球上のどこかで、戦争や紛争が起こっています。戦争や紛争はどうすればなくなるのでしょうか。右の物語を読んで考えてみましょう。</li> <li>○ 「アニマル大陸の危機を救おう」 地球社会で起きるさまざまな課題に、私たちはどのように向き合えばよいのでしょうか。これまで国際社会について学習してきたことを生かして、ある動物たちの暮らす大陸の課題を例に考えてみましょう。</li> <li>○ 深めよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のエネルギー政策のこれから これからの日本のエネルギー政策はどうあるべきか、地理、歴史の学習もふまえて自分の考えをまとめ、グループで話し合います。その際、(1)日本のエネルギー事情、(2)日本経済への影響、(3)環境への配慮、(4)生活の便利さと安全、(5)持続可能な社会の形成の五つの観点をできるだけふまえます。</li> <li>・パレスチナ問題と中東和平                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①パレスチナ問題の経緯を、(1)紀元前から第一次世界大戦まで、(2)第一次世界大戦から第二次世界大戦まで、(3)第二次世界大戦から現在までの三つの時期でまとめましょう。</li> <li>②どうすればパレスチナ問題は解決するか、クラスで意見交換しましょう。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<b>教 出</b>	<p>「国際社会に生きる私たち」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読んで深く考えよう 「日本の外交のいま」             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の外交は、現在、どのような課題に直面しているのでしょうか。近隣諸国と、そして世界各国と「ともに生きる」ために、日本の外交の過去と現在を学び、将来について考えてみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 読み解こう 「三つの観点からみた二酸化炭素の排出量」             <ul style="list-style-type: none"> <li>①アのグラフからは、誰のどのような主張が考えられるだろうか。</li> <li>②イウのグラフからは、誰のどのような主張が考えられるだろうか。</li> <li>③三つのグラフ全体からは、どのようなことがいえるだろうか。</li> </ul> </li> </ul>

【社会（公民的分野）】

清 水	<p>「国際社会を生きる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 深める公民 「核兵器廃絶に向けて」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生がおこなった次の二つの取り組みから、核兵器廃絶に向けて、私たちにできることは何かを考えてみよう。</li> </ul> </li> <li>○ もっと知りたい公民 <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州連合（EU）は、ヒト、モノ、サービス、資本の移動を自由にし、経済の結びつきを強め、政治的にも一つにまとまろうとしている。EUの国々にはどのようにつながりを深めているのだろうか。</li> <li>・地球の温暖化が進むと、気温の上昇にともなって、自然環境や人々の生活にさまざまな影響があらわれることが予想されている。地球温暖化が進むと、世界はどう変化していくのだろうか？</li> </ul> </li> </ul>
帝 国	<p>「私たちと国際社会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ やってみよう 「世界の子どもたちと協力できることを考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・下の写真は私たちと同じ世代である世界の子どもたちが、現在直面している課題を示したものです。</li> <li>①写真と地図を見比べてみましょう。写真のできごととはどのような場所で起きているのか、関連を考えてみましょう。</li> <li>②気になる写真を二つ選んで、それらについて、世界をより良くしていくために、子どもたちといっしょにどのようなことをしていくべきか考えてみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 未来に向けて 「地球環境問題の解決に向けて」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・この章では、地球環境問題の現状と、その解決に向けたさまざまな取り組みについて学習してきました。ここでは、私たちの身近な地方公共団体がどのような取り組みをしているのか、「環境モデル都市」の事例を通して見てみましょう。</li> </ul> </li> </ul>
日 文	<p>「私たちと国際社会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際ナビ <ul style="list-style-type: none"> <li>・まんがから国際社会を考えよう</li> </ul> </li> <li>○ アクティビティ 「地球環境のためにできること」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちは消費者として企業の商品を選択することが、社会に大きな影響をあたえることを学びました。こうした一人一人の行動の積み重ねが、地球環境問題にも大きな影響をあたえます。</li> <li>①⑧の例のほかに、私たちができることは何だろうか。</li> <li>②二酸化炭素を削減するための取り組みを考えよう。</li> </ul> </li> <li>○ チャレンジ公民 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化に対する政策を考えよう</li> </ul> </li> </ul>
自 由 社	<p>「国際社会に生きる日本」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと知りたい <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちにとって日本の国旗や国歌は、どのような意味をもっているのだろうか。また外国では、国旗や国歌はどのようにあつかわれているのだろうか。</li> <li>・わが国の2つの重大な領土問題と尖閣諸島に対する他国による領有権の主張は、どのようないきさつで起こったのだろうか。詳しく調べてみよう。</li> <li>・21世紀の現在、国際連合にはどのような改革が求められ、その改革にわが国はどのようにかわろうとしているのだろうか。</li> <li>・北朝鮮は、なぜ日本人を拉致したのであろうか。この重大な人権侵害と国家主権侵害を、日本はなぜ防げなかったのであろうか。</li> <li>・わが国は、国際平和にどのように貢献しているのだろうか。PKOやそのほかの活動もみてみよう。</li> </ul> </li> </ul>
育 鵬 社	<p>「私たちと国際社会の課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際社会の入り口 <ul style="list-style-type: none"> <li>・海を隔ててA国とB国があります。あなたはA国の外交官として、隣のB国との間の課題を解決したいと考えています。A国とB国との間には以下の六つの課題があります。どれも大切な課題です。あなたなら、どの課題から優先的に取り組みますか。</li> </ul> </li> <li>○ 理解を深めよう 「領土を取り戻す、守るということ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・尖閣諸島をめぐる出来事について、新聞記事などを調べ、領土を守るにはどうすればいいか、それぞれの立場で自分の考えを80字以内でまとめ、発表し合ひましょう。</li> <li>・この記事を読み、拉致問題について知ったこと、それに対する自分の考えを、理由を含め80字以内で書き、発表し合ひましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 考えよう <p>2020（平成32）年にオリンピック・パラリンピックが東京で開かれることになりました。東京での開催は、高度経済成長期の1964（昭和39）年以来56年ぶりです。</p> <p>そこで、1964年のオリンピック・パラリンピックのことや、当時の世の中の様子を調べて、現在や2020年と比べてみましょう。</p> </li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	単元末におけるまとめ方の具体例

単元末におけるまとめ方の具体例	
東 書	<p>「私たちの暮らしと経済」</p> <p>○ この章の学習を確認しよう</p> <p>3 この章の各節の学習に関する次の問いに答えましょう。</p> <p>(1) 【消費生活と経済】 より良い消費生活を営むために私たちが気をつけるべきことは何か、次の語句を使って説明しましょう。[計画性/消費者問題/消費者の権利/自立した消費者]</p> <p>(2) 【生産と労働】 企業の役割について、次の語句を使って説明しましょう。[財やサービス/技術革新/企業の社会的責任/労働条件]</p> <p>(3) 【価格の働きと金融】 金融の役割について、上の図を参考にして、次の文のそれぞれの空欄に語句を当てはめて説明しましょう。「金融は、企業や家計、政府の間で（ ）を（ ）し、その経済活動を（ ）仕組みです。」</p> <p>(4) 【政府の役割と国民の福祉】 日本の財政は今後、どのような方向を目指していくべきか、上の図を参考にして、自分の考えを「（ ）な財政」というキャッチコピーで分かりやすく表現しましょう。</p> <p>(5) 【これからの経済と社会】 これからの日本経済はどうあるべきか、次からテーマを一つ選び、自分の考えを文章で説明しましょう。[①環境保全と経済成長の両立 ②経済のグローバル化と日本 ③「豊かな社会」の実現]</p>
教 出	<p>「私たちの暮らしと経済」</p> <p>○ 学習のまとめと表現</p> <p>2 なぜ、企業と企業は競争する必要があるのだろうか。また、公正で自由な競争を守るために、国はどのような取り組みを行っているか、自分の言葉で説明してみよう。</p> <p>3 下の飲料のイラストのパッケージ表示を見ながら、消費者、企業、政府の責任について考えてみよう。</p> <p>(1) パッケージの表示にはどのような決まりがあるか、調べてみよう。</p> <p>(2) なぜこのような決まりがあるのか、消費者、企業、政府のそれぞれの立場から考え、クラスで話し合ってみよう。</p> <p>4 下の写真に関する問いについて、右のグラフを活用しながら説明してみよう。</p> <p>(1) 台風などの天候による影響でりんごが不作だったとき、りんごの供給曲線はどのように移動するだろうか、グラフをもとに考えてみよう。</p> <p>(2) 社会全体のりんごに対する需要が変わらなかつたら、そのときのりんごの価格はどうなるだろうか。</p> <p>(3) p 126 の「とれすぎたキャベツの廃棄処分」の事例について、需要曲線と供給曲線の関係から説明してみよう。</p>
清 水	<p>「私たちの生活と経済」</p> <p>○ 「私たちの生活と経済」のまとめ</p> <p>①次のことばについて説明しよう。</p> <p>貨幣 通貨 公共料金 物価 インフレーション デフレーション 資本主義経済 私企業 公企業 寡占 公正取引委員会 間接金融 直接金融 貿易 為替相場 財政 社会資本 累進課税制度 国債 ワークライフバランス 労働組合 クーリングオフ制度 循環型社会 3R</p>
帝 国	<p>「私たちと経済活動」</p> <p>○ 学習をふりかえろう</p> <p>2 説明しよう</p> <p>A 右のグラフは、女性の労働力率を示したものです。次の問いに答えましょう。</p> <p>①日本、スウェーデン、アメリカ、ドイツのなかで25歳以上の女性の労働力率が最も高い国はどこでしょうか。</p> <p>②1985年と2008年の日本のグラフを比較して、読み取れることを説明してみよう。</p> <p>③②で読み取ったことの原因として考えられることがらを説明してみよう。</p> <p>B 右のグラフは、日本とおもな国の賃金の差を示したものです。次の問いに答えましょう。</p> <p>①グラフ中の7か国のうち、最も賃金が低い国と日本との差は、およそ何倍になるでしょうか。</p> <p>②このように賃金に差がある状態が続いたとき、今後日本で起きると予想されることがらを説明してみよう。</p>

【社会（公民的分野）】

日 文	<p>「私たちの生活と経済」</p> <p>○ 学習の整理と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連ページのふり返し             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 P131の需要曲線と供給曲線の図をノートに写し、なぜ農産物の値段が上がるのか、図を使って説明しよう。</li> <li>2 生産要素を四つ書き出してみよう。そして、よく売れている店とそうでない店に、どのようなちがいがあのかを、生産要素に分解して考えてみよう。</li> <li>3 企業の終身雇用と年功序列について説明しよう。近年、企業が導入している成果主義がこれらにどのような影響をあたえているか確かめよう。</li> <li>4 銀行が利益をあげるしくみを、預金金利と住宅ローン金利のちがいから説明してみよう。</li> <li>5 政府の役割を三つ書き出してみよう。そして、それぞれについて、なぜ民間（家計と企業）では行わないかを説明してみよう。</li> <li>6 なぜ増税を行うと、景気の過熱を防ぐのかを説明してみよう。</li> </ol> </li> <li>・ 合意を考えるための問題             <p>財政赤字になやむ地方自治体では、赤字の路線バスを廃止することを考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 住民A「買い物や病院に行くのに、特に高齢者にとって、路線バスは必要です。」</li> <li>◇ 住民B「知らない地域のことでよくわかりませんが、そんなに赤字なら廃止してはどうですか。」</li> <li>◇ 地方公共団体「赤字は市の財政に悪影響があります。乗車の効率が悪く住民にとっても公正ではありません。」</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①なぜ、地方公共団体は税金を使ってバスを運行しているのか、「市場経済」の語句を使って答えましよう。</li> <li>②路線バス存続派の立場から、廃止派の人々を説得する主張を考えましよう。</li> <li>③地方自治体から、路線バスの民営化の提案がありました。あなたはどのような判断を下しますか。</li> <li>④路線バスの存続のために、廃止派の人とも合意できるとする内容と、そう判断した理由を考えましよう。</li> </ol> </li> </ul>
自 由 社	<p>「国民生活と経済」</p> <p>○ 学習のまとめと発展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の発展             <p>第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つ選んで、約400字でまとめてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。</li> <li>②新しく開発された商品は経済生活を豊かにする。同時に社会に悪い影響を与えることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。</li> <li>③市場経済では、商品を売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。</li> <li>④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢化社会の中で、年金制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどのようなものがあるか、いろいろ考えてみよう。</li> <li>⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか、考えてみよう。</li> </ol> </li> </ul>
育 鵬 社	<p>「私たちの生活と経済」</p> <p>○ 学習のまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>②下のイラストは、円高のときと円安のときの、日本に旅行に来ている外国人と、外国へ旅行に行っている日本人のようすをそれぞれ表したものです。ふきだしの（ ）の中に適当な数字を入れ、[ ]の部分には、その状況にふさわしい言葉を入れましよう。</li> <li>③サラリーマンをしているAさんは、政府の政策に対して不満をもっていました。年金制度が改正され、国民年金と厚生年金の保険料が段階的に引き上げられたり、消費税も増税されたりしているからです。あるとき、Aさんは下のような図を目にしました。図は高齢者一人に対する生産年齢人口（15歳～64歳）の変化を示したものです。これを見たAさんは、保険料や消費税の引き上げはやむを得ないと思いました。Aさんはなぜ不満をもっていたのでしょうか。そして、どうして考えが変わったのでしょうか。説明ましよう。</li> </ol>



地 図
-----

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
2	東 書	新編 新しい社会 地図
46	帝 国	中学校社会科地図

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観点	視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫 地図の見方の記載とその内容
		②	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫 環境・国際理解等の学習への活用
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫 興味・関心を高めるための記載内容
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 課題を追究するための資料の構成
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	題材や資料等の配列 内容の構成と配列及びページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑦	学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い 地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方
(オ)	言語活動の充実	⑧	観察・調査や各種資料の活用の工夫 地図を活用した調べ方の事例
		⑨	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫 地図を活用した表現の記載の仕方と具体例

【地図】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>	
	<b>視点</b>	①題材や活動の取扱い・説明の仕方の工夫
	<b>方法</b>	地図の見方の記載とその内容

地図の見方の記載とその内容	
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。巻末ページの「地形図の比較」で地図記号を記載している。</li> <li>○ 「この地図帳の活用方法」を巻頭に設けて、この地図帳の使い方を記載している。</li> <li>○ 地域の特徴的な「注目したい記号」を記載している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭ページに「この地図帳の記号凡例」を記載し、「国土地理院の地形図を読みとろう」で「地形図の主な記号」を記載している。それ以外の記号は「特別凡例」として、該当ページごとに記載している。</li> <li>○ 「この地図帳の使い方」を巻頭に設けて、この地図帳の使い方を記載している。</li> <li>○ 地図を見る上での着眼点を示した「地図を見る目」を記載している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>	
	<b>視点</b>	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
	<b>方法</b>	国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例

	国土の地理的環境の例	歴史的事象の例
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の周辺」で近隣諸国を含む地理的環境を記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の「資料さくいん」に歴史の項目がある。</li> <li>○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「原子爆弾投下時の広島市」</li> <li>・「江戸時代（17世紀末ごろ）の大阪」</li> <li>・「京都市の主な文化財と観光地」</li> <li>・「奈良市の主な文化財と観光地」</li> <li>・「京町家」</li> <li>・「神戸市の旧外国人居留地」</li> <li>・「アイヌ語に由来する地名」</li> </ul> </li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本の位置とまわりの国々」で近隣諸国を含む地理的環境を記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「長崎市」</li> <li>・「広島市付近」</li> <li>・「京都・奈良」</li> <li>・「元禄年間の大阪」</li> <li>・「明日香村周辺」</li> <li>・「京都市中心部」</li> <li>・「斑鳩」</li> <li>・「奈良市中心部」</li> <li>・「街道の昔と今」</li> <li>・「東海道を東へ西へ」</li> <li>・「世界遺産 富士山」</li> <li>・「江戸」</li> <li>・「開拓の歴史とアイヌ語地名」</li> <li>・「日本とロシア・ソ連の国境の変遷」</li> </ul> </li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<b>方法</b>	環境・国際理解等の学習への活用

	環境学習への活用	国際理解等の学習への活用
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の環境①, 世界の環境②を掲載している。</li> <li>○ 日本の自然環境（災害・環境問題）を掲載している。</li> <li>○ 巻末の「資料さくいん」に、「環境, 防災・安全」の項目がある。</li> <li>○ 「環境, 防災・安全」の項目で掲載している資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「世界の植生と世界自然遺産」</li> <li>・「さまざまな環境問題」</li> <li>・「世界の二酸化炭素排出量」</li> <li>・「日本によるODA（政府開発援助）－JICA（国際協力機構）の環境保全の取り組み－」</li> <li>・「アマゾン川流域の開発と熱帯林伐採」</li> <li>・「台風や土砂災害の被害を受けやすい地域」</li> <li>・「九州地方の火山と温泉・地熱発電所」</li> <li>・「水俣病の市町村ごとの認定患者数」</li> <li>・「環境都市を目指す北九州市」</li> <li>・「東北地方の冷害と各県の銘柄米の生産」</li> <li>・「東日本大震災による被害」</li> <li>・「北海道の地形と自然災害」</li> <li>・「火山と地震の分布」</li> <li>・「日本の主な気象災害」</li> <li>・「ハザードマップの例」</li> <li>・「東日本大震災の地震と津波」</li> <li>・「日本の高度経済成長期の公害」</li> <li>・「日本の国立公園・ラムサール条約登録湿地・ジオパーク」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国旗を各地域の一般図に掲載している。</li> <li>○ 巻末の「資料さくいん」に「結び付き」の項目がある。</li> <li>○ 「結び付き」に掲載されている資料の内、日本と世界の結び付きに関する資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本と韓国の航空路とフェリーの航路」</li> <li>・「日本の品目別輸入先」</li> <li>・「NAFTA（北アメリカ自由貿易協定）の結び付き」</li> <li>・「オーストラリアの輸出相手国の変化」</li> <li>・「オーストラリアへの旅行者の変化」</li> <li>・「世界との結び付き」</li> <li>・「日本の輸入」</li> <li>・「日本の輸出」</li> <li>・「日本の貿易」</li> <li>・「日本－ヨーロッパ間の所要時間とルートの変化」</li> <li>・「世界の航空路」</li> <li>・「世界のインターネットの利用率」</li> <li>・「日本の在留外国人数」</li> <li>・「世界の観光」</li> <li>・「世界の国々の結び付き」</li> </ul> </li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の環境問題を掲載している。</li> <li>○ 日本の地形と守りたい自然環境を掲載している。</li> <li>○ 日本の災害と防災を掲載している。</li> <li>○ 環境問題の資料を表わす「環境」という表記がある。</li> <li>○ 「環境」に掲載されている資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大気汚染」</li> <li>・「森林の変化」</li> <li>・「サウジアラビアの砂漠の農地化」</li> <li>・「アマゾン盆地（ブラジル）の森林の減少」</li> <li>・「琵琶湖の水利用, 琵琶湖の透明度の変化」</li> <li>・「藤前干潟の環境保護」</li> <li>・「ヒートアイランド現象の広がり」</li> <li>・「白神山地の自然保護」</li> <li>・「釧路湿原」</li> </ul> </li> <li>○ 防災に関する資料を表す「防災」という表記がある。</li> <li>○ 「防災」に掲載されている資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「神戸市付近のようす」</li> <li>・「洪水への備え」</li> <li>・「都市型洪水へのそなえ」</li> <li>・「震災からの復興のようす」</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界の国旗を各地域の一般図に掲載している。</li> <li>○ 日本との結び付きを示す資料がある。</li> <li>○ 「日本との結びつき」に掲載されている資料               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「経済の結びつき」</li> <li>・「現代のさまざまな結びつき」</li> <li>・「おもな産物・製品の日本への輸出国」</li> <li>・「南アジアのおもな国の日本への輸出」「インドに進出した日本企業」</li> <li>・「西アジア諸国の原油の輸出先」</li> <li>・「おもな国の日本への輸出」</li> <li>・「日本がヨーロッパから輸入する商品」</li> <li>・「極東ロシアの資源と貿易」</li> <li>・「人の行き来」「貿易」「日本の工場の進出」</li> <li>・「日本からの移民」</li> <li>・「旅行者数の変化」</li> </ul> </li> </ul>

【地図】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>	
	<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
	<b>方法</b>	興味・関心を高めるための記載内容

興味・関心を高めるための記載内容	
<b>東書</b>	○ 資料についての理解を促し，考察を深められるように読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを記載している。
<b>帝国</b>	○ 地図活用のスキルが身につくよう，また，地図への着眼点が理解できるように，地図を見る上での着眼点を示した「地図をみる目」，地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」を記載している。

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>	
	<b>視点</b>	⑤課題の設定，整理・分析，振り返りを展開するための構成上の工夫
	<b>方法</b>	課題を追究するための資料の構成

課題を追究するための資料の構成		
<b>東書</b>	○ 世界では州ごと，日本では地方ごとに，一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。	中国・四国地方 中国・四国地方の基本資料 ①中国・四国地方の自然環境 ②中国・四国地方の降水量 ③中国・四国地方の人口密度 ④中国・四国地方の工業 ⑤中国・四国地方の農業 中国・四国地方のテーマ資料 ①中国・四国地方の老年人口の割合 ②原子爆弾投下時の広島市 ③高速道路や橋の変化
	○ 世界では州ごと，日本では地方ごとに，基本図の次に資料図を掲載している。	中国・四国地方 中国・四国地方の資料図 ①中国・四国地方の自然・産業・暮らし ②広島市付近 ③地域によって異なる中国・四国地方の農業 ④中国・四国地方の工業 ⑤中国・四国地方の交通の変化 ⑥鳥取砂丘 ⑦八幡浜市のみかん栽培 ⑧高知平野の野菜栽培
<b>帝国</b>		

【地図】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥ 題材や資料等の配列
方法	内容の構成と配列及びページ数

	構成	配列	ページ数
東 書	○ A B判(タテがB 5判, ヨコがA 4判 サイズ)  ○ 世界, 日本, 統計, さくいんに分類し, インデックスで色分けしている。	① 世界の資料図 世界の地形, 世界の気候, 世界の環境①, 世界の環境②, 世界の生活・文化①, 世界の生活・文化②	12
		② 世界の諸地域	54
		③ 日本の諸地域	58
		④ 日本の資料図 日本の自然環境(地形), 日本の自然環境(気候) 日本の自然環境(災害・環境問題), 世界と日本の人口, 世界と日本の資源・エネルギー①, 世界と日本の資源・エネルギー②, 世界の農林水産業, 日本の農林水産業, 日本の工業, 世界の工業, 世界と日本の貿易, 世界と日本の交通・通信網, 世界と日本の結び付き, 日本の生活と文化, 世界の文化	25
		⑤ 統計	10
		⑥ さくいん	13
		⑦ 巻頭・巻末 ○ 巻頭 世界全図, この地図帳の地図記号, この地図帳の活用方法 ○ 巻末 都道府県の産品と名所・お国自慢など, 地形図の比較, 日本の周辺, 旧国名, 都道府県の区分	11
		総ページ数	183
帝 国	○ A B判(タテがB 5判, ヨコがA 4判 サイズ)  ○ 使い方・資料図, 世界, 日本, 統計, さくいんで分類し, インデックスで色分けしている。	① 使い方・資料図 ○ 使い方 この地図帳の記号凡例, この地図帳の使い方 地図帳の構成—オーストラリアを例に—, 地域の特色をとらえるポイント—北陸の3県を例に—, 国土地理院の地形図を読みとろう ○ 世界の資料図 世界の地形, 世界の気候, 世界の環境問題, 世界の生活・文化(1), 世界の生活・文化(2)	15
		② 世界の諸地域	56
		③ 日本の諸地域	64
		④ 日本の資料図 日本の地形と守りたい自然環境, 日本の気候, 日本の災害と防災, 世界と日本の人口, 世界と日本の資源・エネルギー, 日本の工業, 世界と日本の農業・水産業, 世界と日本の交通・通信網, 日本の生活・文化	17
		⑤ 統計	9
		⑥ さくいん	9
		⑦ 巻頭・巻末 ○ 巻頭 世界の国々 ○ 巻末 昔の国名と国境, 都道府県, 日本の位置とまわりの国々, 領土・領海・領空の範囲(模式図), おもな国の排他的経済水域の面積, 日本の東西南北端	6
		総ページ数	176

【地図】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑦学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
方法	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方

	地図の種類と縮尺		資料等の活用方法の示し方
東書	世界全図	○ 赤道上の距離を示している。	○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。
	広域地図, 大陸地図	○ 3500 万分の 1 ~6000 万分の 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユーラシア・オーストラリア・北極圏 (4500 万分の 1)</li> <li>・ヨーロッパ・アフリカ (3500 万分の 1)</li> <li>・環大西洋 (6000 万分の 1)</li> <li>・南北アメリカ (4500 万分の 1)</li> <li>・環太平洋, 環インド洋 (6000 万分の 1)</li> </ul>	
	各州地図	○ 1500 万分の 1 ~4500 万分の 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジア (1600 万分の 1)</li> <li>・東南アジア・南アジア (2500 万分の 1)</li> <li>・西アジア・環地中海 (2000 万分の 1)</li> <li>・ヨーロッパ (1600 万分の 1)</li> <li>・ロシア連邦 (2200 万分の 1)</li> <li>・アメリカ合衆国 (1500 万分の 1)</li> <li>・南アメリカ州 (3000 万分の 1)</li> <li>・オーストラリア・ニュージーランド (2000 万分の 1)</li> </ul>	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ中央 (900 万分の 1)</li> <li>・朝鮮半島 (500 万分の 1)</li> <li>・イスラエル周辺 (300 万分の 1)</li> </ul>	
	日本全体	○ 550 万分の 1	
	日本の各地方地図	○ 100 万分の 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方, 中国地方, 四国地方, 近畿地方, 中部地方, 関東地方, 東北地方</li> <li>・北海道地方南部, 北海道地方北部 (北海道地方は 200 万分の 1)</li> </ul>	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄島</li> <li>・福岡県とその周り</li> <li>・広島市・岡山市周辺</li> <li>・大阪府とその周り</li> <li>・愛知県とその周り</li> <li>・東京都とその周り</li> <li>・仙台市とその周り</li> <li>・札幌市周辺</li> </ul>	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南西諸島 (550 万分の 1)</li> </ul>	

【地図】

帝 国	世界全図	○ 11600 万分の 1, 赤道上の長さを示している。	○ 地図活用の技能が身につくように「地図を見る目」や「やってみよう」を掲載している。
	広域地図, 大陸地図	○ 3500 万分の 1~6000 万分の 1 ・アジア州 (4200 万分の 1) ・アフリカ州 (3500 万分の 1) ・南北アメリカ (4500 万分の 1) ・大西洋 (6000 万分の 1) ・太平洋・インド洋 (6000 万分の 1)	
	各州地図	○ 1600 万分の 1~3000 万分の 1 ・東アジア (1600 万分の 1) ・東南アジア (2000 万分の 1) ・南・西・中央アジア (2000 万分の 1) ・ヨーロッパ (1600 万分の 1) ・ロシア連邦とまわりの国々 (2200 万分の 1) ・アメリカ合衆国 (1600 万分の 1) ・南アメリカ (3000 万分の 1) ・オーストラリア・ニュージーランド (2000 万分の 1)	
	その他	・ヨーロッパ中央部 (800 万分の 1) ・朝鮮半島 (300 万分の 1) ・イスラエル・パレスチナ (250 万分の 1)	
	日本列島	○ 400 万分の 1	
	日本の各地方地図	○ 100 万分の 1 ・九州地方, 中国地方, 四国地方, 近畿地方, 中部地方, 関東地方, 東北地方 ・北海道地方南部, 北海道地方北部 (北海道地方は 200 万分の 1)	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1 ・沖縄島 ・九州地方北部 ・広島市周辺 ・香川県 ・大阪府とそのまわり ・愛知県とそのまわり ・東京都とそのまわり ・仙台市とそのまわり	
	その他	・南西諸島 (400 万分の 1)	

【地図】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑧観察・調査や各種資料の活用の工夫
<b>方法</b>	地図を活用した調べ方の事例

地図を活用した調べ方の事例	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーロッパを例にして「この地図帳の活用方法」を巻頭に記載している。</li> <li>・一般図を記載し、国旗、ページ番号・インデックス、位置図、タイトル、さくいん記号等についての解説を記載している。</li> <li>・「ヨーロッパ州の基本資料」「テーマ資料」(EU加盟国の拡大、ヨーロッパの自動車工場の分布)を記載し、それぞれの資料についての解説を記載している。</li> <li>・キャラクターによる吹き出しによる解説を記載している。</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オーストラリアを例にして「この地図帳の使い方」が巻頭に記載している。</li> <li>・一般図が記載され、ページのタイトルと縮尺、隣接ページ、さくいん記号、インデックス、経線、緯線、学習課題、位置図、同緯度同経度同縮尺の日本、記号の凡例(特別凡例)等についての解説を記載している。</li> <li>・「オセアニア州の資料図」(オセアニア州の自然・産業・暮らし、人口密度、牛と羊の分布、豊かな鉱産資源、外国との結びつき)についての解説を記載している。</li> <li>・囲み文やキャラクターによる吹き出しによる解説を記載している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
<b>方法</b>	地図を活用した表現の記載の仕方と具体例

地図を活用した表現の記載の仕方と具体例	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読図のポイントや考察の視点を示したキャラクターの吹き出しを19カ所設けている。 【具体例】「交通量や輸送量が多いところには、どんな特徴があるかな。」</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図から読み取る学習活動や言語活動を促す「やってみよう」というコーナーを47カ所設けている。 【具体例】「金属や石油・化学の工場にマーカーし、この地域に立地した理由を輸送の面から考えてみよう。」</li> </ul>



# 数 学

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい数学
4	大 日 本	新版 数学の世界
11	学 図	中学校数学
17	教 出	中学数学
61	啓 林 館	未来へひろがる数学
104	数 研	中学校数学
116	日 文	中学数学

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標を達成するための工夫	学習課題と解決の過程，関連する例題や問の具体例と数
		② 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫	学習内容の定着や既習事項の確認，振り返りに関する扱いと問題数
		③ 事象を数理的に考察するための工夫	日常生活や社会における事象を考察している例とその展開
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例と題材数
		⑤ 問題解決的な学習を実施するための工夫	問題の具体例と数
		⑥ 見通しをもち，論理的に考察するための工夫	見いだす活動を行うための具体例とその展開
		⑦ 自学自習を行うための記述の工夫	ヒントやポイントを示した吹き出し等の数と記載例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列	各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例
		⑨ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な問題の数と具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑩ イラスト・写真の活用	イラスト・写真の数と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑪ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	説明したり，話し合ったりする問題や問等の具体例
		⑫ 自分の考えをまとめ記述する活動の工夫	ノートやレポートのかき方の扱い，記載例，記述ページ数

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標を達成するための工夫
方法	学習課題と解決の過程，関連する例題や問の具体例と数

第1学年「文字を用いた式」の導入			
	学習課題と解決の過程	例題や問の具体例と数	
東 書	<p>○ 課題 図書室におすすめの本を並べるための本棚を置きます。本棚の底の面について考えます。正方形を20個つなげて本棚を作るときに必要な棒は何本でしょうか。</p> <p>○ 解決の過程 ①正方形を5個つくるとき，図をかいて本数を求める。 ②図から式を作る。 ③式を提示し，求め方を図で表す。 ④ほかの求め方を，式や図を使って説明する。 ⑤正方形が1個，2個，3個・・・のとき，図をかいて，式を作る。 ⑥文字式で表す。</p>	<p>問) つくる正方形の個数が1個，2個，3個のときの棒の本数を求める式 問) 正方形を20個つくるときの棒の本数 問) 図から，他の求め方を文字式で表す 例) 1冊90円のノート <math>x</math> 冊の代金 問) 1個60円のお菓子 <math>x</math> 個の代金 問) ・いす <math>n</math> 脚中3脚に人が座っている。人が座っていないいすの数 ・1辺が <math>a</math> cmの正三角形の周の長さ ・ <math>x</math> mのリボンを4等分した1人分の長さ ・気温が <math>t</math> °Cで，3°C高くなった時の気温 問) 上の問で使われている文字のうち，小数や負の数もふくめた数の代わりとして使われているものはどれか。</p>	10
大 日 本	<p>○ 課題 マグネットを，V字形に並べていきます。V字形の1辺に並んだ個数から，全体の個数を求める式を考えましょう。</p> <p>○ 解決の過程 ①1辺に3個，4個，5個のV字形の図と表を提示し，6個のときの図をかく。 ②1辺が6個のときの全体の個数を求める式を提示し，その考え方を説明する。 ③全体の個数を表す式の表を提示し，空欄をうめる。 ④1辺が□個のときの全体の個数を，□を使った式で表す。 ⑤文字式で表す。</p>	<p>例) 1チーム5人で走る駅伝大会について ・10チームのときの人数 ・ <math>x</math> チームの人数 ・ <math>x</math> を48に置きかえて計算 問) 1個110円のドーナツを <math>y</math> 個買うとき ・代金 ・ <math>y</math> を8に置きかえて計算 問) 登り3時間，下り <math>x</math> 時間歩いたとき ・合計の時間 ・登りは下りより何時間多く歩いたか 例) 縦 <math>a</math> cm，横 <math>b</math> cmの長方形について ・面積 ・周の長さ 問) 3辺の長さが <math>a</math> cm， <math>b</math> cm， <math>c</math> cmの直角三角形の面積と周の長さ 問) 朝7時の気温が <math>a</math> °C，正午の気温が <math>b</math> °Cのとき，正午の気温から朝7時の気温を引いた差</p>	11
学 図	<p>○ 課題 ストローを使って，正方形を横につないだ形を作ります。正方形を4個，10個作るとき，ストローは何本必要でしょうか。</p> <p>○ 解決の過程 ①正方形4個のときのストローの本数を図と式を作り，考え方を説明する。 ②正方形が5個，6個，10個のときのストローの本数を求める式を考える。 ③正方形が4個のときのストローの本数を求める別の式を提示し，考え方を説明する。 ④さらに別の考え方でストローの本数を求める式を作り，考え方を説明する。 ⑤文字式で表す。</p>	<p>問) 前頁の考え方で，正方形を20個，30個つくるときのストローの本数 問) 別の考え方を使得つづつた式 <math>4 + 3 \times (a - 1)</math>の説明 問) 上の考え方で，正方形を20個，30個つくるときのストローの本数 問) 正方形を <math>a</math> 個つくるときのストローの本数 例) 1個 <math>a</math> kgの荷物5個の重さ 問) 上の例で，荷物が12kgのときの重さの合計 問) ・1個 <math>x</math> 円の品物8個買ったときの代金 ・千円札1枚で <math>a</math> 円の品物を買ったときのおつり ・長さ <math>x</math> mのテープを4等分した1本分の長さ 例) 1本60円の鉛筆 <math>a</math> 本と1冊100円のノート <math>b</math> 冊買ったときの代金の合計 問) 上の例で，鉛筆5本とノート3冊を買ったときの代金の合計 問) ・52円切手 <math>x</math> 枚と82円切手 <math>y</math> 枚を買ったときの代金の合計 ・ <math>a</math> gのおもり3個と <math>b</math> gのおもり1個の重さの合計</p>	13

【数学】

<p>教出</p>	<p>○ 課題 ストローを並べて三角形をつくりました。三角形を3個、4個、30個つくるとき、ストローは何本必要でしょうか。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>①いろいろな考え方で求め、どのように求めたのか話し合う。</p> <p>②三角形が1個、2個、3個、30個のときのストローの本数を求める式の表を提示し、□をうめる。</p> <p>③文字式で表す。</p> <p>④<math>x</math>を30に置きかえて計算し、結果は何を表すか考える。</p>	<p>問) ストローの本数を求める式で、<math>x</math>を30に置きかえて計算</p> <p>例) 1本80円のボールペン<math>a</math>本を買ったときの代金</p> <p>例) 500mLのジュースを<math>x</math>mL飲んだときの残りのジュースの量</p> <p>問) ・<math>x</math>枚の折り紙を5人全員にちょうど同じ枚数ずつ配ったときの1人分の折り紙の枚数</p> <p>・300円入った貯金箱に、1日50円ずつお金を入れたときの<math>a</math>日後の貯金額</p> <p>・今日から28日後の貯金額</p> <p>例) 1個100円のりんご<math>x</math>個と1個<math>y</math>円のみかん5個買ったときの代金</p> <p>問) ・<math>x</math>gの箱に1個<math>y</math>gのキャンディーを3個入れた全体の重さ</p> <p>・100円硬貨<math>a</math>枚と10円硬貨<math>b</math>枚を合わせた金額</p>	<p>9</p>
<p>啓林館</p>	<p>○ 課題 友だちとお楽しみ会をしました。その会では、机を一行に並べて、そのまわりに人がすわるようにしました。並べる机の数を変えたとき、すわることができる人数を考えましょう。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>①机を2台、5台、8台並べたときの人数を図を見て求める。</p> <p>②机を何台並べた場合でも、すわることができる人数を簡単に求める方法を話し合う。</p> <p>③机が4台、5台、6台のときすわることのできる人数を表す式を表に整理する。</p> <p>④文字式で表す。</p>	<p>問) 机が4、5、6台のときすわることのできる人数</p> <p>問) ・1個135gのボール<math>b</math>個を1500gのボールケースに入れたときの全体の重さ</p> <p>・1枚<math>x</math>円の画用紙6枚を買って1000円出したときのおつり</p> <p>例) 1冊120円のノート<math>a</math>冊と100円のボールペン<math>b</math>本買った代金</p> <p>問) ・100円硬貨<math>x</math>枚と10円硬貨<math>y</math>枚を合わせた金額</p> <p>・2人がけの座席<math>a</math>列と3人がけの座席<math>b</math>列すべて座ることのできる人数</p> <p>練) ・長さ<math>a</math>cmのひもから、長さ5cmのひもを<math>x</math>本切り取ったときの残りの長さ</p> <p>・底辺の長さが<math>a</math>cm、高さが<math>h</math>cmの三角形の面積</p>	<p>8</p>
<p>数研</p>	<p>○ 課題 フラッグガーランドという飾りを作ります。両端に20cmと、布どうしの間にどこも10cmのすきまをあけるようにすると、3枚の布で作った飾り全体の長さは、次のようになります。布を4枚、5枚にしたときの飾り全体の長さを求めましょう。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>①布を4枚、5枚にしたときの図をかき、長さを求める。</p> <p>②布が1枚増えるごとに、飾り全体の長さはどれだけ増えていくか、式や図を見て答える。</p> <p>③長さが変わる部分と変わらない部分を考える。</p>	<p>問) 1枚150円のシール1枚、2枚、3枚買うときの代金</p> <p>例) ・1000円札を出して<math>x</math>円の買い物をしたときのおつり</p> <p>・<math>x</math>mのひもを3等分した1本分の長さ</p> <p>問) ・30個のラムネ菓子から<math>n</math>個取り出した残りのラムネ菓子の個数</p> <p>・<math>x</math>Lのお茶を4人で等分するときの1人分量</p> <p>・縦<math>a</math>cm、横3cmの長方形の周りの長さ</p> <p>例) 1個120円のりんご<math>a</math>個と1個40円のみかん<math>b</math>個買うときの代金の合計</p> <p>問) ・50円硬貨<math>a</math>枚と、10円硬貨<math>b</math>枚の合計金額</p> <p>・1個<math>x</math>gのおもり3個と1個<math>y</math>gのおもり1個の重さの合計</p>	<p>9</p>
<p>日文</p>	<p>○ 課題 長さが等しい棒を並べて、正方形を横一行につくっていきます。正方形を20個つくるとき、棒は何本必要でしょうか。</p> <p>○ 解決の過程</p> <p>①正方形を1個、2個、3個つくるとき、棒の本数を図を見て求める。</p> <p>②正方形を4個つくるときの棒の本数を表す図と式を示し、各数がどんな数量を表しているかを考える。</p> <p>③正方形を5個つくるときの棒の本数の求め方を図と式で表す。</p> <p>④正方形を6個つくるときの棒の本数を表す式を表にかき入れる。</p> <p>⑤文字式で表す。</p> <p>⑥正方形を20個つくるときの棒の本数を求める。</p>	<p>問) 正方形を6個つくるのに必要な棒の本数</p> <p>問) 正方形を20個つくるのに必要な棒の本数</p> <p>例) ・<math>x</math>円の買い物をして1000円札を出したおつり</p> <p>・長さ<math>a</math>mのひもを3等分した1本分の長さ</p> <p>問) ・縦<math>a</math>cm、横10cmの長方形の面積</p> <p>・長さ50cmのテープから<math>y</math>cm切り取ったときの残りの長さ</p> <p>例) 1冊120円のノート<math>a</math>冊と1本100円のボールペン<math>b</math>本の代金の合計</p> <p>問) ・1個150円のりんご<math>x</math>個と1個90円のレモン<math>y</math>個買ったときの代金</p> <p>・<math>a</math>gの箱に1個<math>b</math>gのあめを5個入れたときの全体の重さ</p>	<p>9</p>

【数学】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための工夫
方法	学習内容の定着や既習事項の確認，振り返りに関する扱いと問題数

第2学年「文字を用いた式の四則計算」						
学習内容の定着や既習事項の確認				振り返り		
扱い	問題数		扱い	問題数		
	問	節末 章末 巻末				
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学習内容の導入で，第1学年の復習（Qマーク）を提示し，学習の手がかりになる問いかけを示している。</li> <li>○ 「ちょっと確認」で，これまでの学んだ内容を確認できるようにしている。</li> <li>○ 「まちがい例」を示し，誤りを指摘し，正す活動を促している。</li> <li>○ 例題と問の間に「たしかめ」を配置して，内容の定着を図る問題を示している。</li> <li>○ 「補充の問題」として巻末の「補充の問題」の頁，問題番号を記し，学習内容の定着を図る問題を示している。</li> </ul>	75	節末 21  章末 22  巻末 38	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節末の「基本の問題」において，理解が不十分な場合は本文の「例」に戻れるよう関連する箇所を明記している。</li> </ul>	21	
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学習内容の導入で，第1学年の復習（?マーク）を提示し，学習の手がかりになる問いかけを示している。</li> <li>○ 「プラスワン」を「Q」の後に配置し，さらに練習するための問題を示している。</li> <li>○ 「どこがちがう？」で誤った例を示し，誤りについて説明する活動を促している。</li> <li>○ 「思い出そう」として，第1学年の学習等を振り返る問題や解き方を示している。</li> </ul>	103	40  23  14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節末の「練習」において，理解が不十分な場合は本文に戻れるよう関連するページを明記している。</li> </ul>	40	
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学習内容の導入で，第1学年の復習（Qマーク）を提示し，学習の手がかりになる問いかけを示している。</li> <li>○ 「ふりかえり」として，第1学年の学習等を振り返る問題や解き方を示している。</li> <li>○ 「やってみよう」として，節末の「計算力を高めよう」の頁，問題番号を記し，学習内容の定着を図る問題を示している。</li> <li>○ 「正しいかな」で誤った例を示し，誤りを指摘し，正す活動を促している。</li> </ul>	74	55  20  25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節末の「確かめよう」において，理解が不十分な場合は本文に戻れるよう関連する例と問を明記している。</li> </ul>	19	

【数学】

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学習内容の導入で、「学習する前に」として、学習の手がかりになる問いかけを示している。</li> <li>○ 節末に「基本のたしかめ」として、学習内容の定着を図る問題を示している。</li> <li>○ 「×まちがい」で誤った例を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。</li> <li>○ 「補充問題」として、巻末の「くり返し練習」の頁、問題番号を記し、学習内容の定着を図る問題を示している。</li> </ul>	<p>82</p>	<p>26 35 76</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章末の「学習のまとめ」において、理解が不十分な場合は本文に戻れるよう関連するページを明記している。</li> </ul>	<p>11</p>
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学習内容の導入で、「ひろげよう」として、学習の手がかりになる問いかけを示している。</li> <li>○ 「ふりかえり」として、例題に関連する第1学年の問題を示している。</li> <li>○ 項末に「練習問題」として、学習内容の定着を図る問題を示している。</li> <li>○ 「問」の横に、巻末の「力をつけよう」の頁、問題番号を記し、学習内容の定着を図る問題を示している。</li> <li>○ 「×誤答例」を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。</li> </ul>	<p>76</p>	<p>30 45 16</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末の「くり返し練習」において、理解が不十分な場合は本文に戻れるよう関連する内容とページを明記している。</li> </ul>	<p>30</p>
<p>数研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科書の冒頭に、「クイックチャージ」として、第1学年の学習内容と問題を示している。</li> <li>○ 各学習内容の導入で、第1学年の復習（Qマーク）を提示し、学習の手がかりになる問いを示している。</li> <li>○ 「ふりかえり」として、関連する第1学年の学習内容を確認できるよう、内容や参照する頁を示している。</li> <li>○ Qマークの問の中で、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促している。</li> </ul>	<p>89</p>	<p>17 42 43</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節末の「確かめよう」において、理解が不十分な場合は本文に戻れるよう関連する内容とページを明記している。</li> </ul>	<p>17</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の冒頭に、「1章 式の計算を学ぶ前に」として、第1学年の学習内容と問題を示している。</li> <li>○ 各学習内容の導入で、第1学年の復習（Qマーク）を提示し、学習の手がかりになる問いかけを示している。</li> <li>○ 「チャレンジ」を「問」の後に配置し、さらに練習するための問題を示している。</li> <li>○ 問の横に巻末の「くり返し練習」の頁、問題番号を明記し、学習内容の定着を図る問題を示している。</li> </ul>	<p>102</p>	<p>25 54 12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 節末の「基本の問題」及び巻末の「くり返し練習」において、理解が不十分な場合は本文に戻れるよう関連するページを明記している。</li> </ul>	<p>53</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③事象を数理的に考察するための工夫
方法	日常生活や社会における事象を考察している例とその展開

		第2学年「一次関数」	
		単元の導入における事象の例と考察の展開	一次関数を用いた事象の例と考察の展開
東 書		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事象 やかんに水を入れて熱したときの、水の温度の上がり方を調べる。</li> <li>○ 問題 電気ポットとやかんではどちらが早くお湯が沸くか気になり、やかんに水を入れ、水の温度の上がり方を調べ、どちらが先に沸くか比べよう。</li> <li>○ 考察の展開 やかんの水の温度のはじめの5分間の上がり方について示された表、グラフをもとに考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間と温度の関係</li> <li>・1分間に上がる温度</li> <li>・沸騰するまでの時間の予測</li> <li>・電気ポットの説明書に書かれた時間を見て、どちらが先に沸くか比較</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事象 夏の暑い日に、冷たい飲み物を持ち運ぶとき保冷バッグに入れるとどのくらいの間、飲み物を冷たく保てるか考える。</li> <li>○ 問題 飲み物を冷たいと思う温度は、<math>10^{\circ}\text{C}</math>以下といわれています。右の保冷バッグの説明書をもとにして、ペットボトル飲料の温度を<math>10^{\circ}\text{C}</math>以下に保てる時間を予想しましょう。</li> <li>○ 考察の展開 ペットボトル飲料の温度と<math>10^{\circ}\text{C}</math>以下に保てる時間を表やグラフに表し、考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想する。</li> <li>温度の変化</li> <li>温度と時間の関係を表すグラフ</li> <li>・共通している考え方を話し合う。</li> <li>・ふり返ってまとめる。</li> </ul> </li> </ul>
大 日 本		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事象 長方形の紙を折った時、重なった部分の横の長さにともなって変わる数量について調べる。</li> <li>○ 問題 図のような縦10 cm、横20 cmの長方形の紙を、頂点Aが辺AD上にくるように線分PQで折る。APの長さをいろいろ変化させるとき、それにともなって変わる数量をいくつかあげてみよう。</li> <li>○ 考察の展開 APの長さ<math>x</math>と、ともなって変わるいろいろな数量<math>y</math>との関係を表やグラフに表して考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・重なった部分の面積</li> <li>・折ってできた図形の面積</li> <li>・折ってできた図形の周の長さ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事象 10時に駅を出発して、公園まで歩くと、歩いた時間と道のりの関係を調べる。</li> <li>○ 問題 10時に駅を出発して、図書館まで歩き、そこで本を返した後、公園まで歩いた。次のグラフは、その進行のようすを示したものである。このグラフをもとにして、いろいろな問題を解決しよう。</li> <li>○ 考察の展開 Aさんが出発してからの時間を<math>x</math>分、進んだ道のりを<math>y</math> mとして、グラフや式に表して考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅を出発して図書館に着くまでの速さ</li> <li>・駅から図書館までの進行の様子を表す直線の式と<math>x</math>と<math>y</math>の変域</li> <li>・図書館から公園までの進行の様子を表す直線の式と<math>x</math>と<math>y</math>の変域</li> <li>・グラフから距離を読み取る</li> </ul> </li> </ul>
学 図		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事象 ある鍾乳洞の鍾乳石について、年月と鍾乳石の長さの関係を調べる。</li> <li>○ 問題 ある鍾乳洞の鍾乳石の長さを測ったら、5 cmありました。この鍾乳石が30年で1 cm伸びるとすると、何年後に15 cmになるでしょう。</li> <li>○ 考察の展開 現在から<math>x</math>年後の鍾乳石の長さを<math>y</math> cmとして、表を完成させて、何年後に15 cmになるか考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・<math>y</math>は<math>x</math>の関数か</li> <li>・比例や反比例といえるか説明</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事象 水を熱する実験結果を示し、熱し始めてからの時間と水温の間の関係を調べる。</li> <li>○ 問題 図のような装置で水を熱し、熱し始めてから<math>x</math>分後の水温を<math>y^{\circ}\text{C}</math>として<math>x</math>と<math>y</math>の関係を調べたところ、次の表のようになりました。このとき、時間と水温の間には、どんな関係があるか調べてみましょう。</li> <li>○ 考察の展開 時間と水温の関係について示した表をもとにグラフや式に表して考察する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフの点の並び方</li> <li>・水温が<math>70^{\circ}\text{C}</math>になる時間を求める方法</li> <li>・2点を通る直線の式</li> <li>・<math>80^{\circ}\text{C}</math>の湯を冷ましたときの変化の様子</li> </ul> </li> </ul>

【数学】

<p>教 出</p>	<p>○ 事象 一方は空、他方はある高さまで水が入った2つの水そうを示し、同じ割合で水を入れるときの時間と水位の関係を比較する。</p> <p>○ 問題 深さ 20 cmの直方体の形をした水そうが2つあります。アの水そうは空、イの水そうは底面から5 cmの高さまで水が入っている。このア、イの水そうに、同時に一定の割合で水を入れるとき、共通する点と異なる点を見つけよう。</p> <p>○ 考察の展開 水を入れ始めてから <math>x</math> 分後の水面の高さを <math>y</math> cmとし、表を完成させ、アとイを比較して考察する。 ・表を比較し、共通する点や異なる点を説明 ・<math>x</math> と <math>y</math> の関係の式</p>	<p>○ 事象 水を熱する実験結果を示し、熱し始めてからの時間と水温の間の関係を調べる。</p> <p>○ 問題 写真のような装置で水を熱し、1分ごとに水温の変化を調べた。水を熱し始めてから <math>x</math> 分後の水温を <math>y</math> °Cとして5分後までの水温の変化は表のようになった。水温が80°Cになるのは何分後かを予想しましょう。</p> <p>○ 考察の展開 時間と水温の関係について、与えられた表、グラフをもとに、変化の様子を考察する。 ・<math>y</math> は <math>x</math> の1次関数と考える理由を説明 ・直線を書き入れ、式に表す。 ・水温が80°Cになるのは何分後か予想</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>○ 事象 一方はから、他方はある高さまで水が入った2つの水そうを示し、同じ割合で水を入れるときの時間と水位の関係を比較する。</p> <p>○ 問題 ヨーヨーつりの水そうに水を入れる。1日目は、からの水そうに水を入れ、2日目は1日目の水が残っていて、水面の高さ8 cmから、水をたすことにした。水面の高さはどう変わるか。</p> <p>○ 考察の展開 水を入れ始めてから <math>x</math> 分後の水面の高さを <math>y</math> cmとし、2つの表を完成させ、比較して考察する。 ・表からわかることを比較 ・<math>x</math> と <math>y</math> の関係の式</p>	<p>○ 事象 新しく買う電話の通話プランの中で、お得なプランを選ぶ。</p> <p>○ 問題 けいたさんのおじいさんは、新しく買う電話の通話プランを選んでいきます。おじいさんの毎月の通話時間が70分だとすると、もっとも安くなるのは、どのプランでしょう。</p> <p>○ 考察の展開 ・Aプラン、Bプラン、Cプランの説明を読んで、みんなで話し合う。 ・1か月に <math>x</math> 分通話するときの料金を <math>y</math> 円として、それぞれのプランの <math>x</math> と <math>y</math> の関係を表すグラフ ・AプランとBプラン、BプランとCプランの料金が等しくなるときの通話時間 ・どのプランがもっとも料金が安くなるかを説明する。</p>
<p>数 研</p>	<p>○ 事象 空の水そう、満水の水そう、半分の水位の水そうの3つを示し、同じ割合で水を入れる、または水を抜くときの時間と水位の関係を比較する。</p> <p>○ 問題 熱帯魚を飼うために水そうを買いました。水そうは直方体で、その深さは30 cmである。一定の割合で、この水そうに水を入れたり、水そうから水を抜いたりするとき、どんな特徴があるか。</p> <p>○ 考察の展開 水を入れ始め、抜き始めから <math>x</math> 分後の水面の高さを <math>y</math> cmとし、3つの表を完成させ、比較することで考察する。 ・一定の割合で変化する関数を比較 ・<math>x</math> と <math>y</math> の関係の式</p>	<p>○ 事象 水を熱する実験結果を示し、熱し始めてからの時間と水温の間の関係を調べる。</p> <p>○ 問題 水を熱する実験をしました。熱し始めてからの時間と水温の関係は表のようになりました。5分後まで実験を行ったとき、歩さんたちは次のように考えました。時間と水温の間の関係を調べましょう。</p> <p>○ 考察の展開 ・水温の変化の表に数値を入れる。 ・6分後の水温を予想 ・<math>x</math>、<math>y</math> の座標の点 ・<math>y</math> を <math>x</math> の式で表しグラフにする。 ・8分後の水温の予想 ・水温が80°Cになる時間の予想</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 事象 空の水そう、ある高さまで水が入った水そうに、一定の割合で水を入れたり、満水の水そうから水を抜いたりするときの、時間と水位の関係を比較する。</p> <p>○ 問題 高さ40 cmの直方体の水そうに、毎分5 cmずつ水位が増すように水を入れていく。空の水そうに水を入れる場合、水位10 cmまで水が入っている水そうに水を入れる場合、満水の水そうから水を抜く場合について、時間と水面の高さの関係を表に表そう。</p> <p>○ 考察の展開 水を入れ始めてからの時間と水位及び増えた水位の関係について表や図に表して考察する。 ・表を完成させ、わかることを説明 ・<math>x</math> と <math>y</math> の関係の式</p>	<p>○ 事象 水を加熱する実験結果を示し、熱し始めてからの時間と水温の間の関係を調べる。</p> <p>○ 問題 写真のように、ピーカーの水を加熱する実験で、水を熱し始めてから <math>x</math> 分後の水温を <math>y</math> °Cとして、5分後まで調べたところ表のようになった。実験で得られたデータを、関数の考え方を活用して考察しましょう。</p> <p>○ 考察の展開 実験結果の示された表、グラフをもとに考察する。 ・直線の式 ・グラフの傾きと切片が表すこと ・水温が60°Cになるときの時間を予想</p>

【数学】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例と題材数

		第1学年			
		「比例, 反比例」	題材数	「資料の活用」	題材数
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポップコーンを買うのにかかる待ち時間と並んでいる人数</li> <li>・シュレッダーで細かくされたコピー用紙のごみの量とA4のコピー用紙の枚数</li> <li>・動く歩道に乗っている人と横の通路を歩いている人の進む距離と時間</li> </ul> </li> <li>○ 反比例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1000羽づるを折るとき, 1人あたりの折る数と折る人数</li> </ul> </li> </ul>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料のちらばりと代表値                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのルートの子の所要時間</li> <li>・大縄跳びの記録をもとに考える跳ぶときの並び方</li> <li>・2000年, 2050年の日本の人口ピラミッドの特徴について説明</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある品物の重さ</li> <li>・地球, 木星, 土星と太陽の距離</li> </ul> </li> </ul>	10	
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校から2400m離れた公園まで, Aさんは自転車で, Bさんは歩いたときにかかった時間と道のり</li> <li>・3つのいろいろな大きさの円柱状の容器に水を入れるときにかかった時間と水面の高さ</li> <li>・12時からの時間の経過と時計の長針, 短針のそれぞれが動いてできる角の大きさ</li> </ul> </li> <li>○ 反比例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・てんびんのおもりの重さと支点からの距離</li> </ul> </li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料のちらばりと代表値                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1910年からの100年間で, 前半と後半の年ごとの12月の平均気温の違い</li> <li>・ゲーム大会での1組と2組の生徒の得点</li> <li>・液晶テレビの年間消費電力量の変化についての説明</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙テープの長さ</li> <li>・カボチャの重さ</li> </ul> </li> </ul>	18	
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・針金を使った作品の重さと針金の長さ</li> <li>・牛乳パックからトイレットペーパーを作るときに牛乳パックの枚数とトイレットペーパーの個数</li> <li>・地震の初期微動の継続時間と震源までの距離</li> </ul> </li> <li>○ 反比例                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・視力とランドルト環の外側の直径</li> </ul> </li> </ul>	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料のちらばりと代表値                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・A組とB組のルーラーキャッチの記録</li> <li>・ある投手が投げた全投球の速さの分布</li> <li>・1950年と2000年の「人口ピラミッド」を比較し2050年を予想</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国勢調査における広島県の人口</li> <li>・地球から太陽までの距離</li> </ul> </li> </ul>	12	



【数学】

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ種類の紙（はがきや折り紙）の重さと枚数</li> <li>・ばねにおもりをつるしたときのおもりの重さとばねの伸びる長さ</li> <li>・厚紙の面積と重さの関係から栃木県の面積を調べる</li> </ul> </li> <li>○ 反比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館にいすを並べるときの1列のいすの数と列の数</li> </ul> </li> </ul>	<p>13</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料のちらばりと代表値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬の2007年と2013年の2月の最高気温</li> <li>・1か月に読んだ本の冊数を平均値、中央値や最頻値などの代表値での比較</li> <li>・中学校までの通学時間と小学校までの通学時間を調べ、レポートにまとめる。</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字               <ul style="list-style-type: none"> <li>・あるものの長さや重さ</li> <li>・木星と太陽の赤道の半径</li> </ul> </li> </ul>	<p>18</p>
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・線香の火をつけてからの時間と燃えた長さ</li> <li>・菓子の重さと値段</li> <li>・アルミ板の重さと面積の関係から、長野県の面積を求めることの説明</li> </ul> </li> <li>○ 反比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・モビールのかざりの重さと支点からの距離</li> </ul> </li> </ul>	<p>12</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料のちらばりと代表値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙コプターの滞空時間</li> <li>・A選手とB選手の自由形の記録から、どちらを出場選手にするかの理由を説明</li> <li>・2つの容器A、Bに入っている10個の卵の重さ</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字               <ul style="list-style-type: none"> <li>・木星の直径</li> <li>・棒の長さ</li> </ul> </li> </ul>	<p>16</p>
<p>数研</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーズの個数と重さ</li> <li>・兄と妹が家から駅まで歩くときにかかる時間と道のり</li> <li>・電動式のシャッターの開いた部分の長方形の高さと面積</li> </ul> </li> <li>○ 反比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子レンジの出力と温める時間</li> </ul> </li> </ul>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料の散らばりと代表値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿せんべい飛ばし大会の20大会分の優勝者の記録</li> <li>・陸上競技大会の女子走り幅跳び予選に出場したA市とB市の選手の結果</li> <li>・1985年と2013年のさくらの平均開花日を比較し説明</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字               <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温</li> <li>・ある食品の重さ</li> </ul> </li> </ul>	<p>18</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・海水からとれる塩の量と海水の量</li> <li>・妹と兄が家から公園の先にある駅まで歩くときにかかる時間と道のり</li> <li>・紙の枚数を数えずに見積もることができる理由の説明</li> </ul> </li> <li>○ 反比例               <ul style="list-style-type: none"> <li>・天びんのおもりの重さと支点からの距離</li> </ul> </li> </ul>	<p>15</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料のちらばりと代表値               <ul style="list-style-type: none"> <li>・2004年、2013年の3月の大阪市の最高気温</li> <li>・A中学校とB中学校の1年生男子のハンドボール投げの記録を比較し説明</li> <li>・1組と2組の生徒が図書室から借りた本の冊数</li> </ul> </li> <li>○ 近似値と有効数字               <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツテストの立ち幅跳びの記録</li> <li>・光の速さ</li> </ul> </li> </ul>	<p>14</p>

【数学】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	問題の具体例と数

※ 各単元の学習を活用する問題、複数の単元や領域の学習を総合的に活用する問題、生活の中で活用する問題、興味・関心や習熟に応じた問題等

	第1学年 (巻末及び別冊)	問題数	第2学年 (巻末及び別冊)	問題数	第3学年 (巻末及び別冊)	問題数
東 書	[もっと数学しよう] ○ 観光客数が増えたのは？ ○ 商品の購入調査 ○ 安く買えるのは？ ○ 水の節約を考えよう ○ ランドルト環のしくみ ○ 通学時間の平均値 ○ 正多面体はなぜ5種類 ○ 自動車の死角を図示してみよう ○ エッシャーに挑戦！	46	[もっと数学しよう] ○ 走り高跳びの目標記録 ○ 10個の続いた整数の和 ○ 集めた空き缶の個数は？ ○ 料金が安いのはどの会社 ○ 図形の性質を調べよう ○ みんなで使える施設を考えよう ○ 点字を読んでみよう ○ 四角形の4つの角の二等分線でできる図形 ○ アメリカ ホームステイ ○ 17段目のふしぎ ○ 四角形の変身 ○ $64=65$ ？	51	[もっと数学しよう] ○ 運賃のしくみ ○ 誕生日はいつ？ ○ 大工道具「さしがね」 ○ タンクの体積は？ ○ 関数 $y = ax^2$ のグラフと図形 ○ 線分の比と面積の比 ○ どれくらい遠くから見えるかな？ ○ 紙の大きさとコピーの倍率 ○ 黄金比 ○ 反応時間を調べよう ○ 正直者をさがせ ○ 6本のジュースの缶	62
大 日 本	[Mathful] ○ スポーツと正の数、負の数 ○ ディオファントスの生涯 ○ 方程式と和算 ○ 魔方陣 ○ 日本の文様 ○ 平均の平均は全体の平均？	55	[Mathful] ○ 誕生日を当てる ○ 台形の面積 ○ 倍数の見分け方 ○ 孫子算経と鶴亀算 ○ 連立方程式とさっさ立て ○ 二酸化炭素と地球の温暖化 ○ 幾何学の起こり ○ 成り立たないことを証明する ○ おかしな証明 ○ 確率の起こり ○ じゃんけんの人数が増えると	55	[Mathful] ○ 素数の世界 ○ まだある！数の世界 ○ ドレミの秘密 ○ 地球を測る ○ 三平方の定理のいろいろな証明 ○ 図形の研究のいま ○ 国勢調査と標本調査 ○ 日本のことばと数 ○ 数の読み方と言語	67
学 図	[さらなる数学へ] ○ 小町算 ○ 魔方陣 ○ 秀吉の大失敗 ○ 複雑な形の面積を求めよう ○ 道路のカーブの半径を求めよう ○ 車いすと段差 ○ 円周率 $\pi$ の話	59	[さらなる数学へ] ○ 17列目の数の不思議 ○ 鶴亀算 ○ 面積の不思議 ○ 補助線を引こう ○ 時計の針が重なるのは何時？ ○ 関数で考える環境問題 ○ 星形正多角形の角 ○ 四角形の変身 ○ モンテカルロ法で $\pi$ を求めよう ○ 点字のしくみを調べよう	58	[さらなる数学へ] ○ 地球の測り方 ○ 地球温暖化と水不足の危機	62

【数学】

<p>教 出</p>	<p>[自由研究・考える力をアップしよう] ○ 電卓で遊ぼう ○ 一筆書き ○ 軽いボールを見つけよう</p>	<p>55</p>	<p>[自由研究・考える力をアップしよう] ○ 陸上トラック ○ 時計の長針と短針が重なる時刻 ○ 長方形の分解 ○ 点字のしくみ ○ 点の数と面積の関係 ○ 論理パズルに取り組んでみよう</p>	<p>54</p>	<p>63</p>
<p>啓 林 館</p>	<p>[数学広場・MathNavi ブック] ○ 土器の大きさ ○ 正多面体を調べよう ○ 時差の求め方 ○ ドッジボール大会を計画しよう ○ つかまえられるかな？ ○ 重いボールはどれ？ ○ 東京マラソン ○ 関数を使ってはかろう</p>	<p>42</p>	<p>[数学広場・MathNavi ブック] ○ 連続する10個の自然数の和 ○ 食塩水の濃度 ○ グラフで絵をかこう ○ 点の集合とその性質の証明 ○ 問題をつくり変える ○ 倍数の見分け方 ○ ジョギングのコース ○ 点字を読んでみよう ○ 盗難保険のしくみ ○ あみだくじ ○ 日本の文化と数</p>	<p>44</p>	<p>47</p>
<p>数 研</p>	<p>[数学探検・知識を活用しよう] ○ 琵琶湖の水位 ○ ディオファントスの一生 ○ 方程式の確かめ方 ○ ランドルト環 ○ エッシャーの不思議な絵 ○ 面積の求め方のくふう ○ 封筒で立体を作ってみよう ○ 多面体の頂点のつながり方 ○ ミクロの世界 ○ 浮き輪の体積はどのくらいなの？</p>	<p>51</p>	<p>[数学探検・知識を活用しよう] ○ 温度の単位 ○ つるかめ算 ○ 2つの水そうの水の量の変化 ○ LED電球はお得？ ○ 星形の図形の角の和 ○ 平面をしきつめる，空間をうめつくす ○ 試合数を数える ○ 動物の年齢を人間にたとえると</p>	<p>50</p>	<p>41</p>
<p>日 文</p>	<p>[数学マイトライ] ○ 小町算 ○ 集合の関係を表す図 ○ 地震のP波とS波 ○ 正多面体が5種類しかない理由 ○ 基石の個数 ○ 犬の形の紙の面積 ○ カップケーキの重さの傾向</p>	<p>54</p>	<p>[数学マイトライ] ○ 連続する10個の整数の和 ○ アルキメデスの墓石 ○ さっさ立て ○ 食塩水の濃度 ○ ダイアグラム ○ 面積が変わった？ ○ どんな図形になるかな？ ○ 魔方陣 ○ 点字のしくみ ○ 格子点を結んでできる図形の面積 ○ 連続する奇数の和 ○ 水面の高さ ○ ペットボトルキャップの個数 ○ まちがった証明 ○ 方針にもとづいた証明</p>	<p>61</p>	<p>49</p>

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥見通しをもち、論理的に考察するための工夫
<b>方法</b>	見いだす活動を行うための具体例とその展開

第2学年「基本的な平面図形と平行線の性質」			
多角形の内角の和			
	導入	課題	展開
<b>東 書</b>	<p>5種類の多角形で、すべての角の和をいろいろな方法で求め、その方法を説明する。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形</li> <li>・五角形</li> <li>・六角形</li> <li>・七角形</li> <li>・八角形</li> </ul>	<p>ゆうとさん、さくらさんの考え方を提示している。</p> <p>「ゆうとさんとさくらさんは、多角形の角の和の求め方を、次のように説明しようとしています。それぞれの角の和の求め方を説明しなさい。また、説明のもとにしていることがらをいいなさい。」</p>	<p>2人の考え方を提示し、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「多角形を、1つの頂点から出る対角線で三角形に分けます。頂点の数が <math>n</math> のときに分けられる三角形の個数を、<math>n</math> を使った式で表し、その考え方を説明しなさい。また、内角の和を求める式をつくりなさい。」</p> <p>「多角形を、内部の1つの点から頂点にひいた線分で三角形に分ける方法で、多角形の内角の和の求め方を説明しなさい。」</p>
<b>大 日 本</b>	<p>何枚かの三角定規を組み合わせて、つくった多角形の角の和を求める。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形</li> <li>・五角形</li> </ul>	<p>五角形と六角形の内角の和を「三角形の内角の和は <math>180^\circ</math> である」ことをもとにして、求めている。</p> <p>「多角形の内角の和について調べよう。」</p>	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、<math>n</math> 角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「辺の数と、1つの頂点から対角線をひいてできる三角形の数との間には、どんな関係がありますか。」</p> <p>「辺の数と、内角の和との間には、どんな関係がありますか。」</p> <p>「<math>n</math> 角形の内角の和を、<math>n</math> を使った式で表しなさい。」</p> <p>「Yさん、Tさんは、六角形の内角の和を求めるのに、それぞれ次の図のような補助線をひいて考えました。どのように考えて求めようとしたのでしょうか。」</p>
<b>学 図</b>	<p>五角形の内角の和を求め、その求め方を説明する。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・五角形</li> </ul>	<p>拓海さんの考え方(五角形の内角の和を求めている例)を提示している。</p> <p>「いろいろな多角形の内角の和を求めてみましょう。」</p>	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「多角形の頂点の数と三角形の数の間には、どんな関係があるといえるでしょうか。」</p> <p>「十角形の内角の和は、どんな式で求められるでしょうか。」</p> <p>「多角形の頂点の数を <math>n</math> とすると、内角の和はどんな式で求めることができるでしょうか。」</p> <p>「結衣さんは次のようにして五角形の内角の和を求めました。結衣さんの考え方を説明してみましょう。」</p> <p>「結衣さんの考え方で <math>n</math> 角形の内角の和を求め、それが、<math>180^\circ \times (n - 2)</math> と等しいことを確かめてみましょう。」</p> <p>五角形を三角形に分ける方法として、「1つの頂点で分ける」「内部の点Pで分ける」「辺上の点Pで分ける」場合を提示し、</p> <p>「点Pを五角形の外部に動かした場合も考えることができます。この図を使って、五角形の内角の和を求めてみましょう。」</p>

【数学】

<p>教出</p>	<p>多角形の内角の和を求め、その求め方を説明する。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形</li> <li>・五角形</li> <li>・六角形</li> <li>・七角形</li> </ul>	<p>四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの頂点の数と1つの頂点からひいた対角線の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「下の表の□をうめて、表を完成させましょう。また、表から気付いたことを説明してみましょう。」</p>	<p>「<math>n</math>角形は1つの頂点からひいた対角線によって、<math>(n-2)</math>個の三角形に分けられることを説明してみましょう。」</p> <p>「<math>n</math>角形の内角の和を、<math>n</math>を使った式で表してみましょう。」</p> <p>五角形を三角形に分ける方法として、内部の点で分ける、辺上の点で分ける場合を提示している。</p> <p>「こうたさんとあやさんは、それぞれ下の図のように考えて内角の和を求めました。こうたさんとあやさんの考え方を説明し、このときの<math>n</math>角形の内角の和をそれぞれ式で表してみましょう。」</p>
<p>啓林館</p>	<p>多角形の内角の和を求める。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形</li> <li>・五角形</li> <li>・六角形</li> </ul>	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形までの三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「多角形に、1つの頂点から対角線をひき、右の表の□にあてはまる数を調べて書き入れなさい。」</p>	<p>「<math>n</math>角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、<math>(n-2)</math>個の三角形に分けられます。したがって、<math>n</math>角形の内角の和は、次の式で表すことができます。」</p> <p>五角形を三角形に分ける方法として、内部の点で分ける場合を提示している。</p> <p>「かりんさんは、<math>n</math>角形の内角の和を、右の図のように考えて、<math>180^\circ \times n - 360^\circ</math> という式で表しました。かりんさんの考え方を説明しましょう。」</p>
<p>数研</p>	<p>内角の和を、2通りの方法(1つの頂点から対角線をひいて分ける、内部の点から頂点にひいた線分で分ける。)で三角形に分けて求める。さらに、他の方法を考える。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形</li> <li>・五角形</li> <li>・六角形</li> </ul>	<p>四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、<math>n</math>角形までの辺の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「次の表は、右の図のように、多角形を1つの頂点からひいた対角線によって三角形に分け、内角の和を調べたものです。同じように考えて、八角形までの表を完成させなさい。」</p>	<p>「<math>n</math>角形は、1つの頂点からひいた対角線によって<math>(n-2)</math>個の三角形に分けることができる。よって、次のことが成り立つ。」</p> <p>「表の<math>n</math>角形の空らんをうめなさい。」</p>
<p>日文</p>	<p>多角形の内角の和を、どんな方法で求めたかを、図や式などを使って説明する。</p> <p>(扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形</li> <li>・五角形</li> </ul>	<p>彩さん、陸さん、和也さんの考え方を提示している。</p> <p>「3人の考えを読み取って、その求め方を表す式として適切なものを、次の㊦～㊨の中から1つずつ選びなさい。」</p> <p>「彩さんの考え方で、次の多角形の内角の和をそれぞれ求めなさい。また、その考え方がわかるように、図と式で表しなさい。」</p>	<p>三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、<math>n</math>角形までの1つの頂点からひける対角線の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を提示している。</p> <p>「彩さんの考え方で、多角形の内角の和を求めます。次の表を完成し、<math>n</math>角形の内角の和を、<math>n</math>を使った式に表しなさい。」</p> <p>「<math>n</math>角形の内角の和を、陸さん、和也さんの考え方で、それぞれ<math>n</math>を使った式に表しなさい。また、3通りの考え方で表した式は、計算すると、すべて同じになることを確かめなさい。」</p>

【数学】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦ 自学自習を行うための記述の工夫
方法	ヒントやポイントを示した吹き出し等の数と記載例

	第1学年「平面図形」 第2学年「三角形や平行四辺形の基本的な性質」 第3学年「図形の相似」		
	学年	吹き出し等の数	記載例
東書	1	6	○ 平行であることを，平行線に>の印をつけて表すことがあるよ。 ○ 中点のところを，点の名まえのMを書こう。
	2	4	○ いつでも90°になるのかな。 ○ (1)，(2)から，さらにいえることはないかな？
	3	6	○ 上の図の方眼で，確かめてみよう。 ○ どんな多角形でも三角形に分けて考えればいいね。
大日本	1	3	○ 移動とは，ずらしたり，回したり，裏返したりすることだね。 ○ △ABCは線対称な図形だね。
	2	6	○ 1は2の逆，2は1の逆だね。 ○ △ABC≡△A'BCとはちがうんだね。
	3	6	○ 相似な三角形はないね。 ○ どんな多角形でも同じように三角形に分けて調べられるね。
学図	1	8	○ それぞれの対角線は，もう一方の対角線の垂直二等分線になっているね。 ○ 円をかくためには，何がわかればいいのか？
	2	5	○ それぞれの図形の作図のしかたを思い出してみよう。 ○ 平行四辺形の性質が使えるね。
	3	7	○ 小学校のときに同じような問題を解いたことがあるね。 ○ 平面図形では，面積比は相似比の2乗になっていたね。
教出	1	5	○ ∠BACは∠CABと表してもいいよ。 ○ 作図の線を消さずに残しておけば，どう作図したのかを，読みとることができるね。
	2	9	○ △ABD≡△ACDは，二等辺三角形ABCが線対称な図形であることを示しているね。 ○ △ABCで，△ABCの面積を表すことがあるよ。
	3	5	○ 相似な図形の性質から，対応する辺の長さの比はすべて3:5になるね。 ○ 上の定理の逆は？ 3つ以上の直線と2直線が交わる時，□ならば□
啓林館	1	6	○ これは四角形ABCDだね ○ 垂線は180°の角の二等分線になっているね
	2	5	○ この道具は目の高さで使うよ ○ 三角形がなければ，対角線ACをひいたりして三角形をつくろう
	3	6	○ 「∞」はsimilar(似ている)の頭文字Sを横にしたものといわれているよ ○ 縮図をかくときの相似比は自分で決めよう
数研	1	5	○ 数直線も比例のグラフも限りなくまっすぐのびているね。 ○ 接線は直線OPの垂線になるね。
	2	5	○ ①から2等分することが，④から垂直であることがいえるね。 ○ 等しい長さから，同じ長さをひいても，残りの長さは等しいね。
	3	10	○ ∞は，ラテン語のsimilis(意味は「似ている」)の頭文字Sを横にした記号だといわれているよ。 ○ 円錐PとQの体積から立体Aの体積を求めてもいいね。
日文	1	5	○ 移動の方法は1通りとは限らないよ。 ○ 辺が短くてかきにくければ，その辺を延長するといいよ。
	2	5	○ 2×∠ADBを，2∠ADBとかくよ。 ○ 上の真央さんが考えたのは，左の図の(2)に㊦の条件を加えた場合だね。
	3	4	○ 辺の長さや角がすべてわかっていなくても相似であることは確認できるんだね。 ○ $S = \frac{1}{2}ah$ だね。

【数学】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧単元や資料等の配列
方法	各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例

	第1学年		第2学年		第3学年	
	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
東 書	1 正負の数	44	1 式の計算	24	1 多項式	30
	2 文字と式	30	2 連立方程式	22	2 平方根	28
	3 方程式	22	3 1次関数	36	3 2次方程式	24
	4 比例と反比例	36	4 平行と合同	31	4 関数 $y = ax^2$	30
	5 平面図形	32	5 三角形と四角形	34	5 相似な図形	38
	6 空間図形	34	6 確率	19	6 円	18
	7 資料の分析と活用	21	巻末問題	14	7 三平方の定理	22
	巻末問題	11			8 標本調査	13
					巻末問題	14
		○ 正多面体模型 ○ 日本の伝統、文化と数学		○ 図形の性質 発見器 ○ 全国の算額		○ 因数分解パズル ○ 科学や技術をささえる数学
大 日 本	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数、負の数	49	1 式と計算	27	1 多項式	36
	2 文字と式	36	2 連立方程式	28	2 平方根	30
	3 1次方程式	26	3 1次関数	37	3 2次方程式	22
	4 量の変化と比例、反比例	37	4 平行と合同	36	4 関数	33
	5 平面の図形	34	5 三角形と四角形	37	5 相似と比	41
	6 空間の図形	43	6 確率	23	6 円	18
	7 資料の整理と活用	23	巻末問題	8	7 三平方の定理	28
	巻末問題	11			8 標本調査	15
					巻末問題	15
	○ 正多面体を作ろう ○ 折り紙でできる立体		○ 模型を作って動かしてみよう ○ 2年で学習した図形の性質		○ 三平方の定理 ○ 3年で学習した図形の性質	
学 図	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数・負の数	48	1 式の計算	26	1 式の計算	34
	2 文字式	30	2 連立方程式	27	2 平方根	26
	3 1次方程式	33	3 1次関数	37	3 2次方程式	25
	4 比例と反比例	37	4 図形の性質の調べ方	34	4 関数 $y = ax^2$	34
	5 平面図形	32	5 三角形・四角形	33	5 相似な図形	38
	6 空間図形	37	6 確率	22	6 円	22
	7 資料の活用	24	巻末問題	7	7 三平方の定理	25
	巻末問題	8			8 標本調査	16
					巻末問題	18
	○ カードゲーム ○ アルキメデス		○ 図形の性質のまとめ ○ ユークリッド・ターレス		○ 図形の性質のまとめ ○ ピタゴラス	

【数学】

教 出	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数, 負の数	48	1 式の計算	28	1 式の計算	36
	2 文字と式	36	2 連立方程式	26	2 平方根	28
	3 方程式	32	3 1次関数	38	3 2次方程式	22
	4 比例と反比例	36	4 平行と合同	38	4 関数 $y = ax^2$	32
	5 平面図形	40	5 三角形と四角形	38	5 相似な図形	44
	6 空間図形	34	6 確率	20	6 円	22
	7 資料の整理と活用	24	巻末問題	15	7 三平方の定理	24
	巻末問題	22			8 標本調査	16
				巻末問題	20	
	○ 角錐と角柱の体積の関係を調べる立体模型 ○ 小学算数のまとめ		○ 図形の移動 ○ エッシャーに挑戦		○ 三平方の定理の証明 ○ 図形のまとめ	
啓 林 館	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数・負の数	41	1 式の計算	22	1 式の展開と因数分解	27
	2 文字の式	26	2 連立方程式	21	2 平方根	24
	3 方程式	24	3 一次関数	34	3 二次方程式	22
	4 変化と対応	31	4 図形の調べ方	28	4 関数 $y = ax^2$	28
	5 平面図形	30	5 図形の性質と証明	29	5 図形と相似	40
	6 空間図形	34	6 確率	19	6 円の性質	18
	7 資料の活用	23	巻末問題	14	7 三平方の定理	22
	巻末問題	16			8 標本調査	12
				巻末問題	24	
	○ とび出す立方体 ○ 正十二面体の展開図		○ どんな形ができるかな ○ 2年生のまとめ		○ 図形をしきつめよう ○ 円周角の定理 発見ディスク	
数 研	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数と負の数	42	1 式の計算	24	1 式の計算	30
	2 文字と式	30	2 連立方程式	24	2 平方根	28
	3 1次方程式	26	3 1次関数	34	3 2次方程式	22
	4 比例と反比例	30	4 図形の性質と合同	32	4 関数 $y = ax^2$	28
	5 平面図形	32	5 三角形と四角形	30	5 相似	36
	6 空間図形	30	6 確率	17	6 円	22
	7 資料の整理とその活用	22	巻末問題	28	7 三平方の定理	22
	巻末問題	28			8 標本調査	13
				巻末問題	44	
	○ 立体の切断 ○ 正多面体の展開図		○ 斜面の傾き ○ 平行四辺形		○ 因数分解 ○ 広がる数学の世界	
日 文	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数と負の数	47	1 式の計算	25	1 式の展開と因数分解	36
	2 文字と式	33	2 連立方程式	23	2 平方根	26
	3 方程式	27	3 1次関数	37	3 2次方程式	19
	4 比例と反比例	42	4 図形の性質と合同	37	4 関数 $y = ax^2$	33
	5 平面図形	30	5 三角形と四角形	30	5 相似な図形	38
	6 空間図形	32	6 確率	19	6 円	20
	7 資料の活用	23	巻末問題	24	7 三平方の定理	20
	巻末問題	12			8 標本調査	17
				巻末問題	24	
	○ 空間図形 ○ 正多面体の展開図		○ 図形のまとめ		○ 因数分解 ○ 図形のまとめ	



【数学】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨発展的な学習に関する内容の記述
方法	発展的な問題の数と具体例

※ 該当学年の学習指導要領に示されていない内容

	学年	問題数	具体例
東書	1	2	同類項
	2	4	文字が3つの連立方程式
	3	10	$(x+a)^3$ の展開
大日本	1	8	マイナスの指数
	2	3	3つの文字をふくむ連立方程式
	3	9	背理法
学図	1	7	$a^1$ や $a^0$ はあるのかな？
	2	6	3つの文字をふくむ方程式を解こう
	3	13	多項式どうしの除法
教出	1	3	不等式
	2	4	3つの文字をふくむ連立方程式
	3	12	最大公約数と最小公倍数
啓林館	1	3	立体の切り口の形
	2	6	3つの文字をふくむ連立方程式
	3	9	約数, 最大公約数, 最小公倍数の求め方
数研	1	5	不等式の性質
	2	3	連立3元1次方程式
	3	8	$\sqrt{2}$ が無理数であることの証明
日文	1	5	$\triangle ABC$ の3つの垂線
	2	2	3つの文字をふくむ連立方程式
	3	6	参加者の人数と試合数

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩イラスト・写真の活用
方法	イラスト・写真の数と具体例

		第3学年「関数 $y = ax^2$ 」				
		イラスト		写真		
	数	具体例		数	具体例	
東 書	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放物線を描く球</li> <li>○ ジェットコースターのコース</li> <li>○ 斜面で球を転がしたときの、1秒ごとの球の位置</li> <li>○ 底面が1辺 <math>x</math> cmで、高さが5 cmである正四角柱</li> <li>○ 1辺が <math>x</math> cmの立方体</li> <li>○ 半径が <math>x</math> cmで、面積が <math>y</math> cm<sup>2</sup>である円</li> <li>○ 長方形の下じきと直角二等辺三角形の定規の重なり</li> <li>○ 底面の半径が <math>x</math> cmで、高さが3 cmである円柱</li> <li>○ 自転車の急停車の様子(2)</li> <li>○ 自転車の停止距離の説明</li> <li>○ ピサの斜塔からガリレオがボールを落下させている図</li> <li>○ 1往復するのに <math>x</math> 秒かかる長さ <math>y</math> mの振り子</li> <li>○ 振り子の実験の様子</li> <li>○ 電車が自道車に追いつく様子</li> <li>○ 電車が自転車に追いつく様子</li> <li>○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切る様子(2)</li> <li>○ 東京スカイツリー</li> <li>○ りんごの入った箱</li> <li>○ 水を沸かしているやかんに温度計が入っている図</li> <li>○ 直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形</li> <li>○ 長方形と、移動させて長方形に重ねる4つの図形</li> </ul>		14	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ジェットコースター(2)</li> <li>○ 通潤橋</li> <li>○ パラボラアンテナ</li> <li>○ 跳ねるボールの軌跡(9)</li> <li>○ ガリレオ</li> </ul>	
		大 日 本	16		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1辺が10 cmの正方形上に、1つの頂点をそろえて1辺が2 cm、5 cmの正方形をかいた図</li> <li>○ 1辺が10 cmの正方形上に、1つの頂点をそろえて1辺が <math>x</math> cmの正方形をかき、10 cmから <math>x</math> cmをひいた差を <math>y</math> cmとした図</li> <li>○ 1辺が10 cmの正方形上に、1つの頂点をそろえて1辺が <math>x</math> cm、面積が <math>y</math> cm<sup>2</sup>の正方形をかいた図</li> <li>○ 1辺が10 cmの正方形上に、1つの頂点をそろえて1辺が <math>x</math> cmの正方形をかき、もとの正方形からその正方形を除いた部分の面積が <math>y</math> cm<sup>2</sup>である図</li> <li>○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置</li> <li>○ 直角二等辺三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角二等辺三角形</li> <li>○ ボールが自然に落ちていくときの、1秒ごとのボールの位置</li> <li>○ 同時にスタートし、自転車に乗った1人が、走っているもう一人を追いかける様子</li> <li>○ 高層ビル</li> <li>○ 正方形と直角二等辺三角形の重なりが変化している様子</li> <li>○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる三角形</li> <li>○ 荷物の入った箱</li> <li>○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子</li> <li>○ 直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形</li> <li>○ 正方形の紙を階段状に並べていく様子</li> <li>○ 自動車の停止距離の説明</li> </ul>	
学 図	18			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置</li> <li>○ 1辺が <math>x</math> cmの立方体</li> <li>○ 半径が <math>x</math> cmで、面積が <math>y</math> cm<sup>2</sup>である円</li> <li>○ つり橋</li> <li>○ パラボラアンテナの断面</li> <li>○ スタートした1人が、走っている1人に追いつく様子</li> <li>○ リレーのバトンパスの様子</li> <li>○ 家の壁に風がぶつかる様子</li> <li>○ 1パスカルを面積1 m<sup>2</sup>、重さ100 gの紙で説明している図</li> <li>○ 底面が1辺 <math>x</math> cmで、高さが8 cmである正四角柱</li> <li>○ ゴンドラの位置を示している円</li> <li>○ 長方形と台形の重なりが変化している様子</li> <li>○ 紙を2等分に繰り返し切って重ねている様子</li> <li>○ 正三角形のタイルをピラミッド状に並べている様子</li> <li>○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形</li> <li>○ 風力発電の風車の図</li> <li>○ 自動車の停止距離の説明</li> <li>○ 急停車する自転車の様子</li> </ul>		12

【数学】

<p>教出</p>	<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ピサの斜塔からボールが落ちていくときの、1秒ごとの位置</li> <li>○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置</li> <li>○ 底面が1辺<math>x</math> cmで、高さが9 cmである正四角錐</li> <li>○ パラボラアンテナの断面</li> <li>○ 斜面でボールを転がしたときの、<math>x</math>秒後のボールの位置</li> <li>○ 1往復する振り子の様子</li> <li>○ 正方形と直角三角形の重なりが変化している様子</li> <li>○ 長方形と直角三角形の重なりが変化している様子</li> <li>○ 電車がバスに追いつく様子</li> <li>○ 自動車の停止距離の説明</li> <li>○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子</li> <li>○ 同じ大きさのタイルを階段状に並べていく様子</li> <li>○ 円錐の切り口に現れる放物線</li> <li>○ 間隔が等しい平行線と、同じ中心をもつ半径の間隔が等しい円がかかれた透明シートを重ねて現れる放物線</li> <li>○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形</li> </ul>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ピサの斜塔</li> <li>○ ガリレオ・ガリレイ</li> <li>○ 投げ上げたボールの軌跡</li> <li>○ パラボラアンテナ</li> <li>○ 懐中電灯</li> <li>○ ドルフィンポート</li> <li>○ 振り子の軌跡</li> <li>○ 落下するボールの軌跡</li> <li>○ 2台の自動車が走っている様子</li> <li>○ 札幌市中心部</li> </ul>
<p>啓林館</p>	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面を下りる台車の運動を調べる実験の図</li> <li>○ 斜面を転がるボールが<math>x</math>秒後に<math>y</math> mの距離を転がった図</li> <li>○ 自動車の制動距離の説明</li> <li>○ 1往復するふりこの様子</li> <li>○ 並んでいる2つのレンタサイクル店</li> <li>○ 底が階段状になっている直方体の水槽に水を流す様子</li> <li>○ 合同な2つの直角三角形の重なりが変化している様子</li> <li>○ ソーラークッカーの断面図</li> </ul>	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面で転がるボールの0.1秒ごとの位置</li> <li>○ 落下するボールの軌跡</li> <li>○ 水の波紋</li> <li>○ 投げたボールの軌跡</li> <li>○ 走っている列車</li> <li>○ ふりこ時計</li> <li>○ ソーラークッカーの調理実演</li> </ul>
<p>数研</p>	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面を転がるボール</li> <li>○ 底面が1辺<math>x</math> cmで、高さが5 cmである正四角柱</li> <li>○ 1辺が<math>x</math> cmの立方体</li> <li>○ 半径が<math>x</math> cmの円</li> <li>○ ボールを放り投げたときの様子</li> <li>○ パラボラアンテナの断面図</li> <li>○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置</li> <li>○ ピサの斜塔</li> <li>○ 自動車がブレーキをかけている様子</li> <li>○ 電車が自転車に追いつく様子</li> <li>○ 2枚の三角定規の重なりが変化している様子</li> <li>○ 長方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形</li> </ul>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面で転がるボールの1秒ごとの位置</li> <li>○ パラボラアンテナ</li> <li>○ 青函トンネル入口広場</li> </ul>
<p>日文</p>	<p>14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置</li> <li>○ 坂道を下りている自転車</li> <li>○ 等しい辺の長さが<math>x</math> cmである直角二等辺三角形</li> <li>○ 1辺が<math>x</math> cmである立方体</li> <li>○ 底面が1辺<math>x</math> cmで、高さが3 cmである正四角柱</li> <li>○ パラボラアンテナの断面図</li> <li>○ ボールが落ちるときの、1秒ごとの位置</li> <li>○ 1往復するのに<math>x</math>秒かかる長さ<math>y</math> mの振り子</li> <li>○ 電車が自転車に追いつく様子</li> <li>○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子</li> <li>○ 宅配便の箱</li> <li>○ 自動車の停止距離の説明</li> <li>○ 円錐</li> <li>○ 台形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形</li> </ul>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 斜面にボールを放り投げた様子</li> <li>○ パラボラアンテナ</li> <li>○ 懐中電灯</li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑪ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫
方法	説明したり、話し合ったりする問題や問等の具体例

第2学年「確率」	
「くじ引きが公平であるかどうかを、確率を用いて説明する活動」における具体例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きっかけとなる問題 A, Bの2人が、賞品があたるくじをひくことになりました。Aさん「先にひくほうがあたりが出やすいから、早くひきたい。」 Bさん「残り物には福があるっていうよ。」 くじのあたりやすさに、ちがいはあるでしょうか。</li> <li>○ 問題 ゆうこさんとさくらさんは、次のような問題を考えて、くじを先にひくのと、あとにひくのとで、あたりやすさにちがいはあるか調べることにしました。5本のうち3本のあたりくじが入っているくじがあります。A, Bの2人がこの順に1本ずつくじをひくとき、どちらのほうがあたる確率が大きいですか。</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題 5本のくじの中に2本のあたりくじの入っている箱がある。先にAさんが1本引き、それを箱に戻さずにBさんが箱からもう1本引く。AさんとBさんのどちらが当たりやすいかを調べよう。</li> <li>○ 問 (1) Aさん, Bさんのくじの引き方にはどのような場合がありますか。当たりくじを①, ②, はずれくじを③, ④, ⑤として、図や表を使って調べなさい。 (2) 先に引くAさんが当たる確率を求めなさい。 (3) 後から引くBさんが当たる確率を求め、どちらが当たりやすいかを説明しなさい。</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題 当たりが2本、はずれが3本入っているくじがあります。このくじを、Aが先に1本引き、次にBが1本引きます。このとき、Aが当たる確率を求めなさい。ただし、引いたくじは、もとにもどさないものとします。</li> <li>○ 考え方 くじに番号をつけ、当たりを①, ②とし、はずれを3, 4, 5として、樹形図をつくる。</li> <li>○ 問 Bが当たる確率を求め、Aが当たる確率と比べなさい。また、A, Bがともに当たる確率を求めなさい。</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きっかけとなる問題 5本のうち、当たりが2本入っているくじがあります。このくじを、A, Bの2人がこの順に1本ずつ引きます。引いたくじはもとに戻さないものとします。先に引くAとあとに引くBとでは、どちらが当たりやすいでしょうか。</li> <li>○ 問 実際に何回かくじ引きを行って、先に引く人とあとに引く人とではどちらが当たりやすいか予想してみましょう。また、なぜそう予想したか話し合ってみましょう。 Aが当たる確率とBが当たる確率を、次の手順で求めてみましょう。 (1) 当たりを①, ②, はずれを3, 4, 5として、A, Bのくじの引き方を樹形図で表してみましょう。</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きっかけとなる問題 商店街やスーパーマーケットなどで、くじ引きがおこなわれていることがあります。くじ引きでは、さきにひくか、あとでひくかによって、あたりやすさに違いがあるでしょうか。</li> <li>○ 問題 5本のうち、あたりが2本は入っているくじがあります。このくじを、A, Bの2人がこの順に1本ずつひくとき、2人のあたりやすさに違いがあるでしょうか。ただし、ひいたくじは、もとにもどさないことにします。</li> <li>○ 問 (1) 図は、5本のくじのうち、あたりを①, ②, はずれを③, ④, ⑤と区別し、A, Bが、この順に1本ずつくじをひく場合を示した樹形図の一部です。残りの部分をかいて完成させましょう。</li> </ul>
数 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ きっかけとなる問題 4本の中に1本のあたりが入ったくじがあります。このくじを引く順番について、2人が次のように話しています。「先に引く方が当たりやすそうだから、先に引かせてもらうよ。」「あとに引いてもいいんじゃないかな？」 くじを引く順番と有利不利について、予想してみましょう。</li> <li>○ 問題 4本の中に1本のあたりくじが入っています。A, Bの2人がこの順にくじを引くとき、それぞれが当たる確率を求めなさい。ただし、引いたくじはもとにもどさず、お互いに見せないことにします。</li> </ul>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 問題 5本のくじがあり、そのうちの2本があたりです。2人が、続けて1本ずつくじを引くとき、くじを引く順番によって、あたりやすさにちがいはあるでしょうか。先に引く人をAさん、あとから引く人をBさんとし、この章で学んだことを使って考えましょう。また、考えた方法を説明しましょう。</li> <li>○ 問 5本のくじのうち、あたりの2本を①, ②, 残りの3本を3, 4, 5として、すべての起こりうる場合を樹形図で考えるとわかるかな。 (1) 左の図は、Aさんがあたる場合を㉔, Bさんがあたる場合を㉕で表した樹形図を、和也さんが途中でまてかいたものです。左の樹形図を完成しなさい。</li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫自分の考えをまとめ記述する活動の工夫
方法	ノートやレポートのかき方の扱い, 記載例, 記述ページ数

	ノートやレポートのかき方		学年	ページ数	
	扱い	記載例		ノ	レ
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭の「学習の進め方」で、ノートのかき方を扱っている。また、その具体例として単元途中に「数学マイノート」のページを設け、生徒のノートを例示し、書き方の工夫や学習の感想について扱っている。また、「マイノートプラス」で数学的な表現を書くときの注意や工夫がある。</li> <li>○ 「数学発見レポート」「レポートにまとめよう」として、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートには、「学習日」「問題」「自分の考えや友だちの考え」「まとめ」「感想」を書いておこう。</li> <li>・先生の話や友だちの発表をよく聞いて、大切なことや気づいたことなどを書いておこう。</li> </ul> </li> <li>○ レポート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で調べたことや、さらにやってみたいと思ったことをレポートにまとめよう。</li> <li>・レポートを書くときには、図や表、式、グラフなどを使って読む人がわかりやすいようにくふうしよう。</li> <li>①動機と目的②方法③結果④考察⑤感想</li> </ul> </li> </ul>	1	7	5
			2	6	2
			3	7	3
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭で「ノートのつくり方」を示している。</li> <li>○ 「研究をしよう」「レポートを書こう」として、生徒のレポートを例示し、かき方を説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題だけでなく問題の図などもかいておく。図をかくときははていねいにかく。」「自分の考えや、対応する図、式などをかく。」「先生の説明や友だちの考えを聞いて、気づいたことや大切だと思ったことを書いておく。」「わかったことやさらに考えを深めたり、調べたりしたいことを書く。」</li> </ul> </li> <li>○ レポート作成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学で学んだことをきっかけに、興味や関心をもったことをテーマにして、研究をしてみましよう。研究した内容を人に伝えるために、レポートを書いてみましよう。</li> <li>&lt;研究のしかた&gt;</li> <li>①テーマを決める ②研究の方法を具体的に決め、計画を立てる ③調べる ④内容を整理する ⑤レポートにまとめる ⑥発表をする・振り返る</li> </ul> </li> </ul>	1	1	3
			2	1	2
			3	1	3
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭で「ノートの使い方」を示している。また、単元中にノートを書く際に気をつける点、よりよい書き方などを同時に示している。</li> <li>○ 各学年の巻頭に「レポートにまとめて発表しよう」で説明しており、巻末では生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あとでふりかえったとき、授業の中でどんなことを考え、どんな筋道で問題を解決したのかがわかるようなノートを目指ましよう。</li> <li>・ノートには次のようなことを書こう。「学習した日」「目標」「問題」「自分の考え」「友だちの考え」「気づいたこと」「まとめ」「感想」</li> </ul> </li> <li>○ レポート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめたり伝えたりするために、レポートをつくってみましよう。レポートにまとめることで、学習したこと以外に新たな発見をしたり、疑問が生まれたりします。それこそが、本当の数学のおもしろさです。</li> <li>&lt;レポートの作成&gt;</li> <li>①興味や関心をもったことをテーマにしよう②資料の収集方法の計画を立てよう③資料を集め、整理して分析しよう④自分の考えを整理してまとめよう</li> </ul> </li> </ul>	1	5	7
			2	4	6
			3	5	7
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の各章末問題に、「この章の学習をふり返りノートにまとめてみましよう。」の設問がある。また、各学年の巻頭で「ノートの工夫」を示している。また、第1学年2章には、アルファベットの筆記体を示している。</li> <li>○ 第1学年「資料の活用」でレポートを例示し、かき方を説明している。調査したことをレポートにまとめた具体例がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・各章の学習が終わったら、自分なりにふり返ってノートにまとめてみましよう。</li> <li>①学習してわかったことやよかったこと ②学習して難しかったこと ③さらにやってみたいこと</li> </ul> </li> <li>○ レポート                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりのことを調べ、レポートにまとめよう。</li> <li>①調べる目的に合うような資料を集める。②資料を整理する。③資料の傾向を読みとり、そのことがらについて考察する。④調べたことがらやその考察を、レポートやポスターにまとめる。</li> </ul> </li> </ul>	1	10	4
			2	8	0
			3	10	0

【数学】

啓林館	<p>○ 各学年の巻頭の「ノートをつくふうして、学習に役立てよう」でノートのかき方を扱っている。また第1学年2章末に「この章の学習を終えて、わかったことや気づいたことなどをまとめておきましょう。」という設問がある。また巻末に教科書で使われるアルファベットと筆記体を示している。</p> <p>○ 第1学年「資料の活用」でレポートを例示し、かき方を説明している。調査したことをレポートにまとめた具体例がある。また、各学年の別冊MathNaviでは、レポートの具体例を示している。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノートには、黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、先生の説明やほかの人の発言でたいせつだと思ったこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。ノートをまとめることは、知識や考えを整理し、理解を深めることに役立ちます。ここでは、いくつかのノートのとり方を紹介します。</li> </ul> <p>○ レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをまとめ、発表しよう。</li> <li>①調べたいことを決めよう②必要な資料を集めよう③資料を整理しよう④整理した資料を考察しよう⑤まとめて発表しよう⑥さらに深めよう</li> </ul>	1	4	15
			2	2	10
			3	2	12
数研	<p>○ 各学年の巻頭に「ノートづくり方」でノート指導を扱っている。また、単元中にノートを書く際に気をつける点、よりよい書き方などを同時に示す。第1学年1章末に、「その章で学んだことをふり返りノートにまとめるようにしましょう。」の設問がある。また、第1学年巻末には、アルファベットの筆記体を示し、文字、記号、数字の区別を示している。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ノートを工夫して書いておくことで、学んだことが整理しやすくなります。あとで見返したときに「学んだ内容」「重要なことがら」「自分やほかの人の考え」を思い出しやすいノートにすることが大切です。</li> <li>アルファベットを確認しましょう。特に、次の文字や記号はよく似ているため、きちんと区別できるように注意して書きましょう。ほかの文字や記号と区別するために、次のように筆記体で書くのもよいでしょう。</li> </ul>	1	7	0
			2	3	0
			3	2	0
日文	<p>○ 各学年の巻頭で「ノートの工夫」を示している。</p> <p>○ 各学年の巻末では、生徒のレポートを例示し、書き方を説明している。また、第1学年「資料の活用」で、調査したことをレポートにまとめた具体例がある。</p>	<p>○ ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい学習をするときや、復習をしたいときには、ノートを見て、前に学んだことをふり返ることが大切です。そのためにも、自分のノートを工夫してつくりましょう。</li> </ul> <p>○ レポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことや調べたことなどを、レポートにまとめてみましょう。</li> </ul> <p>&lt;レポートのかき方&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①課題を明確にする②調べた結果をかく③まとめや感想をかく</li> </ul>	1	1	6
			2	1	2
			3	1	4

## 理 科

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新編 新しい科学
4	大	日本	新版 理科の世界
11	学	図	中学校科学
17	教	出	自然の探究 中学校理科
61	啓	林館	未来へひろがるサイエンス (マイノート)

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の導入における取扱い内容, 1時間の学習のねらいの提示までの流れ
		② 知識や概念の定着を図り, 理解を深めるための工夫	既習事項, 単元末のまとめの取扱い方及びその具体例
		③ 観察, 実験の技能を習得させるための工夫	観察, 実験における数・内容・手順・補足事項及び観察, 実験における安全確保の状況
		④ 自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫	環境保全に関する取扱い方及び環境保全に係る単元構成
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	学習内容と日常生活や社会, 職業との関連を図った読み物等
		⑥ 原理や法則の理解を深めるための観察・実験, ものづくりの取扱い	ものづくりの内容, 数及び補足的な観察・実験の数
		⑦ 探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫	科学的に探究する活動の過程の示し方及びその具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元の配列の工夫	単元の配列, ページ総数
		⑨ 総合的なものの見方を育成する単元の工夫	単元(終章)名及びその活動の例
		⑩ 補足的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫	補足的な問題の設定及び発展的な学習の取扱い数
(エ)	内容の表現・表記	⑪ 科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い	単元の導入部分における写真や資料等の取扱い方 巻頭・巻末の資料の内容と量
(オ)	言語活動の充実	⑫ 観察, 実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫	分析・解釈する視点の示し方とその具体例
		⑬ 科学的な概念を使用して考えたり, 説明したりする活動の工夫	レポート作成の示し方及びその例示 話し合いや説明の学習活動や知識・技能を活用する学習活動を促す工夫とその具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	単元の導入における取扱い内容, 1時間の学習のねらいの提示までの流れ

第3学年「水溶液とイオン」における具体例			
	単元の導入における取扱い内容	ページ数	学習のねらいの提示までの流れ
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「この単元では, 水溶液の電気的な性質や, 酸, アルカリの性質を学習して, イオンとは何であるかをさぐっていきよう。」</li> <li>○ 「この単元で学ぶこと」として, 3点を示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1章 電流が流れる水溶液とイオンとの関係を調べよう。</li> <li>第2章 電池のしくみとイオンとの関係を調べよう。</li> <li>第3章 酸性やアルカリ性の水溶液の性質とイオンの関係を調べよう。</li> </ul> </li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「これまでに学んだこと」(水の電気分解, 原子・分子)</li> <li>② 塩化ナトリウム(固体), 精製水, 塩化ナトリウム水溶液への通電実験の写真の掲載</li> <li>③ 「どのような物質でも, 水にとかして水溶液にすると電流が流れるのだろうか。」</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「イオンとは何だろうか。どんなはたらきをしているのだろうか。」</li> <li>○ 「これまでに学習したこと」として, 6点を示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質は原子や分子でできている。(中学校2年)</li> <li>・電流は電子の流れである。(中学校2年)</li> <li>・電流から熱や光などがとり出せる。(中学校2年)</li> <li>・水溶液には, 酸性, アルカリ性および中性のものがある。(小学校6年)</li> <li>・水溶液には, 気体が溶けているものがある。(小学校6年)</li> <li>・水溶液には, 金属を変化させるものがある。(小学校6年)</li> </ul> </li> <li>○ 「これから学習すること」として, 4点を示している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>1章 水溶液とイオン <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような水溶液に電流が流れるのだろうか。</li> </ul> </li> <li>2章 化学変化と電池 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな金属を使って, 電池ができるのだろうか。</li> </ul> </li> <li>3章 酸・アルカリとイオン <ul style="list-style-type: none"> <li>・酸性の水溶液, アルカリ性の水溶液には, それぞれどのような性質があるのだろうか。</li> <li>・酸性の水溶液とアルカリ性の水溶液を混ぜると, 水溶液の性質はどうなるのだろうか。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>① めっき工場で, 自動車部品のめっき処理の写真の掲載</li> <li>② 導線や金属中は電気が流れる。ガラスには流れない。</li> <li>③ 何が溶けているかで流れ方にちがいがあるか。</li> <li>④ 「どのような水溶液に電流が流れるのだろうか。」</li> </ul>



【理科】

<p style="text-align: center;">学 図</p>	<p>○ 「これまでに学んできたことをチェックしよう」として、次の5点を示している。</p> <p>第1章</p> <p>① 物質は、それ以上分割できない（ア）や、いくつかの（ア）が結びついた（イ）からできている。（ア）と（イ）に当てはまる言葉は何か。（中学校2年）</p> <p>② 水を電気分解したとき、陰極側と陽極側に発生した気体は、それぞれ何か。また、そのときの化学反応式を書いてみよう。（中学校2年）</p> <p>第2章</p> <p>① 水溶液は、リトマス紙の色の変わり方で、酸性、中性、アルカリ性の3つに分けることができる。リトマス紙の色が次のように変わったとき、水溶液は酸性、中性、アルカリ性のどれか。（小学校6年）</p> <p>② 塩酸に鉄やアルミニウムを入れると、どのような反応が起こるか。（小学校6年）</p> <p>第3章</p> <p>① 回路に電流が流れているとき、電流の流れと電子の流れはどのような関係にあるか。（中学校2年）</p> <p>○ 「これから学ぶこと」として、3点を示している。</p> <p>第1章 水溶液とイオン</p> <p>第2章 酸・アルカリとイオン</p> <p>第3章 電池とイオン</p> <p>○ 「ここでは、さらに原子の構造やイオンを学習し、物質のなりたちと性質について理解を深めていこう。」</p>	<p style="text-align: center;">3</p> <p>① 雷が鳴ったら海からあがる。海水は電気を流す。また、水の電気分解では、電流を流しやすくするために、水酸化ナトリウムを水に溶かした。海水や水酸化ナトリウム水溶液が電流を流すのはなぜだろうか。</p> <p>② 「これまでに学んできたこと」（原子・分子、水の電気分解）</p> <p>③ どのような物質でも、水溶液にすると電流が流れるのだろうか。</p> <p>④ 「いろいろな水溶液について電流が流れるかどうか調べてみよう。」</p>
<p style="text-align: center;">教 出</p>	<p>○ 「これから、水溶液の電気的な性質や酸・アルカリの性質の学習を通して、イオンとは何か調べていこう。」</p> <p>○ 「学んでいくこと」として、これまでに学習した小学校の内容とあわせて3点を示している。</p> <p>1章 水溶液とイオン 「水溶液にとけているもの（小6）」「物質の溶解（中1）」「気体の発生と性質（中1）」「原子・分子（中2）」</p> <p>2章 電池とイオン 「電子（中2）」「電気エネルギー（中2）」</p> <p>3章 酸・アルカリとイオン 「酸性、アルカリ性、中性（小6）」「金属を変化させる水溶液（小6）」</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <p>① 塩化ナトリウム水溶液、蒸留水、砂糖水の通電実験の写真の掲載</p> <p>② 「思い出そう」（金属中の電子の存在）</p> <p>③ 水溶液には、とけている物質によって電流が流れるものと流れないものがある。</p> <p>④ 「さまざまな種類の物質を水にとかし、その水溶液について電流が流れるか調べてみよう。」</p>
<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○ 「化学変化と電気との関係について調べてみよう。」</p> <p>○ 「単元のねらい」として、次の2点を示している。</p> <p>1章 水溶液とイオン ・水溶液の中で電流を通す正体となるものは何だろうか。</p> <p>2章 酸・アルカリと塩 ・酸やアルカリの正体はなんだろうか。</p>	<p style="text-align: center;">2</p> <p>① 蒸留水、塩化ナトリウム、塩化ナトリウム水溶液での通電実験の写真の掲載</p> <p>② 「ふり返り」（金属は電気を通す、水の電気分解、原子、電子）</p> <p>③ 蒸留水は電気を通さないが、水酸化ナトリウム水溶液は電気を通す。</p> <p>④ 「どのような物質でも、水溶液にすると電流を通すようになるのだろうか。」</p>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
<b>方法</b>	既習事項、単元末のまとめの取扱い方及びその具体例

	既習事項の取扱い方	単元末のまとめの取扱い方	具体例（第3学年「物体の運動」における取扱い）								
			既習事項の取扱い	単元末のまとめの取扱い「力の合成・分解」の解説状況							
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の導入部に「これまでに学んだこと」という枠組を設けている。</li> <li>○ 各章の関連する内容の横に「これまでに学んだこと、算数、数学、社会科で学んだこと」という枠組を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の終末に「学習内容の整理」として、大切な用語、基本的な概念、法則の解説を位置付けている。(2ページを基本とする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物体の運動の状態を変える。</li> <li>○ 物体を支える。</li> <li>○ 物体の形を変える。</li> <li>○ 地球上の物体には、地球の中心に向かって重力がはたらいている。</li> <li>○ 速さは、単位時間に物体が移動する距離で表す。</li> <li>○ 力には、「物体の運動の状態を変える」はたらきがある。</li> <li>○ 力には、大きさ、向き、作用点の3つの要素がある。この3つの要素は力の矢印で表される。</li> <li>○ ニュートン〔N〕は力の大きさを表す単位である。</li> <li>○ 平行四辺形 2組の対辺がそれぞれ平行な四角形</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→小_算6年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_数2年</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>取扱いページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>「大切な用語」の数</td> <td>29</td> </tr> </table> <p>&lt;力の合成・分解&gt;の解説状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一直線上で向きが同じ2力：2力の和（※図あり）</li> <li>○ 一直線上で向きが逆の2力：2力の差（※図あり）</li> <li>○ 一直線上にない2力：平行四辺形の対角線（※図あり）</li> <li>○ 1つの力を2力に分解〔Fを対角線とする平行四辺形〕（※図あり）</li> </ul>	取扱いページ数	2	「大切な用語」の数	29		
				取扱いページ数	2						
				「大切な用語」の数	29						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>取扱い総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	学年	取扱い総ページ数	1年	8	2年	8	3年
学年	取扱い総ページ数										
1年	8										
2年	8										
3年	10										
<b>大日本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組を設けている。</li> <li>○ 各章の関連する内容の横に「思い出そう」「算数では」「数学では」という枠組を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の終末に「まとめ」として、キーワードや基本的な概念、法則の解説を位置付けている。(2ページを基本とする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 力には3つのはたらきがある。(物体の形を変える。物体の動きを変える。物体を持ち上げたり、支えたりする。)</li> <li>○ 直角(90°)に交わる2本の直線は、垂直であるという。</li> <li>○ 平面に交わる直線1は、その交点を通る平面上の2直線に垂直ならば、その平面に垂直である。</li> <li>○ 力の大きさの単位は、ニュートン(N)である。</li> <li>○ 力には3つの要素があり、これらは1本の矢印で表すことができる。</li> <li>○ ばねののびは、加えた力の大きさに比例する。</li> <li>○ 向かい合った2組の辺が平行な四角形を平行四辺形という。平行四辺形の向かい合った辺の長さは等しい。</li> <li>○ 東日本では50Hz、西日本では60Hzの周波数の交流を使っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>→中_理1年</li> <li>→小_算4年</li> <li>→中_数1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→中_理1年</li> <li>→小_算4年</li> <li>→中_理2年</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>取扱いページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>キーワード(重要語句)の数</td> <td>27</td> </tr> </table> <p>&lt;力の合成・分解&gt;の解説状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 力の合成：2つの力を合わせて、同じはたらきをする1つの力にすること。(※図あり)</li> <li>○ 力の分解：1つの力を同じはたらきをする2つの力に分けること。(※図あり)</li> </ul>	取扱いページ数	2	キーワード(重要語句)の数	27		
				取扱いページ数	2						
				キーワード(重要語句)の数	27						
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>取扱い総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	学年	取扱い総ページ数	1年	8	2年	8	3年
学年	取扱い総ページ数										
1年	8										
2年	8										
3年	11										

【理科】

学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の導入部に「これまでに学んできたことをチェックしよう」という枠組を設けている。</li> <li>○ 各章の関連する内容の横に「思い出してみよう」「数学とのつながり」という枠組を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の終末に「学習のまとめ」として、基本的な用語、基本的な概念、法則の解説を位置付けている。(2ページを基本とする。最終単元には位置付けがない。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物体に力がはたらくとき、その物体には、「変形する」、「運動のようすが変わる」、「支えられている」という現象がみられる。</li> <li>○ 地球がその中心に向かって、地球上の物体を引きつける力を重力という。</li> <li>○ 力の大きさの単位をニュートン(N)という。また、100gの物体が受ける重力の大きさは約1Nである。</li> <li>○ 平行四辺形は、向かい合う辺が平行。向かい合う辺の長さが等しい。</li> <li>○ 数学では、比例を表す式は<math>y=ax</math>であり、そのグラフは原点を通る直線である。</li> </ul>	→中_理1年 →中_理1年 →中_理1年 →中_数2年 →中_数	<table border="1"> <tr> <td>取扱いページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>「基礎的な用語」の数</td> <td>38</td> </tr> </table> <力の合成・分解>の解説状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2力を1つの力におきかえることを力の合成といい、合成された力を合力という。(※図あり)</li> <li>○ 1つの力をそれと同じはたらきをする2力に分けることを力の分解といい、分けた2力をもとの力の分力という。(※図あり)</li> </ul>	取扱いページ数	2	「基礎的な用語」の数	38		
		取扱いページ数	2								
		「基礎的な用語」の数	38								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>取扱い総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	学年	取扱い総ページ数	1年	8	2年	8	3年	10	
学年	取扱い総ページ数										
1年	8										
2年	8										
3年	10										
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の「学んでいくこと」の中にこれまで学習した内容を示している。</li> <li>○ 各章の関連する内容の横に「思い出そう」「算数では」「数学では」という枠組を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の終末に「要点と重要用語の整理」として、用語や「基本的な概念、法則の解説」を位置付けている。(2ページを基本とする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「力と圧力」</li> <li>○ 「力と圧力」</li> <li>○ 「振り子の運動」</li> <li>○ 「てこの規則性」</li> <li>○ 力のはたらきについては、第1学年で学習している。</li> <li>○ 小学校の算数では、「距離」と「道のり」を区別していたが、ここでいう移動距離は、「道のり」に等しい。</li> <li>○ 斜面上の物体にはたらく力については、57ページを参照しよう。</li> </ul>	→中_理1年 →中_理1年 →小_理5年 →小_理6年 →中_理1年 →小_算 →中_理3年	<table border="1"> <tr> <td>取扱いページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>要点や重要用語の数(文中の太字)</td> <td>25</td> </tr> </table> <力の合成・分解>の解説状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 力の合成:一つの物体にはたらく二つの力は、この二つの力と同じはたらきをする一つの力におきかえることができる。二つの力と同じはたらきをする一つの力を求めることを力の合成といい、合成した力をもとの二つの力の合力という。(※図あり)</li> <li>○ 異なる方向にはたらく力の合成:異なる方向にはたらく二つの力の合力は、二つの力を表す矢印を隣り合う2辺とする平行四辺形の対角線で表される。これを平行四辺形の法則という。(※図あり)</li> <li>○ 力の分解:一つの力をこれと同じはたらきをする二つの力に分けることを力の分解といい、分解した二つの力をもとの力の矢印を対角線とする平行四辺形の2辺で表される。(※図あり)</li> </ul>	取扱いページ数	2	要点や重要用語の数(文中の太字)	25		
		取扱いページ数	2								
		要点や重要用語の数(文中の太字)	25								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>取扱い総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>11.3</td> </tr> </tbody> </table>	学年	取扱い総ページ数	1年	8	2年	8	3年	11.3	
学年	取扱い総ページ数										
1年	8										
2年	8										
3年	11.3										
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の関連する内容の横に「ふり返り」という枠組を設けている。</li> <li>○ 各章の関連する内容の横に「国語、算数、数学、社会科と関連」という枠組を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の終末に「学習のまとめ」として、「用語」や「基本的な概念、法則の解説」を位置付けている。(2ページを基本とする。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 力にはどのようなものがあったか。また、その中で、重力のように離れていてもはたらく力には、どのようなものがあったか。</li> <li>○ 力の3要素とは何だったか。また、物体にはたらく力は、どのように表したか。</li> <li>○ 帆をつけた車や輪ゴムで動く車は、どうなったとき動いたか。</li> <li>○ 振り子の振れ方には、どのような規則性があったか。</li> <li>○ 力には、どのようなはたらきがあったか。</li> <li>○ 速さは一定時間に進む道のりで表されることを学習した。</li> <li>○ 移動距離の求め方についてはp.286参照。(「理科でよく使う算数・数学」)</li> </ul>	→小_理3年 →中_理1年 →中_理2年 →中_理1年 →小_理3年 →小_理5年 →中_理1年 →小_算6年 →算数・数学	<table border="1"> <tr> <td>取扱いページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>重要用語の数(文中の太字)</td> <td>47</td> </tr> </table> <力の合成・分解>の解説状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 力の合成:2力と同じはたらきをする1つの力を求めること。合成した力を合力という。</li> <li>○ 力の分解:1つの力を、これと同じはたらきをする2力に分けること。分解して求めた力を分力という。</li> <li>○ 平行四辺形の法則:角度をもってはたらく2力の合力は、2力を2辺とする平行四辺形の対角線で表される。分力はその反対。(※図あり)</li> </ul>	取扱いページ数	2	重要用語の数(文中の太字)	47		
		取扱いページ数	2								
		重要用語の数(文中の太字)	47								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>取扱い総ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	学年	取扱い総ページ数	1年	8	2年	8	3年	10	
学年	取扱い総ページ数										
1年	8										
2年	8										
3年	10										

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	③観察, 実験の技能を習得させるための工夫
<b>方法</b>	観察, 実験における数・内容・手順・補足事項及び観察, 実験における安全確保の状況

	学年	観察, 実験の数	第1学年「身のまわりの物質」における観察, 実験の内容	第1学年「蒸留」の実験での具体例	
				実験の手順及び補足事項	安全確保の状況
東書	1	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金属と金属でない物質のちがい</li> <li>○ 白い粉末の区別</li> <li>○ 二酸化炭素と酸素のちがい</li> <li>○ 水にとける物質のようす</li> </ul>	① 混合物を熱して出てきた液体を集める ② 出てきた液体を調べる  <b>【補足事項】</b> ・温度計の球部は, 枝の高さにして, 出てくる蒸気(気体)の温度をはかる。 ・ガラス管の先が, たまった液の中に入らないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護眼鏡マーク</li> <li>○ 換気マーク</li> <li>○ 薬品のあつかいに注意マーク</li> <li>○ 火のあつかいやけどに注意マーク</li> <li>○ ガラス管が液の中に入っていないことを確認してから火を消す。</li> </ul>
	2	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水にとけた物質をとり出す</li> <li>○ ロウの状態変化と体積・質量の変化</li> <li>○ エタノールが沸騰するときの温度</li> <li>○ 混合物の蒸留</li> </ul>		
	3	22			
大日本	1	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3種類の白い粉末がそれぞれ何か調べる</li> <li>○ 金属に共通な性質を調べる</li> <li>○ 酸素と二酸化炭素の性質を調べる</li> <li>○ ろうが状態変化するときの体積と質量の変化を調べる</li> </ul>	① 赤ワインを加熱し, 液体を集める。 ② 集めた液体の性質を調べる。  <b>【補足事項】</b> ・試験管をかえるときはビーカーを横にすべらせるとよい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護眼鏡写真</li> <li>○ 液体が逆流しないよう, ガラス管が液体に入っていないことを確認して火を消す。</li> </ul>
	2	29	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パルミチン酸を加熱したときの温度変化を調べる</li> </ul>		
	3	22	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 赤ワインを加熱してエタノールをとり出せるか調べる</li> <li>○ 物質が水に溶けるようすを調べる</li> <li>○ ミョウバンや食塩を水溶液からとり出す</li> </ul>		
学図	1	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物質を加熱したときの変化のようすで区別しよう</li> <li>○ 1円硬貨の密度から物質名をつきとめよう</li> <li>○ ロウが状態変化するときの体積や質量の変化を調べよう</li> </ul>	① 混合物を加熱する ② 出てきた液体を集める ③ 出てきた液体を調べる  <b>【補足事項】</b> ・温度計の先をガラス管の先にそろえて, 出てくる気体の温度をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護眼鏡イラスト</li> <li>○ ガラス管の先が, たまった液の中に入らないようにする。</li> <li>○ エタノールは火がつきやすいので, 出てきた気体に火を近づけてはいけない。</li> <li>○ ゴム管が熱くなっているため, 試験管を入れかえるときは注意する。</li> </ul>
	2	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 固体がとける温度を調べよう</li> <li>○ 水とエタノールの混合物からエタノールを取り出そう</li> <li>○ 酸素や二酸化炭素を発生させて区別しよう</li> <li>○ 水溶液から溶質を取り出そう</li> </ul>		
	3	20			

【理科】

教 出	1	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金属と金属でないものを区別しよう</li> <li>○ 白色の粉末を区別しよう</li> <li>○ 酸素や二酸化炭素を発生させてその性質を調べよう</li> <li>○ アンモニアを発生させてその性質を調べよう</li> <li>○ 物質が水にとけるようすを調べよう</li> <li>○ 水溶液から溶質を取り出そう</li> <li>○ ロウが状態変化するときの体積や質量の変化を調べよう</li> <li>○ 物質が固体から液体に状態変化するときの温度を調べよう</li> <li>○ 混合物を加熱して出てくる物質を調べよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 装置を組み立てる</li> <li>② 加熱して出てくる物質を集める</li> <li>③ 集めた液体の性質を調べる</li> </ul> <p>【補足事項】 ※「注意事項」(右参照)として示されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 換気マーク</li> <li>○ 保護眼鏡マーク</li> <li>○ エタノールは引火しやすいので、加熱中は出てくる物質や集めた液体をガスバーナーに近づけないように注意する。</li> <li>○ 加熱しているとき、加熱するのをやめるときには、試験管に集めた液体にガラス管の先が入らないように十分注意する。</li> <li>○ 深く吸いこまないように注意する。</li> <li>○ やけどをしないように注意する。</li> </ul>
	2	29			
	3	25			
啓 林 館	1	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 謎の物質Xの正体</li> <li>○ 密度による物質の区別</li> <li>○ 酸素と二酸化炭素の発生とその性質</li> <li>○ 身のまわりのものから発生する気体</li> <li>○ 水にとけた物質のとり出し</li> <li>○ エタノールが沸とうする温度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 水とエタノールの混合物を加熱する</li> <li>② 出てきた液体の性質を調べる</li> </ul> <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温度計の液だめは、枝の高さにして、出てくる蒸気の温度をはかる。</li> <li>・ガラス管の先が、たまった液体の中に入らないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 換気マーク</li> <li>○ 保護眼鏡マーク</li> <li>○ やけど注意マーク</li> <li>○ 火気注意マーク</li> <li>○ 必ず安全眼鏡をかけて実験を行う。</li> <li>○ エタノールは引火しやすいので、加熱中は出てきた液体に火を近づけない。</li> <li>○ ゴム管やガラス管が熱くなっているため、試験管を入れかえるときは、やけどに注意する。</li> <li>○ ガラス管が試験管の液体につかっていることを確認してから火を消す。</li> <li>○ 長く、深く吸いこまない。</li> <li>○ 火が見えにくいので、やけどに注意する。</li> </ul>
	2	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 融点の測定と物質の区別</li> <li>○ 水とエタノールの分離</li> </ul>		
	3	23			

(注)「実験数」は、「実験」「観察」「観測」「実習」「調査」と表記されているものをカウントしている。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	④自然環境の保全に寄与する態度の育成を図る工夫
<b>方法</b>	環境保全に関する取扱い方及び環境保全に係る単元構成

	環境保全に関する取扱い方				第2分野 「自然環境の調査と環境保全」に係る単元構成
	取扱い方	取扱い箇所数		例（第3学年）	
		学年	数		
東書	○ コラム「科学でGO! エコ大陸」で環境保全に関する話題や資料を示している。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中和を利用した環境の改善</li> <li>○ エネルギー変換効率の向上を目指して</li> <li>○ はたらく微生物!</li> <li>○ サンゴ礁は生物のつぼだ!</li> <li>○ 地球温暖化</li> <li>○ エネルギー資源の未来</li> <li>○ 世界をリードする福岡県の水素戦略</li> <li>○ 持続可能な社会を目指す国際的な取り組み</li> <li>○ 1つしかない地球</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然環境の調査と保全</li> <li>・調査1 身近な自然環境の調査</li> <li>○ 科学技術と人間</li> <li>○ 持続可能な社会をつくるために</li> <li>・実習1 自然環境の保全と科学技術の利用</li> </ul>
		2	1		
		3	9		
大日本	○ 自然環境の保全に関わる話題や資料は関連を示すマークを設けている。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生物濃縮</li> <li>○ 水の浄化</li> <li>○ カンジキウサギ, ヤマネコ, トナカイの変動</li> <li>○ 外来種ヒガタアシを除去する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然環境と人間のかかわり</li> <li>・調査例1 川や湖の汚れの程度を調べよう</li> <li>・調査例2 野鳥を観察しよう</li> <li>・調査例3 地球温暖化について考えよう</li> <li>○ 暮らしを支える科学技術</li> <li>○ たいせつなエネルギー資源</li> <li>○ これからの暮らしを考えよう</li> </ul>
		2	2		
		3	4		
学図	○ 自然環境の保全に関わる話題や資料は関連を示すマークを設けている。	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発光ダイオード</li> <li>○ メダカの体色</li> <li>○ 長い時間で考えたときの物質の移動</li> <li>○ 琵琶湖の外来種の影響</li> <li>○ 放射線の被害</li> <li>○ 海洋温度差発電</li> <li>○ ライフサイクルアセスメント</li> <li>○ 自然環境の復元～弘前だんぶり池～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然と人間</li> <li>・観察1 大気の汚れぐあいを調べよう</li> <li>○ 科学技術と人間</li> <li>○ 自然環境の保全と科学技術</li> <li>○ 科学を仕事に活かす</li> <li>・職業紹介 レンジャー</li> </ul>
		2	1		
		3	8		
教出	○ コラム「ハローサイエンス」に、環境保全に関する話題や資料を示している。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中和の利用</li> <li>○ 発電所と環境の保全</li> <li>○ 微生物を利用した下水処理</li> <li>○ 生態系における窒素の循環</li> <li>○ 食物連鎖と生物濃縮</li> <li>○ 外来種による生態系のつり合いへの影響</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間と環境</li> <li>・調査1 身近な環境を調べよう</li> <li>○ 科学・技術の発展</li> <li>○ 科学・技術の利用と環境の保全</li> </ul>
		2	3		
		3	6		
啓林館	○ 環境保全に関する話題や資料の隅には関連を示すマークを設けている。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 太陽系の多様な衛星</li> <li>○ ガスを使って発電する家</li> <li>○ 人間が形を変えた生態系のピラミッド</li> <li>○ 分解者の力でリサイクル</li> <li>○ 身近な自然環境の調査</li> <li>○ 水生生物による水質調査</li> <li>○ 名取のハマボウフウ～震災にも負けない～</li> <li>○ 身近な自然からの恩恵と自然災害</li> <li>○ 公害を克服した神通川</li> <li>○ 豊かな自然が残されたり、自然の保全活動が行われたりしているところを調べてみよう</li> <li>○ クールエネルギー「利雪」</li> <li>○ サケが還る町</li> <li>○ 海の環境を守る生き物の宝庫</li> <li>○ みんなが見守るバクの川「鶴見川」</li> <li>○ 富士山のわき水がつくる川と生態系</li> <li>○ 豊かな生態系を育むワンド</li> <li>○ 環境対策の進む四日市市</li> <li>○ 宇宙のごみを監視する望遠鏡</li> <li>○ エコアイランドなおしま</li> <li>○ 水道水がすべて地下水の都市「熊本市」</li> <li>○ 鹿児島湾と「サツマハオリムシ」</li> <li>○ 海水揚水発電</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間と環境</li> <li>・調査1 身近な自然環境の調査</li> <li>○ 自然が人間の生活におよぼす影響</li> <li>・調査2 身近な自然からの恩恵と自然災害</li> <li>○ 科学技術と人間</li> <li>○ 科学技術の利用と環境保全</li> <li>○ 地球とともに生きる</li> </ul>
		2	8		
		3	22		

【理科】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等

	取扱い箇所 (コラム)	第1分野「身の回りの物質」		第2分野「植物の生活と種類」	
		学習内容	関連した読み物等	学習内容	関連した読み物等
<b>東 書</b>	「科学でGO！」 「from JAPAN ニッポンの科 学」	身の回りの物 質とその性質	○ リサイクルに役立つマーク ○ 生物がつくる有機物と人工的に つくられた有機物	花のつくりと はたらき	○ 花粉をめしべに運ぶために
		気体の性質	○ まぜるな危険！ ○ 身のまわりの気体と注意が必要 な気体	葉・茎・根の つくりとはた らき	○ 道管は死んだ細胞 ○ 植物工場
		物質の姿と状 態変化	○ 御神渡り ○ 石油の分留		
		単元を通して	○ 下町ボブスレー発進！		
<b>大 日 本</b>	「くらしの 中の理科」 「科学史」 「プロフェ SSIONAL」 「トピック」	いろいろな物 質	○ プラスチック製品についている マーク ○ 身のまわりで使われている金属 ○ アルキメデスと王冠	植物の体のつ くりとはたら き	○ 果実や野菜の維管束 ○ 光合成の材料は何か
		気体の発生と 性質	○ アルゴン ○ 酸素の発見 ○ 「まぜるな危険」 ○ 気体の有機物		
		物質の状態変 化	○ なぜ寒冷地でも水中の生物は生 活できるか ○ ドライアイスの状態変化 ○ 温度を表す2つの単位 ○ 酸素も液体になる ○ 鋳物 ○ 石油の精製	学んだことを 活かそう	○ 牧野富太郎 ○ 植物の種
		水溶液	○ 生活排水 ○ 糖度 ○ 化学薬品と濃度		
		学んだことを 活かそう	○ マイクロスケール実験		
<b>学 図</b>	「科学の窓」 「科学を仕事 に活かす～は たらく～」	身のまわりの 物質	○ 電気を通すプラスチック ○ 金ばくの利用 ○ アルキメデスと王冠	植物のつくり とはたらき	○ 植物がつくる養分と私たち の食物
		物質の状態変 化	○ 水の状態変化と体積 ○ ドライアイスの状態変化 ○ 蒸発と沸とうを粒子のモデルで 考える ○ 状態変化を利用したもの作り ○ 温度目盛り ○ 石油の蒸留	植物の仲間	○ 子孫をふやすための方法 ○ 植物の分類に貢献した人々
		気体の性質	○ 有毒な気体 ○ 「まぜるな危険」とは ○ 都市ガスとプロパンガス		
		水溶液の性質	○ 捨てる水溶液に注意 ○ 水溶液の濃度 ppm ○ 海水から塩を取り出す	単元を通して	○ 花屋・フラワーデザイナー ○ 農業者 ○ 植物園 ○ 植物工場の研究者
		単元を通して	○ 貴金属アクセサリーの工房 ○ 金属の加工 ○ 合成繊維を開発する研究者		

【理科】

教 出	「ハローサイ エンス」 「生活」 「歴史」 「環境」	物質の区別	○ 金の性質の利用 ○ 人工的な有機物 ○ プラスチックのリサイクル	身のまわりの 生物を観察し よう	○ さまざまなプランクトン
		気体の性質	○ 有機物の気体 ○ まぜるな危険	花のつくりと はたらき	○ いろいろな花のつくり ○ 裸子植物と被子植物の花の つくりのちがい ○ 種子を散布する方法
		水溶液の性質	○ わたしたちの生活と排水 ○ 味はどちらが濃い？ ○ 質量パーセント濃度と異なる濃 度 ○ 再結晶の利用	根・茎・葉と 水のゆくえ 葉と日光	○ いろいろな根 ○ いろいろな茎 ○ 栄養分の貯蔵と利用 ○ 光合成の研究の歴史
		物質の状態変 化	○ ダイヤモンドダスト ○ 打ち水 ○ 精製水	植物のなかま	○ 分類学の父 リンネ ○ 日本の植物分類学の父 牧 野富太郎
啓 林 館	「ぶれいく t ime」 「ひろがる世 界」	いろいろな物 質とその性質	○ サッシに適した材料 ○ 人間の体は水に浮くか沈むか	花のつくりと はたらき	○ 花と旅する養蜂家
		いろいろな気 体とその性質	○ 空気中の第3の気体	水や栄養分を 運ぶしくみ	○ 蓮根やイネの根の穴 ○ 木の茎と草の茎 ○ 切り花の水あげ
		水溶液の性質	○ 再結晶の産物「金平糖」	植物のなかま 分け	○ 分類学の父 ○ 植物を愛するために生まれ た人
		物質の姿とそ の変化	○ 石油からガソリンや灯油をとり 出すには	単元を通して	○ 世界最大の花・世界最小の 花
		単元を通して	○ 海水から真水をつくる		



## 【理科】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥原理や法則の理解を深めるための観察・実験, ものづくりの取扱い
<b>方法</b>	ものづくりの内容, 数及び補足的な観察・実験の数

	学 年	ものづくりの内容及び数		補足的な観察・実験の数				
		ものづくり	数	エネ ル ギ ー	粒 子	生 命	地 球	計
東 書	1	結晶作り, 簡易カメラ, 浮沈子, 望遠鏡, 火山の立体模型, 火山の噴火モデル, ペーパークラフト	7	23	11	17	14	65
	2	カルメ焼き, ペーパークラフト, モーターづくり(2)	4	14	9	9	8	40
	3	レモン電池, 指示薬, ループコースター, ペーパークラフト	4	18	9	6	12	45
大 日 本	1	楽器づくり(3), 3Dメガネ, 震源分布, 葉脈標本, しおり, 結晶づくり	8	14	6	6	8	34
	2	カルメ焼き, モーター(3), スピーカー, ふき流し, 簡易気圧計, はく検電器, 自作湿度計	9	8	11	12	7	38
	3	ループコースター, 電池(4), 指示薬	6	18	8	10	6	42
学 図	1	望遠鏡, 楽器作り(3), 結晶作り, 化石レプリカ	5	11	8	9	4	32
	2	モーター, スピーカー, 湿度計, 気圧計, ライデンびん	5	5	5	7	4	21
	3	電池(2), 指示薬, 乾電池	4	12	4	5	6	27
教 出	1	簡易カメラ, 浮沈子, 火山モデル	3	16	10	11	6	43
	2	簡易モーター, 分子模型, 電球, リニアモーターカー	4	11	8	5	4	28
	3	指示薬, 圧縮発火器, 太陽, 星座早見	4	7	7	2	6	22
啓 林 館	1	楽器作り(3), 動くおもちゃ(2), 望遠鏡, 震源立体モデル, 結晶作り, 浮沈子	9	16	17	11	8	52
	2	簡易検流計, クリップモーター, スピーカー	3	14	11	9	5	39
	3	指示薬(2)	2	11	11	10	6	38

(注) 「補足的な観察・実験の数」は、視点③以外で、トピックや図で扱われている観察・実験の数をカウントしている。

【理科】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑦探究する能力の基礎と態度の育成を図る工夫
<b>方法</b>	科学的に探究する活動の過程の示し方及びその具体例

	科学的に探究する活動の過程の示し方	第2学年 第1分野 「電圧と電流の関係」における具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭に「探究の流れの例」として探究の学習の過程を示している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「ふしぎ」を見つけよう</li> <li>② 関連情報を収集しよう</li> <li>③ 仮説を立てよう</li> <li>④ 実験計画を立てよう</li> <li>⑤ 観察・実験を行おう</li> <li>⑥ 結果を整理しよう</li> <li>⑦ 考察しよう</li> <li>⑧ 探究の結果をまとめよう</li> </ul> </li> <li>○ 「? (解決する課題)」、「考えよう」、「話す」、「調べよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 [導入] …乾電池の数と豆電球の明るさの関係</li> <li>2 [課題の提示] …「回路に加わる電圧と流れる電流には、どのような関係があるのだろうか。」</li> <li>3 [調べ方を考えよう] …目的と実験の計画を立てる</li> <li>4 [実験] …「抵抗器に加わる電圧を変化させたときの電流の大きさを測定し、電圧と電流の関係を調べる。」               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 回路をつくる</li> <li>② 電圧を加えて電流を調べる</li> <li>③ グラフをかく</li> </ul> </li> <li>5 [結果] …結果の整理の視点</li> <li>6 [考察・話す] …考察の視点・考察の交流</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭に探究の学習の過程を示している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 関連するこれまでの学習を示しています。</li> <li>② 学習の課題をつかみます。</li> <li>③ 課題を解決するための観察や実験を計画します。</li> <li>④ 観察や実験などを行うときの着目点を示しています。</li> <li>⑤ 観察や実験を行います。</li> <li>⑥ 記録した結果を整理します。</li> <li>⑦ 整理した結果から考察します。</li> </ul> </li> <li>○ 「? (学習の課題)」、「結果から考えてみよう」、「やってみよう」、「話し合ってみよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。</li> <li>○ 各学年の巻末に「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」として探究の過程を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 [導入] …豆電球の種類と豆電球の明るさの関係</li> <li>2 [課題の提示] …「回路を流れる電流と、回路に加わる電圧の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」</li> <li>3 [実験] …「電熱線に加える電圧を変えたときの電流の大きさを調べる」               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 回路を組み立てる。</li> <li>② 細い電熱線 a を流れる電流の大きさをはかる。</li> <li>③ 太い電熱線 b を流れる電流の大きさをはかる。</li> </ul> </li> <li>4 [結果] …結果の整理の視点</li> <li>5 [考察] …考察の視点</li> <li>6 [話し合ってみよう] …考察の交流</li> </ul>
<b>学 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭に「観察、実験の進め方」として探究の学習の過程を示している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 目的</li> <li>② 計画</li> <li>③ 観察・実験</li> <li>④ 結果</li> <li>⑤ 考察</li> <li>⑥ まとめ・発表</li> </ul> </li> <li>○ 「? (観察や実験で解決する課題)」、「考察とまとめ」、「話し合ってみよう」、「思い出してみよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。</li> <li>○ 各学年の巻末に「自由研究の進め方」として探究の過程を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 [導入] …電熱線や抵抗器にかかる電圧を変えたとき流れる電流の関係</li> <li>2 [課題の提示] …「電熱線にかかる電圧と電流の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」</li> <li>3 [実験] …「電圧と電流の関係を調べよう」               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 回路をつくる</li> <li>② 電圧と電流の大きさをはかる</li> <li>③ 電熱線をかえてみる</li> </ul> </li> <li>4 [結果] …結果の整理の視点</li> <li>5 [考察] …考察の視点</li> </ul>

【理科】

<p style="text-align: center;">教 出</p>	<p>○ 第1学年の巻頭に、「理科学習の進め方」として探究の学習の過程を示している。</p> <p>① 疑問をもつ ② 課題を設定する ③ 仮説をもち、計画を立てる ④ 観察や実験を行い、結果を得る ⑤ 得られた結果をもとに考察する ⑥ 新たな疑問から、さらなる課題へ</p> <p>○ 「? (学習の課題)」、「話し合おう」、「考えよう」、「調べよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。</p> <p>○ 各学年の巻末の「自由研究」においても、上記と同様の探究の過程を示している。</p>	<p>1 [導入] …乾電池の数と豆電球の明るさの関係 2 [課題の提示] …「回路の電圧と電流の大きさとの間にはどのような関係があるか。」 3 [話し合おう] …実験方法を考える 4 [実験] …「電熱線に加わる電圧と流れる電流の大きさとの関係を調べよう」</p> <p>○ 電熱線aについて調べる</p> <p>① 電熱線aを使って、加わる電圧と流れる電流の大きさを同時に測定する回路をつくる。 ② 電源装置で、電熱線にかかる電圧を1.5Vに調整して、電流の大きさを測定する。 ③ 電熱線に加わる電圧を3.0V, 4.5V, 6.0V, 7.5Vに調整して、それぞれの場合の電流の大きさを測定する。</p> <p>○ 電熱線bについて調べる</p> <p>④ 電熱線aをbにかえて回路をつくり、電熱線aのときと同様に測定する。</p> <p>5 [結果] …結果の整理の視点 6 [考察] …考察の視点</p>
<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○ 第1学年「身のまわりの物質 いろいろな物質とその性質」の単元内において「探究のしかた」として探究の学習の過程を示している。</p> <p>① 探究の課題設定 ② 予想 ③ 実験の目的 ④ 実験の計画 ⑤ 観察・実験 ⑥ 実験の結果 ⑦ 実験の考察 ⑧ 探究のまとめ</p> <p>○ 「? (学習の課題)」、「予想してみよう」、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などのキーワードで生徒の行うべき学習活動を示している。</p> <p>○ 各学年の巻末の「きみも科学者」において「探究の道しるべ」として探究の過程を示している。</p>	<p>1 [導入] …乾電池の数とモーターの回転する速さや豆電球の明るさの関係 2 [課題の提示] …「電圧を変化させたとき、回路を流れる電流はどのように変化するのだろうか。」 3 [予想してみよう] …「電圧と電流の間には、何か規則性があるのだろうか。」 4 [実験] …「抵抗器に加える電圧を変化させたときに流れる電流を測定し、電圧と電流の間の規則性を調べる。」</p> <p>① 測定のための回路をつくる ② 抵抗器アについて調べる ③ 抵抗器イについて調べる</p> <p>5 [結果] …結果の整理の視点 6 [考察] …考察の視点</p>

【理科】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧単元の配列の工夫
<b>方法</b>	単元の配列, ページ総数

	学年	1		2		3	
東書	単元の配列	1 植物の世界 2 身のまわりの物質 3 身のまわりの現象 4 大地の変化	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 動物の生活と生物の変遷 3 天気とその変化 4 電気の世界	1分野 2分野 2分野 1分野	1 化学変化とイオン 2 生命の連続性 3 運動とエネルギー 4 地球と宇宙 5 地球と私たちの未来のために	1分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	276+付録		292+付録		320+付録	
大日本	単元の配列	1 植物の生活と種類 2 物質のすがた 3 身近な物理現象 4 大地の変化	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 動物の生活と生物の進化 3 電流とその利用 4 気象のしくみと天気の変化	1分野 2分野 1分野 2分野	1 運動とエネルギー 2 生命のつながり 3 自然界のつながり 4 化学変化とイオン 5 地球と宇宙 6 地球の明るい未来のために	1分野 2分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	286		310		334	
学図	単元の配列	1 身のまわりの物質 2 身のまわりの現象 3 植物の世界 4 変動する大地	1分野 1分野 2分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 電流とそのはたらき 3 動物の世界 4 天気とその変化	1分野 1分野 2分野 2分野	1 運動とエネルギー 2 化学変化とイオン 3 生命のつながり 4 生物と環境 5 地球と宇宙 6 自然・科学技術と人間	1分野 1分野 2分野 2分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	302		310+付録		322	
教出	単元の配列	1 身のまわりの物質 2 光・音・力 3 植物の世界 4 大地の成り立ちと変化	1分野 1分野 2分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 電気の世界 3 動物の世界と生物の変遷 4 気象とその変化	1分野 1分野 2分野 2分野	1 化学変化とイオン 2 運動とエネルギー 3 エネルギーの変換と利用 4 生物の連続性 5 地球と宇宙 6 自然と人間 7 科学・技術の発展と環境の保全	1分野 1分野 1分野 2分野 2分野 2分野 1・2分野
	ページ総数	278+付録		282+付録		310+付録	
啓林館	単元の配列	1 植物のくらしとなかま 2 活きている地球 3 身のまわりの物質 4 光・音・力による現象	2分野 2分野 1分野 1分野	1 動物の生活と生物の進化 2 地球の大気と天気の変化 3 化学変化と原子・分子 4 電流の性質とその利用	2分野 2分野 1分野 1分野	1 生命の連続性 2 宇宙の中の地球 3 化学変化とイオン 4 運動とエネルギー 5 自然と人間	2分野 2分野 1分野 1分野 1・2分野
	ページ総数	270 (86) +青色シート		278 (90) +青色シート		302 (90) +青色シート	

(注) 「第1分野」を「1分野」, 「第2分野」を「2分野」として表記している。

(注) ページ総数については, 表表紙の裏を1ページ目とする。裏表紙の裏を最後のページとする。付録は数えない。( )内は, 分冊とする。

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑨総合的なものの見方を育成する単元の工夫
<b>方法</b>	単元（終章）名及びその活動の例

「自然環境の保全と科学技術の利用」の扱い方			
	単元（終章）名（上段） 項目（下段）	ページ数	単元（終章）で扱われている活動の例
東 書	持続可能な社会をつくるために ----- 1 地球環境の今 2 持続可能な社会の構築をめざして 3 私たちの身近なところでの取り組み 4 地球と私たちの未来のために	12	○ 調べよう「自分の学校で、環境やエネルギーに配慮した施設や設備、取り組みには、どのようなものがあるか調べよう。」、調べよう「自分たちの町の自然環境の特徴、自然環境のよいところ、改善した方がよいところ、環境に配慮した実際の施設について、どのようなものがあるか考えてみよう。」を設定している。 ○ 実習1「自然環境の保全と科学技術の利用」を設定し、「自然環境の保全と科学技術の利用のあり方について具体的な事例を調べ、持続可能な社会をつくるために、自分の考えを深める。」という活動を設定している。 [テーマ例] A 太陽光や風力といった再生可能エネルギーには、どのような長所や短所があるのだろうか。 B 森林資源を利用することと森林を保護することが両立している事例を調べてみよう。 C 自然環境の保全に配慮しながら物質資源やエネルギー資源を利用している事例を調べてみよう。
	これからの暮らしを考えよう ----- ○ 持続可能な社会にする方法を考えよう ○ 未来に向かって		4

【理科】

学 図	自然環境の保全と科学技術	10	<p>○ 話し合ってみよう「次の課題について、それぞれの長所や短所、あなた自身の考えをまとめてみよう。」が設定され、3つのテーマを提示している。</p> <p>[テーマ]</p> <p>① 再生可能エネルギーの利用</p> <p>② 原子力の利用</p> <p>③ 資源の利用と環境保全</p> <p>○ 話し合ってみよう「持続可能な社会をつくるための科学の役割について、次のことを話し合ってみよう。」が設定され、2つのテーマを提示している。</p> <p>[テーマ例]</p> <p>① 持続可能な社会とは、どのような社会なのだろうか。資源の利用や環境の保全などの面から考えてみよう。</p> <p>② 持続可能な社会をつくるには、今後、どのような科学を発達させればよいだろうか。</p>
	<p>1 資源の利用と環境保全との調和をどのようにはかるか</p> <p>2 持続可能な社会をつくるための科学の役割は何か</p>		
教 出	科学・技術の利用と環境の保全	6	<p>○ 「環境への負担を減らすために、どのような取り組みが行われているのだろうか。」という課題の下、考えよう「二酸化炭素やごみの量を減らす取り組みや、他の生物、土壌、海洋に与える影響を少なくする取り組みには、どのようなものがあるかを考えよう。」を設定している。</p> <p>○ 話し合おう「持続可能な社会をつくるためには、今後、どのような科学・技術を発展させていけばよいかを話し合おう。」を設定している。</p>
	<p>1 限りある資源と科学・技術</p> <p>2 環境の保全と科学・技術</p>		
啓 林 館	<p>科学技術の利用と環境保全</p> <p>1 科学技術の発展で生じた課題と対策</p>	9	<p>○ 考えてみよう「照明技術の進歩は暮らしを豊かにしてきたが、それと同時に環境にどのような影響を与えてきただろうか。」を設定している。</p> <p>○ 考えてみよう「人間の活動は環境にどのような影響を与えてきただろうか。それが問題となったのはどのようなことだろうか。その問題はどうすれば解決するのだろうか。身のまわりの問題を選んで、考えてみよう。」が設定され、「研究の進め方」と「研究テーマの例」を提示している。また、「レポートの例」も提示している。</p> <p>[テーマ例]</p> <p>① 再生可能エネルギーの利用と環境への影響</p> <p>② レアメタルの有効利用</p> <p>③ 水質汚濁とその対策</p> <p>④ 自動車の排ガス規制と環境への影響</p> <p>⑤ 原子力の利用とその課題</p> <p>⑥ 飲料容器と環境への影響</p> <p>⑦ 地球温暖化とエネルギー</p> <p>⑧ プラスチックの有効利用</p> <p>⑨ 地震対策と建築物の構造</p>

【理科】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑩ 補充的な学習や発展的な学習に関する内容の工夫
<b>方法</b>	補充的な問題の設定及び発展的な学習の取扱い数

	補充的な学習			発展マークのついた数	発展的な学習						
	学年	単元末問題のページ数	補充的な問題の設定		発展的な学習の取扱い数						
東書	1	12	○ 各単元の中に、基本的な内容を確認するための「チェック」、「例題」、「練習」、「確認」を設定している。 ○ 単元末に、「確かめと応用」とその「活用編」を補充的な問題として設定している。	21		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計
	2	12		29	1年	7	6	6	2		21
	3	13.5		31	2年	9	9	10	1		29
					※ 第1学年の巻末に掲載している「地球と生物の歴史」は地球で、「水からつくられるプラスチック代替物アクアマテリアル」は粒子でカウントした。						
大日本	1	12	○ 各単元の中に、基本的な内容を確認するための「問い」、「章末問題」を設定している。 ○ 単元末に、「単元末問題」と「読解力問題」を補充的な問題として設定している。また、第3学年の巻末に、「学習のまとめ」（1年、2年）を設定している。 ※ 「サイエンスランド」も補充的な問題としてカウントした。	25		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計
	2	12		44	1年	12	3	4	6		25
	3	17		43	2年	5	21	13	5		44
					※ 第3学年の単元3の「自然界のつながり」は、総合でカウントした。						
学図	1	12	○ ほとんどの単元の中に、基本的な内容を確認するための「問い」と「例題」、「学習の確認」を設定している。 ○ 単元末に、「単元末問題」と「活用しよう」を補充的な問題として設定している。 ○ 巻末に、年間の補充的な問題として「まとめの問題」を設定している。	10		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計
	2	12		15	1年	3	1	2	4		10
	3	14		24	2年	3	2	4	6		15
					※ 第2学年の巻末資料に掲載している「測定値の計算」は、エネルギーでカウントした。						
教出	1	16	○ 各単元の中に、基本的な内容を確認するための「要点をチェック!」を設定している。 ○ 単元末に、「基礎・基本問題」と「活用・応用問題」を補充的な問題として設定している。 ○ 巻末に、年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。	29		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計
	2	16		31	1年	13	6	6	4		29
	3	18		26	2年	9	5	15	2		31
					※ 第1学年の巻頭、第3学年の巻末資料に掲載している「原子量」は、粒子でカウントした。						
啓林館	1	14	○ 別冊のマイノートに、単元ごとに「サイエンスアプローチ」と「ステップアップ」を補充問題として掲載している。 ○ 別冊のマイノートに、単元末に「力だめし」を補充的な問題として設定している。 ○ 別冊のマイノートに、年間の補充的な問題として「学年末総合問題」を設定している。 ※ 「単元末コーナー」も補充的な問題としてカウントした。	7		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計
	2	14		10	1年	2	1	2	2		7
	3	17.5		14	2年	3	1	3	3		10
					3年						
					1 5 4 3 1 14						

(注) ページ数は、1ページ未満の場合、1/2ページとしてカウントしている。

(注) 発展的な学習の取扱い数は、各教科書が発展マークで示したもののみをカウントしている。

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	①科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い
方法	単元の導入部分における写真や資料等の取扱い方

エネルギー第1学年「身近な物理現象」	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の冒頭に各章で学習する内容を日常生活場面のイラストと関連付けて掲載している。 「光や音、力については、私たちにとってあまりにありふれたものであるため、ほとんど考えることはないのではないだろうか。しかし、身のまわりには、これらにかかわるさまざまな現象が見られる。ここでは、光や音の性質や力のはたらきについて、科学の目で見ていこう。」 光がさしこむ泉の中を探索するダイバーの写真（メキシコ・ユカタン半島）</li> <li>○ 単元の冒頭ではなく、章の冒頭等で「これまでに学んだこと」として既習事項を絵等とともに示している。 例示：日光の進み方④3「日光はまっすぐに進む。日光が当たったところはあたたかく、明るくなる。日光が当たらないところはかげになる。」「鏡は日光をはね返す。鏡を使うと、日光の進む向きを変えることができる。」</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する問いの文とともに掲載している。 「水面にうつった景色はなぜ上下が逆なのか。遠くで上がった花火の音が遅れて聞こえるのはなぜか。音の高さや大きさは何によって変わるのか。力はどのようなはたらきをしているのか。光や音、力、圧力など、五感で感じとれる現象について学習しよう。」 誘導灯に導かれて着陸する飛行機の写真（大阪府豊中市）</li> <li>○ 単元の冒頭ではなく、章の冒頭等で「これまでに学習したこと」として既習事項を写真や絵等とともに示している。 例示：「ものに日光をあてると、ものの明るさやあたたかさが変わる。（小学校3年）」</li> </ul>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の冒頭に「これまでに学んできたことをチェックしよう」として既習事項を問いと答えの形で示し、本単元の学習内容と既習事項との関連について矢印を使って示している。 例示：「日光はどのように進むか。（小学校3年）」「第1章光の性質①光はどのように進むか②凸レンズはどのようなはたらきをするか」</li> <li>○ 単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する文とともに掲載している。 「私たちは目で光を感じ、耳で音を感じ、はだで力を感じる。身のまわりには、光や音、力にかかわるいろいろな現象を見つけることができる。ここでは、光や音の性質や力のはたらきについて調べていこう。」 花火と熱気球の夜景の写真（新潟県小千谷市） レーザー光のイルミネーションの写真（群馬県榛名山） 復興輪太鼓の写真（宮城県石巻市の中学校） ボールを握る手元の写真</li> </ul>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターを使って、日常生活の事象に関する問いの文を写真とともに掲載している。 「水中の物体にはどのような力がかかっているのかな。」「上下左右が逆に見えるのはどうしてかな。」</li> <li>○ 単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する文とともに掲載している。 「身のまわりには、光・音・力による現象であふれている。しかし、その現象は、あまりにも日常的で、ありふれているので、わたしたちは、意識しなければその現象が起こったことすら気づかない。これから、光・音・力についての実験を行い、光や音の性質、力のはたらきについて調べていこう。」 スキューバダイビングの写真（沖縄県慶良間諸島） 虫眼鏡で見た景色の写真（神奈川県横浜市） 花火大会の写真（北海道釧路市）「花火の音はおくれて聞こえてくる。」</li> <li>○ 単元の冒頭で「学んでいくこと」として既習事項と各章の見出し及び学習内容との関連を示している。また、章の冒頭等で「思い出そう」として既習事項を示している。 例示：「これまでの「光の性質小3」の学習をふまえ、光が反射するときの規則性や光が屈折するときの規則性、凸レンズのはたらきについて調べていきます。」「日光がまっすぐに進むことについては、小学校の第3学年での学習を思い出そう。」</li> </ul>
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の冒頭に学習内容と関連のある写真を日常生活の事象に関する問いの文とともに掲載している。 「身のまわりには、どのようなしくみがかくされているのだろうか。」「光や音、力による現象は、身のまわりにたくさん見ることができる。あたりまえに見える現象であっても、そこにはいろいろなしくみがかくされている。サイエンスの目で、その謎を解き明かしていこう。」 雨上がりの空に見える虹の写真（北海道鹿追町）「光にはどのような性質があるのだろうか。」 弦楽器を演奏する手元の写真「弦楽器は、弦の本数より多くの種類の音が出る。どのように音を変えているのだろうか。」 月面に立つ宇宙飛行士の写真「重い宇宙服を着ていても、月面で自由に動けるのはなぜだろうか。」</li> <li>○ 単元の冒頭ではなく、章の冒頭等で「ふり返り」として既習事項を問いと答えの形で示している。 例示：「ものに日光を当てるとどうなったか。（小学校3年）」「ものに日光を当てると明るくなり温度が上がる。」</li> </ul>



【理科】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑪科学的な探究を行うための写真及び資料等の取扱い
<b>方法</b>	巻頭・巻末の資料の内容と量

	巻頭の内容 (第1学年)	ページ数	巻末の内容 (第3学年)	ページ数
東書	○ 科学と人の物語 (アサガオの電子顕微鏡の写真他 21点)	5	○ 理科室の決まり	2
	○ 「学習内容を見てみよう」として既習事項と単元の学習内容との関連を示している。	1	○ 基礎操作 (顕微鏡の使い方他 5点)	2
	○ 目次	2	○ 周期表	1
	○ 探究の流れの例とこの教科書の使い方、マークの説明	2	○ 科学であつかう量の測定と表し方	1
	○ レポート作成のためのノートのかき方、考察のしかた、話し合いのしかた、発表のしかた、写真による記録のくふう、情報収集のしかた	2	○ 科学史年表	2
	○ 理科室の決まり	2	○ 理科の学習を深めよう (科学館等の写真 10点)	1
	計	14	○ 索引	2
			○ 確かめと応用の解答	2
			○ 星座早見をつくろう	3
			○ 未来への宿題	2
	計	14	計	18
大日本	○ 夏の渓谷と日差し (熊本県菊池市) の写真とアイザック・ニュートンの紹介文	2	○ 課題研究・自由研究にチャレンジしよう	5
	○ 目次	2	○ Let's Go 科学館・博物館 (科学館等の写真 21点)	2
	○ 「理科の世界」の使い方、マークの説明	2	○ 学習のまとめ (1年, 2年)	8
			○ 章末問題・単元末問題解答	4
			○ 巻末資料 (数値と単位の表記法他 7点)	6
			○ 索引	2
			○ 化学実験を安全に行うために	1
			○ 周期表, ノーベル賞, 国際科学オリンピック, 科学のあゆみ	6
	計	6	計	34
学図	○ 自然の不思議を探ろう! (塩分が多くふくまれている湖 (死海, ヨルダン) の写真他 6点)	2	○ 科学を仕事に生かす	2
	○ 観察・実験の進め方	2	○ 自由研究	4
	○ 目次	2	○ 資料 (誤差と有効数字他 14点)	10
	○ 教科書の使い方, 学習の流れ, マークの説明	1	○ 高校へステップアップ	2
			○ 中学理科の総まとめの問題	7
			○ 単元末問題の解答	2
			○ 中学理科の総まとめの解答	1
			○ 索引	2
			○ 周期表	1
			○ 地球とともに生きる	4
	計	7	計	35
教出	○ 目次, マークの説明	2	○ 学年末総合問題	4
	○ なぜ理科を学ぶのか (宇宙ステーションの写真他 2点)	2	○ 中学校総合問題	4
	○ 理科学習の進め方	6	○ 自由研究	3
			○ 巻末資料 (理科室のきまりと応急処置他 24点)	24
			○ 問題の解答例	3
			○ 索引	3
			○ 星座早見をつくろう	2
			○ 第3学年での学習内容と高等学校での学習内容との関連	2
	計	10	計	45
啓林館	○ 森林と湖及び水面に太陽光や森林などが逆さに映っている写真他 7点	4	○ きみも科学者	4
	○ この教科書の使い方, マークの説明	2	○ 地球・環境資料集 (オーロラが観測できる町「陸別町」他 24点)	14
	○ 目次	1	○ サイエンス資料 (これからの自然災害に向けて, 理科でよく使う算数・数学, 近代科学・技術の発展, ノーベル賞の受賞, 危険に備えて, 教科書に登場するおもな物質や薬品の性質)	11
			○ 索引	2
			○ 理科の学習を将来につなげよう	2
	計	7	計	33

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑫観察, 実験の結果を分析し解釈する学習活動の工夫
方法	分析・解釈する視点の示し方とその具体例

		第2学年 「電気とそのエネルギー」における具体例 電力の違いによる発生する熱の量の違いについて																																																																																																																																										
分析・解釈する視点の示し方		考察の視点, 表やグラフの例示	結論の記述の状況																																																																																																																																									
東 書	<p>○ 実験の目的, 結果の見方, 考察のポイント, キャラクターの吹き出しにより, 分析・解釈する視点を示している。</p>	<p><b>【考察の視点】</b></p> <p>○ 電熱線の電力の値, 電流, 電圧, 水の温度上昇の速さには, どのような関係があるか。</p> <p><b>【表の例示】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>電圧 (V)</td> <td colspan="5">6.0</td> <td colspan="5">6.0</td> <td colspan="5">6.0</td> </tr> <tr> <td>電力の表示</td> <td colspan="5">3W</td> <td colspan="5">6W</td> <td colspan="5">9W</td> </tr> <tr> <td>電流 (A)</td> <td colspan="5">0.5</td> <td colspan="5">1.0</td> <td colspan="5">1.5</td> </tr> <tr> <td>電圧×電流の値</td> <td colspan="5">3.0</td> <td colspan="5">6.0</td> <td colspan="5">9.0</td> </tr> <tr> <td>開始前の水温 (°C)</td> <td colspan="5">16.9</td> <td colspan="5">17.0</td> <td colspan="5">14.6</td> </tr> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>水温 (°C)</td> <td>16.9</td><td>17.3</td><td>17.8</td><td>18.3</td><td>18.7</td><td>19.1</td> <td>17.0</td><td>17.8</td><td>18.6</td><td>19.4</td><td>20.2</td><td>20.9</td> <td>14.6</td><td>15.8</td><td>17.2</td><td>18.4</td><td>19.6</td><td>20.7</td> </tr> <tr> <td>上昇温度 (°C)</td> <td>0</td><td>0.4</td><td>0.9</td><td>1.4</td><td>1.8</td><td>2.2</td> <td>0</td><td>0.8</td><td>1.6</td><td>2.4</td><td>3.2</td><td>3.9</td> <td>0</td><td>1.2</td><td>2.6</td><td>3.8</td><td>5.0</td><td>6.1</td> </tr> </table> <p><b>【グラフの例示】</b> … 1種類</p> <p>①縦軸：上昇温度 (°C), 横軸：時間 (分)</p>	電圧 (V)	6.0					6.0					6.0					電力の表示	3W					6W					9W					電流 (A)	0.5					1.0					1.5					電圧×電流の値	3.0					6.0					9.0					開始前の水温 (°C)	16.9					17.0					14.6					時間 (分)	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	水温 (°C)	16.9	17.3	17.8	18.3	18.7	19.1	17.0	17.8	18.6	19.4	20.2	20.9	14.6	15.8	17.2	18.4	19.6	20.7	上昇温度 (°C)	0	0.4	0.9	1.4	1.8	2.2	0	0.8	1.6	2.4	3.2	3.9	0	1.2	2.6	3.8	5.0	6.1	<p>○ 実験から 電熱線に電流を流す時間が長いほど, 水の温度上昇は大きく, 発熱量が大きいといえる。また, 電熱線の電力の値が大きいほど, 電熱線に流れる電流は大きく, 発熱量は大きいといえる。このとき使用した電熱線の電力の値と「電力=電圧×電流」の値が一致することを確認できた。</p> <p>○ まとめ 一定の電圧のもとでは, 電流を流す時間が長いほど, また, 電熱線の電力の値が大きいほど, 電流による発熱量は大きくなる。</p>
電圧 (V)	6.0					6.0					6.0																																																																																																																																	
電力の表示	3W					6W					9W																																																																																																																																	
電流 (A)	0.5					1.0					1.5																																																																																																																																	
電圧×電流の値	3.0					6.0					9.0																																																																																																																																	
開始前の水温 (°C)	16.9					17.0					14.6																																																																																																																																	
時間 (分)	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5																																																																																																																										
水温 (°C)	16.9	17.3	17.8	18.3	18.7	19.1	17.0	17.8	18.6	19.4	20.2	20.9	14.6	15.8	17.2	18.4	19.6	20.7																																																																																																																										
上昇温度 (°C)	0	0.4	0.9	1.4	1.8	2.2	0	0.8	1.6	2.4	3.2	3.9	0	1.2	2.6	3.8	5.0	6.1																																																																																																																										
大 日 本	<p>○ 「結果の整理」「結果から考えてみよう」により, 分析・解釈する視点を示している。</p>	<p><b>【考察の視点】</b></p> <p>○ 電流を流した時間と水の上昇温度にはどのような関係があると考えられるか。</p> <p>○ 電力の大きさと5分後の水の上昇温度にはどのような関係があると考えられるか。</p> <p><b>【表の例示】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 (°C)</td> <td>13.8</td><td>14.0</td><td>14.3</td><td>14.7</td><td>15.0</td><td>15.3</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 (°C)</td> <td>0</td><td>0.2</td><td>0.5</td><td>0.9</td><td>1.2</td><td>1.5</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>1班</td><td>2班</td><td>3班</td><td>4班</td> </tr> <tr> <td>電圧 (V)</td> <td>3.0</td><td>4.0</td><td>5.0</td><td>6.0</td> </tr> <tr> <td>電流 (A)</td> <td>0.72</td><td>1.00</td><td>1.23</td><td>1.49</td> </tr> <tr> <td>電力 (W)</td> <td>2.2</td><td>4.0</td><td>6.2</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>5分後の水の上昇温度 (°C)</td> <td>1.5</td><td>2.4</td><td>3.6</td><td>5.6</td> </tr> </table> <p><b>【グラフの例示】</b> … 2種類</p> <p>①縦軸：水の上昇温度 (°C), 横軸：電流を流した時間 (分)</p> <p>②縦軸：5分後の水の上昇温度 (°C), 横軸：電力 (W)</p>	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 (°C)	13.8	14.0	14.3	14.7	15.0	15.3	水の上昇温度 (°C)	0	0.2	0.5	0.9	1.2	1.5		1班	2班	3班	4班	電圧 (V)	3.0	4.0	5.0	6.0	電流 (A)	0.72	1.00	1.23	1.49	電力 (W)	2.2	4.0	6.2	8.9	5分後の水の上昇温度 (°C)	1.5	2.4	3.6	5.6	<p>○ 電流を流す時間と熱量の関係 実験5では, 電流を流している間の電力の大きさは, それぞれの班で一定である。実験結果の例Aのグラフより, 水の上昇温度は電流を流した時間に比例していることから, 電力が一定の場合, 電熱線から発生する熱量は, 電流を流した時間に比例する, といえる。</p> <p>○ 電力の大きさと熱量の関係 実験5では, 電流を流す時間は同じであるが, 電力の大きさが班ごとに異なっている。実験結果の例Bのグラフより, 5分後の水の上昇温度は電力の大きさに比例していることから, 電流を流す時間が一定の場合, 電熱線から発生する熱量は, 電力の大きさに比例する, といえる。</p>																																																																																											
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																																																																																																																						
水の温度 (°C)	13.8	14.0	14.3	14.7	15.0	15.3																																																																																																																																						
水の上昇温度 (°C)	0	0.2	0.5	0.9	1.2	1.5																																																																																																																																						
	1班	2班	3班	4班																																																																																																																																								
電圧 (V)	3.0	4.0	5.0	6.0																																																																																																																																								
電流 (A)	0.72	1.00	1.23	1.49																																																																																																																																								
電力 (W)	2.2	4.0	6.2	8.9																																																																																																																																								
5分後の水の上昇温度 (°C)	1.5	2.4	3.6	5.6																																																																																																																																								

【理科】

<p style="text-align: center;">学 図</p>	<p>○ 「結果」「考察」により、分析・解釈する視点を示している。</p> <p>○ 実験結果を示す2種類の表と2種類のグラフとの関係を矢印で表すことにより、分析・解釈する視点を示している。</p>	<p><b>【考察の視点】</b></p> <p>○ グラフから、時間と上昇温度にはどのような関係があるといえるか。</p> <p>○ グラフから、電力と5分間の上昇温度にはどのような関係があるといえるか。</p> <p><b>【表の例示】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>電圧 (V)</td> <td>6 V</td> <td>電流 (A)</td> <td>3 A</td> <td>電力 (W)</td> <td>18W</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 (°C)</td> <td>18.0</td> <td>20.5</td> <td>23.1</td> <td>25.1</td> <td>27.7</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 (°C)</td> <td>0</td> <td>2.5</td> <td>5.1</td> <td>7.1</td> <td>9.7</td> <td>12.0</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>グループ</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>電力 (W)</td> <td>18W</td> <td>13.5W</td> <td>9 W</td> <td>4.5W</td> </tr> <tr> <td>5分間の水の上昇温度 (°C)</td> <td>12.0°C</td> <td>9.2°C</td> <td>5.9°C</td> <td>3.0°C</td> </tr> </table> <p><b>【グラフの例示】</b>…2種類</p> <p>①縦軸：水の上昇温度 (°C)，横軸：時間 (分)</p> <p>②縦軸：水の上昇温度 (°C)，横軸：電力 (W)</p>	電圧 (V)	6 V	電流 (A)	3 A	電力 (W)	18W	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 (°C)	18.0	20.5	23.1	25.1	27.7	30.0	水の上昇温度 (°C)	0	2.5	5.1	7.1	9.7	12.0	グループ	A	B	C	D	電力 (W)	18W	13.5W	9 W	4.5W	5分間の水の上昇温度 (°C)	12.0°C	9.2°C	5.9°C	3.0°C	<p>○ 図18は、実験5の結果について、電流を流した時間と水の上昇温度の関係を表したグラフである。A～Dのいずれの電力の場合も、水の上昇温度は、電熱線に電流を流した時間に比例することがわかる。また、図19は、電力と5分間の水の上昇温度の関係を表したグラフである。水の上昇温度は電力に比例することがわかる。</p>
電圧 (V)	6 V	電流 (A)	3 A	電力 (W)	18W																																								
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																							
水の温度 (°C)	18.0	20.5	23.1	25.1	27.7	30.0																																							
水の上昇温度 (°C)	0	2.5	5.1	7.1	9.7	12.0																																							
グループ	A	B	C	D																																									
電力 (W)	18W	13.5W	9 W	4.5W																																									
5分間の水の上昇温度 (°C)	12.0°C	9.2°C	5.9°C	3.0°C																																									
<p style="text-align: center;">教 出</p>	<p>○ 「結果」「考察」により、分析・解釈する視点を示している。</p>	<p><b>【考察の視点】</b></p> <p>○ 電流を流した時間と水の上昇温度の間には、どのような関係があるといえるか。</p> <p>○ 電力と水の上昇温度の間には、どのような関係があるといえるか。</p> <p><b>【表の例示】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水の温度 (°C)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度 (°C)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【グラフの例示】</b>…2種類</p> <p>①縦軸：水の上昇温度 (°C)，横軸：時間 (分)</p> <p>②縦軸：水の上昇温度 (°C)，横軸：電力 (W)</p>	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水の温度 (°C)							水の上昇温度 (°C)							<p>○ 実験5から、水の上昇温度は、電流を流した時間に比例しているといえる。水の上昇温度は、電力に比例しているといえる。</p>																					
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																							
水の温度 (°C)																																													
水の上昇温度 (°C)																																													
<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○ 「結果」「考察」により、分析・解釈する視点を示している。</p> <p>○ マイノートのサイエンスアプローチにより、考察する内容を3点記述し、分析・解釈する視点を示している。</p>	<p><b>【考察の視点】</b></p> <p>○ 電流を流した時間と上昇温度の関係から、電熱線の発熱量は何によって決まるといえるか。</p> <p><b>【表の例示】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>水温 (°C)</td> <td>21.4</td> <td>22.0</td> <td>22.7</td> <td>23.3</td> <td>23.9</td> <td>24.5</td> </tr> <tr> <td>上昇温度 (°C)</td> <td>0</td> <td>0.6</td> <td>1.3</td> <td>1.9</td> <td>2.5</td> <td>3.1</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>電圧 (V)</td> <td>電流 (A)</td> </tr> <tr> <td>ヒーターA</td> <td>6.0</td> <td>2.70</td> </tr> <tr> <td>ヒーターB</td> <td>6.0</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>ヒーターC</td> <td>6.0</td> <td>0.97</td> </tr> </table> <p><b>【グラフの例示】</b>…2種類</p> <p>①縦軸：水の上昇温度 (°C)，横軸：電流を流した時間 (分)</p> <p>②縦軸：水の上昇温度 (°C)，横軸：ヒーターの電力 (W)</p>	時間 (分)	0	1	2	3	4	5	水温 (°C)	21.4	22.0	22.7	23.3	23.9	24.5	上昇温度 (°C)	0	0.6	1.3	1.9	2.5	3.1		電圧 (V)	電流 (A)	ヒーターA	6.0	2.70	ヒーターB	6.0	1.50	ヒーターC	6.0	0.97	<p>○ 実験4の結果から考えると、電流による発熱量は、電流を流した時間に比例すること、電力に比例することがわかる。</p>									
時間 (分)	0	1	2	3	4	5																																							
水温 (°C)	21.4	22.0	22.7	23.3	23.9	24.5																																							
上昇温度 (°C)	0	0.6	1.3	1.9	2.5	3.1																																							
	電圧 (V)	電流 (A)																																											
ヒーターA	6.0	2.70																																											
ヒーターB	6.0	1.50																																											
ヒーターC	6.0	0.97																																											

【理科】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑬科学的な概念を使用して考えたり，説明したりする活動の工夫
<b>方法</b>	レポート作成の示し方及びその例示

	学年	数	レポート作成の示し方	実験レポートの項目	第1学年におけるレポートの例示
東書	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年の巻頭に、「レポート作成のためのノートのかき方」，1つまたは2つの単元に「基本操作 レポートの書き方」として，その横に作成する際の留意事項を項目ごとに説明している。</li> <li>○ 各学年に「私のレポート」として，レポートの一部または全部を提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル</li> <li>・実施した人や実施日の情報</li> <li>・目的</li> <li>・準備</li> <li>・方法</li> <li>・結果</li> <li>・考察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いろいろな花のつくりの観察</li> <li>○ 金属と金属でない物質のちがいを</li> <li>○ 凸レンズによる像のでき方</li> <li>○ 火山灰にふくまれる物</li> </ul>
	2	4			
	3	5			
大日本	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の巻頭に「わたしのレポート」，単元2に「基本操作 ノートの書き方」として，作成方法を説明している。</li> <li>○ 第1学年の各単元には，1つずつ「わたしのレポート」として，その横に作成をする際の留意事項を項目ごとに提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的</li> <li>・予想</li> <li>・準備</li> <li>・方法</li> <li>・結果</li> <li>・考察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校庭の植物の観察</li> <li>○ 白い粉末の区別</li> <li>○ 光の反射</li> <li>○ 地層の観察</li> </ul>
	2	0			
	3	2			
学図	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年のA-1，A-2，B-1の単元に「基本操作 レポート・ノートのかき方」として，作成方法を説明している。</li> <li>○ 第2，3学年の巻末資料に，「観察・実験のレポート・ノートのかき方」として，その横に作成をする際の留意事項を項目ごとに説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ</li> <li>・目的</li> <li>・予想</li> <li>・準備</li> <li>・方法</li> <li>・結果</li> <li>・考察</li> <li>・感想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物質を加熱したときの変化のようすを区別しよう</li> <li>○ 光の反射のしかた</li> <li>○ 花の観察レポート</li> <li>○ 地層を調べよう</li> </ul>
	2	0			
	3	2			
教出	1	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の巻頭に「基礎技能 レポートの書き方」として，作成方法を説明している。</li> <li>○ 各学年に「わたしのレポート」として，レポートの一部または全部を提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトル</li> <li>・実験日，天気，学級，氏名</li> <li>・目的</li> <li>・準備</li> <li>・方法</li> <li>・結果</li> <li>・考察</li> <li>・疑問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 金属と金属でないものを区別する</li> <li>○ 混合物を加熱して出てくる物質を調べよう</li> <li>○ 鏡に当たった光の進む道筋を調べる</li> <li>○ 学校周辺の生物の観察</li> <li>○ 水中の微小な生物の観察</li> <li>○ 花のつくりの観察</li> <li>○ 地層の観察</li> </ul>
	2	3			
	3	6			
啓林館	1	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学年巻末に「きみも科学者 レポートのまとめ方」として，作成方法を説明している。</li> <li>○ 各学年に「わたしのレポート」として，レポートの一部または全部を示している。</li> <li>○ 第1学年のレポート例に「レポート作成のチェックリスト」を提示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験日</li> <li>・目的</li> <li>・準備</li> <li>・方法</li> <li>・結果</li> <li>・考察</li> <li>・感想</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身のまわりの生物の観察</li> <li>○ 地層の観察</li> <li>○ 謎の物質Xの正体</li> <li>○ 光が鏡ではね返るときの規則性</li> <li>○ 浮力の大きさをきめるもの</li> </ul>
	2	6			
	3	10			

観点	(才) 言語活動の充実	
視点	⑬科学的な概念を使用して考えたり，説明したりする活動の工夫	
方法	話し合いや説明の学習活動や知識・技能を活用する学習活動を促す工夫とその具体例	
	話し合いや説明の学習活動や知識・技能を活用する学習活動を促す工夫	第1学年「物質の状態変化」における具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年の巻頭に、「話し合いのしかた」「発表のしかた」として，話し合いの進め方や発表方法，注意点を説明するとともに「話す」というキーワードを用いて，課題把握，予想，考察などの場面に話し合いの活動を設けている。</li> <li>○ 「学びを活かして考えよう」で，説明する場面を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「予想しよう」 固体のロウが液体に状態変化するとき，ロウの体積や質量はどのように変化するだろうか。「レッツトライ！」のエタノールの変化のようすをもとに，話し合ってみよう。</li> <li>○ 活用の場面：「学びを活かして考えよう」 調味料のみりんにはエタノールが入っている。しかし，みりんに火を近づけても火はつかない。どうすれば，みりんの中にエタノールが入っていることを確かめることができるだろうか。</li> </ul>
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合ってみよう」というキーワードを用いて，考察などの場面で話し合いの活動を設けている。</li> <li>○ 単元の終章「学んだことを活かそう」で，新しい課題に取り組み，結果を考察し説明したり，話し合いをしたりする場面を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合ってみよう」 液体のろうが冷えて固体になると体積が減少する。この変化を粒子のモデルで考えてみよう。</li> <li>○ 活用の場面：終章「学んだことを活かそう」 液体の正体は何だ？ 依頼者への報告書（レポート）をまとめよう。依頼者にわかりやすく伝えるには，どんな工夫をしたらよいだろうか。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合ってみよう」というキーワードを用いて，課題把握，予想，考察などの場面で話し合いの活動を設けている。</li> <li>○ 「活用」というキーワードを用いて，説明する場面や考える場面を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合ってみよう」 水とエタノールの混合物から，エタノールを取り出すにはどうしたらよいだろうか。</li> <li>○ 活用の場面：「活用」 小学校4年で，とじこめた空気は押し縮めることはできるが，水は押し縮めることができないことを学習した。これを粒子のモデルで説明してみよう。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合おう」というキーワードを用いて課題把握，予想，考察などの場面に話し合いの活動を設けている。</li> <li>○ 「活用しよう」において，説明する場面を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合おう」 わたしたちの身のまわりにある物質を固体・液体・気体に区別してみよう。また，水以外の物質の状態の変化について例をあげてみよう。</li> <li>○ 活用の場面：「活用しよう」 液体の酸素と窒素の混合物である液体空気を室温で放置しておくと，先に出てくる気体は酸素と窒素のどちらか。p.57の表1から考えてみんなに説明しよう。</li> </ul>
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合ってみよう」「予想してみよう」というキーワードを用いて，課題把握，予想，考察などの場面で話し合いの活動を設けている。別冊「マイノート」に，話し合う内容について，書き込んで表現する場面を設定している。</li> <li>○ 「活用してみよう」において，日常生活の中で活用できないか，考えたり説明したりする場面を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「話し合ってみよう」 海水から水を取り出す方法を話し合ってみよう。</li> <li>○ 活用の場面：「活用してみよう」 地下からくみ上げられた石油（原油）は，さまざまな有機物などの混合物である。石油からガソリンや灯油，軽油，重油などを取り出すにはどうしたらよいだろうか。</li> </ul>

# 音 楽（一 般）

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	中学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の音楽

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	目標の示し方と目標に関わるポイントや活動の示し方及びその具体例
		② 歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫	歌唱の技能に関する記載及びその具体例、歌唱共通教材の構成と扱う学年
		③ 創作の基礎・基本の定着を図るための工夫	創作の題材の取り上げ方、題材名、指導事項、創作の題材構成の具体例
		④ 様々な音楽文化についての理解を深める工夫	我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の取り上げ方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	巻末の合唱曲と曲数、巻頭・巻末の内容
		⑥ 思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫	思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 教材の配列及び分量	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な学習内容の記述とその具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容
(オ)	言語活動の充実	⑩ 鑑賞領域における言語活動の工夫	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例

【音楽（一般）】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①題材の目標の示し方
<b>方法</b>	目標の示し方と目標に関わるポイントや活動の示し方及びその具体例

	目標の示し方	目標に関わるポイントや活動の示し方	第1学年 鑑賞教材「春～第1楽章～」における目標等の具体例
<b>教出</b>	○ 目次に題材を縦書きでマークと共に示し、該当ページではマークと目標を示している。	○ 見開き左ページ上の教材名の下に縦書きで、学習のポイントを2つずつ示している。	○ 「音楽の要素を捉えながら」 ・旋律やテクスチャ、強弱などから独奏ヴァイオリンと合奏による表現を聴き取ろう。 ・ソネットと音楽との関わりや、音楽の形式を理解して鑑賞しよう。
		○ 〔共通事項〕に示されている用語や記号を見開き右ページ上に、掲載している。	○ 〔共通事項〕に示されている用語 ・Allegro (アレグロ)
<b>教芸</b>	○ 目次の教材名の上に学習の目標を示すと共に、該当ページ見開き左上にも横書きで、学習の目標を示している。	○ 学習活動について「～しましょう。」等の形で示している。	○ 「ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ろう。」 ・ソネットに描かれた情景を、作曲者がどのように音楽で表現しているのか感じ取って聴きましょう。
		○ 〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素を「学習の窓口」としてマークで示し、音楽学習MAP及び該当ページの学習目標の横に掲載している。	○ 〔共通事項〕に示されている音楽を形づくっている要素 ・音色 ・旋律 ・強弱 ・形式・構成

※〔共通事項〕は、学習指導要領に示されている。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	歌唱の技能に関する記載及びその具体例，歌唱共通教材の構成と扱う学年

	学年	歌唱の技能に関する記載及びその具体例	歌唱共通教材の構成と扱う学年	
			構成	扱う学年
教出	1	○ 「Let's Sing!」の「歌うための準備」のページにおいて、姿勢、息のコントロール及び母音の発音に関する活動のポイントを示している。イラストを用いて、身体の使い方や言葉の発音などの留意点について記載している。	○ 各学年から1曲（「夏の思い出」「浜辺の歌」「花」）を取り上げ、見開き2ページに歌詞と写真、「作者について」を掲載し、次のページから楽譜を掲載している。 ○ 学習のポイント、楽譜、歌詞、作者の写真と紹介文を掲載している。	夏の思い出 赤とんぼ
	2・3 下	○ 「Let's Try!」の「能の音楽を体験しよう」において、「能『羽衣』キリから（大ノリ）」を取り上げている。学習活動について、「能の謡では、微妙な音の高さの変化が固有の味わいを生み出します。模範演奏を聴いて、まねをしてみましょう。」と記載している。キャラクターの吹き出しにより、「背筋を伸ばし、おなかに力を入れて、大きな声で。」と唄い方のポイントを示している。	○ 「A Message for You」や曲のゆかりの地の写真等を掲載している。 ○ キャラクターの吹き出しにより、学習活動のポイントを記載している。	浜辺の歌 花の街 早春賦 (2・3上) 花 荒城の月 (2・3下)
教芸	1	○ 「My Voice!」のページにおいて、「呼吸は歌声の命」「バランスのよい姿勢」「豊かな響きの歌声づくり」を提示し、それぞれの留意点について記載している。イラストと共に、呼吸、姿勢、歌い方のポイントを示し、「スムーズな呼吸 EXERCISE」「響きづくり EXERCISE」でポイントを踏まえた活動を記載している。	○ 7曲とも共通のタイトル「心の歌」として取り上げ、目次に「共通教材」の記載がある。 ○ 学習の目標、楽譜、歌詞、作者の写真と紹介文を記載している。 ○ 「作詞者の言葉」「作曲者の言葉」や曲に関する写真等を掲載している。	浜辺の歌 赤とんぼ
	2・3 上	○ 「声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。」において、長唄「勸進帳」を取り上げている。学習活動について「模範演奏をよく聴き、声の音色や節回しの特徴を感じ取りましょう。」「旋律を少しずつ区切って(①～④)、模範演奏をまねて唄いましょう。」と記載している。「この部分を唄うときに気をつけること」を提示し、イラストと共に唄うときの留意点について示している。	○ 学習目標に迫るための具体的な学習活動について記載している。	夏の思い出 荒城の月 (2・3上) 花 花の街 早春賦 (2・3下)



観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③創作の基礎・基本の定着を図るための工夫
方法	創作の題材の取り上げ方, 題材名, 指導事項, 創作の題材構成の具体例

	創作の題材の取り上げ方	学年	題材名	指導事項	創作の題材構成の具体例 (第2学年及び第3学年の構成を工夫して創作する題材)
教出	○ 「音のスケッチ」として、各学年2～3つずつの活動を取り上げている。	1	○ 楽しいリズム曲をつくろう	「旋律づくり」	○ 第2・3学年下「CMソングをつくろう」の学習の流れ ①活動1「CMソングにする自分の住む地域の名物や名所のキャッチコピーを決め、旋律をつくってみよう。」 「言葉のリズムや『ミ』『ソ』『ラ』の三音または『レ』『ミ』『ソ』『ラ』『ド』の五音を使って、旋律をつくってみよう。」 ②活動2「つくった旋律を繰り返して、自分の住む地域のCMソングを完成させよう。」 ③活動3「自分の住む地域のCMソングは、どんな雰囲気になりましたか？つくったCMソングと自分の感じたことを発表して、交流しよう。」
			○ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	「旋律づくり」	
			○ 太鼓のための音楽をつくろう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
		2・3上	○ 動機を生かした旋律をつくろう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
			○ 構成を工夫して箏（こと）で表現してみよう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
		2・3下	○ CMソングをつくろう	「旋律づくり」 「構成の工夫」	
○ 音楽を自由に構成しよう	「旋律づくり」 「構成の工夫」				
教芸	○ 「My Melody」及び「Let's Create!」として各学年1つずつの活動を取り上げている。	1	○ イメージをもとに、構成を工夫して音楽をつくろう。	「構成の工夫」	○ 第2・3学年下「構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。」の学習の流れ ①「楽器や身の回りのもの、手拍子などの中から、自分が受け持つ音を選びましょう。それぞれの音の特徴を生かしながら、下のリズムを組み合わせて4分の4拍子で2小節のリズムをつくり、ワークシートの[A]のリズム欄に書き入れましょう。」 ②「[1]でつくったリズムをグループ内で発表し合い、それらを重ね合わせることによって生まれるリズムのおもしろさや響きに注目しながら、パートの組合せ方をいろいろと試してみよう。」 ③「[A]と[B]が対照的になるようにそれぞれのイメージを決めましょう。[2]で試したことを手がかりにして、パートの組合せ方や強弱を工夫しながら[A]をつくり、ワークシートに書き入れましょう。」 ④「下に示したポイントに着目して、[A]と対照的になるような[B]をつくり、ワークシートに書き入れましょう。」 ⑤「[A]—[B]—[A]を通して演奏し、感想を発表し合いましょう。」
			○ 日本の音階を使って旋律をつくろう。	「旋律づくり」	
		2・3上	○ 和音の音を使って旋律をつくろう。	「旋律づくり」	
			○ 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	「構成の工夫」	
		2・3下	○ 歌詞の抑揚を生かして旋律をつくろう。	「旋律づくり」	
			○ 構成を生かしてリズムアンサンブルをつくろう。	「構成の工夫」	

「学習指導要領 2 内容 (3) 創作 ア及びイの指導事項より (第1学年)」

※「旋律づくり」…ア「言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。」

※「構成の工夫」…イ「表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。」

【音楽（一般）】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	④様々な音楽文化についての理解を深める工夫
<b>方法</b>	我が国の音楽文化・諸外国の音楽文化の取り上げ方

	取り上げ方	学年	教材名等（歌唱共通教材以外）		学習資料名	
教出	<p>○ 目次において、第1学年「さまざまな音楽文化ー日本とアジアー」、第2学年及び第3学年「さまざまな音楽文化ー日本と世界ー」と示し、歌唱教材と鑑賞教材を掲載している。</p> <p>○ 巻末の「学習資料」に掲載している。</p>	1	民謡	・ソーラン節 ・日本の民謡と芸能		
			箏曲	・箏曲「六段の調」		
			日本とアジアの音楽	・日本とアジアをつなぐ音		
		2・3上	雅楽	・雅楽「越天楽」		<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の伝統ある音楽文化にふれる喜び</li> <li>・ポピュラー音楽図鑑</li> <li>・日本の楽器</li> </ul>
			歌舞伎	・歌舞伎「勸進帳」		
			民族音楽	・日本と世界をつなぐ音		
		2・3下	民謡	・子守歌（ねんねこころこ） ・谷茶前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と西洋の音楽の歩み</li> <li>・さまざまな舞台芸術</li> </ul>	
			諸外国の音楽	・くらしとともにあるさまざまな音楽		
			能	・能「羽衣」キリから		
			文楽	・文楽「義経千本桜」から		
教芸	<p>○ 目次の各学年の「心の歌」及び鑑賞活動において学習の目標を示し、教材名を掲載している。</p> <p>○ 各学年の巻末の「資料」に掲載している。</p>	1	箏曲	・箏曲「六段の調」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本とアジアの楽器</li> </ul>	
			尺八曲	・尺八曲「巢鶴鈴慕」		
			民謡	・「日本の民謡」		
			アジアの音楽	・「アジアの諸民族の音楽」		
		2・3上	歌舞伎	・「勸進帳」から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガン</li> <li>・オーケストラの演奏</li> <li>・歌舞伎ー見得・六方と舞台ー</li> <li>・文楽ー三人遣いと舞台ー</li> </ul>	
			文楽	・文楽「新版歌祭文」“野崎村の段”から		
			郷土芸能	・日本の郷土芸能		
			世界の音楽	・世界の諸民族の音楽		
		2・3下	雅楽	・平調「越天楽」ー管絃ー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能ー面・演技と舞台ー</li> <li>・能の影響を受けた諸芸能</li> <li>・世界の祭りや踊り</li> </ul>	
			能	・「羽衣」から		
			世界の諸民族の音楽	・世界の諸民族の音楽		
			ポピュラー音楽	・ポピュラー音楽		

【音楽（一般）】

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑤興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	巻末の合唱曲と曲数, 巻頭・巻末の内容

	巻末の合唱曲と曲数			巻頭	巻末
<b>教 出</b>	○ 「歌のアルバム」として, 下の楽曲を掲載している。			○ 「With My Heart 音楽はメッセージ」として, 音楽家のメッセージや演奏場面等の写真を掲載している。	○ 各学年とも折り込みページを設けている。
	学年	曲名	数	音楽家等	内容
	1	「明日への勇気」「君と歩こう」「COSMOS」「心をこめて」「明日を信じて」「翼をください」「さようなら」「故郷」	8	・庄司紗矢香 (口絵①) ・シューベルト (口絵②)	○ 「オーケストラの楽器」として, 弦楽器, 木管楽器, 金管楽器, 打楽器を取り上げている。
	2・3 上	「大切なもの」「With You Smile」「HEIWA の鐘」「かえるがそらを」「雪の降る街を」「小さな雲 (オブラーチェ)」「時計台の鐘」「アメージング・グレイス」「ほたるの光」「故郷」	10	・宮本亜門 (口絵①) ・ベートーヴェン (口絵②)	○ 「日本の楽器」として, 弾きもの, 吹きもの, 打ちものの楽器を取り上げている。
	2・3 下	「たしかな一歩」「SMILE AGAIN」「カントリー・ロード」「地球の息吹につつまれて」「椰子の実」「荒城の月」「大地讃頌」「火の山の子守歌」「仰げば尊し」「故郷」	10	・上妻宏光 (口絵①) ・世阿弥元清 (口絵②)	○ 「さまざまな舞台芸術」として, オペラ, ミュージカル, バレエ, ジンジュ (京劇), 文楽, 能, 歌舞伎を取り上げている。
<b>教 芸</b>	○ 「心通う合唱」として, 下の楽曲を掲載している。			○ 世界や日本の各地で開催されている演奏会やオペラなどの総合芸術の舞台の様子を写真で掲載している。	○ 我が国や郷土の伝統音楽, アジアや世界の諸民族の音楽に関する演奏場面や舞台等の写真を掲載している。
	学年	曲名	数	タイトル	内容
	1	「Forever」「いつか」「unlimited (アンリミテッド)」「てのひら」「星座」「夢を追いかけて」「マイ パラード」「あすという日」「青春の1ページ」「Let's Search For Tomorrow」	10	・「心ときめく音楽との出会い」(口絵1, 2)	○ 「日本とアジアの楽器」として, 打楽器, 弦楽器, 管楽器を取り上げ, 日本とアジアに分けて掲載している。(口絵7, 8, 9)
	2・3 上	「今 この時」「さくら草」「風をみつけて」「心の中にきらめいて」「今日は君の Birthday」「大切なもの」「時の旅人」「蛍の光」	8	・「異次元へと誘う壮麗な舞台」(口絵1, 2)	○ 「パイプオルガン」として, ハレ (ドイツ) のパイプオルガンを取り上げ, その説明を掲載している。(口絵5) ○ 「オーケストラの演奏」として, オーケストラが演奏の様子, 木管楽器, 金管楽器, 弦楽器, 打楽器を取り上げている。(口絵6, 7) ○ 「歌舞伎一見得・六方と舞台」として, 見得, 六方及び歌舞伎の舞台を取り上げている。(口絵8) ○ 「文楽一三人遣いと舞台」として, 主遣い, 左遣い, 足遣い及び文楽の舞台を取り上げている。(口絵9)
	2・3 下	「青空」「いつまでも」「美しい約束」「旅立ちの日に」「大地讃頌」「名づけられた葉」「仰げば尊し」	7	・「受け継がれる祖国への思い」(口絵1, 2)	○ 「能一面・演技と舞台」として, 面, 演技及び能の舞台を取り上げている。(口絵5) ○ 「能の影響を受けた諸芸能」として, 能の演目と, 能の影響を受けてつくられた歌舞伎, 文楽, 組踊の演目を取り上げている。(口絵6, 7) ○ 「世界の祭りや踊り」として, ボリビア, スイス, ブータン, マリの祭りや踊りを取り上げている。(口絵8, 9)

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥思考・判断し表現する一連の学習を促すための工夫
方法	思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方とその具体例

第2・3学年上「創作」における学習活動の展開			
	題材の目標等	思考・判断し表現する一連の学習過程の示し方	思考・判断し表現する一連の学習過程の具体例
教出	○ 題材の目標 「動機を生かした旋律をつくろう」 ・「自由に選んだ数字をもとに動機をつくろう。」 ・「動機を反復・変化させて旋律をつくり表現しよう。」	○ 活動1, 活動2, 活動3の順で, 思考・判断し表現する一連の学習過程を示している。	○ 活動1「自由に選んだ日付や時刻で動機をつくろう。」 ○ 活動2「自分の動機ができれば, それを反復させたり変化させたりしながら, 旋律をつくってみよう。」 ○ 活動3「反復や変化のさせ方の例①～④などを参考にして, 8小節程度のまとまりのある旋律にしてみよう。」
		○ キャラクターの吹き出しにより, 学習活動のポイントを示している。	○ 「できあがった動機を, 何度もリコーダーで吹いたり, ローズさんだりして, 特徴を感じ取ってみよう。」 ○ 「自分のつくった動機を上のを参考に变化させ, どのように雰囲気が変わったかをメモしておきましょう。」 ○ 「終わり方も工夫してみるとおもしろいわね。」 ○ 「できあがった作品は, お互いに紹介し合って, それぞれのよさやおもしろさについて話し合ってみましょう。」
教芸	○ 題材の目標 「和音の音を使って旋律をつくろう。」 ・「和音に含まれる音を使って, 4分の4拍子の旋律をつくりましょう。」	○ Warming up, ①, ②, ③ challenge!!の順で, 思考・判断し表現する一連の学習過程を示している。	○ Warming up「下の『和音と低音』を繰り返し聴いて, 響きの移り変わりを感じ取りましょう。」 ○ ①「左から順に, 和音に含まれる音の中から1つずつ音を選んで旋律をつくり, ワークシートの□に階名を書き入れましょう。」 ○ ②「つくった旋律を階名で歌ったり, 楽器で演奏したりして, 気に入った音の動きになっているか確かめながら, いろいろと試してみよう。」 ○ ③「気に入った旋律ができればワークシートの五線に音符を書き入れ, 『和音と低音』に合わせて演奏し, 感想を発表し合いましょう。また, みんなでアの部分のリレーして演奏してみよう。」 ○ Challenge!!「下の㊦を参考にして, 自分のつくった旋律をアレンジ(編曲)してみよう。」
		○ キャラクターの吹き出しにより, 学習活動のヒントを示している。	○ 「音の動きをもっとなだらかにして, 歌いやすい旋律にしたいな。」 ○ 「この『和音と低音』の動きは, 『カノン』以外の曲にもよく使われているよ。」

【音楽（一般）】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦教材の配列及び分量
<b>方法</b>	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数

	教材の配列	具体例（教材数）		目次に示された領域ごとの教材数			
		第1学年の配列		領域	学 年		
					1年	2・3年上	2・3年下
教 出	<p>○ 各学年とも、歌唱教材、鑑賞教材、創作、学習資料（楽典を除く）、合唱曲集、国歌「君が代」、楽典の順で配列している。歌唱や創作等のヒントとなる「Let's sing!」「Let's Try!」を掲載している学年もある。</p> <p>○ 目次で、「音楽の要素をとらえながら」、「様々な音楽文化－日本とアジア－」（第1学年）、「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの柱でまとめて配置している。</p>	<p>①歌唱教材（10） ②鑑賞教材（6） ③創作（3） ④学習資料（3） ⑤歌のアルバム（8） ⑥国歌「君が代」 ⑦楽典 （「Let's sing!」、「Let's Try!」は除く）</p>	領域				
			歌唱	18	19	18	
			鑑賞	6	7	6	
教 芸	<p>○ 各学年とも、歌唱教材及び創作、鑑賞教材、合唱曲集、資料（口絵を除く）、国歌「君が代」の順で配列している。歌唱や創作等のヒントとなる「ここが分かれば Grade up!」「確認しよう」「発声」「指揮」をすべての学年で掲載している。</p> <p>○ 歌唱と創作の活動を関連させながら配置している。</p>	<p>①歌唱教材（10） ②鑑賞曲（1） ③創作（1） ④鑑賞教材（5） ⑤歌唱教材（1） ⑥創作（1） ⑦鑑賞教材（1） ⑧歌唱教材（2） ⑨心通う合唱（10） ⑩音楽の約束 ⑪国歌「君が代」 （「ここが分かれば Grade up!」「確認しよう」「発声」「指揮」は除く）</p>	歌唱	23	20	17	
			鑑賞	7	8	10	
			創作	2	2	2	

【音楽（一般）】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記述
<b>方法</b>	発展的な学習内容の記述とその具体例

	発展的な学習内容の記述	具体例	
		学 年	各学年における具体例
教 出	○ 各学年とも、目次に「 <b>発展</b> …中学校音楽で定められた学習内容の他に、さらに学習したいときには取り組んでみましょう。」と示すとともに、該当ページを1ページ設け、イラストと文章で記述している。	1	<b>発展</b> 『『音』ってなあに？』
		2・3上	<b>発展</b> 「音の三要素PART-1」
		2・3下	<b>発展</b> 「音の三要素PART-2」
教 芸	○ 各学年とも、目次に、「発展的学習（学習指導要領の示す範囲を超えた学習内容で、必要に応じて学習するものです。）」と示すとともに、口絵や鑑賞教材を掲載したページに、写真と文章で記述している。	1	閑かさや岩にしみ入る蝉の声 この頃、日本では・・・！？
		2・3上	ふるさとへの誇りを胸に ア カペラ (a cappella) の語源 この頃、日本では・・・！？
		2・3下	世界に誇る日本の宝物 この頃、日本では・・・！？

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
<b>方法</b>	キャラクターやマーク等の活用及び写真の内容

	キャラクターやマーク等の活用	写真の内容
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次で、「音楽の要素を捉えながら」、「さまざまな音楽文化ー日本とアジアー」（第1学年）、「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの柱と、それに含まれる題材をそれぞれ色分けするとともにマークで示している。</li> <li>○ 目次と該当ページにおいて、歌唱共通教材にマークを付けている。</li> <li>○ 楽典ページにおいて、中学校で新しく学習する用語や記号を示すマークを見開き左ページ横に示し、本文で取り扱っている該当ページ番号を記載して、該当の用語や記号の横に示している。また、該当ページの見開き右ページ上にも示している。</li> <li>○ キャラクターとして、男の子・女の子・先生が登場し、学習のヒント等を吹き出し等で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真(巻頭、巻末を除く)は次のようなものを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の情景を表した写真</li> <li>・作詞者、作曲者の写真</li> <li>・楽器及び演奏場面の写真</li> <li>・日本の伝統音楽及び諸外国の音楽文化に関わる写真</li> <li>・音楽と生活との関わりに関する写真</li> </ul> </li> </ul>
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽学習MAPの「学習の窓口」において、〔共通事項〕で示されている音楽を形づくっている要素をマークで示し、該当ページの学習目標の横にも同様のマークを示している。</li> <li>○ 目次、音楽学習MAP、該当ページで、歌唱共通教材には「心の歌」という共通のロゴを示している。</li> <li>○ キャラクターとして、男の子・女の子・男性・女性が登場し、学習のヒント等を吹き出し等で示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真(巻頭、巻末を除く)は次のようなものを掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の情景を表した写真</li> <li>・作詞者、作曲者の写真</li> <li>・楽器及び演奏場面の写真</li> <li>・日本の伝統音楽及び諸外国の音楽文化に関わる写真</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩鑑賞領域における言語活動の工夫
<b>方法</b>	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫とその具体例

	鑑賞の視点の提示の仕方及びワークシートの工夫	第1学年 鑑賞教材の具体例
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞の視点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のポイントとして視点を示している。</li> <li>・キャラクターの言葉として吹き出しの中に視点を示している。</li> </ul> </li> </ul>	<p>「春 第1楽章」における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のポイント                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律やテクスチュア，強弱などから独奏ヴァイオリンと合奏による表現を聴き取ろう。</li> <li>・ソネットと音楽との関わりや，音楽の形式を理解して鑑賞しよう。</li> </ul> </li> <li>○ キャラクターの言葉                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ソネットに描かれている情景と音楽との関わりについて，聴き取ったことや感じ取ったことをまとめておきましょう。」</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートの工夫                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き取ったことや感じ取ったことを書き込める欄を設け，記入した内容をもとに，言葉で伝え合う活動を設定している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートの実際</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>伝えてみよう！</b></p> <p>ソネットと音楽の関わりで，いちばんおもしろいと思ったところを，みんなに紹介する文章を書いてみよう。</p> </div>
<b>教 芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鑑賞の視点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動の内容を示す文に視点を示している。</li> <li>・「ここに注目してみよう！」において，視点をキーワードで示している。</li> </ul> </li> </ul>	<p>「魔王」における具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習活動の内容を示す文                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の内容をよく理解して，場面の様子を想像しながら聴きましょう。</li> <li>・語り手，父，子，魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いを感じ取りながら聴きましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 「ここに注目してみよう！」で提示したキーワード                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音の高さの変化」</li> <li>・「伴奏の形の変化」</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートの工夫                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ここに注目してみよう！」において，音の高さの変化について聴き取ったことや音楽がそのように変化した理由について記述する欄を設定している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートの実際</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>「おとうさん，おとうさん」と子が呼んでいる部分で（p. 36, 37の <span style="background-color: #cccccc; color: #000000;">          </span>の部分）で，音の高さがどのように変化しているのか調べて書きましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてそのように変化しているのか，その理由を考えて書きましょう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; height: 40px;"></div>

音 楽（器楽合奏）
-----------

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称	教科書名
17 教 出	中学器楽 音楽のおくりもの
27 教 芸	中学生の器楽

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点	視点	方法
(ア) 基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	目標等の示し方, 目標の示し方の例, 目標に関わるポイントの例
	② 器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫	和楽器の取扱い方
(イ) 主体的に学習に取り組む工夫	③ 興味・関心を高めるための工夫	合奏のための教材, 曲数, 巻頭・巻末の内容
	④ 和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫	箏の学習展開の工夫
(ウ) 内容の構成・配列・分量	⑤ 教材の分量及び構成	楽器別カテゴリー別教材数, 合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数, 内容の構成
(エ) 内容の表現・表記	⑥ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用	写真の内容, イラスト等の活用
(オ) 言語活動の充実	⑦ 思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫	表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例



<b>観点</b>	<b>（ア）基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①題材の目標の示し方
<b>方法</b>	目標等の示し方，目標の示し方の例，目標に関わるポイントの例

	目標等の示し方	目標の示し方の例	目標に関わるポイントの例
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次で大まかな2つの目標を示している。</li> <li>・楽曲ごとに学習のポイントを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「演奏の仕方を身につけよう」</li> <li>○ 「合わせて演奏しよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ギター」の例</li> <li>・カリンカ「速度の変化を生かして，表現を工夫しよう。」</li> <li>・エチュード「アル・アイレ奏法を用いてアルペッジョを弾いてみよう。」</li> <li>・マルセリーノの歌「それぞれのパートの役割を生かして，表現を工夫しよう。」</li> <li>・ラ・クンパルシータ「全体の響きを感じ取り，曲想を生かして演奏しよう。」</li> </ul>
<b>教芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's play instruments!」の各楽器のページの冒頭に学習目標を示している。</li> <li>・「Let's play instruments!」の各楽器のページの学習目標の下に学習活動を示している。</li> <li>○ 「アンサンブルセミナー」の中で学習目標を提示している。</li> <li>・「アンサンブルセミナー」の該当ページにおいて，教材曲の下に学習活動を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ギター」の例</li> <li>・「ギターを演奏しよう。」</li> <li>○ 「アンサンブルセミナー」の例</li> <li>・「曲想を感じ取って，表現の仕方を工夫しよう。」</li> <li>・「パートの役割を感じ取りながら，豊かな響きになるように工夫して演奏しよう。」</li> <li>・「曲の構成を感じ取り，リズム伴奏を工夫して演奏しよう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Let's play instruments!」の例</li> <li>・「楽器の特徴を知り，その楽器にふさわしい音色奏法を工夫して表現を工夫しましょう。」</li> <li>○ 「アンサンブルセミナー」の例</li> <li>・「旋律の感じを捉え，アーティキュレーションを工夫してリコーダーで演奏しましょう。」</li> <li>・「パートの役割と全体の響きとの関わりを捉えて，全体のバランスに気をつけながら演奏しましょう。」</li> <li>・「打楽器の入ったCDの演奏を聴いて，曲の構成を感じ取りましょう。」</li> <li>・「リズムパターンの組み合わせや音色を工夫しながら，リズム伴奏をつかって演奏しましょう。」</li> </ul>

【音楽（器楽合奏）】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②器楽の基礎・基本の定着を図るための工夫
<b>方法</b>	和楽器の取扱い方

<b>和楽器の取扱い方</b>		
<b>教 出</b>	配列等	○ それぞれの楽器を単独で、箏（10ページ）→三味線（8ページ）→篠笛（4ページ）→太鼓（8ページ）→尺八（2ページ）の順に示している。
	内容	○ 各楽器の各部の名称，姿勢とかまえ方，奏法等を写真や図で示している。
	楽譜	○ 縦譜を3曲（「さくらさくら」「荒城の月」「もののけ姫」），参考楽譜の縦譜を2曲（「さくらさくら」「こきりこ節」）掲載している。
	楽器ごとの楽曲	○ 箏「荒城の月」箏1，箏2による「さくらさくら」「もののけ姫」 ○ 三味線「さくらさくら」 ○ 篠笛「たこたこあがれ」「ひらいたひらいた」「さくらさくら」「子守歌」 ○ 太鼓1，太鼓2，締太鼓による「千の海響 望の章」 ○ 尺八「もういいかい」
	合奏曲	○ 三味線，打楽器による「長唄『勸進帳』から寄せの合方」 ○ 箏1，箏2による「荒城の月」「さくらさくら」「こきりこ節」 ○ 篠笛1，篠笛2，篠笛3による「一番星みつけた/夜空を見上げて」 ○ 三味線1，三味線2による「かんつばき」 ○ ソプラニーノ，アルト・リコーダー，ソプラノ・リコーダー（またはテノール・リコーダー），三味線，箏，締太鼓，大太鼓による「からくり絵巻」
	その他	○ 「名曲旋律集」に箏の演奏曲を2曲掲載している。 ○ 楽器の鑑賞曲を紹介している。（箏1曲，三味線2曲）
<b>教 芸</b>	配列等	○ それぞれの楽器を単独で，箏（8ページ）→三味線（6ページ）→太鼓（4ページ）→篠笛（2ページ）→尺八（2ページ）の順に示している。
	内容	○ 各楽器の構造や種類，姿勢と構え方，奏法等を写真や図で示すと共に，「和楽器こぼれ話」「音を聴いて確かめよう」のコーナーを設けている。
	楽譜	○ 家庭式縦譜を4曲（「虫づくし」「姫松」「さくらさくら（独奏）」「さくらさくら（二重奏）」）掲載し，楽譜の読み方を説明している。
	楽器ごとの楽曲	○ 箏「虫づくし」「姫松」「さくらさくら（独奏）」 ○ 三味線「さくらさくら」 ○ 篠笛「たこたこあがれ」「ほたるこい」 ○ 尺八「夕やけこやけ」
合奏曲	○ 箏1，箏2による「さくらさくら」 ○ 太鼓1，太鼓2による「風にのって」 ○ 篠笛，締太鼓，長胴太鼓による「MATSURI」 ○ 三味線，大鼓，小鼓による「『寄せの合方』によるリズムアンサンブル」	

【音楽（器楽合奏）】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	③興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	合奏のための教材，曲数，巻頭・巻末の内容

	合奏のための教材		巻頭・巻末の内容	
	資料名と内容	曲数	巻頭	巻末
<b>教 出</b>	○ 「合わせて演奏しよう」として，リコーダー・アンサンブル，ギター・アンサンブル，箏，篠笛，ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーとその他の楽器によるアンサンブル，三味線，リコーダーと鍵盤楽器と打楽器によるアンサンブル，体を打楽器として使って演奏する曲を掲載している。	20	○ 「With My Heart 音楽はメッセージ 奏でる喜び」と題し，黒川真理（箏），安藤由香（リコーダー），石垣征山（尺八），村治佳織（ギター）の写真と言葉を掲載している。さらに，「制作現場を訪ねて」と題し，コンピュータによる音源制作とスタジオ・レコーディングの様子を写真と言葉で掲載している。	○ 「With My Heart 音楽はメッセージ 心をこめて」と題し，深海さとみ（箏），福原徹（篠笛）の写真と言葉，「リコーダーの運指表」「ギター&キーボード コード表」「いろいろな用語，記号」を掲載している。
	○ 「名曲旋律集」として，アルトまたはソプラノ・リコーダー，アルト・リコーダー，箏の楽譜を掲載している。	10		
<b>教 芸</b>	○ 「アンサンブル」として，リコーダー・アンサンブル，ギター・アンサンブル，ソプラノ・リコーダーとアルト・リコーダーとその他の楽器によるアンサンブル，打楽器によるアンサンブルを掲載している。	19	○ 「楽器と出会うー奏者から皆さんへ」と題し，遠藤千晶（箏），大萩康司（ギター），川端りさ（リコーダー），藤原道山（尺八）の写真と言葉を掲載している。さらに「リコーダー，ギターが活躍する曲」，「いろいろな長さの笛」を掲載している。	○ 資料として，「リコーダーの運指表」「ギターのコード ダイアグラム一覧」「音楽の約束（音符・休符・記号・用語）」「日本の伝統音楽の楽器編成」を掲載している。
	○ 「名曲スケッチ」として，アルト・リコーダーの楽譜と，それぞれの曲の説明を掲載している。	9		

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④和楽器の学習の扱いとその活用を図る学習活動の工夫
方法	箏の学習展開の工夫

箏の学習展開の工夫		
教 出	題材名	○ 演奏の仕方を身につけよう ー箏（こと）ー
	学習の流れ	○ 各部の名称→柱の立て方→爪→調弦法→姿勢とかまえ方→親指による基本的な奏法（角爪・丸爪）→練習曲（「さくらさくら」等）→奏法（押し手）→練習曲（「荒城の月」）→音のスケッチ（平調子による前奏の創作）→練習曲（「もののけ姫」, 奏法：ピッツィカート・合わせ爪・スクイ爪）
	基本的な奏法（親指）	○ 演奏者を正面から見た角度と演奏者側から見た角度の写真を載せ、1ページを2段階に分けて説明している。
	基礎的な奏法の活用を図る学習活動	○ 「音のスケッチ」として、平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏を創作する活動を設定している。 ・活動1「『荒城の月』の歌詞の内容や、感じ取った曲想に合った表現をイメージして、2小節の前奏をつくろう。できあがったら、弦名を記録しておこう。」 ・活動2「前奏を1回繰り返して演奏し、それに続けて『荒城の月』を弾きながら歌ってみよう。」 ・活動3「表現したかったイメージをまとめ、発表しよう。」 ○ 吹き出しにより、学習した基礎的な奏法の活用を促している。 ・吹き出しの言葉→「前奏に押し手を取り入れてもいいよ。」
	楽譜	○ 縦譜と五線譜（音符の下に漢数字での弦名）の2種類を示している。
	資料	○ 「弾いてみよう」, 鑑賞曲1曲 ○ 箏と琴についての説明と、調弦を民謡調子に変えて演奏できる「こきりこ節」の楽譜を掲載している。
	ページ数	○ 10ページ
教 芸	題材名	○ 箏を演奏しよう
	学習の流れ	○ 構造→柱の立て方→爪→調弦→姿勢と構え方→基本的な奏法（親指・中指）→練習曲（「虫づくし」, 「姫松」, 「さくらさくら」, 押し手の奏法を掲載）→いろいろな奏法（合せ爪・スクイ爪・流し爪・ピッツィカート・トレモロ）→「My Melody」（平調子による旋律の創作）
	基本的な奏法（親指・中指）	○ 演奏者側から見た角度の写真を載せ、親指と中指を使った奏法について説明している。
	基礎的な奏法の活用を図る学習活動	○ 「My Melody」として、箏を平調子に調弦して旋律をつくる活動を設定している。 ・この続きの旋律を考えて、糸の名称を枠内に書き込みましょう。 ・「Challenge!!」→「さくらさくら」の前奏をつくってみましょう。 手順①：どのような桜をイメージしてつくるかを考える。 （例 満開の桜, まだつぼみの状態の桜, 桜と川のせせらぎなど） 手順②：イメージに合った奏法を選ぶ。 （例 満開の桜→華やかなイメージ→どの奏法が合うか? など） ・音の流れを図形で表したり、使う奏法をメモしたりしておこう。 ・左ページの「いろいろな奏法」を参考にしよう。
	楽譜	○ 家庭式縦譜と五線譜（音符の下に漢数字での弦名）の2種類を示している。
	資料	○ 「楽器を知ろう」, 鑑賞教材3曲, 「和楽器こぼれ話」, 「姿勢と礼儀」, 「音を聴いてたしかめよう：糸の響き・余韻の変化」, 「弾き歌い」, 「唱歌」を示している。
ページ数	○ 8ページ	

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤教材の分量及び構成
方法	楽器別カテゴリー別教材数，合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数，内容の構成

		楽器別							合奏・アンサンブル	内容の構成
		アルト・リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	篠笛	尺八		
教出	クラシック音楽	11							6	① アルト・リコーダー
	日本歌曲	2		3					3	② ギター
	日本古来の曲			1	2		2		1	③ 箏
	わらべうた						2	1		④ 三味線
	日本の民謡								1	⑤ 篠笛
	世界の民謡	2	2							⑥ 太鼓
	映画・ポピュラー音楽等	6	3	1					3	⑦ 尺八
その他・オリジナル等	4	1	2		1			7	⑧ リコーダーによる合奏 ⑨ いろいろな合奏 ⑩ 名曲旋律集	
教芸	クラシック音楽	11							2	① アルト・リコーダー
	日本歌曲	2								② ギター
	日本古来の曲			2	1				1	③ 箏
	わらべうた						2	1		④ 三味線
	日本の民謡									⑤ 太鼓
	世界の民謡	5	1						1	⑥ 篠笛
	映画・ポピュラー音楽等	2	2						10	⑦ 尺八
その他・オリジナル等	4		1					7	⑧ 打楽器 ⑨ アンサンブルセミナー ⑩ アンサンブル ⑪ 名曲スケッチ	

【音楽（器楽合奏）】

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑥本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト等の活用
<b>方法</b>	写真の内容，イラスト等の活用

	写真の内容	イラスト等の活用
<b>教 出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロの演奏家が演奏している写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭に箏・リコーダー・尺八・ギター，巻末に箏・篠笛を演奏家のメッセージと共に掲載している。</li> <li>・ 各楽器（リコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八）の見出しと共に演奏場면을掲載している。</li> <li>・ 太鼓については種類や演奏形態の異なる演奏場面を比較できるように掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ 楽器や構え方，奏法に関する写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダー，ギター，箏，三味線，篠笛，長胴太鼓，締太鼓，桶胴太鼓，尺八について掲載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マーク                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞教材を表すマークを目次及び該当ページの教材曲の横に掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ キャラクター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般教科書に出てくる男の子と女の子のキャラクターが，巻頭資料，リコーダー，箏のページに登場する。</li> </ul> </li> <li>○ 色分け                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目次で，楽器や項目ごとに見出しの色を統一し，中味と対応させている。</li> </ul> </li> </ul>
<b>教 芸</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロの演奏家が演奏している写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻頭に箏・ギター・リコーダー・尺八を演奏家のメッセージとともに掲載している。</li> <li>・ 各楽器（リコーダー・ギター・箏・三味線・太鼓・篠笛・尺八）の見出しと共に演奏場면을掲載している。</li> <li>・ ギター，三味線，太鼓については，様々な演奏形態が比較できるように掲載している。</li> </ul> </li> <li>○ 楽器や構え方，奏法に関する写真                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リコーダー，ギター，箏，三味線，長胴太鼓，締太鼓，篠笛，尺八，クラベス，シェーカー，カウベル，アゴゴ，ボンゴ，コンガ，カスタネット，タンブリン，鈴，シンバル，小太鼓，大太鼓について掲載している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクター                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般教科書に出てくる男性と女性のキャラクターが，音楽学習MAP，箏，アンサンブルセミナー，アンサンブルのページに登場する。</li> </ul> </li> <li>○ 色分け                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目次で，楽器や項目ごとに見出しの色を統一し，中味と対応させている。</li> </ul> </li> </ul>

【音楽（器楽合奏）】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑦ 思いや意図を相互に伝え合う活動の工夫
<b>方法</b>	表現の工夫を伝え合う活動につながる記述と具体例

	表現の工夫を伝え合う活動 につながる記述	具体例
<b>教 出</b>	○ 器楽の活動において、奏する際の工夫する視点を記述している。	○ 教科書全般における具体例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分が興味をもったほうの作品について、みんなに紹介する文章を書いてみよう。」(p. 18)</li> <li>・「曲全体を通して聴いて、自分がいちばんおもしろいと感じた部分を、みんなに紹介する文章を書いてみよう。」(p. 34)</li> <li>・「表現したかったイメージをまとめ、発表しよう。」(p. 37)</li> </ul>
<b>教 芸</b>	○ 「アンサンブルセミナー」(器楽・創作)において、グループアンサンブルの中で工夫する視点を挙げると共に、具体的な学習活動を、手順に沿って示している。	○ 「アンサンブルセミナー」の教材『テキーラ』における具体例 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Step 1 『テキーラ』は次の3つの部分の組み合わせで構成されています。打楽器の入ったCDの演奏を聴いて、それぞれの部分の旋律の違いを確かめながら、曲の構成を感じ取りましょう。」</li> <li>・Step 2 「グループに分かれて㉠・㉢・㉣それぞれの部分に3～4パートからなるリズム伴奏を考えます。下のリズムパターンを組み合わせ、曲の構成に合ったリズム伴奏をつくりましょう。」</li> <li>・Step 3 「それぞれのパートに合う楽器などを選んで、打楽器の入っていないCDの演奏にリズム伴奏を加えて演奏しましょう。」</li> </ul>

【美術】

# 美 術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	美術
38	光 村	美術
116	日 文	美術

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標の示し方	題材の目標・ねらい・振り返りと導入の文章の記載の仕方及び具体例
		② 作品の理解を深めるための工夫	基礎的な技法や知識などに関する記載
		③ 日本の美術文化に関する内容	題材名及び掲載作品
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例
		⑤ 生活や社会における美術の働きを実感するための工夫	生活や社会における美術の働きを示す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列	題材数及び構成や配列
		⑦ 掲載している作品等の数	サイズを明記している参考作品の数
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 折り込みページの活用及び大型図版の掲載	折り込みページの内容及び大型図版
(オ)	言語活動の充実	⑨ 言語を用いた発想・構想の工夫	発想・構想段階における言語活動の示し方及び具体例
		⑩ 鑑賞の仕方の工夫	鑑賞の方法の示し方及び具体例



【美術】

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①題材の目標の示し方
<b>方法</b>	題材の目標・ねらい・振り返りと導入の文章の記載の仕方及び具体例

	題材の目標・ねらい・振り返りと導入の文章の記載の仕方	第1学年 自然を対象とする題材における具体例
<b>開隆堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材の末尾に、学習の目的を基にした自己評価(ふりかえり)の観点を「関心・意欲・態度」、「発想や構想」、「創造的な技能」、「鑑賞」の4観点で色分けして示している。</li> <li>○ 題材名の下に、その題材での重点的な学習活動や、生徒に育てたい力を解説文で示している。</li> </ul>	題材名：「心ひかれる風景」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風景画のよさや美しさに関心をもちましたか。</li> <li>・ スケッチなどを通してどのような主題を構想しましたか。</li> <li>・ 色彩や構図を工夫し、季節や時間をどのように表しましたか。</li> <li>・ 作者の思いを考えながら風景画を鑑賞しましたか。</li> </ul>
<b>光村</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の横に「関心・意欲・態度」、「発想や構想」、「創造的な技能」、「鑑賞」の4観点到に沿った目標を示し、学習後に達成状況をチェックする欄を設けている。</li> <li>○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。</li> </ul>	題材名：「心安らぐ 私の風景」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の好きな風景を探してみよう。</li> <li>・ 風景のどこに心引かれたのか考えながら構想を練ろう。</li> <li>・ 鉛筆や水彩絵の具などの使い方を工夫して描こう。</li> <li>・ 作品を見て、その場所を選んだ作者の気持ちを感じ取ろう。</li> </ul>
<b>日文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材名の横に、「関心・意欲・態度」、「発想や構想」、「創造的な技能」、「鑑賞」の4観点到に沿った「学びのねらい」を、色分けしたマークとともに示している。</li> <li>○ 題材名の下に、活動のきっかけとなる文章を記載している。</li> </ul>	題材名：「なぜか気になる情景」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の中で気になる場所やものなどを見つけ、その特徴をとらえて表すことに関心を持とう。</li> <li>・ 気になる場所から、表したい主題を明確にして表現の構想を練ろう。</li> <li>・ 表したい場所の範囲や画面の構成、奥行き感や色彩などを、工夫して表そう。</li> <li>・ 気になった場所を、どのように工夫して表現しているかを感じ取ろう。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②作品の理解を深めるための工夫
<b>方法</b>	基礎的な技法や知識などに関する記載

	学年	基礎的な技法や知識などに関する記載		
<b>開隆堂</b>	1	「パレットコーナー」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ パレットと筆洗を使う</li> <li>・ 水彩絵の具を使って、絵の具と水の量を変えながら、描いてみよう。</li> <li>・ ポスターカラーを使って、混ぜる白の量を変えながら、描いてみよう。</li> <li>・ アクリル絵の具</li> <li>・ 筆の種類</li> </ul>	「工具箱」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 彫刻刀を使う</li> <li>○ 電動糸のこぎりを使う</li> <li>○ カッターナイフを使う</li> <li>○ やすりを使う</li> </ul>	「色彩ホームページ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色彩の種類</li> <li>・ 色の三要素（三属性）</li> <li>・ 色相 ・ 明度 ・ 彩度</li> <li>○ 無彩色と有彩色</li> <li>○ 三原色と混色</li> <li>・ 色料の三原色と減法混色</li> <li>・ 光の三原色と加法混色</li> <li>○ 色の対比</li> <li>○ 補色</li> <li>○ 色の感じ</li> <li>○ 色の膨張・収縮、進出・後退</li> <li>○ 色の視認性（見えやすい色の組み合わせ）</li> </ul>
	2・3	「人の表現から見る美術の歴史」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本</li> <li>○ 中国</li> <li>○ エジプト</li> <li>○ アジア</li> <li>○ 西洋</li> </ul>		「色彩ホームページ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の伝統色</li> <li>○ 西洋の伝統色</li> <li>○ 美しい日本の配色文化</li> <li>・ 襲の色目</li> </ul>

【美術】

光 村	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉛筆やペンで描く             <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆 ・色鉛筆</li> <li>・ペン, マーカー</li> <li>・パステル</li> </ul> </li> <li>○ 絵の具で描く             <ul style="list-style-type: none"> <li>・透明水彩絵の具</li> <li>・アクリルガッシュ</li> <li>・ポスターカラー</li> </ul> </li> <li>○ さまざまな技法で描く</li> <li>○ 文字をデザインする             <ul style="list-style-type: none"> <li>・明朝体 ・ゴシック体</li> </ul> </li> <li>○ 粘土でつくる</li> <li>○ 木でつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色と光の特徴を知ろう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の伝統色</li> <li>・カラーハンティングをしに行こう</li> <li>・朝の光と夕方の光の違い</li> <li>・美術作品と照明</li> <li>・混色</li> <li>・対比</li> <li>・色の仕組みを知ろう</li> <li>・有彩色に無彩色を混ぜてできる色</li> <li>・色の世界は三次元</li> <li>・色から受ける感じ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形と材料の特徴を知ろう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・形から受ける印象</li> <li>・構図と配置</li> <li>・紙</li> <li>・木</li> <li>・竹</li> <li>・土</li> </ul> </li> </ul>
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 映像メディアを活用する             <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真</li> <li>・映像</li> </ul> </li> <li>○ 金属や石でつくる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・針金でつくる</li> <li>・金属板でつくる</li> <li>・石でつくる</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色と光の特徴を知ろう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・光と影の伝統芸能</li> <li>・照明による雰囲気の違い</li> <li>・日本の伝統色</li> <li>・かさねの色目</li> <li>・日本の伝統色の顔料</li> <li>・色から受けるイメージ</li> <li>・グラデーション</li> <li>・見やすい色の組み合わせ</li> <li>・色と形による錯視</li> <li>・色による残像現象</li> <li>・光と陰影の効果</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形と材料の特徴を知ろう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の形を生かす</li> <li>・遠近感をあらわす</li> <li>・形による錯視</li> <li>・形の冒険</li> <li>・金属</li> <li>・ガラス</li> <li>・布</li> <li>・石</li> </ul> </li> </ul>
日 文	1	<p>「表現や鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然界や身の回りにある形や色             <ul style="list-style-type: none"> <li>・花</li> <li>・野菜・果物</li> <li>・気象や自然現象</li> <li>・地表</li> <li>・動物の顔</li> <li>・動物の体</li> </ul> </li> </ul>	<p>「技法の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉛筆で描く</li> <li>○ 水彩で描く</li> <li>○ 遠近感を表す</li> <li>○ モダンテクニック</li> <li>○ 木版画</li> <li>○ 木工の技法</li> <li>○ 焼き物をつくる</li> </ul>	<p>「色彩の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色の広がり, 色の魅力             <ul style="list-style-type: none"> <li>・色光の三原色</li> <li>・色料の三原色</li> <li>・絵の具の混色と重色</li> <li>・無彩色と有彩色</li> <li>・色相環</li> <li>・補色</li> <li>・色の対比</li> <li>・色の感じ</li> </ul> </li> </ul>
	2・3上	<p>「鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちを彩るパブリックアート</li> <li>○ 日本美術の展開と世界との交流</li> </ul>	<p>「技法の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代に受けつがれる浮世絵版画</li> <li>○ 水墨画の技法</li> <li>○ 粘土でつくる</li> <li>○ 木でつくる</li> <li>○ 金属でつくる</li> </ul>	<p>「色彩の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 色について理解を深めよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・配色</li> <li>・日本の伝統色</li> </ul> </li> </ul>
	2・3下	<p>「鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の世界文化遺産</li> <li>○ 受けつぎつくる人の姿</li> <li>○ 文化財の保存と修復             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東大寺南大門の金剛力士立像の修復</li> </ul> </li> <li>○ アートを体験する場に出かけよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同で作品を展示しよう</li> <li>・美術館へ行こう</li> </ul> </li> </ul>	<p>「技法や鑑賞の資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真撮影の第一歩</li> <li>○ コンピュータ・グラフィックスの表現</li> <li>○ アニメーションの表現</li> <li>○ 石を彫る</li> <li>○ 織る</li> <li>○ 仏像の種類</li> <li>○ 近代の建築</li> </ul>	

【美術】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③日本の美術文化に関する内容
方法	題材名及び掲載作品

	学年	題材名	掲載作品 ※生徒作品を除く。		
開 隆 堂	1	心ひかれる風景	・紙すき場【速水御舟】		
		比べてみよう	・東海道五十三次之内 庄野【歌川広重】		
		原寸ギャラリー	・樹花鳥獸図屏風【伊藤若冲】		
		材料を生かして	・両面透かしうちわ 陽光 ・津軽塗の重箱		
	2・3	他人と違うこと、他人と同じであること	・群青富士【横山大観】 ・富嶽三十六景 凱風快晴【葛飾北斎】 ・富士三十六景 駿河三保之松原【歌川広重】 ・富士山図屏風【谷文晁】 ・清水の富士【五姓田義松】 ・三十六富士【十里木秋雲】 ・山 富士山【片岡球子】		
		絵巻物の世界	・伴大納言絵巻 上巻 中巻 下巻 ・鳥獸人物戯画 甲巻 ・信貴山縁起絵巻 剣の護法 延喜加持の巻（部分） ・石山寺縁起絵巻 二巻（部分）		
		モノトーンの美しさ	・枯木鳴鶴図【宮本武蔵】 ・秋冬山水図 冬景図【雪舟等楊】 ・松林図屏風【長谷川等伯】		
		原寸ギャラリー	・桜図【長谷川久蔵】 ・楓図【長谷川等伯】		
		伝統の美に学ぶ	・八橋蒔絵螺鈿硯箱【尾形光琳】 ・色絵竜田川文透彫反鉢【尾形乾山】 ・鶴下絵三十六歌仙和歌巻（本阿弥光悦書 俵屋宗達下絵） ・白綾地秋草模様小袖（尾形光琳筆） ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】 ・紅白梅図屏風【尾形光琳】 ・夏秋草図屏風【酒井抱一】 ・黒き猫【菱田春草】		
		ゴッホと日本	・名所江戸百景 亀戸梅屋敷【歌川広重】		
		祈りの造形	・阿修羅像 ・阿弥陀如来坐像 ・雲中供養菩薩像 ・空也上人立像		
		木でつくる工芸	・栃杣拭漆手箱【黒田辰秋】		
		人がつくる、技を極める	・褐釉蟹貼付台付鉢【宮川香山】 ・伊勢えびの置物 ・白兔牙彫根付 ・鳥天狗木彫根付 ・名古屋山三郎絵巻（伝 宮川春水） ・雉子沈金衣裳箱【前大峰】 ・黄色地松皮菱菊藤流水菖蒲文様紅型木綿袷衣裳		
		色彩ホームページ	・萌葱縮緬地燕藤波模様染縫小袖 ・黄羅紗地竹文縫管迫 ・色絵琴高仙人文鉢 ・名所江戸百景 日本橋通一丁目略図【歌川広重】		
		光 村	1	美術って何だろう？	・紬織振袖 暈し段【志村ふくみ】
				見つけた、触れた、ひらめいた！	・平田一色飾 海老
				【特別展示室】風神雷神，自然と人と	・風神・雷神像 ・風神雷神図屏風【俵屋宗達】
				自然とともにある日本の美	・風神雷神図屏風【尾形光琳】 ・夏秋草図屏風【酒井抱一】 ・風神雷神図屏風【酒井抱一】 ・燕子花図屏風【尾形光琳】 ・向日葵図【鈴木其一】 ・梅樹扇模様帷子
				粘土でつくる	・白地丸文隅切鉢【河井寛次郎】

【美術】

	2・3	感じたことを話し合おう	・阿修羅像
		見方を変えて	・奥の細道句抄絵 田一枚植ゑて立ち去る柳かな【小野竹喬】
		墨の世界を体感しよう	・松林図屏風【長谷川等伯】 ・洛中洛外雨十題 宇治川雷雨【横山大観】 ・久方の【篠田桃紅】
		浮世絵から学ぶ江戸の職人技	・富嶽三十六景 神奈川沖浪裏【葛飾北斎】
		原寸大で鑑賞しよう	・鳥獣花木図屏風【伊藤若冲】 ・平螺鈿背円鏡
		季節感のある暮らしを楽しむ	・雪模様蒔絵櫛 ・水うちわ 水面に鮎香る【太田勇】
		絵巻物を楽しむ	・鳥獣人物戯画 甲巻（部分） ・鳥獣人物戯画 乙巻（部分） ・石山寺縁起絵巻 第二巻（部分） ・伴大納言絵巻 中巻（部分）
日 文	1	なぜか気になる情景	・門【奥村土牛】
		教科書美術館 花の生命	・奄美の海に蘇鐵とアダン【田中一村】
		使いたくなる焼き物をつくろう	・色絵旅行用急須【富本憲吉】 ・三彩鳥天使水注【河井寛次郎】
		伝統の中の動物たち	・青笹しし踊り装束 ・えんぶり烏帽子
	2・3上	表現の可能性を求めて	・不動明王および二童子立像【円空】
		墨が生み出す豊かな世界	・雲竜図【狩野探幽】 ・虻に双鶏図【伊藤若冲】 ・秋冬山水図 冬景図【雪舟等楊】
		教科書美術館 東へ、西へ…	・源平合戦図屏風 一の谷・屋島合戦図【狩野吉信】 ・富嶽三十六景より 神奈川沖浪裏 凱風快晴【葛飾北斎】 ・江戸名所百景より 亀戸梅屋敷【歌川広重】 ・「魚濫観世音」図【葛飾北斎】 ・紅白梅図屏風【尾形光琳】 ・更衣美人図【喜多川歌麿】 ・鮭【高橋由一】 ・京焼・清水焼の染付汲み出し茶碗
		漫画表現の豊かさ	・鳥獣人物戯画卷（伝 鳥羽僧正） ・北野天神縁起絵巻 第4巻（部分） ・石山寺縁起絵巻 第二巻（部分） ・絵本武蔵鑑【葛飾北斎】
		日本の美意識	・薄浅葱縮緬地杜若八橋模様染縫小袖 ・漆絵梅文椀【松田権六】 ・色絵菊図向付【尾形乾山】 ・吉野龍田図屏風 ・黒楽茶碗 銘 俊寛【長次郎】
	2・3下	教科書美術館「刻まれた祈り」	・薬師如来立像 ・弥勒菩薩半跏思惟像 ・不動明王像 ・雲中供養菩薩像 ・迦楼羅王立像 ・妙法院蓮華王院

【美術】

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	表現及び鑑賞への興味・関心を高める工夫及び具体例

	表現及び鑑賞への興味・関心を高める工夫	学年	具体例	
			人物を対象とする表現の題材例	原寸大又は見開きで全体を掲載している鑑賞の作品例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図や写真とともに発想や制作のポイントを示している。</li> <li>○ 「原寸ギャラリー」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の一部を原寸大の図版で示している。</li> </ul> </li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人の形のおもしろさ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・すばやい動きのあるポーズを、刷毛を使って描いてみましょう。大きく手を動かし、人の動きの特徴をとらえて表現してみましょう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 樹花鳥獣図屏風【伊藤若冲】</li> </ul>
		2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人の形に込めたもの」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・立体の観察では、多方向から見ることで新しい発見がある。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ モナ・リザ【レオナルド・ダ・ヴィンチ】</li> <li>○ 桜図【長谷川久蔵】</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図や写真とともに発想や制作のポイントを示している。</li> <li>○ 「原寸大で鑑賞しよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の一部を原寸大の図版で示している。</li> </ul> </li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「人のしぐさを捉える」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・短時間でおおまかに形を捉えることをクロッキーという。友達にポーズを取ってもらい、人物クロッキーに挑戦しよう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 火焰型土器 No. 1</li> </ul>
		2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「躍動感を捉えて」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・針金を軸にして粘土で肉付けし、動きのある立体像をつくってみよう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 灰色のフェルト帽の自画像【フィンセント・ファン・ゴッホ】</li> <li>○ 鳥獣花木図屏風【伊藤若冲】</li> <li>○ 平螺鈿背円鏡</li> </ul>
日文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図や写真とともに発想や制作のポイントを示している。</li> <li>○ 「教科書美術館」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の全体又は和紙を使用した原寸大の図版、作品が安置されている場所の写真を4ページの見開きで示している。</li> </ul> </li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「身近な人を見つめて」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちのその人らしさがよく現れる表情や顔の向きなどを、よく探してスケッチしよう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 奄美の海に蘇鉄とアダン【田中一村】</li> </ul>
		2・3上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「瞬間の美しさを形に」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに協力してもらい、表したい動きをスケッチして構想を練ろう。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 富嶽三十六景より「神奈川沖浪裏」「凱風快晴」【葛飾北斎】</li> </ul>
		2・3下		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 妙法院蓮華王院 千手観音坐像、千体千手観音像など</li> </ul>

【美術】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤生活や社会における美術の働きを実感するための工夫
方法	生活や社会における美術の働きを示す具体例

		具体例
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私たちが目にする代表的な書体, 生活の中のおもしろい文字</li> <li>○ 竹の文房具, 積み木のおもちゃ</li> <li>○ 電子レンジ対応の弁当箱, 曲げわっぱの弁当箱, 日本の竹皮の包み, 日本の竹の弁当箱, インドの弁当箱, ブータンの弁当箱</li> <li>○ 建具(玄関の扉, ふすま, 障子, 衝立など)</li> <li>○ 装身具(宝石)      ○ 実際に使われている標識やマーク</li> </ul>
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図工室の椅子, ケーキ, 草木の作品, ねぶた, 寝台列車「ななつ星」</li> <li>○ 掛軸, 扇子, 屏風</li> <li>○ パブリック・アート(モエレ沼公園, フィリップ・A・ハート・プラザ, 札幌駅)</li> <li>○ ボウル(水面をデザイン), パン屋の紙袋, 指に刺さりにくく抜きやすいピン, 階段用手すり, 地下鉄駅の案内表示, ポスター(地球温暖化防止), ピクトグラム, 和菓子のデザイン, 着物のデザイン, 包装紙のデザイン</li> <li>○ ロゴタイプ(池田20世紀美術館), マーク(国連防災白書), 動物園の案内図</li> <li>○ ユニバーサルデザイン(ヘルプマーク)      ○ 紙のカテドラル(クライストチャーチ)</li> <li>○ ランプ      ○ 木の種類で音階を奏でる木琴</li> </ul>
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポスター(横浜マリンタワー), 車椅子(CARNA)      ○ 額縁</li> <li>○ 箸置き, お菓子のパッケージ      ○ 文様(唐草文様他), 食器セット, 包装紙, 手拭い</li> <li>○ 絵文字(うなぎ屋ののぼり, 百貨店の食品売り場の壁)      ○ 水引</li> <li>○ 木のスプーン, フォーク, ナイフ, スプーン付き二重サラダボウル, 学校給食用食器</li> <li>○ 生活の中の焼き物(花の果物の陶器, 色絵ガラッ鉢, 象の香取線香入れなど)</li> <li>○ 暮らしの中の手書き文字(江戸手描き提灯, カリグラフィ)</li> </ul>
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目覚まし時計, 食器, 駅前広場, 文房具, 鉛筆削り, ステンレス魔法瓶, 机, 椅子, CDジャケット, バスマット, LED懐中電灯など      ○ 原宿Tビル工事現場仮囲</li> <li>○ シーサー・しゃちほこ      ○ パブリックアート(モエレ沼公園, フランス, ボルドーのワイン醸造所など)      ○ ステンドグラス(坂戸駅)      ○ ポスター</li> <li>○ 標準案内用図記号, 駅のシンボルマーク      ○ はさみ, 定規, ピン, 電子体温計, ユニバーサルデザイン(スプーン), 信号機, 点字ブロック, 誘導ブロック, 階段スロープ</li> <li>○ 暮らしの中のキャラクター      ○ 和菓子      ○ 京扇子, 花器, 着物デザイン, 七夕祭りの笹飾り, 水うちわ, 江戸風鈴など      ○ パッケージデザイン(わらで編んだ卵の包, チョコレート, 缶など), 風呂敷      ○ 富山ライトレール</li> <li>○ スポーツ用義足, キュードラム, 電動乗用一輪車</li> </ul>
日文	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポリエチレンの袋, 布の買い物袋, 竹編みの手さげかご, 菓子を入れる紙の箱, 電子体温計, 幼児用食器, 大阪市営地下鉄の路線案内サイン, スプーン</li> <li>○ 自然物をあしらった生地, 表紙のデザイン, 箸袋, ブックカバー, ネクタイのデザインなど</li> <li>○ 駅名標, のれん, 皿, 絵文字など      ○ マーク(オリンピック, 世界自然保護基金(WWF), 職業訓練を提供する団体), マンホールのふたのデザインなど</li> <li>○ 紙のコスター      ○ 花入り封筒, メッセージカード      ○ 旅行用急須, マグカップ, 花器, 容器など      ○ 漆器, 木製スプーン, ナイフ, 箸・箸置き</li> <li>○ 水族館, ヨーヨー, 歯ブラシ, フルーツの盛り合わせ, 神戸ルミナリエ</li> </ul>
	2・3上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 茶器, 茶碗, ティーカップ      ○ 水引, 着物, 和菓子, ちまき, 箸の装飾など</li> <li>○ 扇子, 掛軸, 正月飾り, 茶室      ○ ピクトグラム(非常口, 津波避難警告標識, ワシントン国立動物園の案内地図と動物など)      ○ 新聞広告, 本の表紙, ブックカバー, 宣伝用ポップ</li> <li>○ ほ乳瓶, フォーク, ペットボトル, 握りやすい傘, マウス型のカッター, シャンプーとリンスの容器, 扇風機, 波形の手すりなど      ○ 椅子(アロンチェア, ウルムスツール, トートネットロッキングチェア, ポニーなど)</li> <li>○ 文具立て, ペンケース, キーホルダーなど      ○ パブリックアート(モエレ沼公園, さいたま新都心ふれあいモール, 新潟県スポーツ公園, 広島空港, 万博公園など)</li> </ul>
	2・3下	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未来の車のスケッチ, ティーポットなど      ○ パッケージデザイン(飴, 梅, 包装紙)</li> <li>○ LEDを使用した光のイルミネーション(東京ミッドタウン)</li> <li>○ 水飲み場の壁画の装飾, 病院の待合室・病院の外観と小児病棟</li> <li>○ ショール, ストール      ○ 壁掛け時計, ブックシェルフ, チェア</li> <li>○ 設え(表門, 笹垣, 穂垣)      ○ Qドラム</li> </ul>

## 【美術】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑥ 題材や資料等の配列
<b>方法</b>	題材数及び構成や配列

	学年	題材等の数	構成や配列				配列の仕方
			項目別の題材等の数				
			A表現 (1)	A表現 (2)	A表現 (3)	B鑑賞 (1)	
開隆堂	1	19	7	4	15	4	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「ガイダンスや資料的な内容」
	2・3	29	9	8	18	11	
光村	1	27	6	5	20	7	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「はじめに」 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「学習を支える資料」
	2・3	40	14	10	33	11	
日文	1	30	7	7	23	7	○ 題材を分野等に分けて配列している。 「オリエンテーション」 「絵や彫刻など」 「デザインや工芸など」 「学習に役立つ資料」
	2・3上	26	6	5	17	9	
	2・3下	30	6	6	18	12	

※1つの題材で複数の項目を示している題材もある。

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦ 掲載している作品等の数
<b>方法</b>	サイズを明記している参考作品の数

	学年	サイズを明記している作品の数	計
開隆堂	1	168	473
	2・3	305	
光村	1	178	456
	2・3	278	
日文	1	171	469
	2・3上	164	
	2・3下	134	

【美術】

観点		(エ) 内容の表現・表記	
視点		⑧ 折り込みページの活用及び大型図版の掲載	
方法		折り込みページの内容及び大型図版	
	学年	折り込みページの内容	大型図版 ※作品の一部を表示したものを除く
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイダンス</li> <li>・「美術って、何だろう？」</li> <li>・「集める・試す・組み立てる」</li> <li>○ 絵や彫刻など</li> <li>・「心ひかれる風景」</li> <li>○ 資料的な内容</li> <li>・「道具箱」 ・「色彩ホームページ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トラヤんの空飛ぶ方舟大作戦【ヤノベケンジ】</li> <li>・柳のある明るい朝【クロード・モネ】</li> </ul>
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイダンス</li> <li>・「他人と違うこと、他人と同じであること」</li> <li>○ 資料的な内容</li> <li>・「生きることと美術」 ・「ゲルニカ」</li> <li>・「人の表現から見る美術の歴史」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幻の華【草間彌生】</li> <li>・群青富士（右隻）【横山大観】</li> <li>・最後の晚餐【レオナルド・ダ・ヴィンチ】</li> <li>・彫刻プロジェクト「アメリカン・フィールド」【アントニー・ゴームリー】</li> <li>・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】</li> </ul>
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめに</li> <li>・「感じたことを話し合おう」 ・「美術って何だろう？」</li> <li>○ 絵や彫刻など</li> <li>・特別展示室「風神雷神，自然と人と」</li> <li>○ 学習を支える資料</li> <li>・色と光の特徴を知ろう ・形と材料の特徴を知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人生【マルク・シャガール】</li> <li>・風神雷神図屏風【俵屋宗達】</li> </ul>
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ はじめに</li> <li>・「感じたことを話し合おう」</li> <li>・「朝起きてから夜眠るまでの美術」</li> <li>○ 絵や彫刻など</li> <li>・特別展示室「ゲルニカ，明日への願い」</li> <li>○ 学習を支える資料</li> <li>・「美術史年表」 ・「絵巻物を楽しむ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記憶の固執【サルヴァドール・ダリ】</li> <li>・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】</li> <li>・1946年の冬【アンドリュウ・ワイエス】</li> </ul>
日文	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション</li> <li>・「出会って広げよう」 ・「図画工作，そして…美術へ」</li> <li>○ 絵や彫刻など</li> <li>・教科書美術館「花の生命」</li> <li>○ 学習に役立つ資料</li> <li>・「色の広がり，色の魅力」 ・「モダンテクニック」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美の海に蘇鉄とアダン【田中一村】</li> </ul>
	2・3上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション</li> <li>・「学びを深めよう」 ・「表現の可能性を求めて」</li> <li>○ 絵や彫刻など</li> <li>・教科書美術館「東へ，西へ…」</li> <li>○ 学習に役立つ資料</li> <li>・「日本美術の展開と世界との交流」</li> <li>・「現代に受けつがれる浮世絵版画」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の晚餐【レオナルド・ダ・ヴィンチ】</li> <li>・神奈川沖浪裏【葛飾北斎】</li> <li>・凱風快晴【葛飾北斎】</li> </ul>
	2・3下	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーション</li> <li>・「美を探し求めて」 ・「夢をかたちにするデザイン」</li> <li>○ 絵や彫刻など</li> <li>・教科書美術館「刻まれた祈り」</li> <li>○ デザインや工芸など</li> <li>・「自然を愛でる空間」</li> <li>○ 学習に役立つ資料</li> <li>・「アートを体験する場に出かけよう」</li> <li>・「写真撮影の第一歩」</li> <li>・「コンピュータ・グラフィックスの表現」</li> <li>・「アニメーションの表現」 ・「石を彫る」</li> <li>・「織る」 ・「仏像の種類」 ・「近代の建築」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲルニカ【パブロ・ピカソ】</li> <li>・春が舞う【中井精也】</li> </ul>



<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑨言語を用いた発想・構想の工夫
<b>方法</b>	発想・構想段階における言語活動の示し方及び具体例

	発想・構想段階における言語活動の示し方	言語活動が示されている題材における具体例
開隆堂	○ 構想中の生徒の言葉を吹き出しで示している。	○ 題材名「材料を生かして」(第1学年) ・何をつくろうかな。 ・どこで使おうかな。 ・だれが使うものをつくろうかな。 ・どんな形が使いやすいかな。
	○ 発想のヒントになる言葉の例を複数示し、発想の仕方を例示している。	○ 題材名「空想からの表現」(第2・3学年) ・いろいろな言葉を集めてみよう。 ・言葉を選んで組み合わせよう。 ・興味や関心を大切に、言葉を組み合わせ物語を考えよう。
	○ 個人やグループで発想や構想しているプロセスを写真やアイデアスケッチとともに示している。	○ 題材名「デザインで伝える」(第2・3学年) ・マインドマップ ・ブレインストーミング
光村	○ 主題を生み出すためのワークシートの記述例を示している。	○ 題材名「文様、飾りの小宇宙」(第1学年) ・竹のように高く元気に成長してもらいたいという願いがこめられている。また、ささの葉には、殺きん作用があるので、病気にならないようにという願いもこめられている。
	○ メモや言葉から発想を広げる事例を写真やアイデアスケッチとともに示している。	○ 題材名「形と色の挑戦」(第2・3学年) ・言葉や文章のイメージを、形や色、材料に置き換えてみよう。同じテーマでつくった友達の作品と見比べてもおもしろいだろう。
	○ 個人やグループで発想や構想している場面を複数の写真とともに示している。	○ 題材名「メッセージを伝えるポスター」(第2・3学年) ・環境問題について話し合う。「環境汚染によって、自然が失われ、生き物の命が犠牲になっていることを私は伝えたい。」
日文	○ 構想中の生徒の言葉を吹き出しで示している。	○ 題材名「心に残ったできごと」(第1学年) ・心に残っている景色や場面を思い出して、作品のアイデアを練ろう。 ・部活の時… ・家族旅行で見た景色… ・友だちと遊んだところ…
	○ 個人やグループで発想や構想している場面を写真やアイデアスケッチとともに示している。	○ 題材名「情報をわかりやすく伝えよう」(第2・3学年) ・校内のサイン計画をする時、校内をリサーチしたり、アイデアスケッチをもとに意見を出し合ったりしながら、多くの人に伝えるための構想を練ろう。
	○ 作品の企画書をまとめるプロセスを複数の写真とともに示している。	○ 題材名「魅力が伝わるパッケージ」(第2・3学年) ・グループでデザインを説明し合い、絵の具やコンピュータで表現する。 ・店や商品の特徴を理解し、形・色・模様アイデアをまとめ、文案を考える。

【美術】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩鑑賞の仕方の工夫
方法	鑑賞の方法の示し方及び具体例

	鑑賞の方法の示し方	言語活動が示されている題材における具体例
開隆堂	○ 鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示している。	○ 題材名「美しさの交流」(第1学年) ・ 作品紹介カード ・ 私たちは廊下に展示された2年生の絵画作品を鑑賞し、作品と題名から受けた印象を言葉にして、作品紹介カードにしました。
	○ 鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。	○ 題材名「環境と響き合う形」(第2・3学年) ・ 作品のある場所や大きさを考え、感じたことを話し合ってみましょう。 ○ 題材名「デザインする心」(第2・3学年) ・ 形や色彩、構成を手がかりに、日本らしさとは何かについて話し合ってみましょう。
光村	○ 鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示している。	○ 題材名「自然とともにある日本の美」(第1学年) ・ 鑑賞レポート ・ 身の回りで自然や季節の美を取り入れているものを写真に撮って集め、特徴を話し合い、レポートにまとめた。
	○ 鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。	○ 題材名「灰色のフェルト帽の自画像」(第2・3学年) ・ ゴッホは補色の対比を用いた作品を数多く描いた。画集から他の作品を探し、色の使い方からどんな印象を受けるか話し合おう。 ○ 題材名「ゲルニカ、明日への願い」(第2・3学年) ・ 「ゲルニカ」を描いたピカソにとって、生きるとはどのようなことだったのだろうか。作品を見て感じ取ったことをみんなで話し合ってみよう。
日文	○ 鑑賞して感じたことや調べて分かったことなどを、レポートやカードにまとめた例で示している。	○ 題材名「鑑賞との出会い」(第1学年) ・ 展覧会見学レポート ・ お気に入りの作品が見つかったら、それについて調べましょう。そして、鑑賞して感じたことや調べてわかったことをまとめましょう。
	○ 鑑賞を深めるための話し合いを促す記述がある。	○ 題材名「名画の魅力に迫る」(第2・3学年) ・ 作品の構図、遠近や明暗の表現、人物の動きや表情などに着目し、思ったことや考えたことについて話し合みましょう。 ○ 題材名「刻まれた祈り」(第2・3学年) ・ それぞれの仏像の種類とのかかわりも考え、細部の表現と全体から受けるイメージの鑑賞を行き来し、込められた思いについて考えたことを話し合みましょう。

# 保健体育

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい保健体育
4	大 日 本	新版 中学校保健体育
50	大 修 館	保健体育
224	学 研	新・中学保健体育

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	単元の流れの示し方, 1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方
		② 健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例
		③ 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高める工夫と読み物の数及び具体例
		⑤ 体験的な学習を実施するための工夫	実習や調査を実施するための資料の数と具体例
		⑥ 実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫	実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例, 実生活を振り返るチェック項目数
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	各単元における項目の構成
		⑧ 発展的な学習に関する内容の記述の工夫	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用	イラスト・写真の示し方, マーク等の活用
(オ)	言語活動の充実	⑩ 自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫と具体例

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>	
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方	
<b>方法</b>	単元の流れの示し方, 1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方	
	<b>単元の流れの示し方</b>	<b>1時間ごとの課題提示と学習内容の示し方</b>
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章扉に「この章で学習すること」として各単元を構成する小単元の目次や主な学習内容及び課題について示している。</li> <li>○ 章扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今日の学習」で「～について学習しましょう」等の形態で学習課題や内容を提示している。</li> <li>○ 「今日の学習」「やってみよう」「本文」「考えてみよう」「生かそう」を, 本文の主な流れとして示している。</li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章扉の「この章で学習すること」で学習の流れとして学習内容の構造図を示している。</li> <li>○ 巻頭に「この教科書で学習するみなさんへ」で, 小単元の構成を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「今日の学習課題」で「どのように～すればよいのでしょうか」等の形態で, 学習課題や内容を提示してあり, 内容によって複数の課題を提示している。</li> <li>○ 主に, 「考えよう」から, 本文・資料, 「学習を活かして」までを1時間の学習の流れとして示している。</li> </ul>
<b>大 修 館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章扉に各単元で学習する小単元名を示している。</li> <li>○ 章扉に「～はなぜだろう」「どうすればよいのだろう」等の形態で単元に係る疑問点を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文の前に「Question」で, 「～は, いつといつでしょうか」「～は, なぜでしょうか」等の形態で, 学習課題や内容にかかわる質問を提示している。</li> <li>○ 「Question」・「キーワード」から, 本文・図や表等, 「Try」・「Challenge」までを1時間の学習の流れとして示している。</li> </ul>
<b>学 研</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章扉に各単元に関連する小学校及び高等学校の学習内容を示している。</li> <li>○ 章扉に, 学習内容に関連する偉人の言葉や仕事について紹介している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ウォームアップ」で「～すればよいのでしょうか」等の形態で, 学習課題や内容にかかわる質問等を提示している。小単元によって複数の課題が提示されている。</li> <li>○ 「学習の目標」「ウォームアップ」「本文と資料」「エクササイズ」「活用しよう」を, 1時間の主な流れとして示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	②健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫
<b>方法</b>	健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫と具体例

	科学的な理解を図るための工夫	「自然災害による傷害の防止」における具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ポイント」マークを入れ、資料を読み取るポイントを示している。</li> <li>○ 「他教科」マークを入れ、関連する内容が他の教科にもあることを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ポイント」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・(阪神・淡路大震災は)地震の発生が早朝で、多くの人 が在宅中だったため、家屋の倒壊による死傷者が多かった。</li> <li>・関東大震災は、地震の発生が火の使用の多い昼食時だったため、火災による死傷者が多かった。</li> </ul> </li> <li>○ 「他教科」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科中学校1年 火山と地震 地震の伝わり方</li> <li>・技術・家庭 家族の安全を考えた室内環境</li> <li>・理科中学校2年 日本の気象</li> </ul> </li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ミニ知識」マークを入れ、学習に関連した情報を示している。</li> <li>○ 「資料」で、本文の内容を理解するために参考となる資料を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ミニ知識」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震では、家具などの落下・転倒が原因となった傷害が多く発生します。身の回りの物をきちんと固定しておくだけでも、一次災害による傷害をかなり防ぐことができます。</li> </ul> </li> <li>○ 資料「地震の驚異」「自然災害の驚異」として連続4ページにわたって写真を掲載している。</li> </ul>
<b>大 修 館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「コラム」の中で、学習内容に関連した資料を示し、理解を助ける内容を示している。</li> <li>○ 「図や表」に吹き出しをつけ、その資料から読み取ってほしいポイントを示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「コラム」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生！まず火の始末？</li> <li>・特別警報とは</li> <li>・緊急地震速報の活用</li> </ul> </li> <li>○ 「図 家具に関する地震対策」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「吹き出し」で『落ちてこない、倒れてこない、移動してこない』ように、家具を固定するか、ものを取り除くようにする」と示している。</li> </ul> </li> </ul>
<b>学 研</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真資料や図解等により、視覚を伴って理解できるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「資料」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然災害の発生時の行動」において、発生直後、避難への準備、避難、それぞれの場面でとるべき行動を挿絵と文章で説明している。</li> </ul> </li> <li>○ 「もっと広げる深める」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然災害ーそのとき、何が起きるかー」で死亡原因の割合を円グラフで示している。</li> </ul> </li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための工夫
<b>方法</b>	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫及び具体例

	基本用語の取扱いと学習の振り返りの工夫	「健康と環境」における具体例
東 書	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し、巻末で解説している。	○ 「キーワード」：適応，適応能力，熱中症，低体温症 ・適応→暑さや寒さなど，外界の環境が変化したときにも，体内の環境を一定にする働き。
	○ 各章末に知識の習得を確認する「確認の問題」「活用の問題」を設けている。また，「学習を振り返ろう」では，知識の定着状況について自己評価できるようにしてある。	○ 「学習を振り返ろう」 ・「以下のことが理解できましたか」「私たちの体の適応能力とは，どのようなものか」等の問いに対してA，B，Cで自己評価する。
大 日 本	○ 習得すべき基本用語を本文中で強調表記とし，章末の「学習のまとめ」で「重要な言葉」として解説している。	○ 「重要な言葉」 ・適応（P.70）→体の調節機能をはたらかせて周りの環境の変化に体の状態を対応させること。
	○ 各章末の「学習のまとめ」で「学習の要点」を，簡潔な短文によって記載している。	○ 「学習の要点」 ・わたしたちの体には，環境の変化に対応して体の調節機能をはたらかせ，一定の範囲内でその変化に対応する能力（適応能力）があります。
大 修 館	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し，本文中で強調表記としている。	○ 「キーワード」：体温調節，適応，適応能力，熱中症，低体温症
	○ 各章末の「学習のまとめ」で「学んだことを振り返ってみよう」として，確認できるようにしてある。	○ 「学んだことを振り返ってみよう」 ・「熱中症に係る要因を4つあげることができる」等の問いに対して「できる」「もう一度確かめる→p.○○～○○」のいずれかで確認する。
学 研	○ 習得すべき基本用語を「キーワード」として各時間の学習内容のページ内に示し，本文中で強調表記としている。	○ キーワード：適応，適応能力
	○ 各章末に知識の習得を確認する「章のまとめ」を設け，「用語の確認」「基礎の完成」「活用の問題」等で振り返りができるようにしてある。	○ 「章のまとめ」 ・「用語の確認 10」…次の各文が表す適切な語句をア～コから選び，記号で答えなさい。 ① 環境が変化したときに，体の諸器官を働かせてその変化に対応しようとすること（ ）

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心を高める工夫と読み物の数及び具体例

	興味・関心を高める工夫	内 容	読み物の数	「体育理論」における具体例
東書	○ 「読み物」として、学習内容に関連する内容の読み物資料を掲載している。	体育	6	○ 「読み物」 ・ 駅伝の始まり ・ データ分析が試合を決める ・ チーム力で獲得したメダル ・ 佐藤真海さんの言葉 ・ スポーツを通じた国際交流 ・ ソチオリンピック視察団
		心身	6	
		環境	2	
		傷害	4	
		生活	6	
大日本	○ 「トピックス」「トピックス+プラス」として、学習内容と関連が深い話題や読み物を掲載している。	体育	11	○ 「トピックス」 ・ 最高のプレイをするために ・ 友情のメダル ・ スポーツ障害 ・ 文化としてのスポーツ ・ ワールドゲームズ ・ オリンピックシンボル ○ 「トピックス+プラス」 ・ ニコニコペース走 ・ 筋肉の性質と運動能力 ・ 筋肉には余力がある！？ ・ マイトレーニングをつくらう！
		心身	5	
		環境	8	
		傷害	4	
		生活	17	
大修館	○ 「コラム」「事例」「Topic」として、学習内容に関連した理解を助ける話や関連する話題を掲載している。	体育	10	○ 「コラム」 ・ 発展する運動やスポーツ ・ 緊張と体 ・ 中学生期に多いスポーツ障がい ・ スポーツ振興と法律 ・ 閉会式でのハプニング ・ スポーツを通じた世界平和キャンペーン ・ オリンピックと女性スポーツ ○ 「事例」 ・ 運動会でのかかわり方 ○ 「Topic」 ・ 日本とオリンピック・パラリンピック
		心身	9	
		環境	6	
		傷害	14	
		生活	16	
学研	○ 「コラム」として、学習内容に関連した読み物資料を掲載している。	体育	10	○ 「コラム」 ・ 不器用が生み出した最高の技術 ・ 体力測定と体力 ・ 心の緊張とスポーツ ・ レフェリー（審判員）の誕生 ・ 「クリケットじゃない」とは？ ・ スポーツの力 ・ オリンピック休戦 ・ スポーツと放送 ・ よきライバル ・ スポーツでつながる世界
		心身	2	
		環境	5	
		傷害	5	
		生活	9	

【保健体育】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤体験的な学習を実施するための工夫
方法	実習や調査を実施するための資料の数と具体例

	単 元 名	資料の数		「傷害の防止」における具体例
		実習	調査	
東 書	心身の機能の発達と心の健康	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生の方法（胸骨圧迫）</li> <li>・心肺蘇生の方法（気道の確保，人工呼吸）</li> <li>・AED（自動体外式除細動器）</li> <li>・直接圧迫止血法</li> <li>・包帯法</li> </ul> </li> <li>○ 調査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通環境調べ</li> <li>・地震時の避難経路調べ</li> </ul> </li> </ul>
	健康と環境	1	0	
	傷害の防止	5	2	
	健康な生活と疾病の予防	0	3	
	体育編	0	4	
大 日 本	心身の機能の発達と心の健康	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・反応の確認から心肺蘇生のしかた</li> <li>・出血があるときの外傷の応急手当（切り傷・すり傷）</li> <li>・出血があるときの外傷の応急手当（鼻出血）</li> <li>・直接圧迫止血法</li> <li>・包帯の巻き方</li> <li>・骨折</li> </ul> </li> </ul>
	健康と環境	0	0	
	傷害の防止	6	0	
	健康な生活と疾病の予防	0	0	
	体育編	0	8	
大 修 館	心身の機能の発達と心の健康	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・出血を止める練習をしよう</li> <li>・包帯を巻く練習をしよう</li> <li>・患部を固定する練習をしよう</li> <li>・胸骨圧迫を練習してみよう</li> <li>・気道確保を練習してみよう</li> <li>・人工呼吸を練習してみよう</li> <li>・AEDの使い方を練習してみよう</li> <li>・心肺蘇生法を練習してみよう</li> </ul> </li> </ul>
	健康と環境	0	2	
	傷害の防止	8	0	
	健康な生活と疾病の予防	0	0	
	体育編	0	1	
学 研	心身の機能の発達と心の健康	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通報の仕方</li> <li>・心肺蘇生法</li> <li>・直接圧迫止血法</li> <li>・包帯法 巻き包帯（腕）</li> <li>・包帯法 三角巾（足を包む）</li> <li>・包帯法 ネット包帯</li> <li>・固定法 前腕の骨折の場合</li> </ul> </li> <li>○ 調査                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害による被害調べ</li> <li>・自然災害への備え調べ</li> <li>・野外で毒虫に刺されたときの手当て調べ</li> </ul> </li> </ul>
	健康と環境	0	3	
	傷害の防止	7	3	
	健康な生活と疾病の予防	0	9	
	体育編	0	14	



<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥実生活・実社会に関連付け実践力を高めるための工夫
<b>方法</b>	実生活・実社会に関連付けるための学習活動の示し方及び具体例，実生活を振り返るチェック項目数

	学習活動の示し方	「生活行動・生活習慣と健康」 における具体例	実生活を振り返るチェック項目数
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各小単元の最後の「考えてみよう」，「生かそう」で，学習したことを実生活に生かしたり，調べたりする課題やロールプレイングなどの作業課題を設定している。</li> <li>○ 学習したことを日常生活に生かすよう，各章末に「日常生活に生かそう」を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えてみよう」：食生活・生活習慣病 <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動を終えたAさんが食事面でどのようなことに気をつける必要があるでしょうか。</li> <li>・今日の学習を踏まえて，二人にアドバイスをしてみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 「日常生活に生かそう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをもとに，これからの日常生活に生かしていきたいと思ったことを書いてみましょう。</li> </ul> </li> </ul>	5
大日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各時間の最後の「学習を活かして」や「章末資料：トピックス＋プラス」で，学習内容を整理し，理解を定着させ，実生活に生かすための課題や話題を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習を活かして」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の食生活の課題を見つけ，健康によい食生活を考えてみましょう。</li> <li>・健康によい休養や睡眠のとり方を考えてみましょう。</li> <li>・1週間の運動時間をまとめてみましょう。それをもとに1日の平均運動時間を計算し，自分の運動習慣を考えてみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 「章末資料：トピックス＋プラス」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体活動</li> <li>・がんの予防</li> </ul> </li> </ul>	3
大修館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各時間の最後の「Try」や「活用」，「Challenge」で，調べる，考えるなどの作業課題や実生活に当てはめて考える課題を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Challenge」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身体活動レベルを計算してみよう。</li> <li>・太っている？やせている？～自分の標準体重を知って正しく判断しよう～</li> </ul> </li> <li>○ 「Try」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がこれまでにおこなって，疲労回復に役立った方法をあげてみよう。</li> </ul> </li> </ul>	2
学研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各時間，「エクササイズ」で，考える，話し合うなどの課題を設け，最後に学習内容を活用して課題解決を行う「活用しよう」を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「エクササイズ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去1週間，どのくらい運動したかを振り返ってみましょう。</li> <li>・ご飯1杯分のエネルギーを歩行だけで消費するとしたら，何分間歩けばよいでしょうか。</li> <li>・どのようにして休養をとっているか，振り返ってみましょう。</li> </ul> </li> <li>○ 「活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中に運動を取り入れるためにどんなことができるでしょうか。</li> <li>・家の人に向けて，がん検診を勧めるメッセージカードを作ってみましょう。</li> </ul> </li> </ul>	10

【保健体育】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦単元・題材や資料等の配列
<b>方法</b>	各単元における項目の構成

	心身の機能の発達と心の健康	健康と環境	傷害の防止	健康な生活と疾病の予防
<b>東 書</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体の発育・発達</li> <li>2 呼吸器・循環器の発育・発達</li> <li>3 生殖機能の成熟</li> <li>4 異性の尊重と性情報への対処</li> <li>5 知的機能と情意機能の発達</li> <li>6 社会性の発達と自己形成</li> <li>7 心と体の関わり</li> <li>8 欲求と欲求不満</li> <li>9 ストレスへの対処と心の健康</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境への適応能力</li> <li>2 活動に適する環境</li> <li>3 室内の空気の衛生的管理</li> <li>4 飲料水の衛生的管理</li> <li>5 生活に伴う廃棄物の衛生的管理</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 傷害の発生要因</li> <li>2 交通事故の発生要因</li> <li>3 交通事故の危険予測と回避</li> <li>4 犯罪被害の防止</li> <li>5 自然災害による危険</li> <li>6 自然災害による傷害の防止</li> <li>7 共に生きる〈発展〉</li> <li>8 応急手当の意義と心肺蘇生</li> <li>9 けがの応急手当</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康の成り立ちと病気の発生要因</li> <li>2 食生活と健康</li> <li>3 運動と健康</li> <li>4 休養・睡眠と健康</li> <li>5 生活習慣病の予防</li> <li>6 喫煙の害と健康</li> <li>7 飲酒の害と健康</li> <li>8 薬物乱用の害と健康</li> <li>9 薬物乱用の社会への影響</li> <li>10 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処</li> <li>11 感染症の原因とその広がり方</li> <li>12 感染症の予防</li> <li>13 性感染症の予防</li> <li>14 エイズの予防</li> <li>15 保健・医療関係の利用</li> <li>16 医薬品の利用</li> <li>17 個人の健康を守る社会の取り組み</li> </ol>
<b>大 日 本</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体の発育・発達</li> <li>2 呼吸器官・循環器官の発育・発達</li> <li>3 生命を生み出す体への成熟</li> <li>4 思春期の心の変化への対応</li> <li>5 考える心・感動する心の発達</li> <li>6 人とのかかわりと自分らしさ</li> <li>7 欲求への対処</li> <li>8 ストレスへの対処</li> <li>9 心と体のかかわり</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境への適応能力</li> <li>2 快適な温熱条件と明るさ</li> <li>3 空気の汚れと換気</li> <li>4 水の役割と飲料水の条件</li> <li>5 生活にともなう廃棄物の処理</li> <li>6 環境問題への取り組み</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 傷害の発生要因と防止</li> <li>2 交通事故の要因と傷害の防止</li> <li>3 犯罪被害の防止</li> <li>4 自然災害による傷害の防止</li> <li>5 応急手当の基本</li> <li>6 心肺蘇生</li> <li>7 出血があるときの応急手当</li> <li>8 外傷の応急手当</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康の成り立ち</li> <li>2 食生活と健康</li> <li>3 運動と健康</li> <li>4 休養・睡眠と健康</li> <li>5 生活習慣の変化と生活習慣病</li> <li>6 生活習慣病の予防</li> <li>7 喫煙と健康</li> <li>8 飲酒と健康</li> <li>9 薬物乱用と健康</li> <li>10 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ</li> <li>11 感染症の原因</li> <li>12 感染症の予防</li> <li>13 性感染症とその予防</li> <li>14 エイズとその予防</li> <li>15 地域での保健・医療の取り組み</li> <li>16 医薬品の有効利用</li> <li>17 個人の健康を守る社会の取り組み</li> </ol>

【保健体育】

	心身の機能の発達 と心の健康	健康と環境	傷害の防止	健康な生活と 疾病の予防
大修館	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体の発育・発達</li> <li>2 呼吸器・循環器の発育・発達</li> <li>3 生殖にかかわる働き の成熟</li> <li>4 性への関心と行動</li> <li>5 心の発達と社会性</li> <li>6 自己形成</li> <li>7 欲求と欲求不満</li> <li>8 心と体のかかわり</li> <li>9 ストレス対処と心の健康</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境の変化への体の 適応</li> <li>2 快適で能率のよい環 境</li> <li>3 衛生的な飲料水の供 給</li> <li>4 空気の汚染と換気</li> <li>5 し尿とごみの処理</li> <li>6 私たちの生活と環境 問題</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 けがの原因と防止</li> <li>2 交通事故によるけが の防止</li> <li>3 犯罪被害の防止</li> <li>4 自然災害への備えと 避難</li> <li>5 応急手当の基本</li> <li>6 けがの応急手当</li> <li>7 心肺蘇生法</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康を左右するもの</li> <li>2 運動と健康</li> <li>3 食事と健康</li> <li>4 休養・睡眠と健康</li> <li>5 生活習慣病とその予 防</li> <li>6 喫煙と健康</li> <li>7 飲酒と健康</li> <li>8 薬物乱用と健康</li> <li>9 感染症と病原体</li> <li>10 感染症の予防</li> <li>11 性感染症の予防</li> <li>12 エイズの予防</li> <li>13 医薬品の正しい使い 方</li> <li>14 医療・保健機関とそ の利用</li> <li>15 個人の健康を守る社 会の取り組み</li> </ol>
学研	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体の発育・発達</li> <li>2 呼吸器・循環器の発達</li> <li>3 生殖機能の成熟</li> <li>4 性とどう向き合うか</li> <li>5 心の発達(1)－知的機 能と情意機能の発達－</li> <li>6 心の発達(2)－社会性 の発達－</li> <li>7 自己形成</li> <li>8 欲求不満やストレス への対処</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境の変化と適応能 力</li> <li>2 活動に適した環境</li> <li>3 室内の空気の条件</li> <li>4 水の役割と飲料水の 確保</li> <li>5 生活排水の処理</li> <li>6 ごみの処理</li> <li>7 環境の汚染と保全</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 傷害の原因と防止</li> <li>2 交通事故の現状と原 因</li> <li>3 交通事故の防止</li> <li>4 犯罪被害の防止</li> <li>5 自然災害に備えて</li> <li>6 応急手当の意義と基 本</li> <li>7 きずの手当</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康の成り立ち</li> <li>2 運動と健康</li> <li>3 食生活と健康</li> <li>4 休養・睡眠と健康</li> <li>5 生活習慣病とその予 防</li> <li>6 喫煙と健康</li> <li>7 飲酒と健康</li> <li>8 薬物乱用と健康</li> <li>9 喫煙・飲酒・薬物乱用 のきっかけ</li> <li>10 感染症とその予防</li> <li>11 性感染症とその予防 ／エイズ</li> <li>12 保健・医療機関の利用</li> <li>13 医薬品の有効利用</li> <li>14 共に健康に生きる社 会</li> </ol>

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧発展的な学習に関する内容の記述の工夫
<b>方法</b>	発展的な学習の扱いと記載数及び記載単元

	発展的な学習の扱い	記載数	記載単元（記載数）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されていない内容だが、必要に応じて学習できるよう、本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。</li> <li>○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心身の発達と心の健康（1）</li> <li>○ 健康と環境（2）</li> <li>○ 傷害の防止（3）</li> <li>○ 健康な生活と病気の予防（2）</li> <li>○ 体育編（1）</li> </ul>
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習するように定められたこと以外の内容で、さらに学習を深めることができるよう、本編と関連させ、課題や資料を掲載している。</li> <li>○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。</li> </ul>	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心身の発達と心の健康（2）</li> <li>○ 健康と環境（4）</li> <li>○ 健康な生活と病気の予防（2）</li> <li>○ 体育編（5）</li> </ul>
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されていない内容で、必ず学ばなければならない内容ではないが、本編と関連させた課題や資料を掲載している。</li> <li>○ 「Challenge」「コラム」などで発展的な資料を掲載している。</li> </ul>	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心身の発達と心の健康（1）</li> <li>○ 健康と環境（3）</li> <li>○ 傷害の防止（3）</li> <li>○ 健康な生活と病気の予防（7）</li> <li>○ 体育編（4）</li> </ul>
学 研	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の範囲外で、興味・関心などに応じて取り組めるよう、本編と関連させた発展的な資料を掲載している。</li> <li>○ 主に章末の「探究しようよ!」「もっと広げる深める」などで発展的な学習内容を掲載している。</li> </ul>	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康と環境（3）</li> <li>○ 傷害の防止（5）</li> <li>○ 健康な生活と病気の予防（4）</li> <li>○ 体育編（1）</li> </ul>

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真の活用
<b>方法</b>	イラスト・写真の示し方，マーク等の活用

	イラスト・写真の示し方	マーク等の活用
<b>東書</b>	○ 「やってみよう」・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キーワード」：今日の学習のキーワードを示している。</li> <li>・「ポイント」：資料を読み取るためのポイントを示している。</li> <li>・「リンク」：関連する学習内容が、他のページにあることを示している。</li> <li>・「他教科」：関連する学習内容が、他の教科にあることを示している。</li> <li>・「D」：インターネットやデジタルコンテンツなどを利用し効果的に学習できるところを示している。</li> <li>・「発展」：学習指導要領に示されていない内容だが、必要に応じて学習できるようにしている。</li> </ul> ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。
<b>大日本</b>	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キーワード」：学習のポイントとなる言葉を示している。</li> <li>・「注意」：学習内容や生活の中で注意すべきことについて示している。</li> <li>・「リンク」：関連した内容を学習するページを示している。</li> <li>・「トピックス」：学習内容と関連が深い話題や読み物を示している。</li> <li>・「ミニ知識」：学習に関連した情報を紹介している。</li> <li>・「学習を生かして」：自分の生活に活かすための活動を示している。</li> <li>・「学習のまとめ」：重要な言葉と学習の要点をまとめている。</li> <li>・「発展的な学習」：さらに学習を深めることができるようにしている。</li> </ul>
<b>大修館</b>	○ 本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キーワード」：項目のテーマを代表する重要な語句を示している。</li> <li>・「コラム」：理解を助ける興味深い話を紹介している。</li> <li>・「事例」：実際にあったことで参考になるものを紹介している。</li> <li>・「活用」：実際に即して考える課題を示している。</li> <li>・「実習」：実際に体を動かして身に着ける必要のある内容を示している。</li> <li>・「URL」：関連したインターネットのページを示している。</li> <li>・「発展」：関連した発展的な内容を示している。</li> <li>・「Try」：学んだことを生かして取り組めるようにしている。</li> </ul>
<b>学研</b>	○ 「ウォームアップ」・本文の中で、学習内容に関連した写真やイラストを掲載している。	○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キーワード」：重要な言葉を示している。</li> <li>・「プラス」：追加して考えたり調べたりするとよいことを示している。</li> <li>・「情報サプリ」：学習内容に関連したミニ知識を紹介している。</li> <li>・「リンク」：参考になるウェブサイトへのガイドを示している。</li> <li>・「発展」：興味・関心などに応じて取り組めるようにしている。</li> <li>・「実習」：実際に行って、方法や技術を理解・習得する学習内容を示している。</li> <li>・「協働」：教え合い学び合う活動を示している。</li> <li>・「言語」：言語活動を含む課題を示している。</li> <li>・「コラム」：学習内容に関連した読み物資料を紹介している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫
<b>方法</b>	知識や経験に照らして自分の考えをまとめて書いたり, 話したりする活動の工夫と具体例

	活動の工夫	具体例
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健体育の学習方法として, 事例などを用いたディスカッション, 課題学習, ブレインストーミング, ロールプレイング等の解説を, イラストを交えて掲載している。</li> <li>○ 「やってみよう」「考えてみよう」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「やってみよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き出してみよう。</li> <li>・話し合ってみよう。</li> <li>・記入してみよう。</li> </ul> </li> <li>○ 「考えてみよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明してみよう。</li> <li>・アドバイスしてあげよう。</li> <li>・理由を考えてみよう。</li> </ul> </li> </ul>
<b>大 日 本</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事例を用いたロールプレイングを, 1時間の学習内容の中で資料や学習シートを掲載している。</li> <li>○ 「学習を活かして」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習を活かして」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・名称をあげてみよう。</li> <li>・改善策を考えてみよう。</li> <li>・まとめてみよう。</li> <li>・説明してみよう。</li> <li>・スローガンをつくってみよう。</li> </ul> </li> </ul>
<b>大 修 館</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健体育の学び方として, ブレインストーミング, ディスカッション, 課題学習, コンピュータの活用等の解説を, イラストを交えて掲載している。</li> <li>○ 「Try」「Challenge」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Try」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・書きだしてみよう。</li> <li>・理由をあげてみよう。</li> <li>・話しあってみよう。</li> <li>・意見を出しあってみよう。</li> </ul> </li> <li>○ 「Challenge」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・予測してみよう。</li> <li>・イメージを書き出してみよう。</li> </ul> </li> </ul>
<b>学 研</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習方法として, 事例を用いたディスカッション, ブレインストーミング, 課題学習, 調査方法等の解説を掲載している。</li> <li>○ 「活用しよう」「ウォームアップ」「エクササイズ」で, 言語活動に係る学習活動について記載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「活用しよう」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単にまとめてみよう。</li> <li>・学習した言葉を使って説明してみよう。</li> <li>・書き出してみよう。</li> </ul> </li> <li>○ 「ウォーミングアップ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明する文を書いてみよう。</li> <li>・できるだけ多く挙げてみよう。</li> </ul> </li> <li>○ 「エクササイズ」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を出し合ってみよう。</li> </ul> </li> </ul>

## 技術・家庭（技術分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
6	教 函	新技術・家庭 技術分野
9	開 隆 堂	技術・家庭（技術分野）

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 学習項目における目標の示し方	目標の示し方
		② 伝統と文化に関する内容の記述	伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例
		③ 学習のまとめの構成上の工夫	学習のまとめの示し方，設定の仕方，ページ数
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	興味・関心を高める記載の仕方とその具体例
		⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の実習事例及び事例数
		⑥ 技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述	評価・活用に関する内容構成及び考えさせるための問いの例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材の配列	学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連
		⑧ 発展的な学習の扱い方	発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述と関連付けがなされたマークの活用	学習内容と関連したマークの種類及び扱い方
(オ)	言語活動の充実	⑩ 実習等の結果を整理し，考察する学習活動の工夫	表現・発表する学習活動の具体例
		⑪ 言葉や図表，概念などを用いて考えたり，説明したりするなどの学習活動の工夫	生活における課題を解決するために，工夫したり創造したりする学習活動の具体例

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①学習項目における目標の示し方
<b>方法</b>	目標の示し方

	目標の示し方	「力の伝達の仕組み」に関する具体例
東書	○ 小項目ごとに、「目標」を示している。	「機械の運動を伝える仕組みを知ろう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・機械の運動を伝える仕組みを知る。</li> <li>・機械に共通に使われている部品を知る。</li> </ul> 「回転運動を伝える仕組みを知ろう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を知る。</li> <li>・回転速度と回転力の関係を知る。</li> </ul> 「往復運動の仕組みを調べよう」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・往復運動を伝えるリンク装置やカム装置の仕組みを知る。</li> </ul>
教図	○ 大項目ごとに、学習する内容と学習内容に関連する写真で示している。	「機械のしくみ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(前略) 身近にある機械をくわしく観察し、機械が動くしくみを調べてみましょう。また、機械を安全に使用するために、保守・点検のしかたを身につけましょう。</li> </ul>
開隆堂	○ 小項目ごとに、「学習の目標」を示している。	「動力伝達のしくみ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・動力を効率よく伝えるしくみを知り、それぞれの特徴を理解する。</li> </ul> 「運動を変化させるしくみ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に合わせて運動を変化させるためのしくみを理解し、どのように利用されているのかを知る。</li> </ul>

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②伝統と文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例

	伝統と文化に関する内容の示し方	「A 材料と加工に関する技術」における具体例
東書	○ 伝統と文化に関する内容に、「伝統・文化」マークを付けて、伝統的な文化を示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段たんす</li> <li>・さしがね</li> <li>・かんな</li> <li>・薬師寺金堂と西塔</li> </ul>
教図	○ 写真を用いて、伝統と文化を示している。また、口絵にも同様に示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・桶と樽</li> <li>・神輿</li> <li>・錦帯橋</li> <li>・東大寺</li> </ul>
開隆堂	○ ガイダンス的な内容の章を中心に、「今も生きる先人の技術」や「活躍している日本の伝統技術」などとして、伝統と文化を示している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦帯橋</li> <li>・法隆寺五重塔</li> <li>・東大寺大仏</li> <li>・鎌倉大仏</li> </ul>



<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③学習のまとめの構成上の工夫
<b>方法</b>	学習のまとめの示し方，設定の仕方，ページ数

	学習のまとめの示し方	設定の仕方	ページ数
東書	○ 各内容の章末に、「学習のまとめ」を3部構成で示している。 ・「学習を振り返ろう」 ・「学習したことを確かめよう」 ・「生活に生かそう」	○ 「学習を振り返ろう」 学習内容をA～Cの3段階で、自己評価ができるように設定している。 ○ 「学習したことを確かめよう」 学習内容を確認するための問題を設定している。 ○ 「生活に生かそう」 学習を深めるための内容を設定している。	8
教図	○ 各内容の章末に、「まとめ」と「章末問題」を2部構成で示している。 ・「まとめ」 ・「章末問題」	○ 「まとめ」 学習内容が簡潔にまとめられ、振り返りができるように設定している。 ○ 「章末問題」 学習内容を確認するための問題を設定している。	8
開隆堂	○ 各内容の章末に、「学習のまとめ」を2部構成で示している。 ・「学習をふり返ろう」 ・「生活に生かそう」	○ 「学習をふり返ろう」 学習内容をA～Cの3段階で、自己評価ができるように設定している。 ○ 「生活に生かそう」 生活場面での活用について考えることができるように設定している。	4

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	興味・関心を高める記載の仕方とその具体例

	興味・関心を高める記載の仕方	「製作品の設計」に関する具体例
東書	○ 学習の始めにできる簡単な活動として「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」「やってみよう」を記載している。	○ 生活に役立つ製作品を構想しよう 「考えてみよう」 身の回りを見て、物を整理したり収納したりする必要がある場所を見つけましょう。その場所の問題点を具体的に挙げ、生活を豊かにするための工夫や改善の方法を考えましょう。
教図	○ 本文中に「調べよう」「やってみよう」「考えよう」を記載している。	○ アイディアを生かす製品の設計 「考えよう」 写真の製品にはどのようなアイディアが盛り込まれているだろう。身近な生活で、くふうされている製品を見つけよう。
開隆堂	○ 各学習項目を学ぶにあたって、「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」「話し合ってみよう」「観察してみよう」「見つけてみよう」を記載している。	○ 使用目的と製作品の決定 「考えてみよう」 自分の生活している場所を見わたして、どのようなものをつくると生活に役立つか、便利になるか考えてみよう。

<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	実践的・体験的な学習の実習事例及び事例数

	A 材料と加工に関する技術		B エネルギー変換に関する技術		C 生物育成に関する技術		D 情報に関する技術	
	実習事例	数	実習事例	数	実習事例	数	実習事例	数
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>飾り棚</li> <li>プリント整理箱</li> <li>CD ラック</li> <li>マガジンラック</li> <li>ディスプレイラック</li> <li>ティッシュボックス</li> <li>フォトスタンド</li> <li>プランターカバー</li> <li>風呂の椅子</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気機器の保守点検</li> <li>自転車の点検と調整</li> <li>防災ライト</li> <li>電気自動車のモデル</li> <li>ショベルローダのモデル</li> <li>取り扱い説明書</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>イネ</li> <li>ピーマン</li> <li>ジャガイモ</li> <li>エダマメ</li> <li>キク</li> <li>パンジー</li> <li>ラディッシュ</li> <li>ベビーリーフ</li> <li>リーフレタス</li> <li>乳牛の飼育</li> <li>魚の飼育</li> </ul>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル絵本</li> <li>部活動紹介 CM</li> <li>修学旅行の記録</li> <li>信号機のモデル</li> <li>ロボット掃除機のモデル</li> <li>エスカレータのモデル</li> <li>搬送ロボットのモデル</li> <li>電光掲示板のモデル</li> </ul>	8
<b>教図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクリル板でつくるペンスタンド</li> <li>打ち出してつくる銅板小皿</li> <li>正確につくるボックス棚</li> <li>フラワースタンド</li> <li>換え刃式やすり</li> <li>マルチスツール</li> <li>相欠き加工を使った棚</li> <li>便利な工具を活用したハンガーラック</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>インテリアフットライトの製作</li> <li>LED 手元照明の製作</li> <li>ミニクリーナーの製作</li> <li>歩行ロボットの設計と製作</li> <li>ライントレースカーの製作</li> </ul>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペットボトルコンテナでつくるベビーリーフ</li> <li>露地でつくるミニトマト</li> <li>コンテナでつくるハウレンソウ</li> <li>2か月で咲く小菊のポットマム栽培</li> <li>たねまきからはじめるパンジーの栽培</li> <li>春を先取るチュウリップの栽培</li> <li>袋コンテナでつくるダイコンの栽培</li> </ul>	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルポスター</li> <li>ライントレースカーのプログラム制御</li> </ul>	2
<b>開隆堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小物棚つきラック</li> <li>写真立てつきメモホルダ</li> <li>いす型飾り台</li> <li>ペン立て・リモコンラック</li> <li>テープカッターつきブックエンド</li> <li>LED ライトつき PC ラック</li> <li>プランターケース</li> <li>ステーションリーボックス</li> </ul>	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>4足歩行ロボット</li> <li>3 モーターロボットカー</li> <li>非常時に役立つものを考えよう</li> <li>走馬灯ムーディーライト</li> <li>LED キーライト</li> <li>シークレットボックス</li> </ul>	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>トマト (果菜類)</li> <li>イネ (穀類)</li> <li>イチゴ (果菜類)</li> <li>ダイコン (根菜類)</li> <li>キュウリ (果菜類)</li> <li>リーフレタス (葉菜類)</li> <li>キク (オオギク)</li> <li>パンジー (ビオラ)</li> <li>乳牛</li> <li>ノリ</li> </ul>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーション</li> <li>Web ページ</li> <li>動画作品</li> <li>ライントレースカー</li> <li>サッカーロボット</li> <li>プログラミング LED ライト</li> </ul>	6

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑥技術を適切に評価し活用することに関する内容の記述
<b>方法</b>	評価・活用に関する内容構成及び考えさせるための問いの例

「B エネルギー変換に関する技術」に関する事例		
	評価・活用に関する内容構成	考えさせるための問いの例
<b>東 書</b>	<p>○ 「エネルギー変換に関する技術の評価・活用」として、次の項目について考えさせる学習を設定している。</p> <p>① エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換に関する技術</li> <li>・エネルギー変換に関する技術とエネルギー問題</li> <li>・エネルギー変換に関する技術と環境との関わり</li> <li>・エネルギー変換に関する技術と経済との関わり</li> <li>・エネルギー変換の技術と社会との関わり</li> <li>・新しいエネルギー変換に関する技術の開発</li> </ul>	<p>&lt;考えてみよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分なりの発電構成割合を考えましょう。</li> </ul> <p>&lt;生活に生かそう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エネルギー変換に関する技術の評価し、活用する方法を考えましょう。</li> <li>① これまで学習したり知っていたりするエネルギー変換に関する技術について、プラス面やマイナス面を考えましょう。</li> <li>② プラス面やマイナス面を基に、エネルギー変換に関する技術の上手な活用の仕方考えましょう。</li> </ul> <p>&lt;エネルギー変換に関する技術の評価・活用しよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① エネルギー変換に関する技術を1つ選び、環境、経済、社会などの側面から技術のプラス面、マイナス面を考えましょう。</li> <li>② 評価した結果から、自分が選んだ技術をどのように使ったり、進化させたりしたいか考えよう。</li> </ul>
<b>教 図</b>	<p>○ 「エネルギーの問題を解決する技術」として、次の3つの項目について考えさせる学習を設定している。</p> <p>① エネルギーを取り巻く問題</p> <p>② エネルギーを節約する技術</p> <p>③ エネルギーの問題と現実</p>	<p>&lt;問題を解決する技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界が直面する困難な問題も、技術的なアイデアとくふうをこらして解決していかなければなりません。私たちがすぐに行える身近なこと、そして、世界中が協力して近い将来に成し遂げなければならないことを考えましょう。</li> </ul> <p>&lt;やってみよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本は今後、十分な量のエネルギーを利用することができるだろうか。</li> <li>① くふう次第で何とかなる</li> <li>② 不便な生活が避けられなくなる 両方の立場から考えをまとめて話し合おう。</li> </ul> <p>&lt;調べよう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私たちにもすぐにできるエネルギー節約の方法をあげてみよう。</li> <li>○ 学校や家庭で節約に取り組んだ場合、どのくらい電力の消費量を少なくできるだろうか。</li> <li>○ 「私たちたちにできること」を実行すれば、エネルギーの問題は解決できるだろうか。</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ エネルギー変換に関する技術の評価・活用」として、次の2つの項目について考えさせる学習を設定している。</p> <p>① 社会・環境とのかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー変換に関する技術と社会・環境</li> <li>・エネルギー変換に関する技術と産業・経済</li> </ul> <p>② エネルギー変換に関する技術とわたしたち</p>	<p>&lt;エネルギー変換に関する技術の活かし方を考えよう（技術の評価・活用）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまで学んできたエネルギー変換に関する技術について、評価し活用してみましょう。具体的に何か一つの技術を例にあげて、p88～89を参考にして取り組んでみましょう。</li> </ul> <p>&lt;ふり返り&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ （略）持続可能な社会の実現のために、エネルギー変換に関する技術をどのように進展させるべきか、考えをかいてみよう。</li> </ul> <p>&lt;生活に生かそう&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ エネルギー変換に関する技術についてのニュースに関心を持ち、社会や環境に与える影響について自分で情報を集めて、評価をしてみるなどの態度を養っていこう。</li> </ul>

【技術・家庭（技術分野）】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑦題材の配列
<b>方法</b>	学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連

	ガイダンス (ページ数)	A 材料と加工に関する技術			B エネルギー変換に関する技術			C 生物育成に関する技術			D 情報に関する技術		
		学習内容	ページ数	指導事項	学習内容	ページ数	指導事項	学習内容	ページ数	指導事項	学習内容	ページ数	指導事項
東書	技術分野のガイダンス (12)	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料と加工法</li> <li>製作品の設計・製作</li> <li>材料と加工に関する技術の評価・活用</li> </ul>	18	A(2) A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーの変換と利用</li> <li>製作品の設計・製作</li> <li>エネルギー変換に関する技術の評価・活用</li> </ul>	30	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物を育てる技術の特徴</li> <li>生物を育てるための計画と管理</li> <li>生物育成に関する技術の評価・活用</li> </ul>	8	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータと情報通信ネットワーク</li> <li>デジタル作品の設計・制作</li> <li>プログラムによる計測・制御</li> <li>情報に関する技術の評価・活用</li> </ul>	20	D(1)
教図	技術分野で何を学ぶか (6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な材料で簡単なものづくり</li> <li>正確なものづくり</li> <li>木材の性質と利用</li> <li>アイデアを生かす製品の設計</li> <li>くふうをこらしたものづくり</li> <li>強さへの挑戦</li> </ul>	12	A(2) A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーを取り出す技術</li> <li>電気エネルギーの利用</li> <li>電気回路のはたらき</li> <li>機械のしくみ</li> <li>エネルギーの問題を解決する技術</li> </ul>	6	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な野菜づくり</li> <li>生物育成の技術</li> <li>花や野菜の栽培をしよう</li> <li>動物を飼育する技術</li> <li>生物育成と環境・社会とのつながり</li> </ul>	4	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークを支える技術</li> <li>デジタルものづくり</li> <li>コンピュータによる計測と制御</li> <li>情報化って何だろう</li> </ul>	14	D(1)
開隆堂	生活や社会における技術の役割 (18)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりの視点と進め方</li> <li>材料</li> <li>設計</li> <li>実習例</li> <li>木材による製作</li> <li>金属・プラスチックによる製作</li> <li>材料と加工に関する技術の評価・活用</li> </ul>	4	A(1) A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの生活とエネルギー変換</li> <li>電気エネルギーの利用</li> <li>動力の利用</li> <li>エネルギー変換の実際</li> <li>製作品の構想と設計・製作</li> <li>エネルギー変換に関する技術の評価・活用</li> </ul>	8	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの生活と生物育成</li> <li>生物の育成</li> <li>作物の栽培</li> <li>実習例</li> <li>動物の飼育</li> <li>水産物の栽培</li> <li>生物育成に関する技術の評価・活用</li> </ul>	4	A(1) C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報とわたしたちの生活</li> <li>情報通信ネットワークの利用</li> <li>情報通信ネットワークと情報セキュリティ</li> <li>情報モラルと知的財産</li> <li>コンピュータと情報処理</li> <li>デジタル作品の設計と制作</li> <li>プログラムによる計測・制御</li> <li>情報に関する技術の評価・活用</li> </ul>	4	A(1) D(1)

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑧発展的な学習の扱い方
<b>方法</b>	発展的な学習内容の表記及び発展的な学習の具体例

	表記	具体例
<b>東 書</b>	<p>○ <b>発展</b>のマークを付している。</p> <p><b>発展</b>マークについての説明 「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」</p>	<p>○ B エネルギー変換に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗くなると自動的に点灯する回路</li> <li>・昇圧モジュール</li> <li>・白色 LED を点灯させる</li> </ul>
<b>教 図</b>	<p>○ <b>発展</b>のマークを付している。</p> <p><b>発展</b>マークについての説明 「学習指導要領には示されていない内容です。学習の進んだ人や、興味を持った人は必要に応じて取り組んでみましょう。」</p>	<p>○ B エネルギー変換に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発光ダイオード (LED) の原理</li> <li>・簡単な電子回路</li> <li>・ライントレースカーの製作</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ <b>発展</b>のマークを付している。</p> <p><b>発展</b>マークについての説明 「発展的な学習の内容。(この『発展』で取り扱う内容は、学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない。)」</p>	<p>○ B エネルギー変換に関する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源を切り替えることができる LED ライト</li> <li>・シークレットボックス</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨本文記述と関連付けがなされたマークの活用
<b>方法</b>	学習内容と関連したマークの種類及び扱い方

	学習内容	マークの種類	扱い方
東書	学習内容の提示・発問	「考えてみよう」 「調べてみよう」 「話し合おう」 「やってみよう」	学習の始めにできる簡単な活動例を示している。
		「実験」「観察」	実験や観察を行うことを示している。
	学習内容に関して参考になる資料等	「資料」	参考にして、学習を深めることを示している。
		「Q&A」	クイズ形式で学べる、ちょっとおもしろい豆知識を示している。
	安全への配慮	「安全」	安全に配慮することを示している。
	他との関連	「リンク」	関連する内容が技術・家庭のほかのページにもあることを示している。
		「他教科」	関連する内容がほかの教科などにもあることを示している。
		「小学校」	小学校の学習を振り返ることを示している。
	実習や活動のポイント	「ポイント」	実習や活動のポイントを確認することを示している。
	衛生への配慮	「衛生」	衛生に配慮することを示している。
環境への配慮	「環境」	環境に配慮することを示している。	
消費者としての意識	「消費者」	消費者として意識して学ぶことを示している。	
防災について	「防災」	防災に備えることを示している。	
情報モラルへの配慮	「情報モラル」	情報モラルに配慮することを示している。	
教図	学習内容の提示・発問	「調べよう」 「やってみよう」 「考えよう」	学習内容に関連して、調べたり、考えたりするなどの課題を示している。
		「実験」「実習」	実践的・体験的な活動を通じた学習がしやすいように実験や実習を示している。
	学習内容に関して参考になる資料等	「資料」	幅広い知識と教養が身に付くような資料等を示している。
	安全への配慮	「注意」	製作や栽培を行う中で、安全のために気を付ける注意点を示している。
「安全」		学習内容と関係する、安全のために心がける内容を示している。	
作業のコツ	「コツ」	製作や栽培を行う中で、作業をうまくこなすためのコツを示している。	
開隆堂	学習内容の提示・発問	「考えてみよう」 「調べてみよう」	各学習項目を学ぶにあたって、基礎的なことを身につけるために、あらかじめ考えたり調べたりする課題を示している。
		「？」	基礎的な内容の理解を深めたり、応用したりするための小課題を示している。
		「実験」	科学的な根拠を確かめるために行う実験や課題を示している。
	学習内容に関して参考になる資料等	「参考」	学習内容に関して、参考となる内容や資料・解説などを示している。
		「豆知識」	学習内容に関して、ちょっと知っておきたいおもしろい内容や情報を示している。
	安全への配慮	「安全」	作業を安全に進めるために注意することがらを示している。
	他との関連	「リンク」	他の学習項目や家庭分野など、内容が関連するページへのリンクを示している。
		「情報モラルリンク」	「情報」に関するモラルやマナーが記述されているページへのリンクを示している。
環境への配慮	「環境」	環境や資源・エネルギーなどに配慮する内容を示している。	
学習内容を深めたり広げたりする内容	「探究」	学習内容を深めたり広げたりして、さらに探究してゆく内容を示している。	

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑩実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
<b>方法</b>	表現・発表する学習活動の具体例

「D 情報に関する技術」に関する事例		
	プレゼンテーションの 流れの示し方	学習活動の具体例
<b>東 書</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 制作品の構想</li> <li>2 制作品の設計</li> <li>3 素材の準備・加工</li> <li>4 素材の統合</li> <li>5 制作品の評価・修正</li> <li>6 制作品の発表・発信</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「制作品の構想」制作品の目的や対象を決める。</li> <li>2 「制作品の設計」自分が表現したいデジタル作品の絵コンテや制作工程表を作成する。</li> <li>3 「素材の準備・加工」制作工程表に沿って、制作品に必要な素材を準備する。</li> <li>4 「素材の統合」加工した素材をソフトウェアで統合し、目的の表現となっているか確認する。</li> <li>5 「制作品の評価・修正」友達に制作品を評価してもらい、修正すべき点があれば、修正する。</li> <li>6 「制作品の発表・発信」先生や友達などに、自分の制作品を発表する。</li> </ol>
<b>教 図</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 デジタル作品の設計</li> <li>2 情報の加工－文書とレイアウト</li> <li>3 情報の加工－表・グラフによる整理</li> <li>4 情報の加工－画像の加工(デジタル写真の加工)</li> <li>5 情報の加工－ビデオの撮影と編集</li> <li>6 プレゼンテーション</li> <li>7 Web ページ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「デジタル作品の設計」課題を明確にするには、グループで意見交換をしながら内容を検討し、構想をおおまかにまとめる。また、課題の現状からゴールを表にして、完成までの具体的な道のりを考える。</li> <li>2 「文書の作成とレイアウト」文書を効果的に表現する方法を身につける。</li> <li>3 「表・グラフによる整理」できるだけ多くの情報を集め、順序立てて整理する。</li> <li>4 「画像の加工」画像を効果的に表現する方法を身につける。</li> <li>5 「ビデオ撮影と編集」ビデオの撮影と編集に必要な知識と技術を身につける。</li> <li>6 「プレゼンテーション」グループごとに作品を発表する。</li> <li>7 「Web ページ」情報を広く発信する。</li> </ol>
<b>開 隆 堂</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活の中のメディア</li> <li>2 デジタル作品の構想</li> <li>3 情報の収集と加工</li> <li>4 作品の制作・発表</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「生活の中のメディア」伝えたい内容や伝えたい相手に合わせてメディアを選択し、必要に応じて組み合わせて表現する。</li> <li>2 「デジタル作品の構想」伝えたい内容だけでなく、相手や使用できる機器などの条件を考え、テーマを決める。テーマを決めたら、制作するための条件を整理し、作品の全体像を決め、制作工程表にまとめる。</li> <li>3 「情報の収集と加工」制作工程表にそって素材となる情報を収集し、素材の特徴にあった加工をする。</li> <li>4 「作品の制作・発表」内容がひと目でわかる効果的な情報（作品）になるように、素材を組み合わせる。素材を組み合わせたら、全体を見直す。発表前にリハーサルを行うことで、問題点が明らかになる。発表後に自分の作品や発表を評価し、作品の改善や、次の作品作りの参考とする。</li> </ol>

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	①言葉や図表，概念などを用いて考えたり，説明したりするなどの学習活動の工夫
<b>方法</b>	生活における課題を解決するために，工夫したり創造したりする学習活動の具体例

「A 材料と加工に関する技術」に関する事例		
	「製作品の設計」の 流れの示し方	学習活動の具体例
<b>東 書</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 設計の手順</li> <li>2 構想の方法</li> <li>3 構想の具体化</li> <li>4 構想のまとめ（修正）</li> <li>5 製図</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「構想」製作品をどこで，どのように使うかといった，使用目的，使用条件をはっきりさせる。作りたい製作品のイメージをスケッチなどで表す。</li> <li>2 「構想の具体化・まとめ（修正）」製作品の形，大きさ，使いやすさ，丈夫さ，使用する材料の種類や大きさ，材料に適した加工法，使用できる工具などを考え，構想図をまとめる。</li> <li>3 「製図」図法に従って，構想を製作に必要な図として表す。</li> </ol>
<b>教 図</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生活と製品の関係を考える</li> <li>2 製品に必要な機能を検討する</li> <li>3 アイディアを考える</li> <li>4 アイディアシートをつくる</li> <li>5 組み立て図をかく</li> <li>6 模型づくりのための材料取り図をかく</li> <li>7 模型をつくる</li> <li>8 問題点を見つける</li> <li>9 問題点を改善し，組立て図をかき直す</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「生活と製品の関係を考える。」便利な生活を送るために，どのような機能と構造が必要か考える。</li> <li>2 「製品に必要な機能を検討する」問題を解決するために製品に必要な機能を検討する。</li> <li>3 「アイディアを考える」検討した機能を備えた製品（マルチツール）を実現するアイディアを考える。</li> <li>4 「アイディアシートをつくる」製品の機能や構造，材料などを決定し，デザインを考えてスケッチをかく。</li> <li>5 「組み立て図をかく」アイディアシートがまとまったら，製品の形や部品の位置関係がわかるように組み立て図をかく。</li> <li>6 「模型づくりのための材料取り図をかく」材料取り図を縮めてかく。</li> <li>7 「模型をつくる」材料取り図にしたがってスチレンボードに寸法を取り，組み立てる。</li> <li>8 「問題点を見つける」つくった模型をもとに，機能や構造，デザインを確かめる。</li> <li>9 「問題点を改善し，組立て図をかき直す」問題点の改善された組立て図をかき直す。</li> </ol>
<b>開 隆 堂</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 使用目的と製作品の決定</li> <li>2 機能の検討</li> <li>3 構造の工夫</li> <li>4 使用する材料の選択</li> <li>5 加工方法の検討</li> <li>6 接合方法の検討</li> <li>7 仕上げ方法の検討</li> <li>8 製図</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「使用目的と製作品の決定」つくるものの機能を考えて，大きさや材料，作り方などをまとめる。</li> <li>2 「機能の検討」製作品をつくる時には，使用目的にあった機能を十分に考えて設計する。</li> <li>3 「構造の工夫」力のかかる方向を調べ，材料の使い方や組み合わせ方を工夫する。</li> <li>4 「使用する材料の選択」材料はそれぞれの特徴を考慮して，製作の目的に合ったものを選ぶ。</li> <li>5 「加工方法の検討」使える工具の中から，材質や形状に適した加工方法を選択する。</li> <li>6 「接合方法の検討」接合方法によって見た目や強さなどが変わるため，使用目的や構造，材料に適した方法を選んで部品を接合する。</li> <li>7 「仕上げ方法の検討」材料の種類や目的に合った仕上げ方法を選択する。</li> <li>8 「製図」アイディアスケッチの中から，つくるものの全体の形や部品同士の位置関係，説明事項などのできあがりのイメージをかき表し，寸法を記入する。</li> </ol>



## 技術・家庭（家庭分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
6	教 函	新技術・家庭 家庭分野
9	開 隆 堂	技術・家庭（家庭分野）

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 学習項目における目標の示し方	目標の示し方とその具体例
		② 伝統と文化に関する内容の記述	伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例
		③ 持続可能な社会に関する内容の記述	循環型社会に関する内容の扱い方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	ガイダンスの構成、吹き出し等の興味・関心を高めるための工夫
		⑤ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の具体例
		⑥ 学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫	振り返りの示し方及び設定の仕方
		⑦ 問題解決的な学習活動の工夫	「生活の課題と実践」における学習の進め方及び実践例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 題材の配列	学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連
		⑨ 発展的な学習の扱い方	発展的な学習の内容の表記及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑩ 本文記述と関連付けがなされた資料等の活用	学習内容と関連した記述・資料等の示し方及び具体例
(オ)	言語活動の充実	⑪ 実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫	実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例
		⑫ 言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫	まとめと発表の仕方の示し方及び具体例

【技術・家庭（家庭分野）】

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①学習項目における目標の示し方
<b>方法</b>	目標の示し方とその具体例

	目標の示し方	具体例（D 身近な消費生活と環境）
東書	○ 項目ごとに、見出しの下に「目標」を1つ又は2つ示している。	「消費者としての自覚を持つ」 ・自分や家族の消費生活を振り返ることができる。 ・契約について理解できる。
教図	○ 項目ごとに、見出しの下に「学習の目標」を2つ示している。	「わたしたちの消費生活」 ・消費生活に関心を持つ。 ・意思決定のプロセスにそって、商品購入を考えていくことができる。
開隆堂	○ 項目ごとに、「学習の目標」を1つ又は2つ示している。	「消費生活のしくみ」 ・物資とサービスを利用して生活していることを理解する。 ・消費生活がどのように成り立っているかがわかる。

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	②伝統と文化に関する内容の記述
<b>方法</b>	伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例

	伝統と文化に関する内容の示し方	具体例
東書	○ 伝統と文化に関する内容に「伝統・文化」のマークを付け、写真やイラストなどを掲載し事例を紹介している。	・地域の伝統野菜 ・日本各地の郷土料理 ・和服の文化に触れよう ・日本の住まいと住まい方 ・江戸時代と循環型社会 など
教図	○ 伝統と文化に関する写真やイラストなどを掲載している。また、口絵では年中行事の事例を紹介している。	・年中行事とわたしたちの暮らし ・伝承遊び ・全国各地のおもな郷土料理 ・日本のいろいろな地域の住まい ・身近な和服を見てみよう など
開隆堂	○ 伝統と文化に関する内容に「伝統文化」のマークを付け、写真やイラストなどを掲載し事例を紹介している。	・伝承遊びと子どもたち ・日本各地の郷土料理 ・日本の特徴ある住まいを見てみよう ・伝統に息づく和服の文化 ・伝統文化を受け継ぎ、生活に生かす など

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③持続可能な社会に関する内容の記述
<b>方法</b>	循環型社会に関する内容の扱い方

循環型社会に関わる内容の扱い方	
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭資料において、「持続可能な社会を目指して」を掲載している。</li> <li>○ 「持続可能な社会を目指そう」という内容において、循環型社会を推進するための消費者の行動を図示し、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rを説明している。</li> <li>○ 「ごみ排出量の推移」「ごみを少なくするためにやっていること」のグラフを掲載している。</li> <li>○ 読み物資料としての「江戸時代と循環型社会」では、「物を大切に作る心」「江戸時代の古着屋」「着物のリサイクル」について記載している。</li> </ul>
<b>教 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いま、わたしたちにできること」という内容において、3Rの実践について、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の例を示して説明している。</li> <li>○ 『環境に配慮した暮らし〇か条』をつくって発表してみようという学習活動例を提示している。</li> <li>○ コラムの「グリーンコンシューマー」では、環境のことを考えて商品を選ぶ消費者のことについて記載している。</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭資料において、「持続可能な社会に向かって」を掲載している。</li> <li>○ 「地域や社会での協力」という内容において、5Rの例として、「リデュース」「リユース」「リサイクル」「リフューズ」「リペア」を表にまとめている。</li> <li>○ 「探究」では、「もったいないは世界の合言葉」「滋賀県東近江市愛東地区の〈菜の花プロジェクト〉」「江戸時代の循環型社会」などについて掲載している。</li> <li>○ 各内容の最後に「持続可能な社会をつくる」とし、考えることのできるまとめのページを設定している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④興味・関心を高めるための工夫
<b>方法</b>	ガイダンスの構成, 吹き出し等の興味・関心を高めるための工夫

	ガイダンスの構成	吹き出し等の興味・関心を高めるための工夫
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どんな学習をするのだろうか                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立と共生を目指そう</li> <li>・ 中学校家庭分野の学習内容を見てみよう</li> </ul> </li> <li>○ どんな自分になりたいかな                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活をチェックしよう</li> <li>・ 問題を解決する道筋—家庭分野の学習の進め方—</li> </ul> </li> <li>○ 自分と家族との生活を見つめよう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1日の生活を見つめよう</li> <li>・ 家庭と地域での生活を見つめよう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターや中学生の写真やイラストを用いて、各内容に応じた問いかけなどを吹き出しで示している。</li> <li>○ 各項目の始めのページには、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」を設定している。</li> </ul>
<b>教 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭分野の学習を、はじめよう！                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭分野の学習は、どんなことをするのか？</li> <li>・ 家庭分野の学習は、どんなふうに進めるのか？</li> <li>・ この教科書での学習の流れ</li> </ul> </li> <li>○ 年中行事とわたしたちの暮らし                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人生のお祝い事</li> </ul> </li> <li>○ わたしの成長と、家庭分野の学習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校家庭科のふり返り</li> <li>・ 中学校家庭分野の学習</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふたごのきょうだいのキャラクターを用い、各内容に応じた問いかけなどを吹き出しで示している。</li> <li>○ 各項目の始めのページには、「Q」のマークを付して学習内容に関連する問いかけなどをしている。</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭分野の学習をはじめよう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校で学習したこと</li> <li>・ 中学校になって、どのようなことが新たにできるようになるでしょうか。</li> </ul> </li> <li>○ 自立に向かって                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立ってどんなことだろうか？</li> </ul> </li> <li>○ 共生社会に向かって</li> <li>○ 持続可能な社会に向かって                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な社会ってどういうことだろうか？</li> </ul> </li> <li>○ 人やものとかかわりながら学ぼう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活を見つめ問題を見つけよう</li> <li>・ 調べてみよう・やってみよう</li> <li>・ 交流し合おう</li> <li>・ 生活に生かそう</li> <li>・ ふり返ろう</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャラクターや中学生のイラスト等を用いて、各内容に応じた問いかけなどを吹き出しで示している。</li> <li>○ 各項目の始めのページには、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「ふり返ってみよう」を設定している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑤実践的・体験的な学習を実施するための工夫
<b>方法</b>	実践的・体験的な学習の具体例

	「B 食生活と自立」の日常食の調理における調理実習例		「C 衣生活・住生活と自立」の布を用いた物の製作例	
	具体例	数	具体例	数
<b>東 書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具だくさんみそ汁 ○ ぶた肉のしょうが焼き ○ ポテトサラダ</li> <li>○ キャベツと油揚げのみそ汁 ○ ハンバーグ</li> <li>○ ブロッコリーのツナマヨソース ○ ミネストローネ</li> <li>○ ホワイトシチュー ○ スパゲッティミートソース</li> <li>○ アスパラガスの肉巻き ○ チキンソテー ○ 焼きぎょうざ</li> <li>○ ホイコーロー ○ さけのムニエル ○ 温野菜サラダ</li> <li>○ コーンクリームスープ ○ さばのみそ煮</li> <li>○ きゅうりとわかめの酢の物 ○ かきたま汁 ○ 魚の煮付け</li> <li>○ いわしのかば焼き ○ 魚の鍋照り焼き</li> <li>○ さけのオイルバター焼き ○ 白身魚の中華風あんかけ</li> <li>○ いわしのつみれ汁 ○ 肉じゃが ○ 青菜のごまあえ</li> <li>○ きのこと汁 ○ とん汁 ○ こまつなの変わり浸し</li> <li>○ がめ煮 ○ ラタトゥイユ ○ れんこんのきんぴら</li> <li>○ なすとピーマンの鍋しぎ ○ ドライカレー</li> <li>○ 青菜のソフトふりかけ ○ 昆布とかつお節のソフトふりかけ</li> <li>○ 酢飯 ○ 野菜の甘酢づけ ○ 干しいたけとかんぴょうの煮物</li> <li>○ 錦糸卵 ○ 焼きそば ○ ミニおにぎり ○ ピザトースト</li> <li>○ 豆腐のパンケーキ ○ オレンジのクラッシュゼリー</li> <li>○ スイートポテト</li> </ul>	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テッシュボックスカバー</li> <li>○ あずま袋</li> <li>○ マルチバッグ</li> <li>○ トートバッグ</li> <li>○ ファイルカバー</li> <li>○ ブックカバー</li> <li>○ ウォールポケット</li> <li>○ 防災リュック</li> <li>○ ハーフパンツ</li> <li>○ 箸袋</li> <li>○ ランチョンマット</li> <li>○ 弁当袋</li> <li>○ ファスナーポーチ</li> </ul>	13
<b>教 図</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おにぎり ○ さつまいもご飯 ○ ミートソーススパゲッティ</li> <li>○ ピザトースト ○ カレーライス ○ いわしのかば焼き</li> <li>○ 煮魚 ○ ムニエル ○ ハンバーグステーキ ○ すし飯</li> <li>○ ぶた肉のしょうが焼き ○ 八宝菜 ○ 肉じゃが ○ 卵焼き</li> <li>○ ほうれうそうのごまあえ ○ 生野菜サラダ ○ 筑前煮</li> <li>○ 切干大根のあえ物 ○ わかめときゅうりの酢の物</li> <li>○ わかめととうふのスープ ○ 野菜スープ ○ かきたま汁</li> <li>○ けんちん汁 ○ 蒸しパン ○ フルーツヨーグルト</li> <li>○ 牛乳かん ○ カップケーキ ○ みたらし団子</li> <li>○ 大根のお焼き ○ じゃがいものお焼き ○ フルーツ寒天ゼリー</li> <li>○ スイートパンプキン ○ さつまいものジュース煮</li> </ul>	33	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あづま袋</li> <li>○ ぞうきん</li> <li>○ エプロン</li> <li>○ アームカバー</li> <li>○ きんちゃく袋</li> <li>○ ペンケース</li> </ul>	6
<b>開 隆 堂</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ しょうが焼き ○ 青菜のごまあえ ○ わかめととうふのみそ汁</li> <li>○ 煮込みハンバーグ ○ 牛丼 ○ シチュー ○ 煮魚</li> <li>○ とうふとみつばのすまし汁 ○ きゅうりとわかめの酢のもの</li> <li>○ ムニエル ○ 焼き魚 ○ つみれ汁 ○ かば焼き</li> <li>○ 青菜の卵とじ ○ けんちん汁 ○ とん汁 ○ 筑前煮</li> <li>○ ミネストローネ ○ かぼちやの煮もの</li> <li>○ 大豆とひじきの煮もの ○ ポトフ ○ じゃがいものサラダ</li> <li>○ とり肉とだいこんの煮物 ○ わかめスープ ○ コーンスープ</li> <li>○ かきたま汁 ○ きんぴらごぼう ○ ピーマンのナムル</li> <li>○ 野菜のグラタン風 ○ ジャーマンポテト ○ コールスロー</li> <li>○ さつまいもの甘辛焼き ○ せん切り野菜のスープ</li> <li>○ こんにゃくのピリ辛煮 ○ アスパラガスのチーズ巻</li> <li>○ たまねぎとししとうがらしのいためもの ○ にんじんのグラッセ</li> <li>○ キャベツと塩こんぶの浅づけ ○ いももち ○ 牛乳かん</li> <li>○ カップケーキ ○ わらびもち ○ プチお好み焼き</li> <li>○ プチケーキ ○ スイートポテト ○ 手打ちうどん ○ プリン</li> </ul>	47	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道具入れ</li> <li>○ ウォールケット</li> <li>○ カフェエプロン</li> <li>○ ショルダーバッグ</li> <li>○ ファイルカバー</li> <li>○ ペットボトルホルダー</li> <li>○ 防災リュック</li> <li>○ ハーフパンツ</li> <li>○ ブックカバー</li> </ul>	9

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑥学習を振り返り、生活に生かすための構成上の工夫
<b>方法</b>	振り返りの示し方及び設定の仕方

		「C 衣生活・住生活と自立」における学習の振り返り	
		示し方	設定の仕方
<b>東 書</b>	○ 各内容の章末に「学習のまとめ」を設定している。	○ 「学習を振り返ろう」では、A, B, Cの3段階の自己評価を取り入れている。また、大切な用語集を記載している。 ○ 「学習したことを確かめよう」では、「挙げましょう」「考えましょう」「まとめましょう」など記述を求める方式により学習を振り返らせている。 ○ 「生活に生かそう」では、学習したことを基に生活で実践する内容を示している。 ○ 全ての学習の最後には、「家庭分野の学習を終えて」を設定し、3年間の学習を確かなものにできるよう工夫している。	
<b>教 図</b>	○ 各内容の章末に「学習の振り返り」を設定している。	○ 「キーワードの確認をしよう」では、問いに答えることによって学習を振り返らせている。 ○ 「学習をこれからの生活に生かそう」では、改善のための工夫を考えたことや、学習したことを基に生活で実践する内容を示している。 ○ 各項目の最初に「キーワードチェック」で振り返ることができるようになっている。 ○ 巻末に「家庭分野の学習を振り返ろう」を設置し、これからの生活での活用について考えられるようにしている。	
<b>開 隆 堂</b>	○ 各内容の章末に「学習のまとめ」を設定している。	○ 「学習を振り返ろう」では、はい・いいえの二択の自己評価を取り入れている。 ○ 「生活に生かそう」では、自分の生活の課題を見つけたり、学習を終えてもっと知りたい、深めたいと思ったことや生活に生かしていきたいことについて記入する欄を設定し、交流に活用できるようにしている。 ○ 巻末に「未来に向かって」を設定し、中学校を終える生徒へ将来の参考となる資料を掲載している。	

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	⑦問題解決的な学習活動の工夫
<b>方法</b>	「生活の課題と実践」における学習の進め方及び実践例

	掲載の仕方	構成	ページ数	学習の進め方の例	実践例
東書	巻末に掲載	○ 生活の課題と実践の進め方	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見つけよう</li> <li>・計画を立てよう</li> <li>・実践しよう</li> <li>・振り返ろう, 見直そう</li> <li>・改善しよう</li> <li>・次の課題に挑戦しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児のためのおやつを作ろう！－野菜入りおやつ－</li> <li>○ 地域の人と触れ合おう！－地域行事への参加－</li> <li>○ 望ましい食生活を目指そう－元気になる朝食－</li> <li>○ 日本の食文化を追求しよう－我が家のお雑煮－</li> <li>○ 着なくなった衣服をリフォームしよう！－お手軽ベスト－</li> <li>○ 災害に備えた住まい方を工夫しよう－防災マニュアル作り－</li> </ul>
		○ 課題の決め方	1		
		○ まとめと発表の仕方	1		
教図	内容末に掲載	○ 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見つける</li> <li>・計画を立てる</li> <li>・実践する（課題の解決）</li> <li>・まとめ・発表する</li> <li>・ふり返る</li> <li>・次の実践へつなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住みやすいまちって、どんなまち？</li> <li>○ 地域でボランティア活動しよう</li> <li>○ 大根をおいしく楽しく食べるために</li> <li>○ だれかのためのお弁当をつくってみよう</li> <li>○ だれかのためのものづくり</li> <li>○ わが家の防災対策</li> </ul>
開隆堂	巻末に掲載	○ 課題学習の進め方の例	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を決める</li> <li>・計画を立てる</li> <li>・実践する</li> <li>・結果をまとめる</li> <li>・評価を受けて改善する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1日家事体験</li> <li>○ 幼児と遊べるおもちゃづくり など</li> <li>○ 1日3食の献立を立てて、食事をつくる</li> <li>○ おせち料理を研究する など</li> <li>○ 家の安全対策をチェックする</li> <li>○ 収納の工夫を考える など</li> <li>○ 自分にできる、安全・安心な暮らしの工夫</li> <li>○ えりの汚れを簡単に落とせるものを探してみよう など</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑧題材の配列
<b>方法</b>	学習内容の構成とページ数及び指導事項との関連

	ガイダンス (ページ数)	A 家族・家庭と 子どもの成長			B 食生活の自立			C 衣生活・住生 活の自立			D 身近な消費生 活と環境			
		学習内容	ページ 数	指導 事項	学習内容	ページ 数	指導 事項	学習内容	ページ 数	指導 事項	学習内容	ページ 数	指導 事項	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>この教科書で学ぶ皆さんへ(2)</li> <li>持続可能な社会を目指して(2)</li> <li>自分や家族・地域を守る日頃からの備え(2)</li> <li>実習を楽しく安全に進めよう！(2)</li> <li>家庭分野のガイダンス(12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭と地域</li> </ul>	8	A(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活と栄養</li> </ul>	10	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣生活と自立</li> </ul>	28	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの消費生活</li> </ul>	16	D(1)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の生活と家族</li> <li>これからの私と家族</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	32	A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>献立作りと食品の選択</li> <li>調理と食文化</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	20	B(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住生活と自立</li> <li>生活を豊かにするために</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	22	C(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した消費生活</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	6	D(2)	
<b>選択事項</b>														
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「私たちの成長と家族・地域」の課題と実践</li> </ul>	2	A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私たちの食生活」の課題と実践</li> </ul>	2	B(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「私たちの衣生活と住生活」の課題と実践</li> </ul>	2	C(3)				
教 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭分野の学習を、はじめよう！(2)</li> <li>年中行事と私たちの暮らし(5)</li> <li>わたしの成長と、家庭分野の学習(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族と家庭生活</li> </ul>	24	A(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康と食生活</li> </ul>	18	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの住生活</li> </ul>	24	C(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの消費生活</li> </ul>	30	D(1)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の生活と家族</li> <li>学習のふり返り</li> </ul>	30	A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>献立作成と食品の選択</li> <li>日常食の調理と地域の食文化</li> <li>学習のふり返り</li> </ul>	16	B(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの衣生活</li> <li>生活を豊かにする工夫</li> <li>学習のふり返り</li> </ul>	28	C(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活と環境</li> <li>学習のふり返り</li> </ul>	12	D(2)	
<b>選択事項</b>														
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践</li> </ul>	6	A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践</li> </ul>	4	B(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践</li> </ul>	4	C(3)				
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭分野の学習をはじめよう(2)</li> <li>自立に向かって(2)</li> <li>共生社会に向かって(2)</li> <li>持続可能な社会に向かって(2)</li> <li>人やものとかかわりながら学ぼう(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしの成長と家族・地域</li> </ul>	4	A(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康と食生活</li> </ul>	22	B(1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住まいのはたらき</li> </ul>	8	C(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活と消費</li> </ul>	4	D(1)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちと家族・家庭と地域</li> <li>幼児の生活と遊び</li> <li>幼児とのふれ合い</li> <li>これからのわたしと家族</li> <li>持続可能な社会をつくる</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	6	A(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品の選択と保存</li> <li>調理をしよう</li> <li>地域の食材と食文化</li> <li>持続可能な社会をつくる</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	12	B(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康で安全な住まい</li> <li>住まいと地域</li> <li>持続可能な社会をつくる</li> <li>日常着の活用</li> <li>日常着の手入れ</li> <li>布を用いた物の製作</li> <li>持続可能な社会をつくる</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	4	C(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の選択と購入</li> <li>よりよい消費生活のために</li> <li>環境に配慮した生活</li> <li>学習のまとめ</li> </ul>	8	D(1)	
<b>選択事項</b>														
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践「A 家族・家庭と子どもの成長」</li> </ul>	2	A(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践「B 食生活と自立」</li> </ul>	2	B(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践「C 衣生活・住生活と自立」</li> </ul>	2	C(3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の課題と実践[安全と省資源・省エネルギーも考えた課題]</li> </ul>	2	A(3)	
													B(3)	
													C(3)	



<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑨発展的な学習の扱い方
<b>方法</b>	発展的な学習の内容の表記及び具体例

	内容の表記	具体例
<b>東 書</b>	<p>○ <b>発展</b>のマークを付している。</p> <p><b>発展</b>マークについての説明 「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」</p>	<p>○ A 家族・家庭と子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニセフの活動</li> <li>・赤ちゃん一人間の育ちの始まり</li> </ul> <p>○ B 食生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁当作りに挑戦しよう</li> </ul> <p>○ C 衣生活・住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の民族衣装</li> <li>・世界のいろいろな住まい</li> </ul> <p>○ D 身近な消費生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード</li> <li>・みんなが暮らしやすい社会を目指してーユニバーサルデザインー</li> </ul>
<b>教 図</b>	<p>○ <b>発展</b>のマークを付している。</p> <p><b>発展</b>マークについての説明 「学習指導要領に示されていない内容です。学習の進んだ人や、興味を持った人は、必要に応じて取り組んでみましょう。」</p>	<p>○ A 家族・家庭と子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己決定のプロセスを考えよう</li> <li>・幼児の大好きな、ごっこ遊びを見てみよう</li> <li>・子どものすこやかな成長のために</li> </ul> <p>○ B 食生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界のいろいろなめん料理</li> <li>・味といっしょに楽しもう～地域の伝統的な器～</li> </ul> <p>○ C 衣生活・住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界各地の住まい</li> <li>・マンガやアニメの主人公は、どんな住まいで暮らしているの？</li> <li>・世界の民族服</li> <li>・進化する衣服</li> </ul> <p>○ D 身近な消費生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お年玉を例に、お金とのつきあい方考えよう！</li> <li>・おいしいチョコレートの真実</li> <li>・商品の企画をしてみよう</li> </ul>
<b>開 隆 堂</b>	<p>○ <b>発展</b>のマークを付している。</p> <p><b>発展</b>マークについての説明 「発展的な学習の内容（この『発展』で取り扱う内容は、学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない。）」</p>	<p>○ A 家族・家庭と子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児期の場合</li> <li>・子どもの健やかな成長のために</li> <li>・世界の子どもたちは、今</li> </ul> <p>○ B 食生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品に含まれる成分を、目で見て確かめよう！</li> <li>・「おいしさ」とは</li> <li>・弁当をつくろう</li> <li>・災害に合った時の食事は？</li> </ul> <p>○ C 衣生活・住生活と自立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォームビズ素材とクールビズ素材</li> <li>・豊かな衣生活・住生活の実現のために</li> <li>・世界の衣服と住まい</li> </ul> <p>○ D 身近な消費生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアトレード</li> <li>・環境問題への挑戦</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩本文記述と関連付けがなされた資料等の活用
<b>方法</b>	学習内容と関連した記述・資料等の示し方及び具体例

	示し方	具体例（B 食生活と自立）
<b>東 書</b>	○ 学習を深めるうえで役に立つ内容等を「資料」のマークで、ほかの章などとの関連については「リンク」、他教科との関連については「他教科」のマークで示している。	○ 「資料」のマーク ・ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」 ・食生活を取り巻く問題を解決するための取り組み など ○ 「リンク」のマーク ・日本の行事食の例 ・食品の表示やマーク など ○ 「他教科」のマーク ・保健体育「健康な生活と疾病の予防」 ・道徳「生活習慣、節度節制」 など
<b>教 図</b>	○ 学習上参考となる資料等を「参考」や「コラム」のマークで表している。また技術分野との関連を「リンク」のマークで示している。	○ 「参考」のマーク ・加工食品をつくったり、利用したりしてみよう ・和食が無形文化遺産に など ○ 「リンク」のマーク ・電子レンジ調理（エネルギー変換に関する技術） ・大根をおいしく楽しく食べるために（生物育成に関する技術）など ○ 「コラム」のマーク ・バランスのとれた食事献立例（日本型食生活） ・食品の安全性を守るための仕組み など
<b>開 隆 堂</b>	○ 学習の参考となる資料や解説を「参考」のマークで、他の学習項目や技術分野などとの関連については「リンク」のマークで表している。また、学習を深めたり広げたりして、さらに探究していく内容については「探究」マークで示している。	○ 「参考」のマーク ・スポーツ栄養の専門家から ・日本型食生活 など ○ 「リンク」のマーク ・保健体育 保健分野「健康な生活と疾病の予防」 ・和食 など ○ 「探究」のマーク ・和食 日本人の伝統的な食文化 ・世界中の人の視点から食料を考える など

【技術・家庭（家庭分野）】

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑪実習等の結果を整理し、考察する学習活動の工夫
<b>方法</b>	実習等の結果を整理したり考察したりする学習の具体例

	項目名	実習等の結果を整理したり考察したりする学習	幼児の生活と家族における具体例
<b>東書</b>	幼児の生活と遊びを知ろう	○ 幼児の観察	○ 幼児の観察記録カード ・観察するときのポイントと観察記録カードの見本を示している。
	バランスの良い食事について考えよう	○ 献立作り	
	T.P.O.を踏まえた自分らしい着方を工夫しよう	○ Myコーディネーター自分らしい着方を考えようー	
	持続可能な社会を目指そう	○ 環境アクションプラン	
<b>教図</b>	家庭の生活を考えよう	○ 暮らしを支える施設やサービスを整理してみよう	○ 幼児とのふれ合いレポート ・「まとめよう」というコーナーをつくり、レポートをまとめるためのチェックポイントを示している。
	幼児とのふれ合い	○ 幼児とふれ合ったときのことを、レポートなどにまとめてみよう	
	1日分の献立作成	○ 献立を立ててみよう	
	衣服の着用	○ T.P.O.に合わせた自分らしい服装を考えよう	
	わたしたちの消費生活	○ ダイヤモンドランキングで考えよう！	
<b>開隆堂</b>	幼児とのふれ合い	○ ふれあい体験をふり返る など	○ ふれ合い体験レポート ○ 幼児の世界の体験レポート ・書き込む内容例や感想のまとめ方の例やレポート例を示している。
	調理をしよう	○ 調理実習の計画と記録 など	
	日常着の手入れ	○ 汚れ落ちの観察 など	
	環境に配慮した消費生活	○ エネルギーを実際に測ってみよう	

<b>観点</b>	<b>(オ) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりする学習活動の工夫
<b>方法</b>	まとめと発表の仕方の示し方及び具体例

	まとめと発表の仕方の示し方	具体例
<b>東書</b>	○ 「生活の課題と実践」に「まとめと発表の仕方」を記載している。 ・まとめ方や伝え方のポイント ・まとめの読み方や聞き方のポイント	○ レポート ○ ポスター ○ 新聞形式 ○ 紙芝居風 ○ コンピュータ
<b>教図</b>	○ 「生活の課題と実践」に「まとめる・発表する」を記載している。 ・まとめる方法の例 ・発表方法の例	○ レポート ○ ポスター、新聞 ○ コンピュータを使用したデジタル作品
<b>開隆堂</b>	○ 「生活の課題と実践」に「結果をまとめる」を記載している。 ・まとめるための項目立て ○ 巻末資料に、言語活動の進め方のプロセス図を掲載している。	○ 新聞 ○ プレゼンソフト ○ レポート

## 英 語

## 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON English Course
9	開 隆 堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
11	学 図	TOTAL ENGLISH
15	三 省 堂	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition
17	教 出	ONE WORLD English Course
38	光 村	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE

## 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	目標の表記場所、表記の仕方及び具体例
		② コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	4領域等の言語活動の設定数、基礎・基本の定着を図る言語活動の設定及び具体例
		③ 言語に対する理解を深めるための工夫	関連ある文法事項のまとめの扱い方とその設定数及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例
		⑤ 積極的なコミュニケーションを促す工夫	英語を使ったペア、グループでの会話の総数、設定場所及び具体例
		⑥ 問題解決的な学習に関する内容構成	情報収集し発信する内容構成のテーマ及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 言語材料の配列	文法事項が扱われる単元名
		⑧ 題材の内容構成と分量	題材（日常生活・風俗習慣、物語、地理・歴史、伝統文化、自然科学）及び単元数、単元名
		⑨ 小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	第1学年導入期における外国語活動の接続を図った題材数、題材名及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑩ 巻末等資料の工夫	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例
		⑪ 学習到達目標の設定	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所等と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑫ 4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

<b>観点</b>	(ア) 基礎・基本の定着
<b>視点</b>	①単元の目標の示し方
<b>方法</b>	目標の表記場所，表記の仕方及び具体例

	表記場所	目標の表記の仕方と具体例（第2学年）
東書	○ Unit（中単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Unit 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>過去の状態や，過去のある時点の動作について述べることができる。／人やものの外見について述べることができる。</li> <li>自分や友達について，以前とのちがいを説明することができる。</li> </ul>
開隆堂	○ PROGRAM（中単元）のセクション（小単元）ごとに学習目標を提示している。	○ PROGRAM 1 ① <ul style="list-style-type: none"> <li>不規則な過去形を持つ動詞を使い，過去のことを言えるようにしよう。</li> </ul>
学図	○ Chapter（大単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Chapter 1（Pre-Lesson～Lesson2） <ul style="list-style-type: none"> <li>日記が書けるようになります。</li> </ul>
三省堂	○ Lesson（中単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Lesson ① この課で学ぶこと <ul style="list-style-type: none"> <li>ハワイの伝統文化について知る。</li> <li>過去形を理解し，使う。（復習）</li> <li>ハワイ滞在の物語文を読む。</li> <li>一言付け加えたりして，会話を続ける。</li> </ul>
教出	○ Lesson（中単元）の Part（小単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Lesson 1 Part ① <ul style="list-style-type: none"> <li>過去にしたことを説明できる</li> </ul>
光村	○ Unit（中単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Unit 1 <ul style="list-style-type: none"> <li>したことや，その感想を言ったり，たずねたりできる。</li> <li>春休みにしたことや，その感想についてスピーチができる。</li> </ul>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫
方法	4領域等の言語活動の設定数，基礎・基本の定着を図る言語活動の設定及び具体例

	4領域等の言語活動の設定数				第2学年	
	領域等	学年			基礎・基本の定着を図る言語活動の設定	具体例（「話すこと」）
		1	2	3		
東 書	聞く	49	28	25	○ 「Listen（ヘッドフォンマーク）」で、対話等を聞いて、正しいものを選ぶ活動等を設定している。	○ Unit 1-2 Dialog ペアになり、昨夜のある時刻にしていたことについて、例にならって対話をしましょう。  (例) A: What were you doing at 7:30 last night? B: I was <u>having dinner</u> then.
	話す	47	22	20	○ 「Speak（マイクロフォンマーク）」で、例にならって基本表現を用いた対話を行う活動等を設定している。	
	読む	36	59	55	○ 「Read（本マーク）」で、本文の内容について日本語の質問に日本語で答える活動等を設定している。	
	書く	43	32	28	○ 「Write（鉛筆マーク）」で、本文に基づいて自分の意見や感想を書く活動等を設定している。	
開 隆 堂	聞く	31	29	23	○ 「Listen（ヘッドフォンマーク）」で、対話を聞いて、適切な絵を選択したり、空所に記号を書き入れたりする活動等を設定している。	○ PROGRAM 1① 例にならい、上の絵について対話しましょう。  (例) A: Did you <u>go to the zoo last Sunday</u> ? B: Yes. I <u>went to the zoo</u> . I had a good time.  ( go to the park / last Wednesday go fishing / last Saturday take a lot of pictures / yesterday )
	話す	54	50	40	○ 「Speak（マイクロフォンマーク）」「Try（2人の顔マーク）」で、身近な話題について対話練習をする活動等を設定している。	
	読む	22	36	41	○ 「Read（本マーク）」「Q」で、本文の内容について英語で答えたり、日本語で説明したりする活動等を設定している。	
	書く	27	28	22	○ 「Write（鉛筆マーク）」で、例にならって基本表現を用いて書く活動等を設定している。	
学 図	聞く	61	50	44	○ 「Listening（ヘッドフォンマーク）」で、対話等を聞いて、質問に答える活動等を設定している。	○ Lesson 1 1A Activities 下の絵の人になったつもりで、例にならって会話をしましょう。慣れたら自分が行ったことがある場所について会話をしてみましょう。  (例) A: I went to <u>Kyoto</u> last week. B: <u>Kyoto</u> ? Really? A: Yes. It was <u>beautiful</u> .  ( Kyoto / beautiful Sapporo / interesting New York / exciting Sydney / fun )
	話す	70	55	52	○ 「Speaking（マイクロフォンマーク）」で、基本表現を用いた対話をペアで行う活動等を設定している。	
	読む	29	37	34	○ 「Review」内の「Reading（本マーク）」で、Lesson の題材と関連したテーマの文章を読む活動等を設定している。 「Lesson」内の「Q」で本文の内容について英語で答える活動等を設定している。	
	書く	51	63	59	○ 「Writing（鉛筆マーク）」で、例にならって、基本表現を含む文章を書いたり、単語を並べ替えて完成させたりする活動等を設定している。	

【英語】

三省堂	聞く	32	26	23	○ 「耳マーク」で、対話等を聞いて適切な絵を選択したり、記号を書き入れたり、分かったことを日本語で書いたりする活動等を設定している。	○ Lesson① Get Practice 春休みにしたことについて、ペアで話してみよう。  (例) A: During the spring vacation, <u>I went to Kobe by train</u> . Koji, what did you do? B: <u>I went to a concert by bus</u> .
	話す	36	30	27	○ 「2人の顔マーク」で、身近な話題について対話練習をする活動等を設定している。「1人の顔マーク」で、自分の考えについてスピーチをする活動等を設定している。	
	読む	34	42	35	○ 「Q&A」で、本文の内容について英語で答える活動等を設定している。「本マーク」で、文章を読んで空欄に適切な日本語を書き入れる活動等を設定している。「Use (Read)」内の「1 <sup>st</sup> Reading」～「3 <sup>rd</sup> Reading」で、本文の内容理解を段階的に確認する活動等を設定している。	
	書く	29	24	20	○ 「鉛筆マーク」で、例にならって基本表現を用いて英文を書く活動等を設定している。「Use (Write)」内の「Step1」～「Step4」で、自分の考えを英語で書く活動等を設定している。	
教出	聞く	54	44	29	○ 「Listen (ヘッドフォンマーク)」で、対話を聞いて、適切な絵を選択したり、聞き取ったことを日本語でメモしたりする活動等を設定している。	○ Lesson 1 Part④ Activity 例にならって、「～がわたしに・・・をくれた」という英文を言ってみよう。  (例) <u>Shin gave me a new cap.</u>  ( ① Susan / a birthday cake ② Meg (メグ) / a lot of emails ③ Jim / some lemons )
	話す	69	45	32	○ 「Speak (マイクログフォンマーク)」で、例にならって基本表現を用いて対話をする活動等を設定している。	
	読む	32	32	34	○ 「Read (本マーク)」で、「Lesson」の題材と関連したテーマの文章を読んで空欄に適切な語を書き入れる活動等を設定している。各「Lesson」内の「Q」で、本文の内容について英語で答える活動等を設定している。	
	書く	47	40	26	○ 「Write (鉛筆マーク)」で、例にならって基本表現を用いて英文を書く活動等を設定している。	
光村	聞く	60	42	31	○ 「Listen (ヘッドフォンマーク)」で、対話を聞いて、適切な絵を選択したり、記号を書き入れたりする活動等を設定している。	○ Unit 1 Part 1 Try It! ペアになり、春休みにしたことを友達にたずね、Yes か No に○を付けましょう。友達の答えが Yes なら、さらに質問をして、答えを表の _____ に書きましょう。  A: Did you play any sports? B: <u>Yes./ No.</u> A: What sport did you play? B: I _____.
	話す	49	32	31	○ 「Speak (吹き出しマーク)」で、テーマに基づいた対話やスピーチ等を設定している。	
	読む	38	36	33	○ 「Read (本マーク)」で、本文内容について英語で答えたり、日本語で説明したりする活動等を設定している。	
	書く	34	41	34	○ 「Write (鉛筆マーク)」で、例にならって基本表現を用いて英文を書く活動や、自分の意見や考えを書く活動等を設定している。	

【英語】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③言語に対する理解を深めるための工夫
方法	関連ある文法事項のまとめの扱い方とその設定数及び具体例

	関連ある文法事項の まとめの扱い方	学 年	設定数 (ページ数)	具体例 (第2学年「be going to」)
東 書	○ 「まとめと練習」で文法事項について整理し、「確かめよう」で文の構造をまとめたあと、「やってみよう」で練習するように設定している。	1	7 (7)	○ be 動詞の過去形の肯定文, 否定文, 疑問文と同時に予定や未来を表す「be going to + 動詞の原形」の肯定文, 否定文, 疑問文を提示している。
		2	4 (4)	
		3	2 (3)	
開 隆 堂	○ 「英語のしくみ」で文法事項の共通した特徴をまとめたり, 整理したりして, 効果的な指導の工夫を設定している。	1	4 (9)	○ 未来表現 be going to , will と同時に義務などを表す表現 must, have to, should と接続詞 that を提示している。
		2	5 (10)	
		3	4 (8)	
学 図	○ 「Check It Out」で目標文を中心とした学習事項をまとめ, 文法事項を系統的に整理している。	1	9 (12)	○ これから先のことについて言うときの will, be going to と同時に, will と be going to の区別について提示している。
		2	11 (11)	
		3	11 (11)	
三 省 堂	○ 「文法のまとめ」で各 lesson 配当の文法・文構造を, 解説と図によって振り返られるよう設定している。	1	7 (7)	○ 未来を表す表現 will, be going to の肯定文, 疑問文, 応答文, 否定文と同時に接続詞 that を提示している。
		2	7 (8)	
		3	6 (6)	
教 出	○ 「英語のしくみ」でコミュニケーションの基礎となる文構造と文法について例文と日本語訳をつけて説明している。	1	7 (7)	○ be going to や will を使った文の形, will と be going to の違い, will の意味について提示している。
		2	7 (7)	
		3	4 (4)	
光 村	○ 「Language Focus」で4技能の運用を支える「語彙」「文法」「音声」「慣用表現」について unit を超えて横断的にまとめている。	1	7 (7)	○ 「過去・現在・未来のことを述べる表現」として, 未来のことを表すときの be going to, will と同時に一般動詞の現在形, 過去形, 時を表す語句を提示している。
		2	7 (7)	
		3	3 (5)	



観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例

	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方	第3学年「話すこと」	
		テーマ	具体例
東書	○ 「Daily Scene」で生徒が日常生活で使える場面の表現を Step1～3 で設定し、基本練習と発展練習を提示している。	○ 食事の会話 ○ さそい ○ 道案内 ○ 電話の会話	○ 「Daily Scene 1」 食事の会話 メグの父： Help yourself, Erika. エリカ： Thank you. メグの父： Would you like some more? エリカ： Yes, please. It's very good. メグの父： I'm glad you like it. エリカ： May I have some water?
開隆堂	○ 「POWER-UP」の「Listening & Speaking」「Speaking」で日常生活の場面を設定し、そこで使える表現を提示している。	○ 旅行（機内で） ○ 道案内（電車の乗りかえ） ○ 電話（伝言を受ける）	○ 「POWER-UP Listening & Speaking」旅行（機内で） Kenta: What time ___ in Hawaii now? Flight Attendant: It's about ___ a.m. there. Kenta: When will we ___ Honolulu International Airport? Flight Attendant: We'll arrive there at ___ Friday morning.
学図	○ 「Talking Time」の中に日常生活の場面で使える会話文を提示し、Step1 で対話するようにしている。	○ Shopping ○ On the Phone ○ Asking the Way	○ 「Talking Time」 Shopping 店員： May I help you? メグ: Yes, I'm looking for a pair of sneakers. 店員： How about these? They're quite popular. メグ： I like them, but do you have them in blue? 店員： Yes, here you are. メグ： Thanks. メグ： Oh, they're a little big for me. Do you have smaller ones? 店員： Yes, we do.
三省堂	○ 「Let's Talk」で、買い物・電話・道案内など、特有の表現がよく使われる場面を選び、日常的な場面における会話練習を設定している。	○ 道案内をしよう ○ どうかしましたか ○ 買い物をしよう ○ 玉子料理はいかがですか ○ 電話をしよう	○ 「Let's Talk」道案内をしよう Man: Excuse me. Could you tell me how to get to the castle? Kumi: Well, go down this street and turn left at the bank. Man: Turn left at the bank. Kumi: Yes. You'll see it on your right.
教出	○ 「Time for a Skit」で聞くこと、読むことの活動と関連付けた話す活動を設定している。	○ お店で要望を伝える ○ レストランで注文する ○ 目的地までの行き方をたずねる ○ 電話での応答：伝言を依頼する	○ 「Time for a Skit」 お店で要望を伝える 店員： May I help you? ケンタ： Yes, I'm looking for a nice shirt. 店員： How about this one? ケンタ： Mmm... it's too expensive for me. Do you have any cheaper ones?
光村	○ 「Skit Time」で身近で具体的な場面を設定し、会話練習をしながらコミュニケーションに役立つ慣用表現の練習を設定している。	○ 電話 ○ 道案内	○ 「Skit Time①」電話 Bill's mother: Hello. Rumi: Hello. This is Rumi. May I speak to Bill, please? Bill's mother: I'm sorry. He's out. Would you like to leave a message? Rumi: Yes, please. Could you ask him to call me back, please? Bill's mother: Sure.



<b>観点</b>	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
<b>視点</b>	⑥問題解決的な学習に関する内容構成
<b>方法</b>	情報収集し発信する内容構成のテーマ及び具体例

	情報収集し発信する内容構成	テーマ	具体例（日本文化に関すること）
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Daily Scene</li> <li>○ Presentation</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ウェブサイト</li> <li>○ 町紹介</li> <li>○ 日本文化紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Presentation 1 日本文化紹介</li> <li><b>Hop</b> 日本文化についてのモデル文を理解しよう</li> <li><b>Step</b> 紹介したい日本文化を考えよう</li> <li><b>Jump</b> 選んだ日本文化について書いて発表しよう</li> <li><b>Challenge</b> 世界の友達の国の文化について知ろう</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ My Project</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知りたい情報を引き出そう</li> <li>○ CMを作ろうーこんなものがほしい</li> <li>○ あの人にインタビューしよう</li> <li>○ 日本文化を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ My Project ⑧ 日本文化を紹介しよう</li> <li>1 次のスピーチ原稿を読んで、文章の構造を考えましょう。</li> <li>2 日本の伝統行事や有名な祭りなどについて調べ原稿を書きましょう。</li> <li>3 2で書いた文を組み合わせて、スピーチ原稿を作りましょう。</li> <li>4 発表しましょう。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Book Project</li> <li>○ Chapter Project</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インタビューをしよう</li> <li>○ 観光パンフレットを作ろう</li> <li>○ 尊敬する人についてスピーチをしよう</li> <li>○ 私の人生</li> <li>○ 日本の伝統文化を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Chapter 1 Project 日本の伝統文化を紹介しよう</li> <li><b>Step1</b> 日本独特の食べ物や身に付けるもの、行事や習慣、その他、様々なものが身の回りにあります。その中から自分が紹介したいものを選びましょう。</li> <li><b>Step2</b> 自分が選んだものを紹介する文章の構成を、七夕の例を参考にしてまとめましょう。</li> <li><b>Step3</b> Step2 で考えた構成に沿って具体的に説明する文を書きましょう。</li> <li><b>Final Step</b> Step3 で書いたことを文章にまとめてグループのみんなの前で発表しましょう。</li> </ul>

【英語】

<p>三省堂</p>	<p>○ Project</p>	<p>○ 友だちにインタビューをしよう ○ 有名人を紹介しよう ○ 自分の町を紹介しよう ○ 先生にインタビューをしよう ○ 日本文化を紹介しよう ○ ディスカッションをしよう</p>	<p>○ Project 2 日本文化を紹介しよう 1 エマとポールが自分の国の文化を <b>Show &amp; Tell</b> で紹介します。 2 あなたが紹介したい日本文化を1つ選んで、あなた自身のアイデアマップを作ろう。 3 日本文化を紹介する <b>Show &amp; Tell</b> の原稿を書こう。 4 日本文化を <b>Show &amp; Tell</b> で紹介しよう。 <b>TRY</b> 友達の発表を聞いて、わかったことをメモしよう。 わからなかったことは質問してみよう。</p>
<p>教出</p>	<p>○ Project ○ Task</p>	<p>○ 好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！ ○ ミニ英語新聞を作ろう ○ アンケート調査をして発表しよう！ ○ 理想の街を紹介する ○ 日本の有名なもの紹介 ○ 自分たちの町のガイドブックをつくらう！ ○ 日本の行事や風物について説明する</p>	<p>○ Lesson 4 Jump Task 日本文化についての文章例を参考にして、自分が英語で説明してみたいことを書いてみよう。 (1) 日本のお正月についての英文を読んで、わかったことを友だちと確認しよう。 (2) また、次の英文を参考にして、<b>Children's Day</b> (こどもの日) など、日本の他の行事や風物について説明する英文を書いてみよう。</p>
<p>光村</p>	<p>○ CLIL ○ Go for it!</p>	<p>○ 食品と私たちの体 ○ A L T新聞を作ろう ○ 日本の歴史 ○ 世界の天候 ○ 「私たちの町」を紹介しよう ○ スポーツをもっと知ろう ○ 情報通信技術の発達と社会</p>	<p>○ CLIL 英語で学び、考えよう 1 (歴史) <b>Japanese History</b> 日本の歴史 <b>Task 2</b> 偉人の人生を説明してみよう 1 下の—— に [ ] から語を選んで適切な形に変えて入れ、伊能忠敬について説明してみよう。 2 グループになり、好きな歴史上の人物を一人選び、英語で説明してみよう。</p>

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑦言語材料の配列
<b>方法</b>	文法事項が扱われる単元名

	学年	総単元数	文法事項が扱われる単元名										
			三人称単数現在形	進行形	過去形一般動詞	未来表現	t o不定詞	動名詞	比較変化	受け身	現在完了形	分詞	関係代名詞
東書	1	11	Unit 6	Unit 9	Unit 11								
	2	7				Unit 2, 4	Unit 3	Unit 6	Unit 7				
	3	6								Unit 1	Unit 2, 3	Unit 5	Unit 6
開隆堂	1	11	PROGRAM 6	PROGRAM 9	PROGRAM 10, 11								
	2	12				PROGRAM 2	PROGRAM 6	PROGRAM 7	PROGRAM 9, 10	PROGRAM 11			
	3	9									PROGRAM 1, 2	PROGRAM 6	PROGRAM 7, 8
学図	1	9	Lesson 5	Lesson 8	Lesson 9								
	2	8				Lesson 3	Lesson 5	Lesson 6	Lesson 7, 8				
	3	7								Lesson 1	Lesson 2, 3	Lesson 4	Lesson 5, 6
三省堂	1	9	Lesson 6	Lesson 8	Lesson 9								
	2	8				Lesson 3	Lesson 6	Lesson 4	Lesson 7	Lesson 8			
	3	7									Lesson 2, 3	Lesson 6	Lesson 5
教出	1	10	Lesson 5	Lesson 8	Lesson 9								
	2	9				Lesson 2	Lesson 5	Lesson 4	Lesson 7	Lesson 8			
	3	7									Lesson 2	Lesson 4	Lesson 5
光村	1	11	Unit 7	Unit 9	Unit 10, 11								
	2	9				Unit 3	Unit 5, 6	Unit 5	Unit 7, 8	Unit 9			
	3	7									Unit 2, 3	Unit 4	Unit 5

## 【英語】

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑧題材の内容構成と分量
<b>方法</b>	題材（日常生活・風俗習慣，物語，地理・歴史，伝統文化，自然科学）及び単元数，単元名

第3学年			
	題材	単元数	単元名
東 書	日常生活 風俗習慣	1	Unit 3 Fair Trade Event
	物 語	2	Let's Read 1 A Mother's Lullaby Let's Read 2 The Green Door
	地理・歴史	3	Unit 0 Countries around the World Unit 2 From the Other Side of the Earth Unit 6 Striving for a Better World
	伝 統 文 化	1	Unit 1 Pop Culture Then and Now
	自然科学	3	Unit 4 To Our Future Generations Unit 5 Living with Robots – For or Against Let's Read 3 An Artist in the Arctic
	そ の 他	0	
開 隆 堂	日常生活 風俗習慣	1	PROGRAM 7 What Is the Most Important Thing to You?
	物 語	2	PROGRAM 4 Faithful Elephants PROGRAM 9 Education First : Malala's Story
	地理・歴史	2	PROGRAM 1 A History of Vegetable PROGRAM 2 Volcanoes in Japan
	伝 統 文 化	2	PROGRAM 5 <i>Sushi</i> -Go-Around in the World PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things.
	自然科学	2	PROGRAM 3 The 5 Rs to Save the Earth PROGRAM 8 Clean Energy Sources
	そ の 他	0	
学 図	日常生活 風俗習慣	3	Pre Lesson Do You Eat Breakfast? Lesson 2 Junior High School Club Life Lesson 6 Interesting Languages
	物 語	2	Lesson 7 The Diary of Anne Frank Reading 2 Fly Away Home
	地理・歴史	2	Lesson 4 Speech-A Man's Life in Bhutan Lesson 5 Stevie Wonder-The Power of Music
	伝 統 文 化	1	Lesson 1 Report for Our School Trip
	自然科学	2	Lesson 3 E-mails from Alaska and India Reading 1 Energy and the Environment
	そ の 他	0	

【英語】

三省堂	日常生活 風俗習慣	1	Lesson 5 Places to Go, Things to Do
	物語	2	Let's Read 1 Dolphin Tale Let's Read 3 The Story of Nishikori Kei
	地理・歴史	2	Lesson 4 The Story of Sadako Lesson 6 I Have a Dream
	伝統文化	2	Lesson 2 France—Then and Now Lesson 3 <i>Rakugo</i> Goes Overseas
	自然科学	1	Let's Read 2 We Can Change Our World
	その他	2	Lesson 1 My Favorite Words Lesson 7 English for Me
教出	日常生活 風俗習慣	2	Lesson 4 Today's News Lesson 6 Why do You Have to Work?
	物語	1	Reading Lesson 1 The Diary of Anne Frank
	地理・歴史	1	Lesson 1 Kenta's Homestay in London
	伝統文化	2	Lesson 2 A School Trip to Kyoto Lesson 3 Our First <i>Rakugo</i> in English
	自然科学	2	Reading Lesson 2 My Hope for the Future Optional Reading Giant Squid
	その他	1	Lesson 5 Athletes and Languages
光村	日常生活 風俗習慣	3	Unit 1 Video Letter from Min-ho Unit 5 Dreams for the Future Unit 7 The Last Concert
	物語	1	Let's Read 2 Visas for 6,000 Lives
	地理・歴史	1	Unit 4 A Guest from Cambodia
	伝統文化	2	Unit 2 How Do They See Japan? Unit 3 Our School Trip
	自然科学	2	Unit 6 Tina's Student News-Net Let's Read 4 Changing the World
	その他	2	Let's Read 1 Treasure Hunt Let's Read 3 The House That Jack Built

<b>観点</b>	(ウ) 内容の構成・配列・分量
<b>視点</b>	⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列
<b>方法</b>	第1学年導入期における外国語活動の接続を図った題材数、題材名及び具体例

	題材数	題材名	具体例（最初の題材）
東書	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Hi, English!</li> <li>・英語であいさつをしよう</li> <li>・身のまわりのものを英語で言おう</li> <li>・英語でいろいろなことを言おう</li> <li>○ Unit0</li> <li>・アルファベット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一日のあいさつ</li> <li>1 CDなどで(例)英語を聞いて、あいさつの表現を声に出して言いましょう。</li> <li>(例) A : <u>Good morning, Takashi.</u></li> <li>B : <u>Good morning, Jill.</u> How are you?</li> <li>A : I'm <u>fine</u>, thank you. And you?</li> <li>B : I'm <u>OK</u>.</li> </ul>
開隆堂	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Let's Start</li> <li>・新しい友だちをつくろう</li> <li>・町の中の会話を聞こう</li> <li>・身の回りにあるものの英語</li> <li>・英語を聞いてみよう・使ってみよう</li> <li>○ PROGRAM 1</li> <li>・アルファベットになれよう</li> <li>・アルファベットが表す音を聞いてみよう</li> <li>・アルファベットを書こう</li> <li>○ アルファベットで遊ぼう</li> <li>○ Classroom English</li> <li>○ 辞書を引いてみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新しい友だちをつくろう</li> <li>場面に合わせて友だちや先生と大きな声でやりとりをしましょう。</li> <li>① 新しい友だちに出会いました。自分の名前を言ってあいさつをしましょう。</li> <li>Hello / Hi. My name is _____. Nice to meet you.</li> <li>Hello / Hi. I'm _____. Nice to meet you too.</li> <li>② 授業が始まります。先生にあいさつをしましょう。</li> <li>Hello, everyone. Hello, Mr. _____.</li> <li>How are you? Fine, thank you, _____.</li> </ul>
学図	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Pre-Lesson</li> <li>・会話を聞いてみよう</li> <li>・クラスメートと自己紹介をしよう</li> <li>・自己紹介をしよう</li> <li>○ Let's Start</li> <li>・The Alphabet</li> <li>・つづりと発音 A</li> <li>・つづりと発音 B</li> <li>・身の回りの英語 A</li> <li>・身の回りの英語 B</li> <li>・身の回りの英語 C</li> <li>・あいさつをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつをしよう</li> <li>① Good morning, Mr. Noda.</li> <li>Good morning, Miku.</li> <li>② Hello, Ms. Allen.</li> <li>Hi, Hiro.</li> <li>③ Goodbye, Ms. Allen.</li> <li>See you.</li> <li>④ Good night.</li> </ul>
三省堂	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Get Ready</li> <li>・コミュニケーションを楽しもう</li> <li>・友達になろう</li> <li>・アルファベットを覚えよう</li> <li>・英語の音とつづりに親しもう</li> <li>・英語の文字を書いてみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニケーションを楽しもう</li> <li>英語を聞いて、どの場面か選ぼう。</li> <li>① あいさつをしている絵</li> <li>② 道案内をしている絵</li> <li>③ オーストラリアからの女の子とあいさつをしている絵</li> <li>④ 折り紙と折り鶴を見せている絵</li> <li>⑤ アイスクリームを買っている絵</li> <li>⑥ 弁当を食べている絵</li> </ul>
教出	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Springboard</li> <li>・あいさつをしよう</li> <li>・こんなときはこう言おう</li> <li>・身のまわりの英語 1</li> <li>・身のまわりの英語 2</li> <li>・アルファベットに親しもう</li> <li>・アルファベットの音とつづりに親しもう</li> <li>・数字</li> <li>・曜日と教科</li> <li>・色</li> <li>・名前を書こう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつしよう</li> <li>① 先生と英語であいさつをしよう。</li> <li>Good morning, Kenta. How are you?</li> <li>I'm fine. Thank you. How are you, Ms. King?</li> <li>I'm fine, too. Thank you.</li> <li>② 新しい友だちと英語であいさつをしよう。</li> <li>Hello. Hi.</li> <li>My name is Ono Ayaka. Nice to meet you.</li> <li>My name is Bob West. Nice to meet you, too.</li> <li>See you. Goodbye.</li> </ul>
光村	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Let's Enjoy English!</li> <li>・あいさつ</li> <li>・さまざまな場面の英語</li> <li>・アルファベット</li> <li>・身の回りのもの</li> <li>・数字</li> <li>・教室で使う英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつ</li> <li>① 出会ったとき</li> <li>Hi. Hello. Good morning. Good afternoon.</li> <li>Good evening.</li> <li>② 教室で</li> <li>Hello. How are you?</li> <li>Fine, thank you. And you?</li> <li>Fine, thank you.</li> <li>③ 別れるとき</li> <li>Goodbye. See you.</li> </ul>



<b>観点</b>	<b>(工) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑩巻末等資料の工夫
<b>方法</b>	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例

第2学年			
	内容	語彙リストにおける表記の仕方と具体例 (単語 as)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「資料編」として、次の資料を掲載している。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Word List</li> <li>2 Bonus Word Box</li> <li>3 形容詞・副詞比較変化表</li> <li>4 不規則動詞変化表</li> <li>5 2年 基本文・Basic Expression 一覧</li> <li>6 1・2年 表現のまとめ</li> <li>7 名作鑑賞 I'll Always Love You</li> </ol> </li> <li>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手話, 点字, パラリンピック</li> <li>・ Word Room</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Word List               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を印刷体で表記している。</li> <li>・ 特に覚たい語を太字で表記している。</li> <li>・ その意味が初めて出たページを数字で表記している。また、その意味が1年生で既出の単語は斜体の数字で表記している。</li> <li>・ その単語が1年生で出て、2年生で出ていない場合は白抜きで表記している。</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>as</b> [æz / əz] <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">代</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">前</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">副</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">接</span></p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">代</span> …のような</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">前</span> ①…として</p> <p>②→such</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">副</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">接</span>【比較】～と同じくらい…</p> <p>〔ふつう as...as～の形で用いられる。前の as は副詞〕</p> <p>not as...as～ ～ほど…でない</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Basic Dialog のまとめ</li> <li>2 クイックQ&amp;A</li> <li>3 英語の音声</li> <li>4 英語のつづり字と発音</li> <li>5 短縮形のまとめ</li> <li>6 数の言い方</li> <li>7 英語の歌</li> <li>8 単語と熟語</li> <li>9 不規則動詞活用表</li> <li>10 学校の内外</li> <li>11 いろいろな職業</li> <li>12 いろいろな前置詞</li> <li>13 感情や状態を表す形容詞</li> <li>14 日本の祝日・学校行事</li> <li>15 町を案内しよう</li> </ol> </li> <li>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Extensive Reading</li> <li>2 英語で「できるようになったこと」リスト (とじ込み)</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単語と熟語               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を印刷体で表記している。</li> <li>・ この教科書で初出の語および連語を太字で表記している。</li> <li>・ この教科書で初出の固有名詞などと、前の学年で学習した語句を細字で表記している。</li> <li>・ 特に重要な語を*印で表記している。</li> <li>・ その単語及び連語などがこの教科書で初出のページを数字で表記している。</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">1</span>は1年で学習した語を表記している。</li> <li>・ 辞書で熟語などを調べる時まず調べるとよい単語を本の記号で表記している。</li> </ul> </li> </ul>	<p>*<b>as</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">接</span> ～につれて</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">副</span> (as～as...の形で) …と同じぐらい～</p> <p>not as ～ as ... …ほど～でない</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">前</span> ～として</p>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 英語の歌                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Yesterday Once More</li> <li>・ I Just Called to Say I Love You</li> <li>・ Imagine</li> </ul> </li> <li>2 More Words                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業</li> <li>・ 感情, 性格</li> </ul> </li> <li>3 つづりと発音</li> <li>4 不規則動詞変化表</li> <li>5 形容詞・副詞の変化表</li> <li>6 目標文のまとめ</li> <li>7 ミニ辞典コーナー</li> <li>8 色と形</li> <li>9 ジェスチャー</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ミニ辞典コーナー               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を印刷体で表記している。</li> <li>・ 特に重要な単語を太字で表記している。</li> <li>・ その単語 (の意味) 初出のページを数字で表記している。</li> <li>・ 白抜きの1は1学年で既出の語を表記している。</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>as</b> [æz / əz] <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">前</span> ①～として</p> <p>②[the same の後に付けて] ～と同じ</p> <p>the same as → same</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">接</span>【比較】～と同じぐらい</p> <p>as～as... …と同じぐらい～</p> <p>as much as～ ～と同じくらい</p> <p>as well → well</p>

【英語】

<p>三省堂</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Further Reading             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Zorba's Promise</li> <li>・ A Calendar of the Earth</li> <li>・ Welcome to Ogasawara</li> </ul> </li> <li>2 Songs【英語の歌】</li> <li>3 つづりと発音【子音】</li> <li>4 絵でわかる英語のしくみ</li> <li>5 基本文のまとめ</li> <li>6 数の表現と数字の読み方</li> <li>7 いろいろな符号</li> <li>8 いろいろな単語</li> <li>9 会話表現</li> <li>10 不規則動詞活用表</li> <li>11 形容詞・副詞比較変化表</li> <li>12 単語の意味</li> </ol>	<p>○ 単語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語をゴシック体と印刷体で表記している。</li> <li>・ 大切な語をゴシック体で表記している。</li> <li>・ 特に大切な語をゴシック体の太字で表記している。</li> <li>・ 覚えておくと便利な語を印刷体で表記している。</li> <li>・ 数字は2年生で初めて出るページを表記している。</li> <li>・ ①は1年で学習した語を表記している。</li> </ul>	<p><b>as</b> [éɪz] 副 [as A as Bで] Bと同じくらいA《前のasが「それと同じだけ(A)」の意味で副詞、あとのasは「(Bが)～である[する]のように」の意味で接続詞》。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 接 (～が～する) ように、(～する) とおりに。</li> <li>一 前 ～として。</li> </ul>
<p>教出</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 辞書についていっしょに学ぼう！             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形容詞の調べ方</li> <li>・ アクセントや音節の調べ方</li> </ul> </li> <li>2 Optional Reading</li> <li>3 Sing Along!             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Elm Tree Dreams</li> <li>・ Stand by Me</li> </ul> </li> <li>4 重要構文復習リスト</li> <li>5 Word List</li> <li>6 形容詞・副詞比較変化表</li> <li>7 不規則動詞変化表</li> <li>8 Can-Do 自己チェックリスト</li> </ol>	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を印刷体で表記している。</li> <li>・ 特に覚たい語を*印で表記している。</li> <li>・ その意味が最初に出たページを数字で表記している。</li> <li>・ 太字は第2学年の新出語を表記している。</li> <li>・ 白抜きの1は1学年で既出の語を表記している。</li> </ul>	<p><b>*as</b> 接①→such ②(～する) ように as you know ご存じのように 副 接 [as～as...で] …と同じくらい～ as well as～ ～と同様に 前 ～として</p>
<p>光村</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Your Coach</li> <li>・ CLIL 英語で学び、考えよう</li> <li>・ Word Square</li> <li>・ Writing Fun</li> <li>・ 英語の歌</li> </ul> <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 Let's Read More</li> <li>2 数字の読み方</li> <li>3 短縮形のまとめ</li> <li>4 英語のしくみ</li> <li>5 不規則動詞活用表／形容詞・副詞の変化</li> <li>6 音声のまとめ</li> <li>7 Word List</li> <li>8 基本文一覧</li> <li>9 Classroom English</li> <li>10 こんなときどう言うの</li> </ol>	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 英語を印刷体で表記している。</li> <li>・ 特に重要な語を太字で表記している。</li> <li>・ その語や連語が初めて出るページを数字で表記している。</li> <li>・ 白抜きの1は1年生で既出の語を表記している。</li> </ul>	<p><b>as</b> [éɪz / əz] 副 同じくらいに as usual → usual as～as... …と同じほど～ 前①～として、～のように ②～のときに as a child 子供の頃(に)</p>

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	①学習到達目標の設定
<b>方法</b>	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所等と具体例

	設定場所等	具体例 (第3学年末「書くこと」)
東書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Presentation」における「振り返ろう」</li> <li>○ 「書く・話す」「読む」「聞く」別に設定されており、達成していればチェックを入れるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5文以上の英語で、自分の選んだ日本文化について書いて発表できた。</li> <li>○ 5文以上の英語で、自分の修学旅行について書いて発表できた。</li> <li>○ 5文以上の英語で、自分の中学校生活について書いて発表できた。</li> </ul>
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末付録 「英語で『できるようになったこと』リスト</li> <li>○ 4技能別に設定されており、できるようになったことには日付の下に○をつけるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10文程度で自己紹介の文章を書くことができる。</li> <li>○ 自分の趣味について、4～5文のわかりやすいまとまりのある文章を書くことができる。</li> <li>○ ものごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。</li> <li>○ 短い日記を書くことができる。</li> <li>○ 簡単なカード、はがき、メールを書くことができる。</li> <li>○ 短い伝言をメモに書くことができる。</li> </ul>
学図	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Chapter 扉と最後</li> <li>○ Chapter 毎の目標を振り返る場 (Project), 1年間の振り返る場 (Project) を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の伝統文化について、簡単な紹介文が書けるようになります。</li> <li>○ 世界の人々にインタビューができるようになります。</li> <li>○ 大切な人や尊敬する人について、まとまった文章が書けるようになります。</li> <li>○ 自分の人生を過去から現在、そして未来まで書けるようになります。</li> </ul>
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末 「What Can I Do?」 CAN-DO リスト</li> <li>○ 4技能別に設定されており、3段階で評価させるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の経験について、自己紹介カードを書くことができる。</li> <li>○ 短い英文の物語を参照しながら、その要約文を書くことができる。</li> <li>○ ある人物の資料を参照しながら、その人物を紹介する短い記事を書くことができる。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻末付録 「Can-Do 自己チェックリスト」</li> <li>○ 4技能別に設定されており、4段階で評価させるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理由や例を挙げて、相手に説明する短い文章を書くことができる。</li> <li>○ 新聞、レポート、ガイドブックなどの形式で、身近なことを説明する短い文章を書くことができる。</li> <li>○ 趣味や事物について、つながりのあるまとまりのある文章を書くことができる。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Unit 末 「You Can Do It!」</li> <li>○ 目標到達状況を、A,B,C,Dの4段階で評価させるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の様子を紹介できる。</li> <li>○ 自分が経験したことについて人にすすめるスピーチができる。</li> <li>○ 修学旅行で訪れた場所について、体験や感想を含めて具体的に書くことができる。</li> <li>○ 将来の夢について、具体的な理由を説明して書くことができる。</li> <li>○ 環境問題などに関する文章を読んで、自分の考えを書いたり、伝えたりできる。</li> <li>○ お礼の手紙で感謝の言葉や思い出を伝えることができる。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(才) 言語活動の充実</b>
<b>視点</b>	⑫ 4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫
<b>方法</b>	4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

	4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所	テーマ	4技能を統合的に活用させる言語活動の具体例（第1学年）
東書	○ Presentation	○ 自己紹介 ○ 一日の生活 ○ 思い出の行事 ○ 将来の夢 ○ 町紹介 ○ 好きなこと・もの ○ 日本文化紹介 ○ 修学旅行 ○ 中学校生活	○ Presentation 1 自己紹介 Hop 自己紹介のモデル文を理解しよう Step 自己紹介の内容を考えよう 1 自分の自己紹介で取り上げたい話題を1つ選びましょう。 2 1で選んだ話題について、次の文の _____ をかえて言いましょ。う。 Jump 話したい内容を書いて自己紹介をしよう 1 原稿を作ろう 2 発表して質問し合おう Challenge 世界の友達の自己紹介を聞こう
開隆堂	○ My Project ○ Special Project	○ 自分のことを話そう ○ 人を紹介しよう ○ 知りたい情報を引き出そう ○ スキット作りを楽しもう ○ スピーチをしようーこんな人になりたい ○ CMを作ろうーこんなものがほしい ○ あの人にインタビューしよう ○ 日本文化を紹介しよう ○ 卒業に向けてー思いを伝えよう	○ My Project ① 自分のことを話そう 1 はじめに2人のスピーチを聞きましょ。う。 2 表現をふり返りましょ。う。 3 原稿を作りましょ。う。 (協働) グループの友だちの原稿を讀んで、お互いにアドバイスましょ。う。 4 発表ましょ。う。
学図	○ Chapter Project ○ Book Project	○ 自分のことを伝えよう ○ ○○さんを紹介しよう ○ 写真の説明をしよう ○ 手紙を書こう ○ 日記を書こう ○ 旅行の計画を立てよう ○ 将来の夢 ○ 私の宝物 ○ 日本の伝統文化を紹介しよう ○ インタビューをしよう ○ 尊敬する人についてスピーチをしよう ○ 自分の意見を言おう 等	○ Chapter 1 Project 自分のことを伝えよう Step1 次の自己紹介のスピーチを聞いて、聞きとれたことを書きましょ。う。 Step2 Step1 で聞いたスピーチを参考にして、自分のことについて伝えたいことを書き出ましょ。う。次の例文の下線部を自分のことに置きかえて書いてみましょ。う。 Step3 Step2 で書き出したことの中から、スピーチで伝えたい文を選んでままとめましょ。う。 Final Step Step3 でまとめた文章の初めにあいさつと名前、最後にしめくくりの言葉を加え、グループのみんなの前で発表ましょ。う。

【英語】

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Project</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己紹介をしよう</li> <li>○ 友達にインタビューをしよう</li> <li>○ 大切なものを紹介しよう</li> <li>○ 有名人を紹介しよう</li> <li>○ 自分の夢を紹介しよう</li> <li>○ 自分の町を紹介しよう</li> <li>○ 先生にインタビューをしよう</li> <li>○ 日本文化を紹介しよう</li> <li>○ ディスカッションをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Project 1 自己紹介をしよう。</li> <li>1 生徒会誌の「ALT の先生紹介」コーナーに、ブラウン先生の自己紹介が掲載されました。英文を読んでわかったことをメモしよう。</li> <li>2 ブラウン先生との初めての授業です。先生の自己紹介のあと、みんなが先生に質問します。</li> <li>3 今度はあなたが自己紹介をする番です。はじめに自己紹介の準備をしよう。</li> <li>4 聞いている人の顔を見ながら、自分らしさが伝わる自己紹介をしよう。</li> <li>Try 友達の自己紹介を聞いてわかったことをメモしよう。わからなかったことは、質問してみよう。</li> </ul>
教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Project</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己紹介をしよう！</li> <li>○ 友だちをみんなに紹介しよう！</li> <li>○ 好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！</li> <li>○ ミニ英語新聞を作ろう！</li> <li>○ あなたの夢を語ろう！</li> <li>○ アンケート調査をして発表しよう！</li> <li>○ 自分たちの町のガイドブックを作ろう！</li> <li>○ 英語で卒業スピーチをしよう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Project 1 自己紹介をしよう！</li> <li>1 Edward (エドワード) が写真を見せながら自己紹介をしています。聞き取ったことを○で囲もう。</li> <li>2 Rumiko の自己紹介を読んで、読み取った内容を英語でメモしよう。</li> <li>3 Edward や Rumiko の自己紹介を参考にして、あなたの自己紹介文を書こう。</li> <li>4 3 でつくった英文を暗記して、クラスの前で発表しよう。</li> <li>Let's Try 発表を聞いたあと、発表者に質問をしてみよう。</li> </ul>
光村	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Go for It!</li> <li>○ CLIL</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己紹介をしよう</li> <li>○ 大切な人のことを紹介しよう</li> <li>○ ALT 新聞を作ろう</li> <li>○ 旅のしおりを作ろう</li> <li>○ 職場体験の報告をしよう</li> <li>○ 「私たちの町」を紹介しよう</li> <li>○ 修学旅行新聞を作ろう</li> <li>○ 給食と弁当どちらがいい？</li> <li>○ 卒業文集を作ろう</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Go for It! 1 自己紹介をしよう</li> <li>STEP 1 自己紹介のスピーチを聞いてみましょう。</li> <li>STEP 2 スピーチの内容を考えましょう。</li> <li>STEP 3 スピーチ原稿を書きましょう。</li> <li>STEP 4 みんなの前でスピーチをしましょう。</li> <li>TRY スピーチを聞いた後で、友達に質問をしましょう。</li> </ul>